



LX-D400

カラーラベルプリンター

ユーザーズガイド

本製品には「安全にお使いいただくために」が同梱されています。ご使用前に必ずお読みください。
本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

4Y1-8650-050

© CANON FINETECH NISCA INC. 2026

目次

はじめに

本書の見かた	1
お客様へのお願い	1
商標・ライセンスについて	2

1. 本製品について

各部の説明	4
前面 / 右側面	4
背面	5
内部	6
ロールホルダー	7
操作パネル	8

電源を入れる / 切る	9
電源を入れる	9
電源を切る	10
スリープ状態にする	11
印刷を一時停止状態にする	12

2. 用紙の取り扱い

ロール紙を使う	14
ロール紙をセットする	14
ロール紙をプリンターから取り外す	20
最後まで使い切った用紙の処理をする	22
ロール紙をロールホルダーから取り外す	24
幅広用紙を使う	25

特殊形状ラベルを使う	30
特殊形状ラベルをセットする	32

ファンフォールド紙を使う	36
ファンフォールド紙をセットする	36
ファンフォールド紙を取り外す	40

手動カッターを使う	42
-----------------	----

用紙について	44
使用可能な用紙の種類・サイズ・形状	44
ユーザー用紙サイズの設定可能範囲	45
用紙の取り扱いについての注意事項	52

3. 印刷

印刷する	54
印刷の基本操作	54
印刷を中止する	57
印刷状況を確認する	58

プリンタードライバーを表示する	59
-----------------------	----

アプリケーションソフトから印刷設定画面を 表示する	59
Windows の設定から印刷設定画面を表示する	59
プリンターのプロパティ画面を表示する	60

[ページ設定] シートを使う	61
----------------------	----

よく使う印刷設定を登録する	63
用紙サイズを選ぶ	66
用紙サイズを自由に設定する	69
用紙の種類を選ぶ	73
印刷の向きを選ぶ	74
選択した縦横の向きで印刷する	76
カッターの設定をする	78
設定内容を確認する	82
バージョン情報を確認する	83

[印刷設定] シートを使う	84
---------------------	----

原稿に合った色調整を選ぶ	86
カラーの原稿をモノクロで印刷する	87
ピンポイント色合わせを行う	88
画質を調整する	99
印刷品質を設定する	104
印刷速度を設定する	105

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する	107
印刷順を設定する	108

[オーバーレイ設定] シートを使う 109

オーバーレイ印刷とは	111
フォームをファイルに保存する	112
オーバーレイ印刷を行う	114

[ユーティリティ] シートを使う 121

設定値を確認する / ログ出力を設定する	123
スリープ状態に切り替える	125
インクの使用量を変更して印刷する	126
プリンタードライバーの設定情報を移行する	129
ドライバーの表示言語を変更する	142

ステータスマニターの使いかた 143

ステータスマニターを表示する	143
ステータスマニターを使う	146

プリンタードライバーをインストールする 152

プリンタードライバーをインストールする	152
プリンタードライバーをカスタムインストールする	152
プリンタードライバーを更新する	159
プリンタードライバーを削除する	160
サーバークライアント登録を設定する	162

他社製のプリンタードライバーをネットワーク接続で使用する 164

4. プリンターの設定

タッチパネルの使い方 170

ホーム画面の構成	170
----------------	-----

タッチパネルで設定を変更する 175

インフォメーション	175
-----------------	-----

プリンターの設定値を確認する	178
メニュー	180
管理者パスワードを設定する	188
電源オフ / スリープ状態への移行時間を変更する	198

ギャップ / ブラックマーク調整を行う . 200

特殊用紙設定を登録する	200
特殊用紙設定を使って印刷する	217
特殊用紙設定を削除する	218
センサーしきい値を調整する	219
印刷位置を調整する	222
カット位置を調整する	224

ショートカットの作成 226

プリンターの設定を移行する 232

プリンターの設定を初期化する 233

5. パソコンとの接続

接続方法を選ぶ 236

有線 LAN 接続	237
USB 接続	238

ネットワーク設定を変更する 239

LAN 設定をする	239
ポートを設定する	244
使用するネットワーク環境に合わせる	245
ネットワーク設定情報を確認する	246

不正アクセス対策について 251

ネットワーク環境でプリンターを共有する 252

プリントサーバー機での設定	253
クライアント機での設定	254

6. メンテナンス / 調整

消耗品の交換	256
消耗品の残量を確認する	256
インクタンクを交換する	259
メンテナンスカートリッジを交換する	264
プリンターの清掃	267
プリンターの外装を清掃する	267
上ユニット内部を清掃する	269
プリンターの移動 / 輸送	272
プリンターの屋内移動準備をする	272
プリンターの輸送準備をする	278
ハードウェアエラーが発生したプリンターの輸 送準備をする	284
最新のソフトウェアを入手する	286
画質調整と改善	287
ノズルのつまりを確認する	287
プリントヘッドをクリーニングする	291
印刷中にクリーニングを行う	293
プリントヘッドの位置調整を行う	295
仕上がり进行调整する	310
用紙のこすれを改善する	318

7. 困ったときは

困ったときは	321
用紙がつまった	321
プリンターが思ったとおりに動作しない	325
思ったとおりの印刷結果にならない	331

ステータスマニターやタッチパネルに メッセージが表示された	339
--	-----

8. RFID 用紙の印刷

RFID ユニットについて	360
RFID 用紙の情報を登録する	361
RFID 用紙の情報を登録する	362
RFID 用紙情報を編集する	364
RFID 用紙の情報を削除する	366
プリンターに RFID 用紙をセットする	367
RFID 用紙使用時のプリンタードライ バーの設定	368
用紙サイズを設定する	368
RFID 用紙の用紙サイズ設定可能範囲	371
RFID 印刷の詳細な設定	373
RFID の印刷モードを設定する	373
不良インレイ連続許容回数超過エラーの発生頻 度を設定する	374
書き込みに失敗した時のリカバリー方法を設定 する	375
書き込みの結果を確認する	376
RFID データを消去する	377

仕様

本体	378
ジョブ切りオートカッター（オプション）	380
RFID ユニット（オプション）	380
消耗品 / オプション	381

はじめに

本書の見かた

■ マークについて



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。



重要

守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、かならずお読みください。



メモ

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

■ 記載について

- ・ 本書では、Windows 11 を使用する環境を例に記載しています。

お客様へのお願い

- ・ 本書の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本製品および付属ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- ・ 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。
- ・ 本製品および付属ソフトウェアを運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 商標

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge、Windows および Windows Server は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名および名称（サービス名称、ブランド名称などすべて含む）は各社の登録商標または商標です。

■ ライセンス

- お客様がご購入された本製品には、第三者のソフトウェア（QBit Semiconductor LTD. の「Quasar」および第三者のオープンソースソフトウェア）が含まれており、それぞれ個別のライセンス条件が適用されます。個別のライセンス条件は、以下に従い、本製品のタッチパネルよりご確認ください。

[ホーム画面] →  (インフォメーション) → [第三者のソフトウェアライセンス]

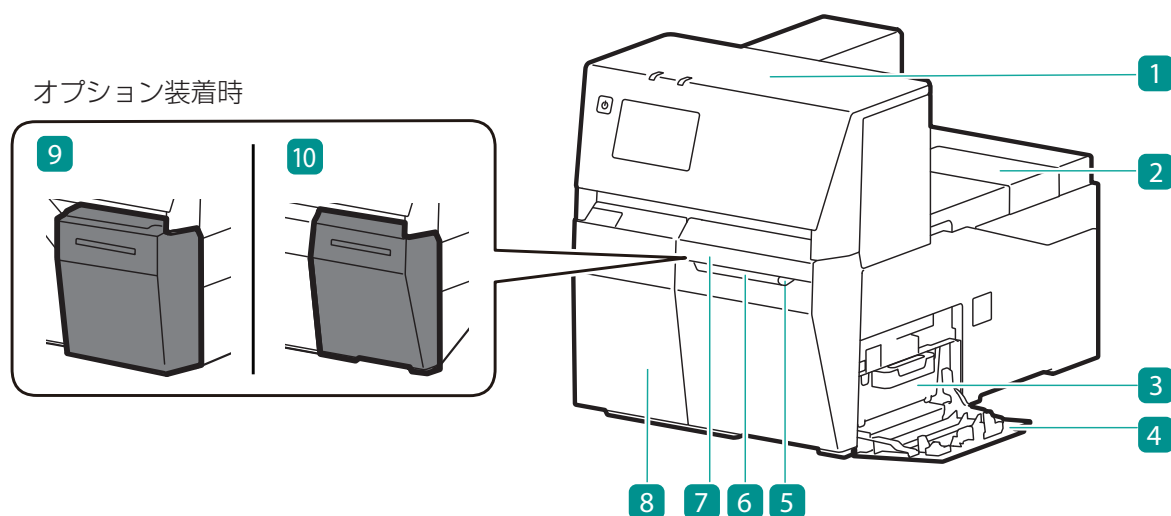
Chapter 1

本製品について

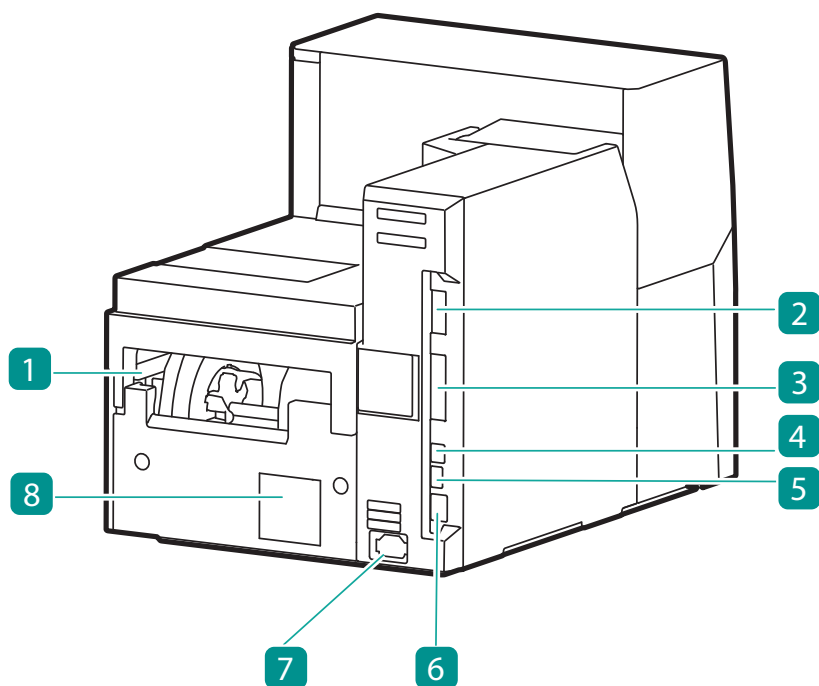
各部の説明	4
前面 / 右側面	4
背面	5
内部	6
ロールホルダー	7
操作パネル	8
電源を入れる / 切る	9
電源を入れる	9
電源を切る	10
スリープ状態にする	11
印刷を一時停止状態にする	12

各部の説明

前面 / 右側面

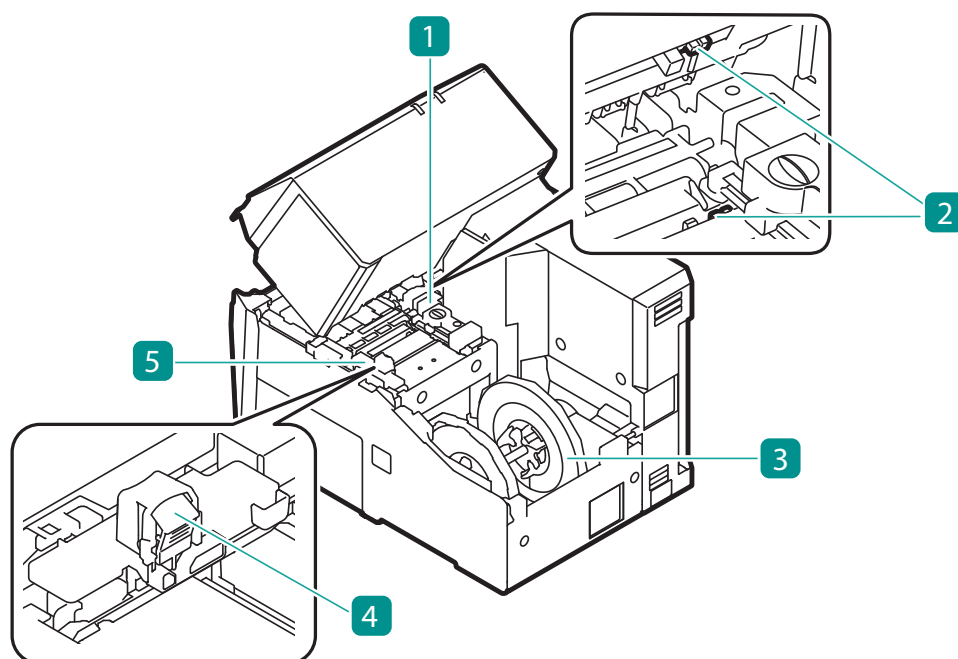


1	上ユニット	搬送路につまった用紙を取り除くときや、内部を清掃するときに開きます。
2	ロールカバー	用紙をセットしたり、プリンター内部につまった用紙を取り除くときに開きます。
3	メンテナンスカートリッジ	クリーニングなどに使用されたインクを回収するためのカートリッジです。
4	メンテナンスカートリッジカバー	メンテナンスカートリッジを交換するときに開きます。
5	手動カッター	排紙された用紙を手動でカットします。
6	排紙口	印刷された用紙が排紙されます。
7	カッターカバー	手動カッターを操作するときに開きます。
8	インクタンクカバー	インクタンクを交換するときと、上ユニットを開くときに開きます。
9	RFID ユニット (オプション)	RFID 用紙に情報を書き込みます。  メモ ・ RFID ユニットとプリンター本体の間には、干渉を防ぐための隙間があります。
10	ジョブ切りオートカッター (オプション)	自動で用紙をカットします。プリンタードライバーでカットするタイミングや間隔を設定することができます。



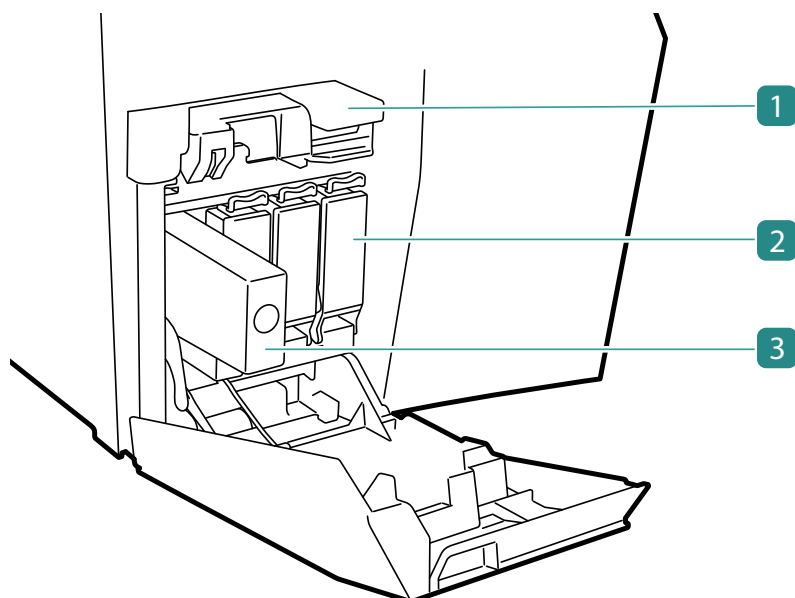
1	背面給紙口	ファンフォールド紙を使用するときの給紙口です。
2	RS232C コネクタ	拡張用インターフェイスです。
3	RS232C コネクタ	外部機器接続用インターフェイスです。
4	USB コネクタ	USB ケーブルを接続します。
5	USB メモリー接続部	USB メモリーを接続します。 プリンター設定を移行するときや、ログまたは設定値のデータを USB メモリーに書き出す際に使用します。 ➡ プリンターの設定を移行する (P.232) ➡ プリンターの設定値を確認する (P.178) ➡ [ログ出力] (P.197)
6	LAN コネクタ	LAN ケーブルを接続します。
7	電源コネクタ	電源コードを接続します。
8	定格銘板ラベル	プリンター識別のためのシリアル番号が記載されています。(プリンターの修理を受ける場合やユーザー登録を行う場合に必要になります)

■ ロールカバー内部



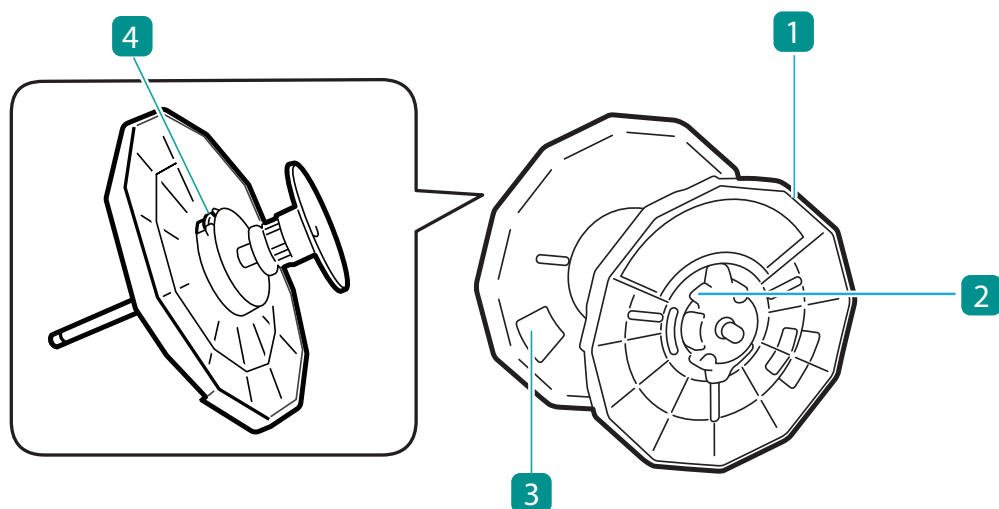
1 搬送ガイド (L)	用紙をまっすぐ搬送させるガイドです。幅広の用紙を使う場合は、ガイドの位置を指定の位置に移動します。(→ P.25)
2 ギャップセンサー (上センサー / 下センサー)	ラベルの先端位置を検出するセンサーです。上センサーと下センサーがあり、ラベルの形状に応じて検出を行います。丸型などのラベルを使用する場合は、印刷する前に位置を調整してください。(→ P.30)
3 ロールホルダー	用紙をセットするためのホルダーです。
4 搬送ガイド (R) ロック	搬送ガイド (R) の位置を固定するためのロックです。ロックを押すと、搬送ガイド (R) の位置を移動させられるようになります。
5 搬送ガイド (R)	用紙をまっすぐ搬送させるガイドです。用紙をセットするときに、用紙の幅に合わせて動かします。

■ インクタンクカバー内部

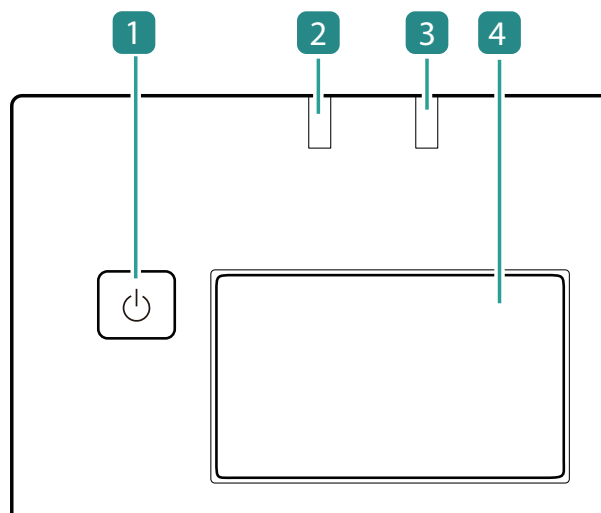


1 上ユニットオープンレバー	上ユニットを開くときに使用します。
2 インクタンク固定レバー	インクタンクを保護し、ロックするためのレバーです。インクタンクを交換するときに、このレバーを開閉します。
3 インクタンク	➡ インクタンクを交換する (P.259)

ロールホルダー



1 フランジ (R)	用紙をロールホルダーに固定します。
2 ストッパーレバー	フランジ (R) の取り外し / 取り付けを行うときにレバーを押します。
3 フランジ (L)	用紙をロールホルダーに固定します。
4 フランジ (L) 固定 / 解除レバー	幅広の用紙を使う場合、ロールホルダーの軸を拡張するために使用します。 (→ P.25)



1 電源キー	電源を入れる／切るときに押します。 短押しすると、スリープ状態に移行します。(→P.11)
2 ステータスランプ	緑色のランプです。点灯、点滅、消灯はそれぞれ以下の状態を表します。 点灯：オンライン状態です。 点滅：動作中を示します。 ゆっくり点滅：スリープ中を示します。 消灯：電源オフ、またはオフライン状態を示します。
3 エラーランプ	オレンジ色のランプです。点灯、点滅はそれぞれ以下の状態を表します。 点灯：エラーが発生しています。 点滅：ハードウェアエラーが発生しています。
4 タッチパネル	メッセージやメニュー項目、動作状況などが表示されます。画面に直接指先で軽く触れてメニュー項目や表示ボタンを選ぶことができます。

メモ

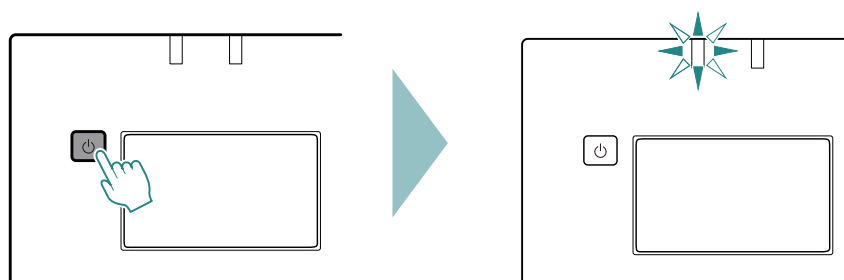
- ハードウェアエラーとは、復帰不能なエラーのことです。発生した場合の対処は「[ハードウェアエラー \(P. 357\)](#)」を参照してください。
- タッチパネルの操作方法や画面の見かたは、「[タッチパネルの使い方 \(P. 170\)](#)」を参照してください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

1 電源キーを押して、プリンターの電源を入れる

ピッと音が鳴ってステータスランプが点灯し、プリンターが起動します。



起動が完了するとスタンバイ状態になります。



以下の場合、スタンバイ状態になりません。必要な処置を行ってください。

- ・ 上ユニットが開いている場合
→ 上ユニットを閉じてください。
- ・ ロールカバーが開いている場合
→ ロールカバーを閉じてください。
- ・ インクタンクカバーが開いている場合
→ インクタンクカバーを閉じてください。
- ・ インクタンクがセットされていない場合
→ **インクタンクを交換する (P.259)**
- ・ タッチパネルに [エラー] が表示された場合
→ タッチパネルのメッセージを確認して必要な処置を行ってください。
- ・ ステータスランプが一度も点灯しなかったり、タッチパネルに何も表示されない場合
→ 電源コードやコンセントの接続を確認してください。

メモ

- ・ 本プリンターは、印刷を行わずに一定の時間が経過した場合に、自動的にスリープ状態へ切り替わるように設定されています。

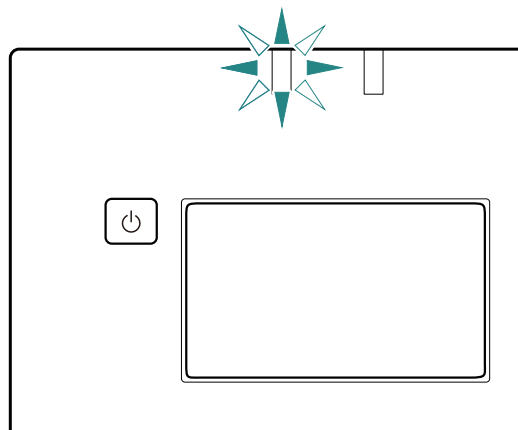
電源を切る

✓ 重要

- プリンターの動作中は、絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。プリンターの故障や破損の原因になります。

1 プリンターが動作中でないことを確認する

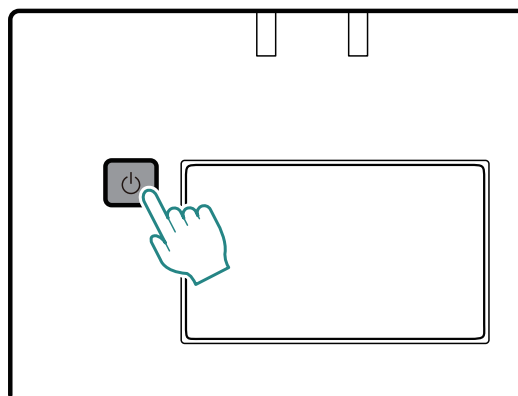
ステータスランプの点滅中はプリンター動作中です。



エラーランプが点滅や点灯している場合は、タッチパネルのメッセージを確認して必要な処置を行ってください。

ステータスランプが点滅している場合は、印刷やデータの受信などを行っています。ステータスランプが点灯状態になってから電源を切ってください。

2 電源キーを 1 秒以上押し続ける



タッチパネルに「終了処理中」と表示され、電源が切れます。

📖 メモ

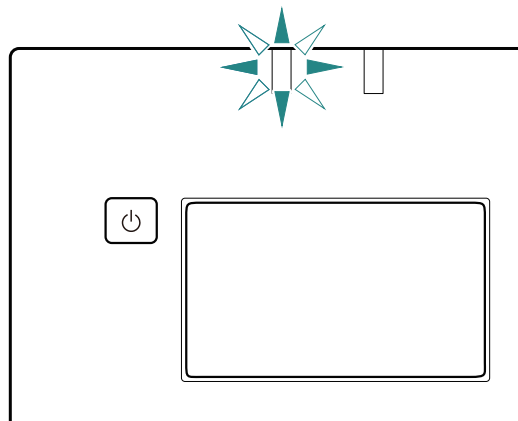
- 本プリンターは、スリープ状態に移行してから一定の時間が経過した場合、自動的に電源が切れます。スリープモードへの移行時間は、自由に設定することができます。詳しい手順は「[電源オフ / スリープ状態への移行時間を変更する \(P.198\)](#)」をご覧ください。

スリープ状態にする

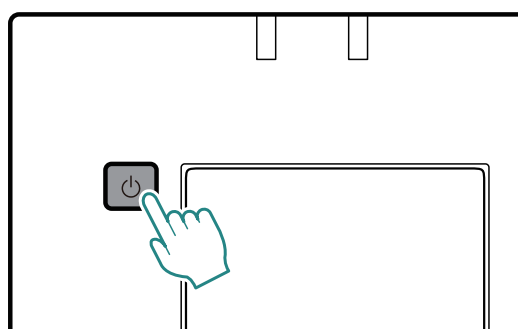
本製品をスリープ状態（節電の状態）に切り替えます。

1 プリンターが待機状態であることを確認する

ステータスランプの点滅中はプリンター動作中です。



2 電源キーを押す



タッチパネルに「スリープ移行中」と表示され、スリープモードに移行します。

メモ

- プリンターが以下の状態のときは、スリープ状態に移行しません。
 - オペレーターエラーが発生しているとき
 - 印刷中、または印刷されていないデータがプリンター内に残ったまま一時停止状態になっているとき
 - プリンターの移動準備、輸送準備を行っているとき
 - プリンターがクリーニング動作を行っているとき
- スリープ状態では、タッチパネルが消灯しステータスランプがゆっくり点滅します。
- プリンタードライバーからもスリープ状態にすることができます。
 - ➡ **スリープ状態に切り替える（P.125）**

印刷を一時停止状態にする

印刷中に **||**（ポーズ）を押すと、設定した時点での印刷が終了した後プリンターはポーズ状態になります。ポーズ状態では、印刷を一時停止します。ポーズ状態を解除するには、再度 **||**（ポーズ）を押します。

1 ホーム画面で、**||**（ポーズ）を押す

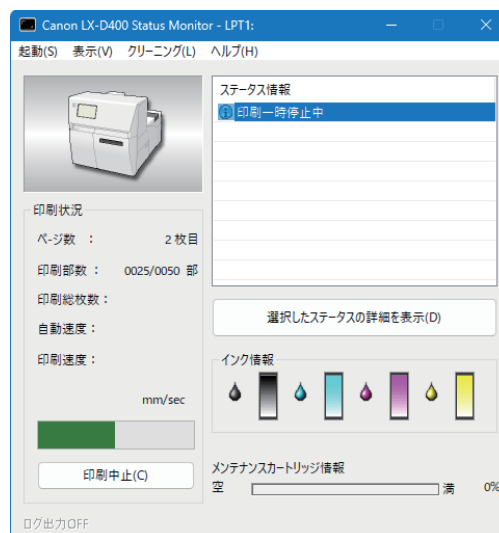


本体ステータス表示部が「ポーズ」に切り換わり、印刷が一時停止状態になります。



メモ

- ポーズ状態でも、パソコンから送られる印刷ジョブデータを受信します。
- 受信データがある場合は、カウンター表示部に **◀** マークが表示されます。受信データをすべて削除したい場合は以下の手順で操作してください。印刷ジョブを選択して削除することはできません。
 - ◀** マークを押すか、カウンター表示部を左にスワイプします。
 - カウンター表示部に「データをすべて削除する」と表示されたら、**🗑**（ごみ箱マーク）を押します。
 - 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選びます。
プリンター内の受信データが全て削除されます。
- 印刷を一時停止した場合、ステータスマニターには右のように表示されます。



Chapter 2

用紙の取り扱い

ロール紙を使う	14
ロール紙をセットする	14
ロール紙をプリンターから取り外す	20
最後まで使い切った用紙の処理をする	22
ロール紙をロールホルダーから取り外す	24
幅広用紙を使う	25
特殊形状ラベルを使う	30
特殊形状ラベルをセットする	32
ファンフォールド紙を使う	36
ファンフォールド紙をセットする	36
ファンフォールド紙を取り外す	40
手動カッターを使う	42
用紙について	44
使用可能な用紙の種類・サイズ・形状	44
ユーザー用紙サイズの設定可能範囲	45
用紙の取り扱いについての注意事項	52

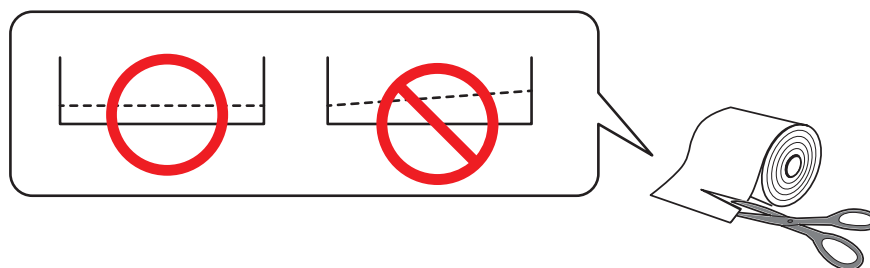
ロール紙を使う

ロール紙をセットする

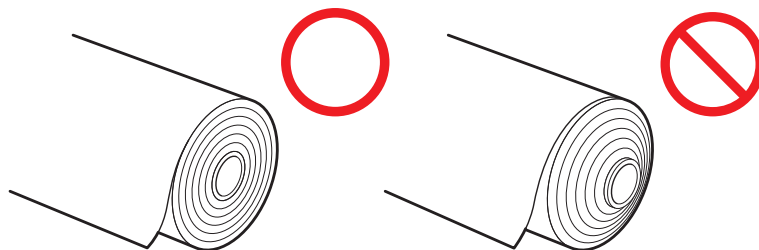
以下の手順でロール紙をプリンターにセットします。

重要

- ロール紙をセットする前に、上ユニット内部や搬送部が汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをおすすめします。
➡ **上ユニット内部を清掃する (P. 269)**
- ロール紙を取り扱う際は、印刷面を汚さないように注意してください。印刷面が汚れると、印刷品質が低下する場合があります。
- ロール紙の先端が不揃いだったり、汚れやテープの跡がある場合は、あらかじめ切り揃えてください。ラベルの場合は、ラベルとラベルの間にあるセパレーター部分でカットしてください。適切な処理を行わずに使用すると、給紙不良や印刷品質の低下の原因になります。



- ロール紙の巻きが緩んでいる場合は、あらかじめ緩みを取ってからセットしてください。
- ロール紙の端面は、巻きそろえておいてください。給紙不良の原因になります。



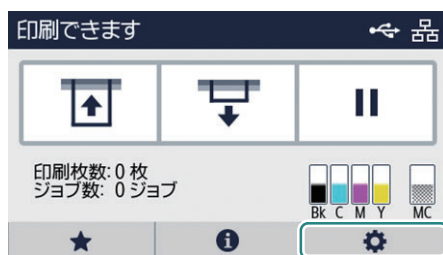
- 用紙の取り扱い / 保管には注意が必要です。「**用紙について (P. 44)**」を参照してください。
- 用紙幅 120 mm を超える用紙を使用する場合は、以下の手順を行う前に事前準備が必要です。詳しい準備方法については、「**幅広用紙を使う (P. 25)**」を参照してください。

メモ

- 使用できるロール紙のサイズと種類については、「**用紙について (P. 44)**」を参照してください。
- ファンフォールド紙または他の装置にセットしたロール紙を使用する場合の手順については、「**ファンフォールド紙をセットする (P. 36)**」を参照してください。
- 用紙が紙管から外れた後、プリンターが「用紙なし」を検知するまでロールホルダーが空転しますが、異常ではありません。

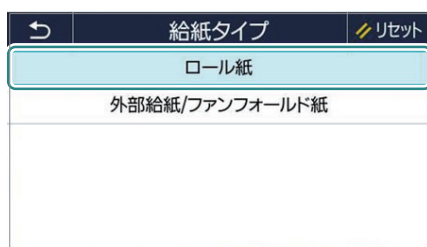
1 ホーム画面で、（メニュー）を選ぶ

下記の画面が表示されていないときは、（ホーム）をタップしてください。



2 [用紙タイプ設定] → [給紙タイプ] の順に押す

3 [ロール紙] を選ぶ

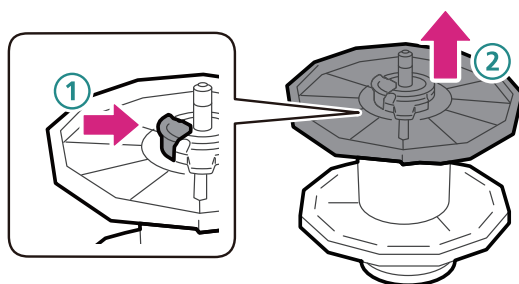


メモ

- RFID ユニット（オプション）を使用して RFID 用紙に印刷する場合は、給紙タイプの設定に続いて RFID 用紙設定を行ってください。

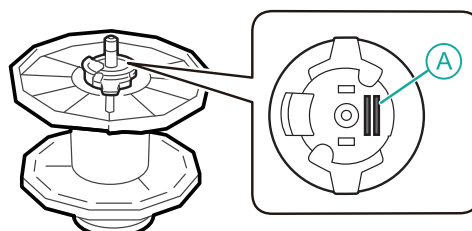
➡ **プリンターに RFID 用紙をセットする（P.367）**

4 ロールホルダーを用意し、ストッパーレバーを押しながらフランジ（R）を取り外す



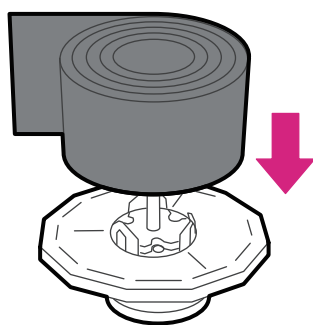
メモ

- ロールホルダーが落下したり衝撃を受けると、ストッパーレバーが内部で引っかかりフランジ（R）を外せない場合があります。その際は、図の二本線の突起（A）を押しながらストッパーレバーを押すと解除され、フランジ（R）を取り外せるようになります。



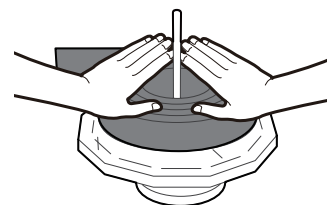
5 ロール紙を図の向きにしてロールホルダーにセットする

ロール紙が、ロールホルダーのフランジ（L）にすき間なく突き当たるまでしっかりと差し込んでください。



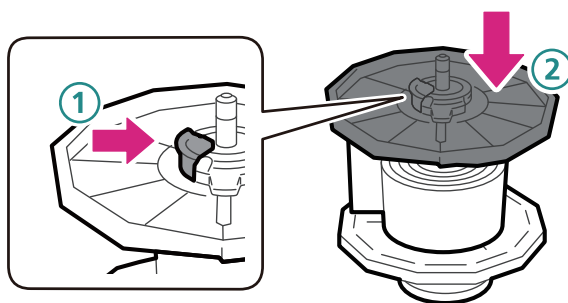
✓ 重要

- ロール紙を取り付ける向きが逆向きにならないようにセットしてください。
- 幅が2インチ以下の用紙をお使いの場合
ロール紙をセットしたあと、用紙の端面を手で軽く押しながらフランジ（L）にそって整えてください。
用紙とフランジ（L）の間にすき間があると、給紙不良の原因になります。



6 ストッパーレバーを押しながら、ロールホルダーにフランジ（R）を取りつける

ロール紙に突き当たるまで、しっかりと差し込みます。

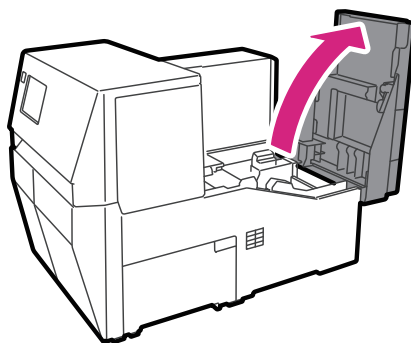


ストッパーレバーから指を離して、セット完了です。

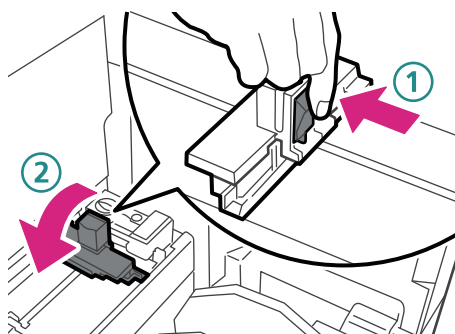
✓ 重要

- ロール紙の先端が斜めになっていたり折れていたりすると、正しく給紙されない場合があります。先端部分をはさみなどでカットしてまっすぐにしてください。またラベルの場合は、ラベルとラベルの間にある台紙部分でカットしてください。

7 ロールカバーを開く

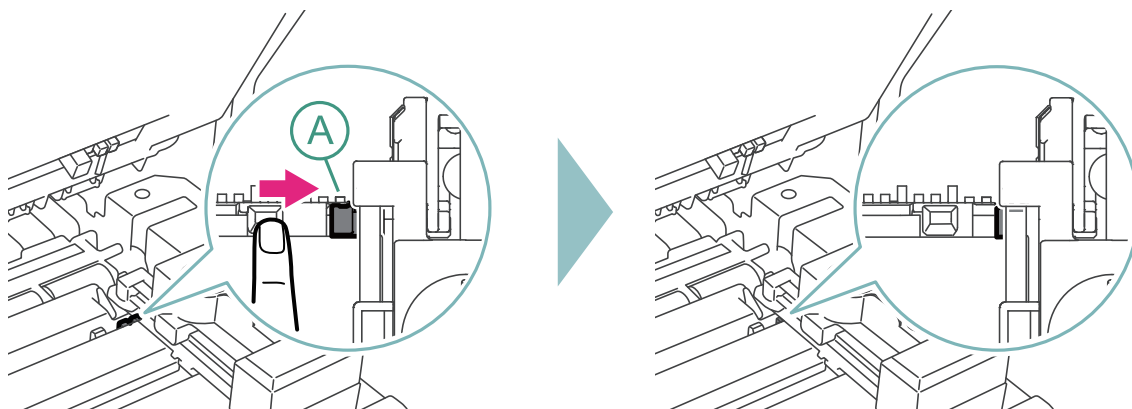


8 ロック解除レバーを押しながら搬送ガイド（R）を開き、用紙の幅より広めの位置まで移動させる

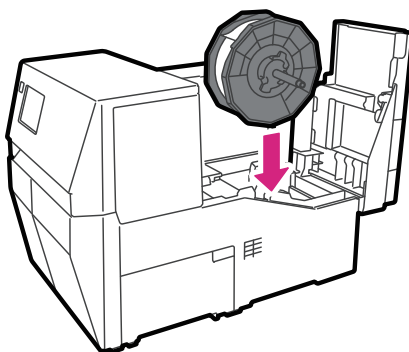


9 以下の用紙をセットする場合は、ギャップセンサーの位置を合わせる

- 丸形など、形状が特殊な用紙
→ 特殊形状ラベルを使う（P.30）
- 幅が 0.5 インチ（12.7 mm）かつブラックマークがある用紙
ギャップセンサー（下センサー）を標準位置（A）から矢印の方向に突き当たるまで動かしてください。



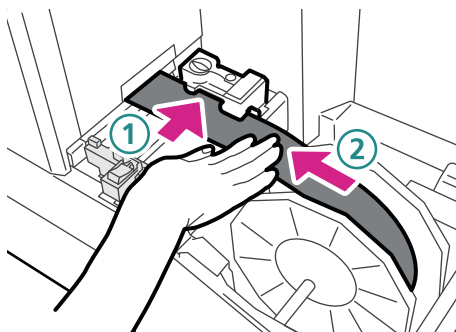
10 ロールホルダーをプリンターにセットする



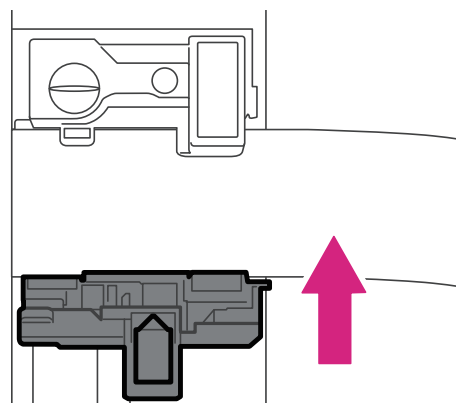
✓ 重要

- ロール紙の巻きが緩んでいる場合は、あらかじめ緩みを取ってからセットしてください。

11 用紙を 搬送ガイド（L）に沿わせながら、先端が自動で引き込まれるまで差し込む



12 搬送ガイド（R）を用紙の幅に合わせて突き当てる

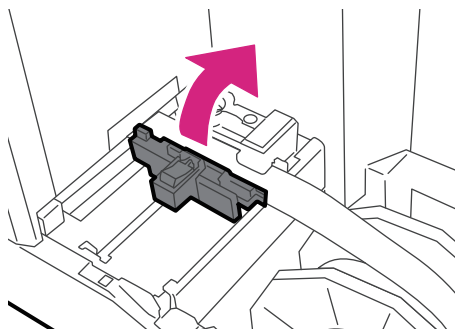


✓ 重要

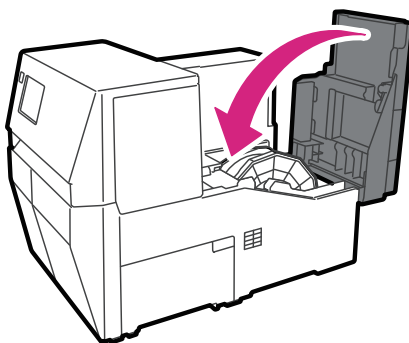
- 紙づまりの原因になりますので、搬送ガイド（R）を用紙の端に強く押しつけないでください。

13 搬送ガイド（R）を閉じる

カチッと音がするまで、しっかりと閉めます。



14 ロールカバーを閉じる



これでロール紙のセットは完了です。

ロール紙をプリンターから取り外す

ロール紙の交換のしかたを説明します。

メモ

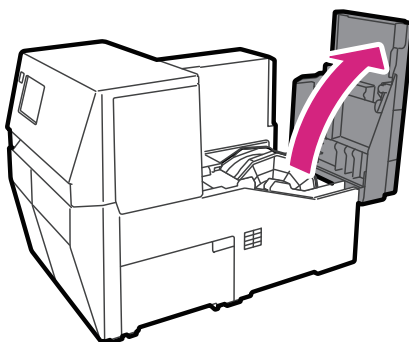
- 印刷済みのロール紙をカットする必要がある場合は、任意の位置で用紙をカットします。
➡ 手動カッターを使う (P.42)

1 ホーム画面で、[用紙バックフィード]を長押しする

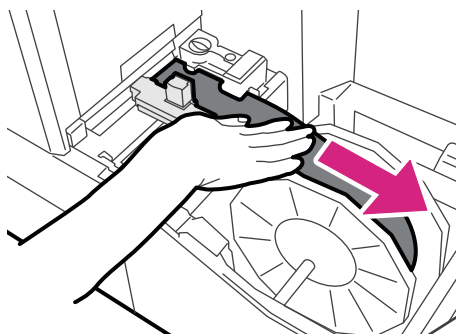


プリンターが停止したら手順 2 に進みます。

2 ロールカバーを開く



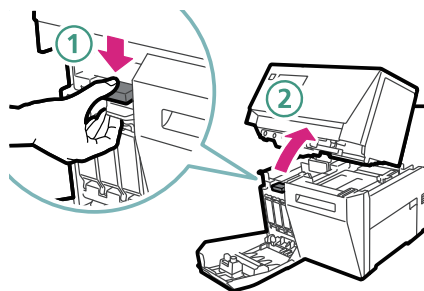
3 搬送部から用紙を引き抜く



メモ

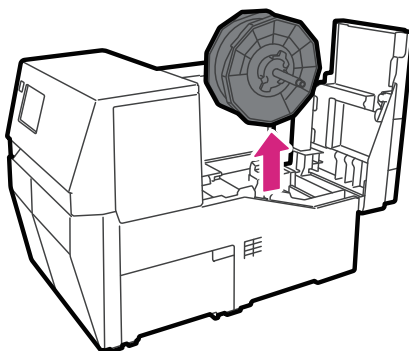
・用紙の先端が引き抜けるときは、以下の手順で上ユニットを開いてください。

1. インクタンクカバーを開ける
2. 上ユニットオープンレバーを押し、上ユニットを開く



4 ロールホルダーを後方に回してロール紙を巻き取る

5 ロールホルダーを取り外す

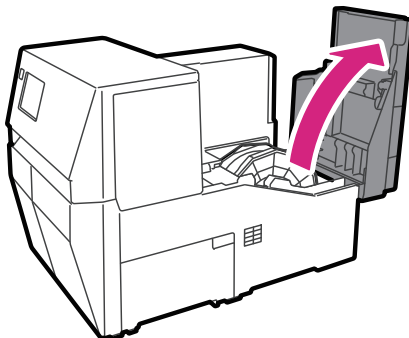


最後まで使い切った用紙の処理をする

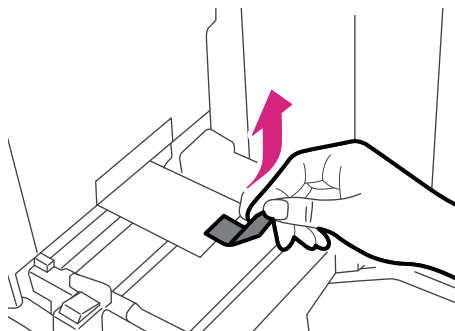
用紙を使い終わると、タッチパネルに「用紙なし」と表示されて、プリンターが停止します。

印刷を続けるには、次の手順でプリンター内の用紙を取り除いて新しい用紙をセットしてください。

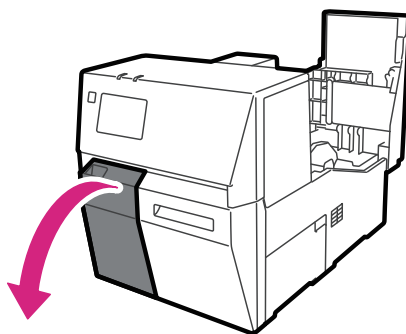
1 ロールカバーを開く



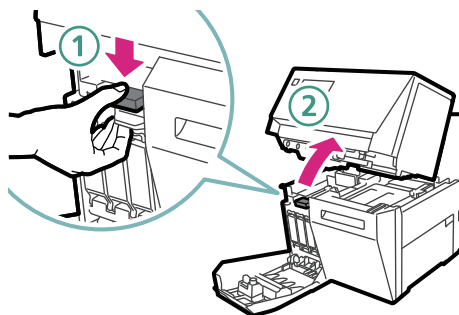
2 用紙の終端にテープが付いている場合は、テープをはがす



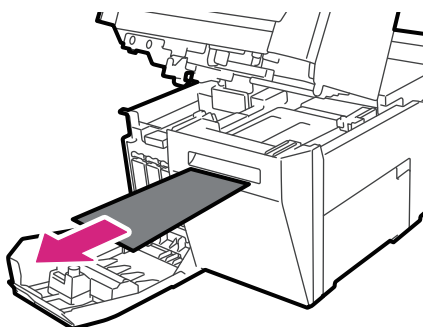
3 インクタンクカバーを開く



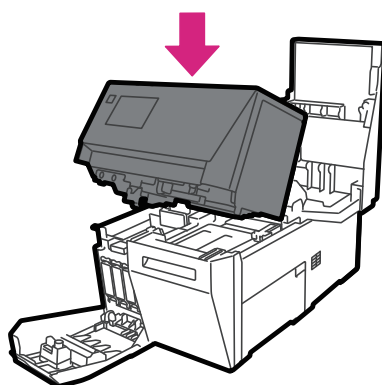
4 上ユニットオープンレバーを押し、上ユニットを開く



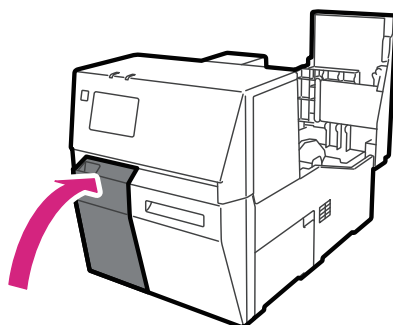
5 排紙口から用紙を引き出す



6 上ユニットを閉じる



7 インクタンクカバーを閉じる



8 新しい用紙をセットする

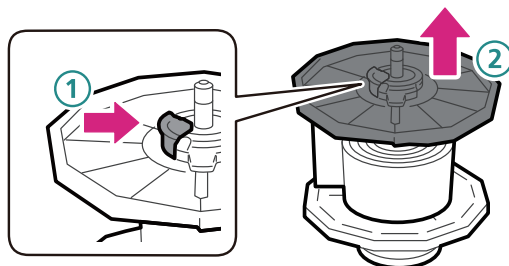
➡ ロール紙をセットする (P. 14)

ロール紙をロールホルダーから取り外す

1 プリンターからロールホルダーを取り外す

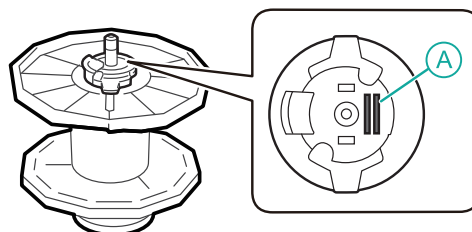
➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 20)

2 ストッパーレバーを押しながら、ロールホルダーから フランジ (R) を取り外す

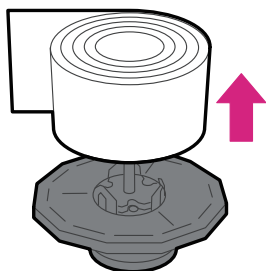


メモ

- ロールホルダーが落下したり衝撃を受けると、ストッパーレバーが内部で引っかかりフランジ (R) を外せない場合があります。その際は、図の二本線の突起 (A) を押しながらストッパーレバーを押すと解除され、フランジ (R) を取り外せるようになります。



3 ロール紙をロールホルダーから取り外す

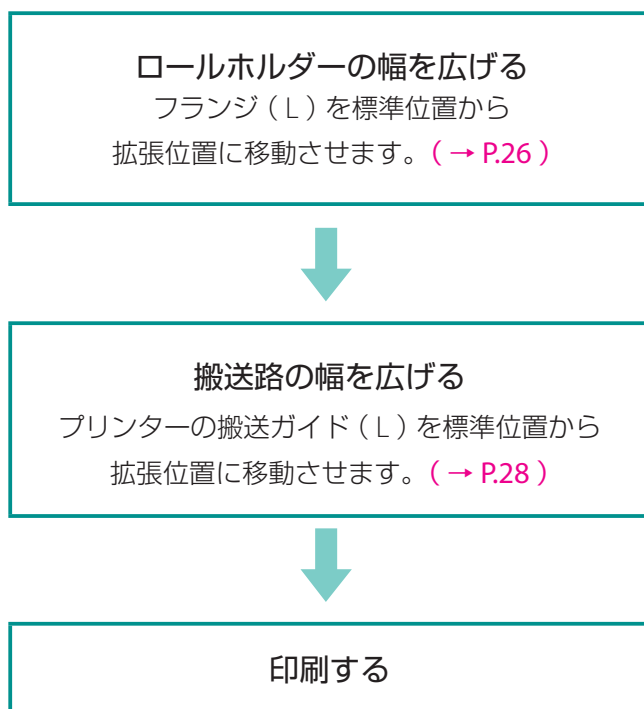


重要

- ロール紙は入っていた袋または箱に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。正しく保管しないと、印刷時に印刷面がこすれたり、印刷品質が低下する場合があります。

幅広用紙を使う

幅が 120 mm を超える用紙（最大 130 mm）を幅広用紙と呼びます。幅広用紙を使うときは、以下の手順にしたがってロールホルダーと搬送路の幅を広げてから印刷してください。



メモ

- ・ オートカッターを装着している場合、幅広用紙を使用することはできません。

■ 幅広用紙をロールホルダーにセットする

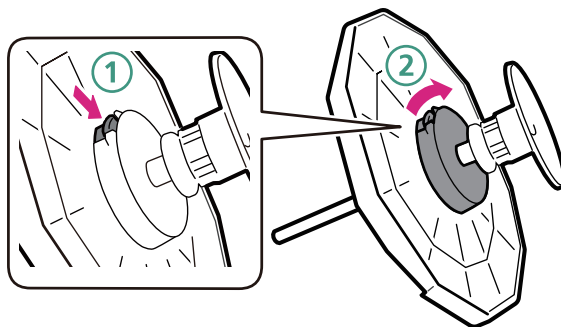
1 ロールホルダーに用紙がセットされている場合は、用紙を取り外す

➡ ロール紙をロールホルダーから取り外す (P. 24)

2 フランジ (L) を標準位置から拡張位置に移動させる

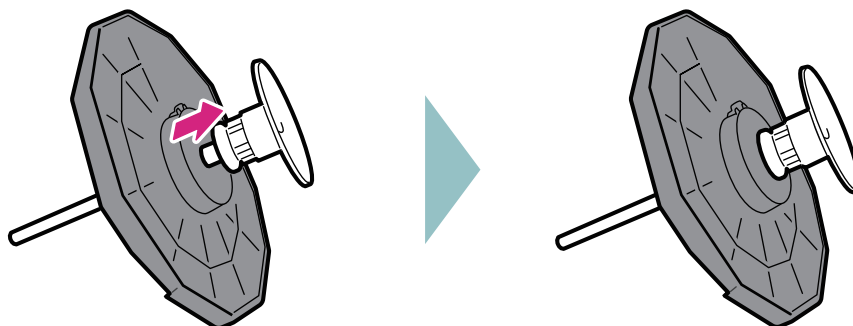
1. フランジ (L) の固定 / 解除レバーのロックを押しながら、止まるまで右に回します。

標準位置で固定されていたフランジ (L) のロックが解除され、フランジ (L) を動かせるようになります。



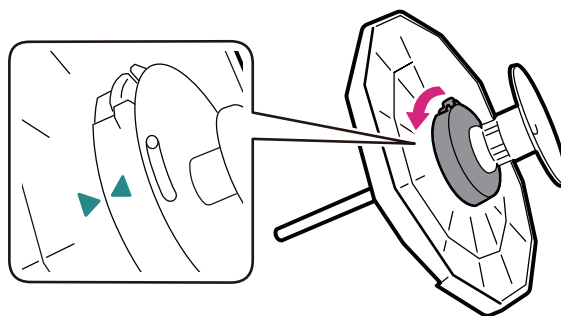
2. フランジ (L) を矢印の方向に、止まるまで移動させます。

止まった位置がフランジ (L) の拡張位置です。用紙セット部が拡張されます。



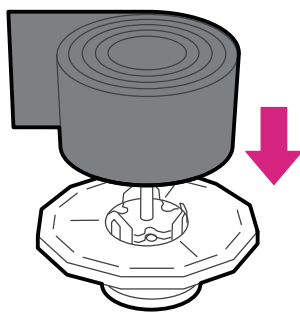
3 フランジ (L) の固定 / 解除レバーを、カチッと音がするまで左に回す

フランジ (L) が拡張位置で固定されます。



4 ロール紙を図の向きにしてロールホルダーにセットする

ロール紙がフランジ（L）に突き当たるまでしっかりと差し込んでください。



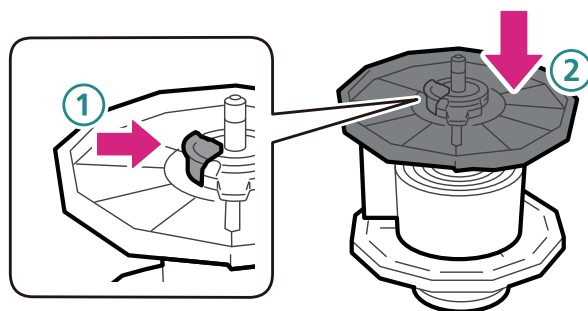
④ 重要

- ロール紙をセットするときに、強い衝撃を与えないでください。ロールホルダーが破損する原因になります。
- ロール紙が逆向きにならないようにセットしてください。

5 ストッパーレバーを押しながら、フランジ（R）を差し込む

ロール紙に突き当たるまで、しっかりと差し込みます。

ストッパーレバーから指を離すとフランジ（R）が固定されます。



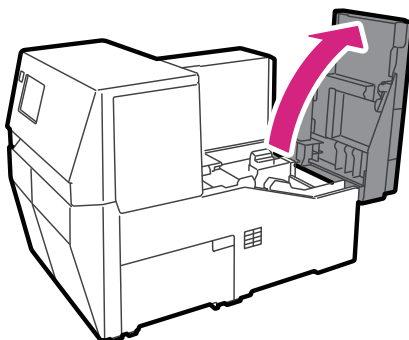
④ 重要

- 紙づまりや印刷不良の原因になりますので、用紙幅が 120 mm 以下の用紙に交換するときはフランジ（L）を標準位置に戻してから用紙をセットしてください。

これでロールホルダーの準備は完了です。次にプリンターの準備をします。

■ 幅広用紙をプリンターにセットする

1 ロールカバーを開く



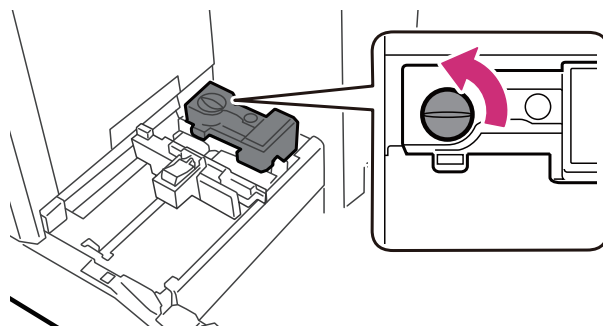
Ⓢ 重要

- ・ ロール紙の巻きが緩んでいる場合は、あらかじめ緩みを取ってからセットしてください。
- ・ 用紙にしわやカールがある場合は、しわやカールを取ってからセットしてください。

2 搬送ガイド（L）を標準位置から拡張位置に移動させる

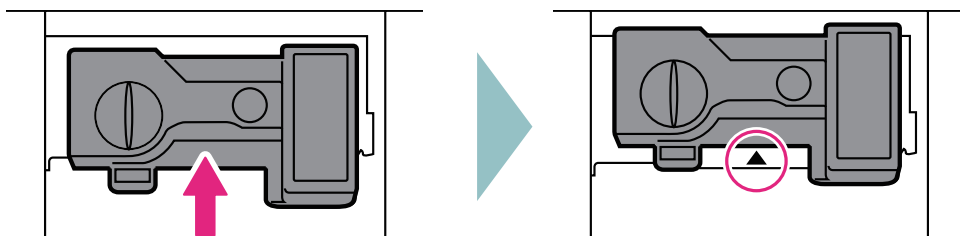
1. 搬送ガイド（L）のロックを解除します。

図のようにツマミを回すとロックが解除され、搬送ガイド（L）を移動することができます。



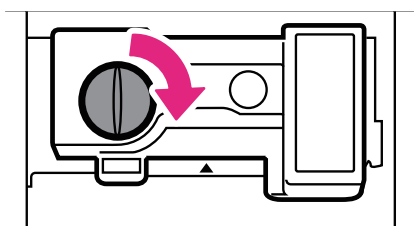
2. 搬送ガイド（L）を拡張位置（▲マークが見える位置）まで移動させます。

搬送ガイド（L）の底部にある固定用のツメをプリンター本体の穴にはめて、位置を合わせます。



3 搬送ガイド（L）をロックする

図のようにツマミを回すと搬送ガイド（L）がロックされ、拡張位置に固定されます。



✓ 重要

- 紙づまりや印刷不良の原因になりますので、用紙幅が 120 mm 以下の用紙に交換するときは搬送ガイド（L）を標準位置に戻してから用紙をセットしてください。

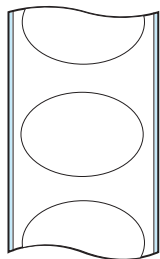
4 用紙をセットする

➡ ロール紙をセットする (P. 14)

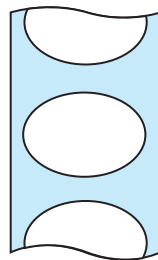
特殊形状ラベルを使う

円形などのラベル用紙を使うときの手順を説明します。お使いになる用紙の種類、形状によって手順は異なります。

余白付きの用紙



余白なしの用紙



特殊用紙登録を行う

以下の用紙に印刷する場合は特殊用紙登録を行います。(→ P.200)

- ・余白なしの用紙 (ブラックマークあり)
- ・すでに印刷されている用紙
- ・ブラックマークなしの RFID 用紙

これらに該当しない用紙に印刷する場合は次に進みます。

ブラックマークあり

ブラックマークなし

用紙をセットする

プリンターに用紙をセットします。(→ P.14)

ギャップセンサーの位置を合わせる

ラベルの形状に合わせて上下のギャップセンサーの位置を合わせて、用紙をセットします。(→ P.32)

印刷する

* ブラックマークなしの用紙でもラベルの先端位置がギャップセンサーの標準位置と一致している場合は、ブラックマークありの用紙の手順にしたがって操作してください。ギャップセンサーの標準位置については「**ギャップセンサーとは (P. 31)**」をご覧ください。

メモ

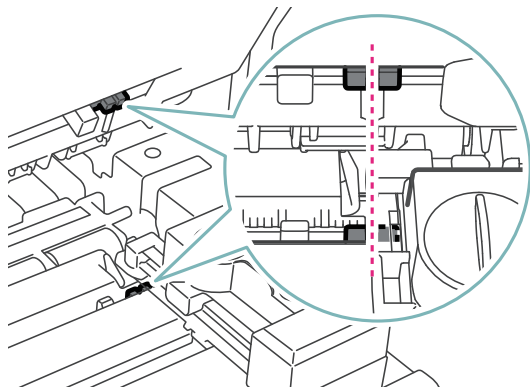
- ・形状の異なる複数の特殊形状ラベルを使用する場合や、左右非対称など複雑な形状のラベルを使用する場合はブラックマークありの用紙のご使用をおすすめします。

■ ギャップセンサーとは

ブラックマークがないラベルに印刷する場合は、ラベルの形状に合わせて上下のギャップセンサーの位置を合わせてから用紙をセットします。

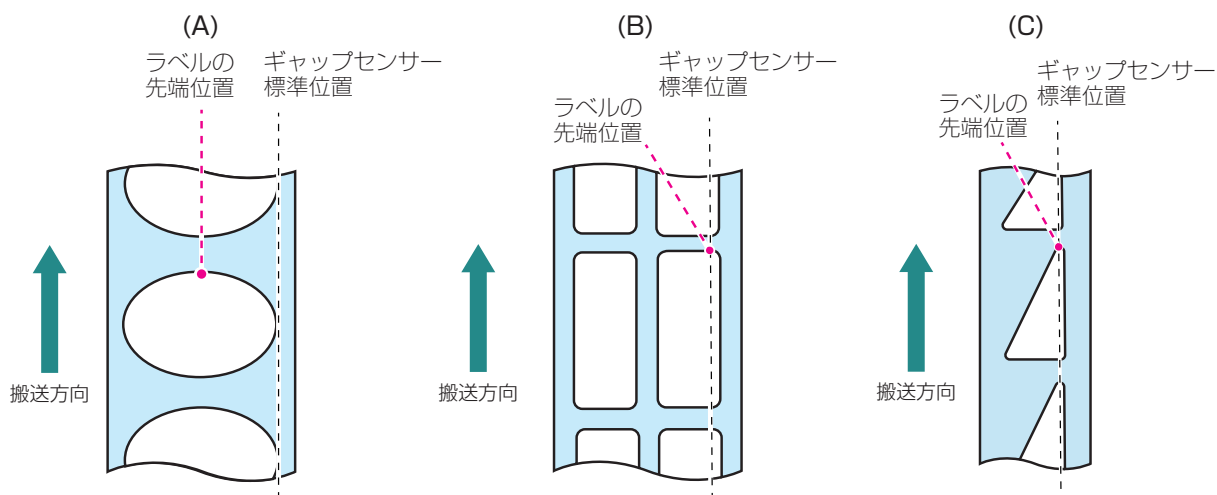
ギャップセンサーとは、用紙のラベル部とセパレーター部を読み取ってラベルの先端位置を検出するためのセンサーで、上センサーと下センサーの位置を同じ位置に合わせて使用します。通常は搬送ガイド（L）側の標準位置にあります。

・ギャップセンサーの標準位置



用紙の形状によってはギャップセンサーの位置合わせをしなくても印刷できるものもあります。

（A）のような形状の用紙はラベルの先端位置がギャップセンサーの標準位置と異なるため位置合わせが必要ですが、（B）や（C）のような用紙はラベルの先端位置とギャップセンサーの標準位置が同じであるため、位置合わせをする必要はありません。



📖 メモ

- ・ギャップセンサー上下位置合わせをして印刷する場合はクリーニング動作が追加されるため、ギャップセンサーが標準位置にある状態で印刷するときと比べて印刷時間が長くなります。

特殊形状ラベルをセットする

特殊形状ラベルの中には、ギャップセンサー上下位置合わせの必要がない種類のラベルがあります。ご使用になるラベルがどの種類に該当するかは「**特殊形状ラベルを使う (P. 30)**」をご覧ください。

ギャップセンサー上下位置合わせが必要な場合は、以下の手順で操作してください。

メモ

- 余白なしの用紙をお使いの場合は、セパレーター部に印刷されないように画像の位置やサイズを調整してください。事前にテスト印刷を行い、仕上がりを確認することをおすすめします。

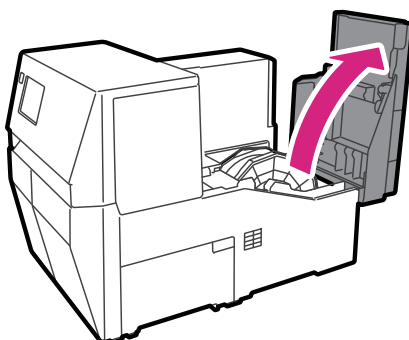
1 ホーム画面で、 (メニュー) を押す

2 [メンテナンス] → [ギャップセンサー上下位置合わせ] の順に押す
タッチパネルに手順が表示されます。

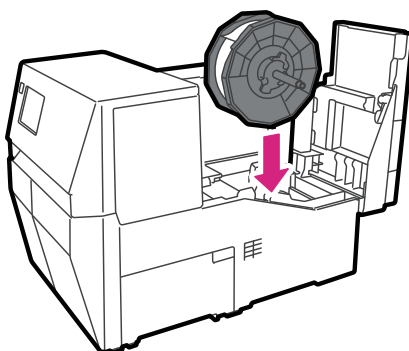
3 ロールカバーを開く

用紙が給紙口にセットされている場合は、上ユニットを開いて取り外します。

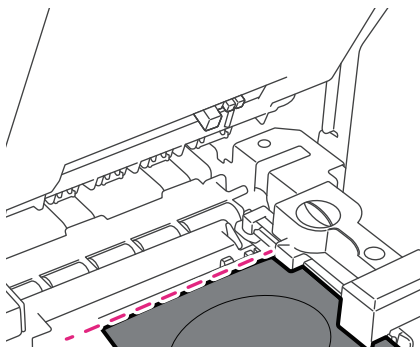
➡ **ロール紙をプリンターから取り外す (P. 20)**



4 特殊形状ラベル用紙に交換し、ロールホルダーをプリンターにセットする



5 用紙を搬送ガイド（L）に沿わせながら、先端を図の位置に合わせる

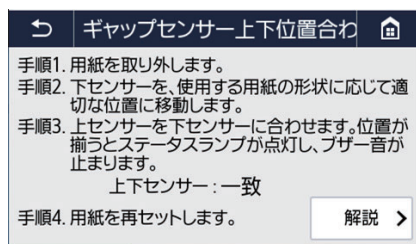


メモ

- ここでは、まだ用紙の先端を給紙口に差し込まないでください。

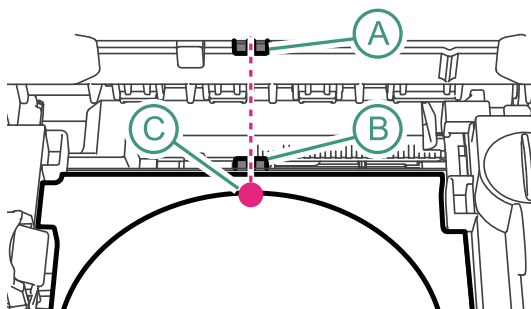
6 上下のギャップセンサーの位置合わせを行う前に、タッチパネルに以下の画面が表示されたことを確認する

別の画面が表示されている場合は、右上の **×**（閉じる）を押して表示を切り替えてください。上下のギャップセンサーの位置を確認するには、この画面が表示されている必要があります。

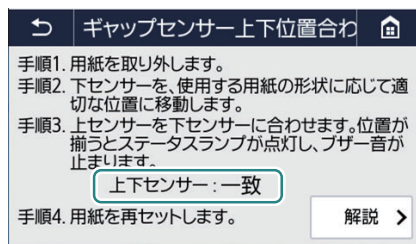


7 画面にしたがって、上下のギャップセンサーを用紙の先端に合わせる

1. 下センサー（B）を動かして、ラベルの先端位置（C）に合わせます。エラーランプが点灯し、ブザー音が鳴ります。
2. 上センサー（A）を動かして、下センサー（B）に合わせます。上下のセンサーの位置が一致すると、ステータスランプが点灯しブザー音が止まります。

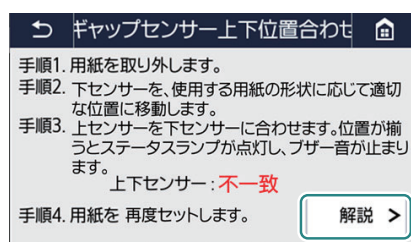


8 タッチパネルの表示が「上下センサー：一致」になっていることを確認し、（ホーム）を押す

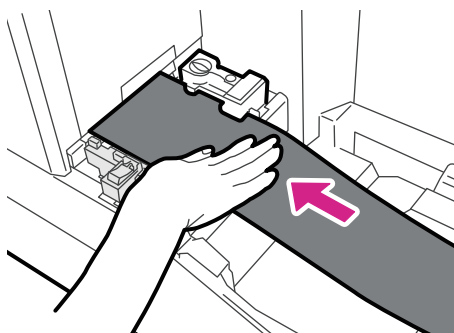


メモ

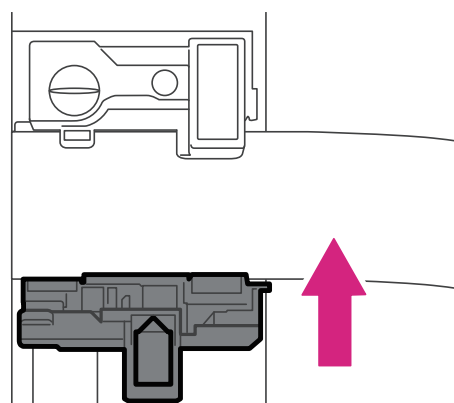
- ギャップセンサー上下位置合わせの手順をタッチパネルに再度表示したい場合は、「解説」を押してください。



9 自動で引き込まれるまで、用紙の先端を給紙口に差し込む



10 搬送ガイド（R）を用紙の端部の幅に合わせて突き当てる

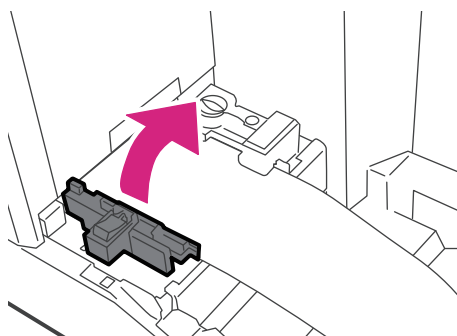


重要

- 紙づまりの原因になりますので、搬送ガイド（R）を用紙の端に強く押しつけないでください。

11 搬送ガイド（R）を閉じる

カチッと音がするまで、しっかりと閉めます。

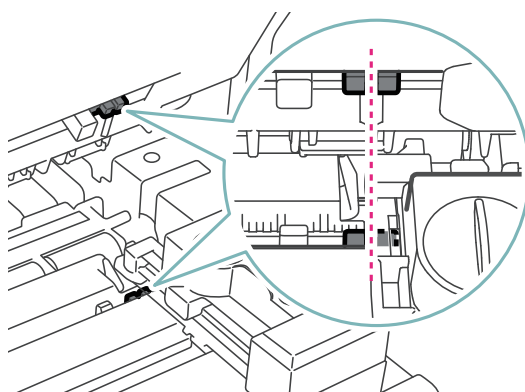


12 ロールカバーを閉じる

これで特殊形状ラベルのセットは完了です。

メモ

- 別の用紙に交換した場合は、下記の図を参考にして上センサーと下センサーを標準位置に戻してください。下センサーを搬送ガイド（L）側に動かしていった時にクリック感がある箇所が標準位置です。センサーの位置が用紙にあっていない場合、正しい位置に印刷されなくなることがあります。



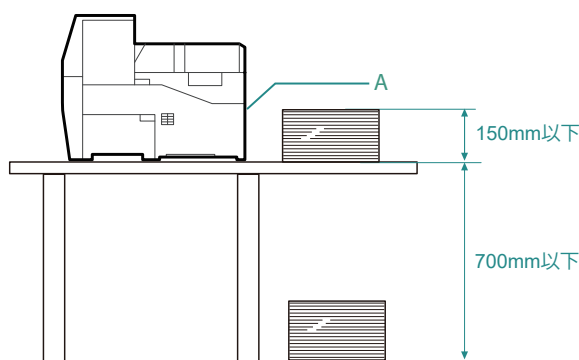
ファンフォールド紙を使う

ファンフォールド紙をセットする

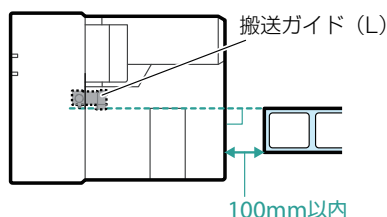
ファンフォールド紙または他の装置にセットしたロール紙を使用する場合は、以下の手順で用紙をセットします。

✓ 重要

- ファンフォールド紙の用紙束上面が、プリンターの背面給紙口（A）より低い位置になるようにしてください。



- 用紙の束は、プリンターから 100 mm以上離さないでください。
また、図の搬送ガイド（L）に対して斜めにならないように用紙の束を置いてください。



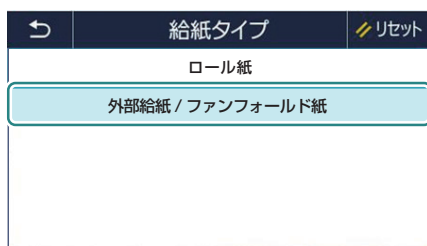
- 用紙をセットする前に、上ユニット内部や搬送部が汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをおすすめします。
➡ **上ユニット内部を清掃する（P. 269）**
- ファンフォールド紙をお使いになる場合は、ロールホルダーを外してください。

1 ホーム画面で、（メニュー）を選ぶ

下記の画面が表示されていないときは、（ホーム）をタップしてください。



2 [用紙タイプ設定] → [給紙タイプ] の順に押す [外部給紙 / ファンフォールド紙] を選ぶ



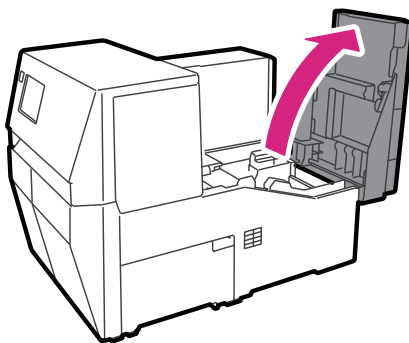
メモ

- RFID ユニット（オプション）を使用して RFID 用紙に印刷する場合は、給紙タイプの設定に続いて RFID 用紙設定を行ってください。

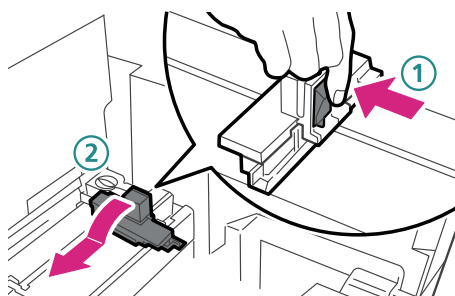
➡ プリンターに RFID 用紙をセットする（P.367）

3 ロールカバーを開く

ロールホルダーがセットされている場合は取り出してください。

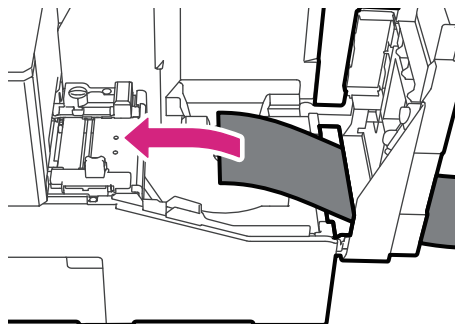


4 ロック解除レバーを押しながら、搬送ガイド（R）を矢印の方向に開き、移動させる

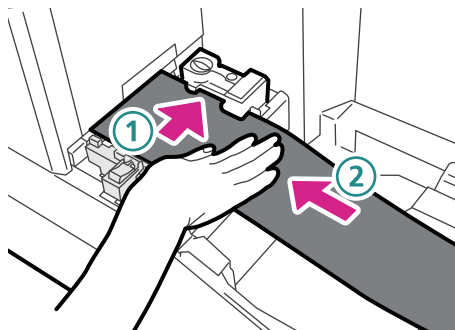


5 背面給紙口から用紙を通す

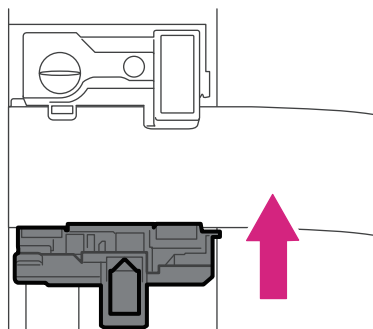
用紙の右端がロール紙カバーの右側のガイド（B）に対してまっすぐになるように、用紙の束の位置を微調整してください。



6 用紙を搬送ガイド（L）に沿わせながら、先端が自動で引き込まれるまで差し込む



7 搬送ガイド（R）を用紙の端部の幅に合わせて突き当てる

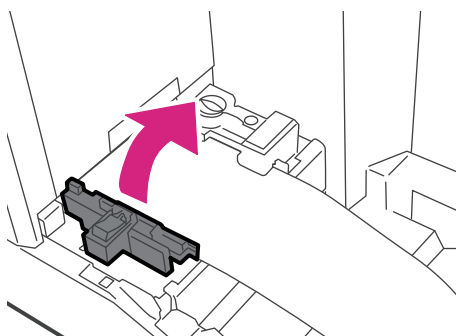


✓ 重要

- 紙づまりの原因になりますので、搬送ガイド（R）を用紙の端に強く押しつけないでください。

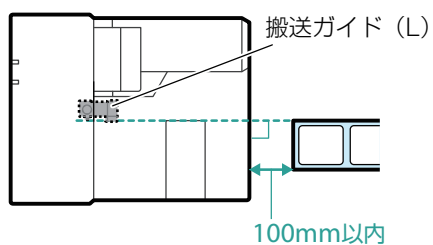
8 搬送ガイド（R）を閉じる

カチッと音がするまで、しっかりと閉めます。

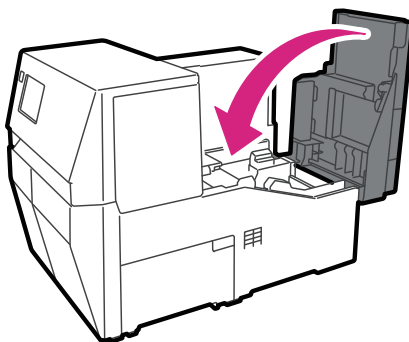


9 まっすぐ給紙されるように、用紙束の位置を整える

用紙の右端が搬送ガイド（L）に対してまっすぐになるように、用紙の束の位置を調整します。



10 ロールカバーを閉じる



これでファンフォールド紙のセットは完了です。

ファンフォールド紙を取り外す

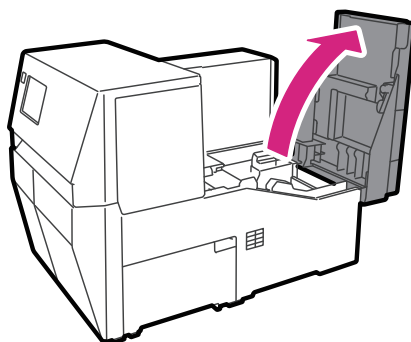
ファンフォールド紙は以下の手順で交換します。

1 ホーム画面で、[用紙バックフィード]を押す

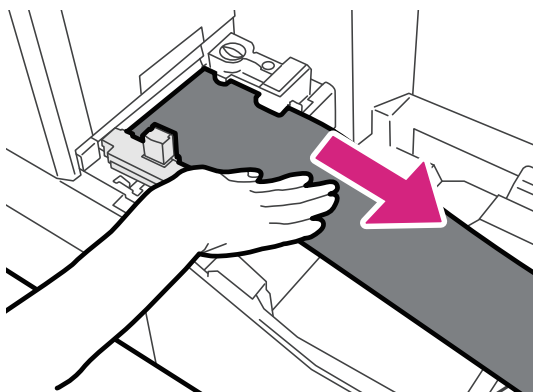


プリンターが停止したら、次の手順に進みます。

2 ロールカバーを開く

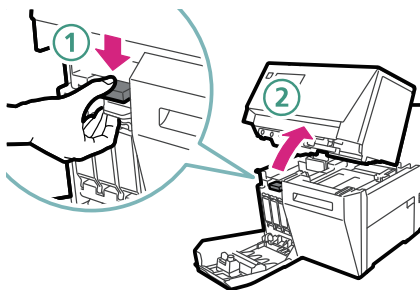


3 搬送部から用紙を引き抜く



メモ

- 用紙の先端が引き抜けるときは、以下の手順で上ユニットを開いてください。
 1. インクタンクカバーを開ける
 2. 上ユニットオープンレバーを押し、上ユニットを開く



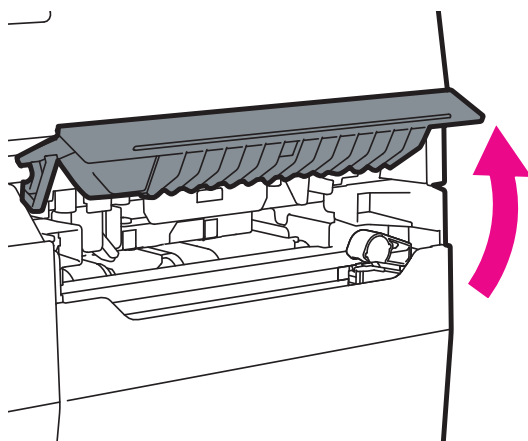
手動カッターを使う

印刷後に手動カッターを使用する際の手順について説明します。

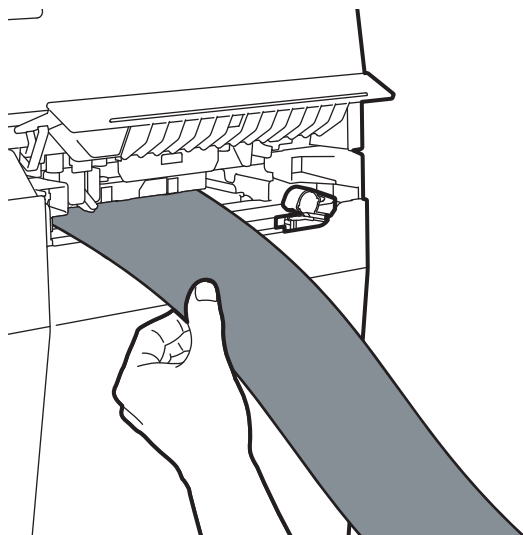
✓ 重要

- ・ 手動カッターの切れが悪くなったときは、本製品をご購入の販売店、またはお客様相談センターにご連絡ください。
- ・ ラベルの印刷が終了したことを確認してから、切り離してください。印刷不良の原因になることがあります。

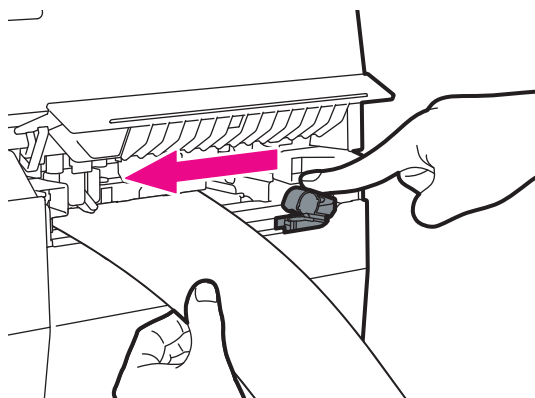
1 カッターカバーを開く



2 印刷されたラベルを、たわまないように持つ



3 カッターを図のようにスライドさせ、ラベルを切り離す

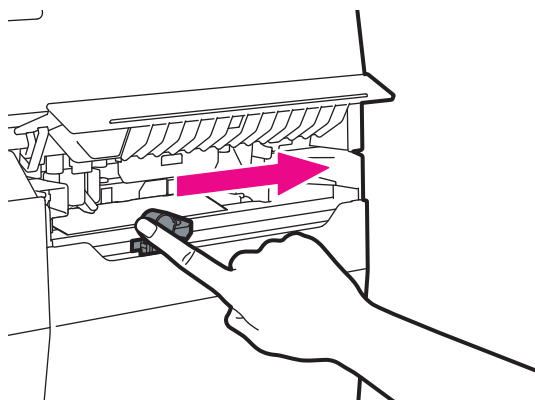


✓ 重要

- ラベルを切り離した後は、用紙のセット位置を確認してください。ラベルを切り離す時に用紙が左右にずれて紙づまりや印刷不良の原因になることがあります。特に、幅が狭い用紙をお使いの場合はご注意ください。
- 用紙長が 30 mm 以下の用紙をお使いの場合

ホーム画面で （フィード）を押して用紙を約 30 mm プリンターの排紙口から送り出したあとで切り離してください。用紙が短すぎると、切り離した用紙がプリンター内部に落下し、故障の原因になることがあります。

4 カッターを元の位置に戻す



✓ 重要

- 紙づまりの原因になりますので、カッターは必ず元の位置に戻してください。

5 カッターカバーを閉じる

用紙について

使用可能な用紙の種類・サイズ・形状

本プリンターで使用できる用紙は以下のとおりです。これら以外の用紙を使用した場合の印刷品位および紙搬送性につきましては、弊社では一切保証いたしません。あらかじめご了承ください。

● ロール紙

用紙種類	マットコート紙 / 光沢紙 / 高光沢紙 / 合成紙 / 光沢フィルム
用紙サイズ	幅 : 14.7 mm ~ 130.0 mm (0.58 インチ ~ 5.12 インチ) * ¹ * ² (ラベル用紙) 20.0 mm ~ 130.0 mm (0.79 インチ ~ 5.12 インチ) (タグ紙) 長さ : 6.0 mm ~ 1346.2 mm (0.24 インチ ~ 53.00 インチ)
用紙形状	ラベル / ギャップ ラベル / ブラックマーク タグ / ブラックマーク ラベル / なし タグ / なし ラベル / ギャップ (特殊形状)
ロール紙外径	外径 Φ 200 mm (7.87 インチ) 以内
紙管内径	Φ 76.2 mm ± 1.0 mm (3.0 インチ ± 0.04 インチ)
厚み	145 μ m ~ 255 μ m
ロール紙質量	3.2 kg 以下

*¹ 手動カッター装着の場合。オートカッター装着時の最大幅は 115.0 mm です。

*² セパレーター含む。

● ファンフォールド紙

用紙種類	マットコート紙
用紙サイズ	101.6 mm x 127.0 mm (4 インチ x 5 インチ)

📖 メモ

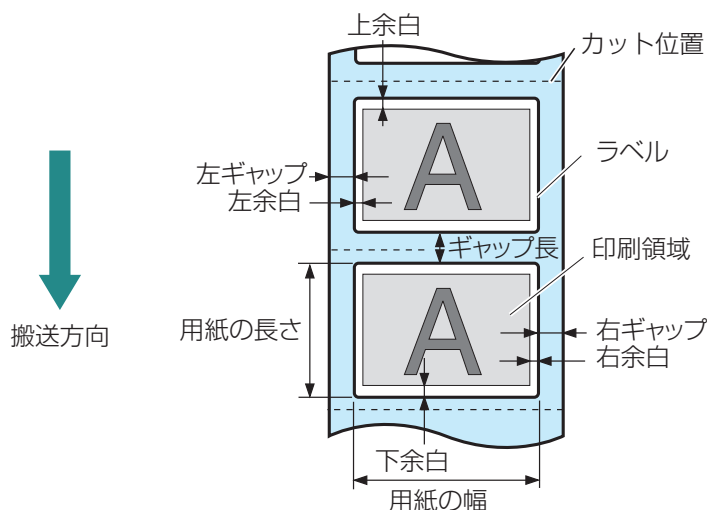
- 用紙はカラーラベルプリンター専用紙を使用することをおすすめします。専用紙以外の用紙を使用すると、にじみやかすれが生じたり、プリンター本体に悪影響を与え故障の原因となることがあります。
- 用紙についての詳細や用紙の入手方法については、ご購入の販売店、またはお客様相談センターにお問い合わせください。
- 用紙の取り扱い / 保管には注意が必要です。詳しくは「[用紙の取り扱いについての注意事項 \(P. 52\)](#)」を参照してください。
- オプションによっては、ドライバーで設定した用紙サイズを使用できない場合があります。用紙サイズを設定する前に、本体で使用可能な用紙サイズ (→ [P.44](#)) およびオプションごとの用紙条件 (→ [P.380](#)) を確認してください。

ユーザー用紙サイズの設定可能範囲

設定できる用紙のサイズは、用紙の形状によって異なります。次の表に示す範囲の中で入力してください。

■ ラベル / ギャップ

通常のラベル用紙です。ラベル間のギャップ^{*1}を検知して用紙の先端を認識します。



^{*1} ギャップ：セパレーター（台紙）とラベル（上紙）との空き部分

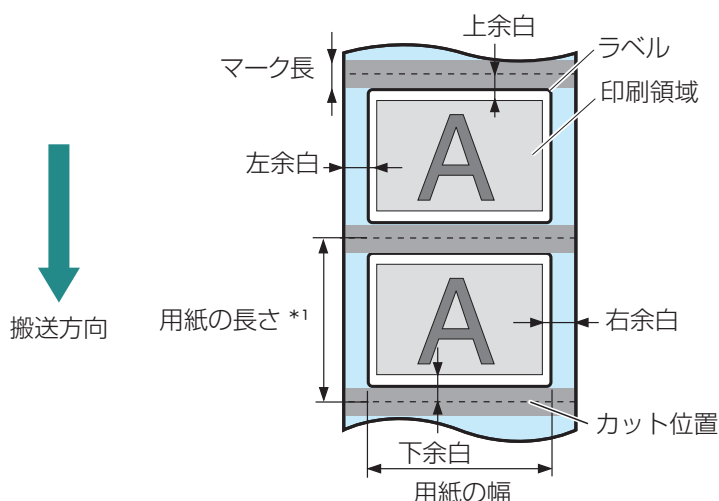
用紙の幅	7.7 mm ～ 128.0 mm	0.31 インチ～ 5.03 インチ
用紙の長さ	6.0 mm ～ 1346.2 mm	0.24 インチ～ 53.0 インチ
ギャップ長	2.5 mm ～ 9.5 mm	0.10 インチ～ 0.37 インチ
左ギャップ	0.5 mm ～ 10.6 mm	0.02 インチ～ 0.42 インチ
右ギャップ	0.5 mm ～ 117.8mm	0.02 インチ～ 4.64 インチ
上余白	1.5 mm ～ （用紙長 - 3 - 下余白）mm	0.06 インチ～ （用紙長 - 0.12 - 下余白）インチ
下余白	1.5 mm ～ （用紙長 - 3 - 上余白）mm	0.06 インチ～ （用紙長 - 0.12 - 上余白）インチ
左余白	1.5 mm ～ （用紙幅 - 3 - 右余白）mm	0.06 インチ～ （用紙幅 - 0.12 - 右余白）インチ
右余白	1.5 mm ～ （用紙幅 - 3 - 左余白）mm	0.06 インチ～ （用紙幅 - 0.12 - 左余白）インチ

🟢 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 14.7 mm（0.58 インチ）以上
 - 左（右）余白と左（右）ギャップの合計が 2.7 mm（0.11 インチ）以上
 - 最小印刷領域：用紙の幅 3 mm（0.12 インチ）x 用紙の長さ 3 mm（0.12 インチ）
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 120.0 mm（4.72 インチ）より大きいとき、左余白と左ギャップの合計が 10.8 mm（0.43 インチ）以上
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 120.0 mm（4.72 インチ）より大きい場合： 右余白 = （用紙幅 + 左ギャップ） - 119.2 mm（4.69 インチ）
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 120.0 mm（4.72 インチ）以下の場合： 右余白 = （用紙幅 + 左ギャップ） - 109.1 mm（4.30 インチ）

■ ラベル / ブラックマーク

裏側にブラックマークが印刷してあるラベル用紙です。ブラックマークで用紙の先端を認識します。



*1 用紙の長さ：ブラックマーク中心から次のブラックマークの中心の間の長さ

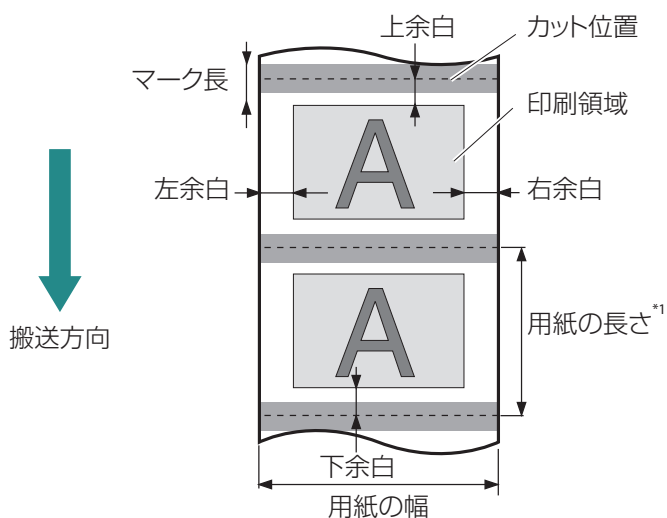
用紙の幅	14.7 mm ～ 130 mm	0.58 インチ～ 5.12 インチ
用紙の長さ	6.0 mm ～ 1346.2 mm	0.24 インチ～ 53.00 インチ
マーク長	3.0 mm ～ 10.0mm	0.12 インチ～ 0.39 インチ
上余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 下余白) mm	0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ
下余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白) mm	0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ
左余白	用紙幅 120.0 mm 以下の場合： 2.7 mm ～ (用紙幅 - 3 - 右余白) mm	用紙幅 4.72 インチ以下の場合： 0.11 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 右余白) インチ
	用紙幅 120.1 mm ～ 130 mm の場合： 10.8 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白)	用紙幅 4.73 インチ ～ 5.12 インチの場合： 0.43 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 右余白) インチ
右余白	用紙幅 110.8 mm 以下の場合： 2.7 mm ～ (用紙幅 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.36 インチ以下の場合： 0.11 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ
	用紙幅 110.9 mm ～ 120 mm の場合： (用紙幅 - 110.1) mm ～ (用紙幅 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.37 インチ ～ 4.72 インチの場合： 用紙幅 - 4.34 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ
	用紙幅 120.1 mm ～ 130.0mm の場合： (用紙幅 - 119.2) mm ～ (用紙幅 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.73 インチ～ 5.12 インチの場合： 用紙幅 - 4.69 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ

☑ 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) x 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)

■ タグ / ブラックマーク

シール加工していない用紙です。用紙の裏側のブラックマークで用紙の先端を認識します。



*1 用紙の長さ：ブラックマーク中心から次のブラックマークの中心の間の長さ

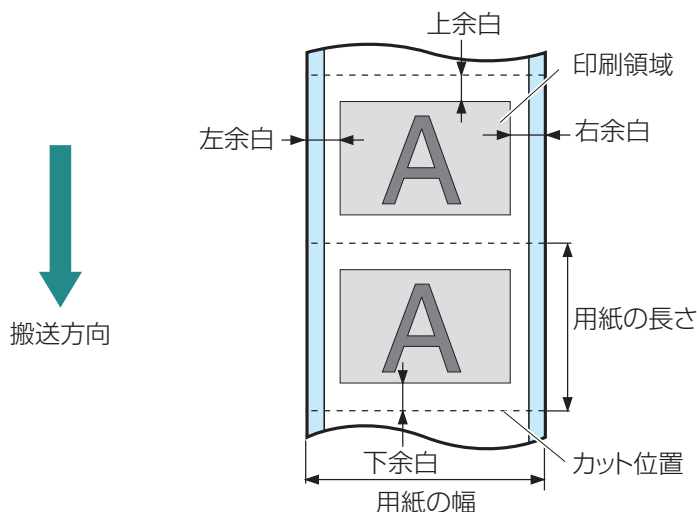
用紙の幅	20.0 mm ～ 130 mm	0.79 インチ～ 5.12 インチ
用紙の長さ	6.0 mm ～ 1346.2 mm	0.24 インチ～ 53.00 インチ
マーク長	3.0 mm ～ 10.0mm	0.12 インチ ～ 0.39 インチ
上余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 下余白) mm	0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ
下余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白) mm	0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ
左余白	用紙幅 120.0 mm 以下の場合： 2.7 mm ～ (用紙幅 - 3 - 右余白) mm	用紙幅 4.72 インチ以下の場合： 0.11 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 右余白) インチ
	用紙幅 120.1 mm ～ 130 mm の場合： 10.8 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白)	用紙幅 4.73 インチ ～ 5.12 インチの場合： 0.43 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 右余白) インチ
右余白	用紙幅 110.8 mm 以下の場合： 2.7 mm ～ (用紙幅 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.36 インチ以下の場合： 0.11 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ
	用紙幅 110.9 mm ～ 120 mm の場合： (用紙幅 - 110.1) mm ～ (用紙幅 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.37 インチ ～ 4.72 インチの場合： 用紙幅 - 4.34 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ
	用紙幅 120.1 mm ～ 130.0mm の場合： (用紙幅 - 119.2) mm ～ (用紙幅 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.73 インチ～ 5.12 インチの場合： 用紙幅 - 4.69 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ

☑ 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) x 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)

■ ラベル / なし

裏面にブラックマークがないラベル用紙です。



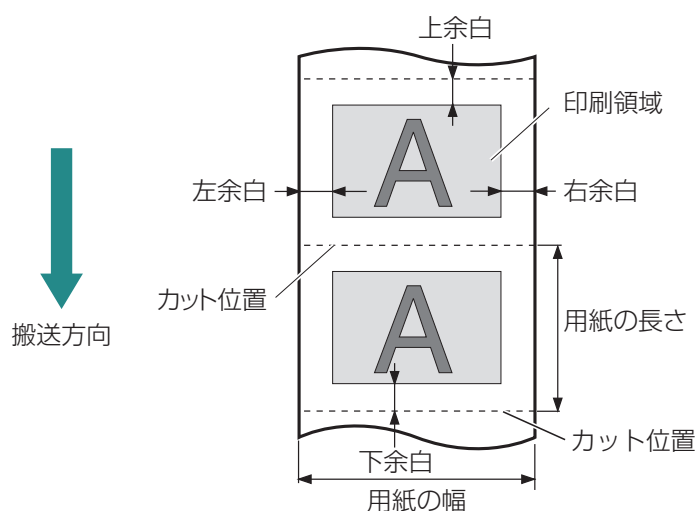
用紙の幅	14.7 mm ～ 130.0 mm	0.58 インチ～ 5.12 インチ
用紙の長さ	6.0 mm ～ 1346.2 mm	0.24 インチ～ 53.00 インチ
上余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 下余白) mm	0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ
下余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白) mm	0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ
左余白	用紙幅 120.0 mm 以下の場合： 2.7 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白) mm	用紙幅 4.72 インチ以下の場合： 0.11 インチ～ (用紙幅 - 0.12 - 右余白) インチ
	用紙幅 120.1 mm ～ 130 mm の場合： 10.8 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白) mm	用紙幅 4.73 インチ～ 5.12 インチの場合： 0.43 インチ～ (用紙幅 - 0.12 - 右余白) インチ
右余白	用紙幅 110.8 mm 以下の場合： 2.7 mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.37 インチ以下の場合： 0.11 インチ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ
	用紙幅 110.9 mm ～ 120 mm の場合： (用紙幅 - 110.1) mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.37 インチ～ 4.72 インチの場合： 用紙幅 - 4.34 インチ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ
	用紙幅 120.1 mm ～ 130.0mm の場合： (用紙幅 - 118.2) mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.73 インチ～ 5.12 インチの場合： 用紙幅 - 4.66) インチ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ

✓ 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) × 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)

■ タグ / なし

裏面にブラックマークがないタグ用紙です。



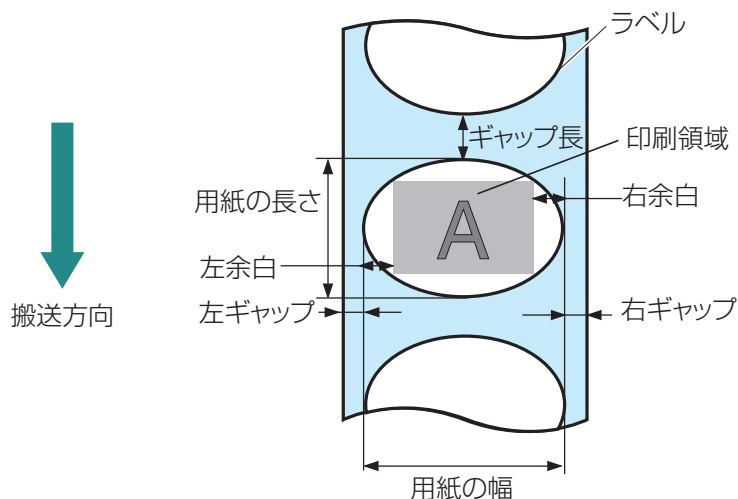
用紙の幅	20.0 mm ～ 130.0 mm	0.79 インチ～ 5.12 インチ
用紙の長さ	6.0 mm ～ 1346.2 mm	0.24 インチ～ 53.00 インチ
上余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 下余白) mm	0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ
下余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白) mm	0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ
左余白	用紙幅 120.0 mm 以下の場合： 2.7 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白) mm	用紙幅 4.72 インチ以下の場合： 0.11 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 右余白) インチ
	用紙幅 120.1 mm ～ 130 mm の場合： 10.8 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白) mm	用紙幅 4.73 インチ ～ 5.12 インチ の場合： 0.43 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 右余白) インチ
右余白	用紙幅 110.8 mm 以下の場合： 2.7 mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.36 インチ以下の場合： 0.11 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ
	用紙幅 110.9 mm ～ 120 mm の場合： (用紙幅 - 110.1) mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.37 インチ ～ 4.72 インチの場合： (用紙幅 - 4.34) インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ
	用紙幅 120.1 mm ～ 130.0mm の場合： (用紙幅 - 118.2) mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.73 インチ～ 5.12 インチ の場合： (用紙幅 - 4.66) インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ

✓ 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) x 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)

■ ラベル/ギャップ（特殊形状）

特殊形状のラベル用紙です。ラベル間のギャップ*1を検知して用紙の先端を認識します。



*1 ギャップ：セパレーター（台紙）とラベル（上紙）との空き部分

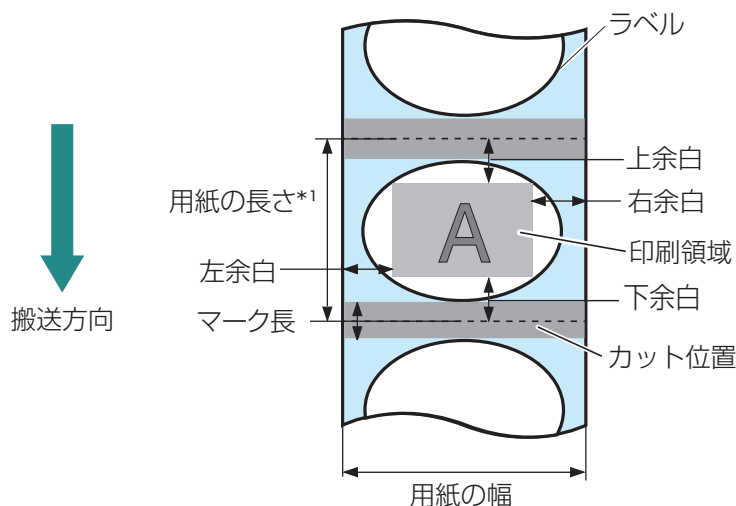
用紙の幅	7.7 mm ～ 128.0 mm	0.31 インチ～ 5.03 インチ
用紙の長さ	6.0 mm ～ 1346.2 mm	0.24 インチ～ 53.00 インチ
ギャップ長	2.5 mm ～ 9.5 mm	0.10 インチ～ 0.37 インチ
左ギャップ	0.5 mm ～ 10.6 mm	0.02 インチ～ 0.42 インチ
右ギャップ	0.5 mm ～ 117.8mm	0.02 インチ～ 4.64 インチ
上余白	1.5 mm ～ （用紙長 - 3 - 下余白）mm	0.06 インチ～ （用紙長 - 0.12 - 下余白）インチ
下余白	1.5 mm ～ （用紙長 - 3 - 上余白）mm	0.06 インチ～ （用紙長 - 0.12 - 上余白）インチ
左余白	1.5 mm ～ （用紙幅 - 3 - 右余白）mm	0.06 インチ～ （用紙幅 - 0.12 - 右余白）インチ
右余白	1.5 mm ～ （用紙幅 - 3 - 左余白）mm	0.06 インチ～ （用紙幅 - 0.12 - 左余白）インチ

✓ 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 14.7 mm（0.58 インチ）以上
 - 左（右）余白と左（右）ギャップの合計が 2.7 mm（0.11 インチ）以上
 - 最小印刷領域：用紙の幅 3 mm（0.12 インチ）x 用紙の長さ 3 mm（0.12 インチ）
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 120.0 mm（4.72 インチ）より大きいとき、左余白と左ギャップの合計が 10.8 mm（0.43 インチ）以上
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 120.0 mm（4.72 インチ）以下の場合： 右余白＝（用紙幅＋左ギャップ）- 109.1 mm（4.30 インチ）
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 120.0 mm（4.72 インチ）より大きい場合： 右余白＝（用紙幅＋左ギャップ）- 119.2 mm（4.69 インチ）

■ ラベル / ブラックマーク（特殊形状）

裏側にブラックマークが印刷してある特殊形状のラベル用紙です。ブラックマークで用紙の先端を認識します。



*1 用紙の長さ：ブラックマーク中心から次のブラックマークの中心の間の長さ

用紙の幅	14.7 mm ～ 130 mm	0.58 インチ～ 5.12 インチ
用紙の長さ	6.0 mm ～ 1346.2 mm	0.24 インチ～ 53.00 インチ
マーク長	3.0 mm ～ 10.0mm	0.12 インチ～ 0.39 インチ
上余白	1.5 mm ～ （用紙長 - 3 - 下余白）mm	0.06 インチ～ （用紙長 - 0.12 - 下余白）インチ
下余白	1.5 mm ～ （用紙長 - 3 - 上余白）mm	0.06 インチ～ （用紙長 - 0.12 - 上余白）インチ
左余白	用紙幅 120.0 mm 以下の場合： 2.7 mm ～ （用紙幅 - 3 - 右余白）mm 用紙幅 120.1mm ～ 130 mm の場合： 10.8 mm ～ （用紙長 - 3 - 右余白）	用紙幅 4.72 インチ以下の場合： 0.11 インチ ～ （用紙幅 - 0.12 - 右余白）インチ 用紙幅 4.73 インチ ～ 5.12 インチ の場合： 0.43 インチ ～ （用紙幅 - 0.12 - 右余白）インチ
右余白	用紙幅 110.8 mm 以下の場合： 2.7 mm ～ （用紙幅 - 3 - 左余白）mm 用紙幅 110.9 mm ～ 120 mm の場合： （用紙幅 - 110.1）mm ～ （用紙幅 - 3 - 左余白）mm 用紙幅 120.1 mm ～ 130.0mm の場合： （用紙幅 - 119.2）mm ～ （用紙幅 - 3 - 左余白）mm	用紙幅 4.36 インチ以下の場合： 0.11 インチ ～ （用紙幅 - 0.12 - 左余白）インチ 用紙幅 4.37 インチ ～ 4.72 インチの場合： 用紙幅 - 4.34 インチ ～ （用紙幅 - 0.12 - 左余白）インチ 用紙幅 4.73 インチ～ 5.12 インチの場合： 用紙幅 - 4.69 インチ ～ （用紙幅 - 0.12 - 左余白）インチ

✓ 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
最小印刷領域：用紙の幅 3 mm（0.12 インチ）x 用紙の長さ 3 mm（0.12 インチ）

用紙の取り扱いについての注意事項

■ 使用環境について

- ・ 低湿度環境（40% 以下）では、以下のようなトラブルが発生することがあります。
 - 用紙にカールやシワが発生する。
 - 用紙とプリントヘッドが接触しやすくなり、印刷面にキズがついたり、プリントヘッドを損傷する場合がある。
 - カットした印刷物がプリンターにはりつき、下に落ちない。（フィルム系用紙）
 - 用紙がプリンターにはりつき、搬送不良となり正常に排紙されない。（フィルム系用紙）
 - 印刷ムラが発生する。（フィルム系用紙）
- ・ 高湿度環境（60% 以上）では、以下のようなトラブルが発生することがあります。
 - 印刷物が乾燥しない。
 - 用紙表面の波うち（凹凸）が激しくなる。
 - きれいにカットできない。

■ 用紙の取り扱い / 保管

- ・ 水に濡れる環境でのご利用を避けてください。
- ・ すべての用紙は、擦ったり、キズをつけたりしないように丁寧に扱ってください。
- ・ 用紙は湿度などの変化により伸縮する場合があります。使用する環境に十分になじませてから使用してください。
- ・ 印刷面に、手に付いた汗や油分が付かないよう取り扱いってください。印刷品質が低下する場合があります。
- ・ 先端が大きくカールしているロール紙を使用して印刷すると、印刷面が汚れる場合があります。カールを取ってからご使用ください。カールが取れない場合は、操作パネルの用紙送り機能で、用紙の先端を上ユニットの外に出るまで送ってから印刷してください。
- ・ ロール紙の先端が不揃いだったり、汚れやテープの跡がある場合は、切りそろえておいてください。
- ・ ロール紙をセットした後の最初の印刷では、用紙の波打ちが目立つ場合があります。
- ・ 長時間使用しない場合や、使用後に環境変化が予測される場合は、プリンターから取り外して、袋に入れて保管してください。
- ・ プリンターにセットしたまま高湿度環境（60% 以上）に放置しないでください。
- ・ 用紙はセパレーター部分が折れないように保管してください。セパレーター部分が折れると用紙送り不良の原因になることがあります。
- ・ 用紙の種類と印刷設定によっては、インクが乾きにくいことがあります。この場合はインクが十分に乾くまで印刷物の表面を触らないでください。また、乾かす際は用紙が重ならないように離して乾燥させることをおすすめします。

Chapter 3

印刷

印刷する.....	54	複数のページを 1 ページにまとめて印刷する..	107
印刷の基本操作	54	印刷順を設定する	108
印刷を中止する	57	[オーバーレイ設定] シートを使う	109
印刷状況を確認する	58	オーバーレイ印刷とは	111
プリンタードライバを表示する.....	59	フォームをファイルに保存する	112
アプリケーションソフトから印刷設定画面		オーバーレイ印刷を行う	114
を表示する	59	[ユーティリティ] シートを使う	121
Windows の設定から印刷設定画面を表示する	59	設定値を確認する / ログ出力を設定する	123
プリンターのプロパティ画面を表示する	60	スリープ状態に切り替える	125
[ページ設定] シートを使う	61	インクの使用量を変更して印刷する	126
よく使う印刷設定を登録する	63	プリンタードライバの設定情報を移行す	
用紙サイズを選ぶ	66	る	129
用紙サイズを自由に設定する	69	ドライバの表示言語を変更する	142
用紙の種類を選ぶ	73	ステータスマニターの使いかた.....	143
印刷の向きを選ぶ	74	ステータスマニターを表示する	143
選択した縦横の向きで印刷する	76	ステータスマニターを使う	146
カッターの設定をする	78	プリンタードライバをインストールする ..	152
設定内容を確認する	82	プリンタードライバをインストールする ..	152
バージョン情報を確認する	83	プリンタードライバをカスタムインス	
[印刷設定] シートを使う	84	トールする	152
原稿に合った色調整を選ぶ	86	プリンタードライバを更新する	159
カラーの原稿をモノクロで印刷する	87	プリンタードライバを削除する	160
ピンポイント色合わせを行う	88	サーバークライアント登録を設定する	162
画質を調整する	99	他社製のプリンタードライバをネット	
印刷品質を設定する	104	ワーク接続で使用する.....	164
印刷速度を設定する	105		

印刷の基本操作

1 プリンターの電源が入っていることを確認する

2 プリンターに用紙をセットする

- ➡ ロール紙をセットする (P. 14)
- ➡ ファンフォールド紙をセットする (P. 36)



メモ

- 用紙セットの手順は、タッチパネルの [ホーム画面] →  (インフォメーション) → [クイックガイド] から確認することもできます。

3 印刷するドキュメントを開き、[印刷] ダイアログボックスを表示する

アプリケーションソフトの [ファイル] メニュー（またはツールバー）から [印刷] を選びます。

4 本プリンターを選び、[詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックする

プリンタードライバの設定画面が表示されます。

5 用紙サイズおよび用紙種類を設定する

アプリケーションソフトで作成した原稿と、同じサイズおよび形状の用紙を設定します。

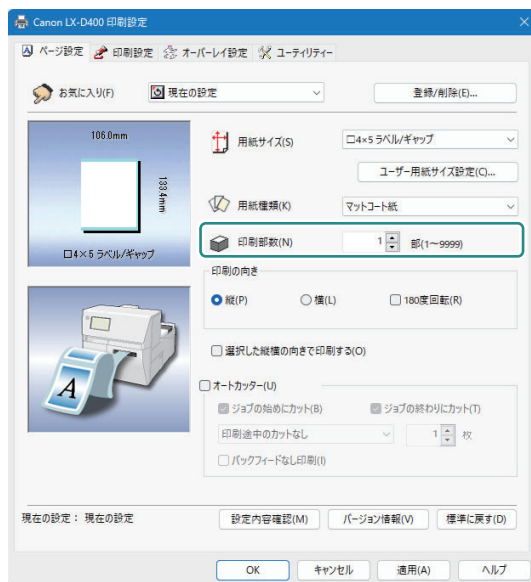


メモ

- あらかじめ用紙設定を「お気に入り」に登録しておいた場合は、設定を呼び出すこともできます。

6 部数を設定する

他の項目も必要に応じて設定します。各項目の詳細は **【ページ設定】シートを使う (P.61)** を参照してください。



重要

- 用紙サイズ、印刷の向き、印刷部数など、アプリケーションソフトウェアとプリンタードライバーで同じ設定項目がある場合、アプリケーションソフトウェアの設定の方が優先されることがあります。

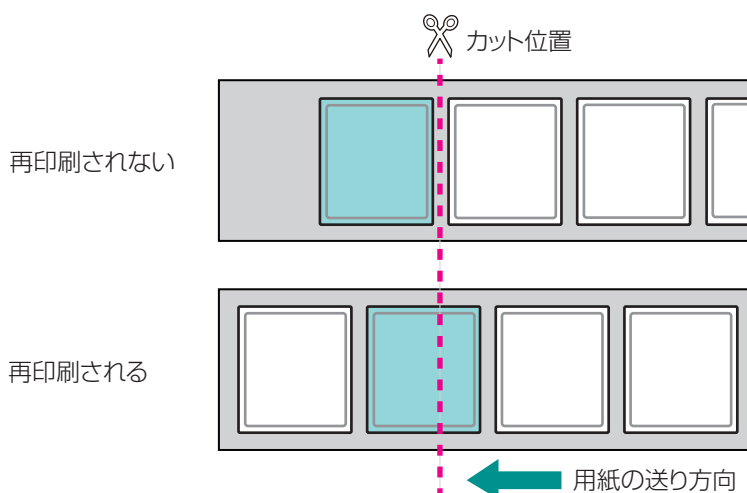
7 [OK] をクリックする

8 [印刷] ダイアログボックスの [印刷] をクリックする

印刷が開始されます。

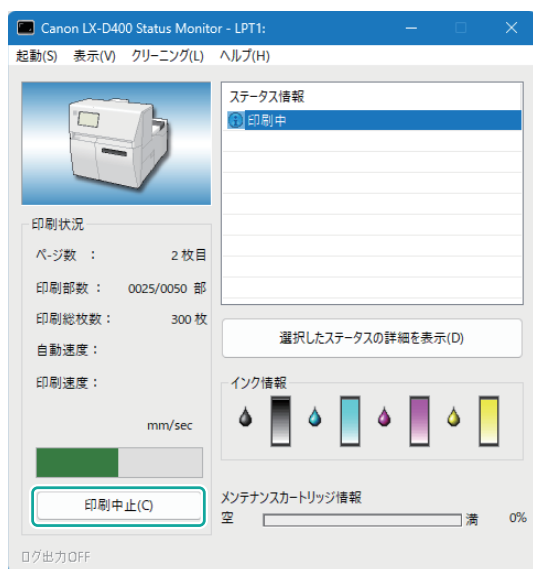
📖 メモ

- プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンターの用紙情報が異なる場合、操作パネルにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。
- 印刷を中止する場合は、ステータスマonitorの [印刷中止] を押します。
➡ **印刷を中止する (P.57)**
- ラベル用紙の糊部分を切るとカッターに糊が付着することがあります。糊が付着した状態のカッターは、切れにくくなったり正常にカットできなくなる場合があります。
セパレーター部分があるラベルを切る際は、セパレーター部分を切ることをおすすめします。
- 印刷中にエラーが発生して搬送が止まった場合、用紙の後端がカット位置に達していないページは再印刷されます。



印刷を中止する

印刷を中止したいときは、ステータスマニターの〔印刷中止〕をクリックします。



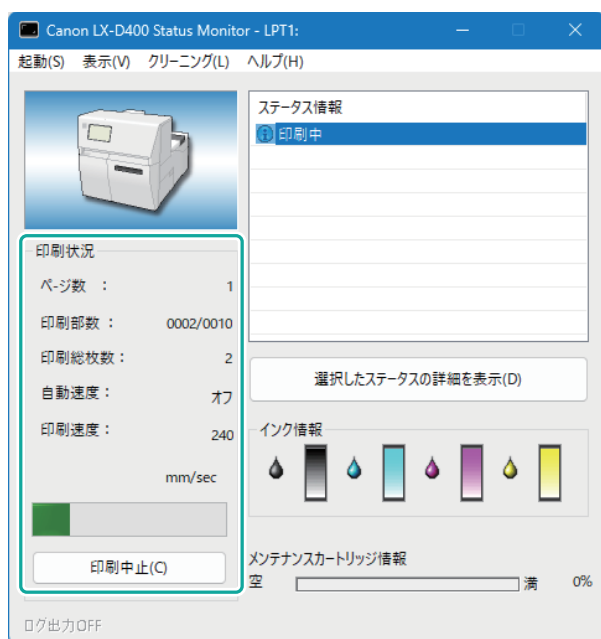
印刷が中止され、現在印刷中のジョブとプリンターにてデータ処理中または受信中のジョブ、およびパソコンにてデータ処理中のすべての印刷データを破棄します。

メモ

- ステータスマニターが表示されていない場合は、タスクバーに最小化されているか、またはタスクトレイに入っています。それぞれクリックすると、ステータスマニターが表示されます。
➡ **ステータスマニターを表示する (P. 143)**
- ステータスマニター以外にも印刷キューウィンドウ（印刷ジョブの一覧が表示されるウィンドウ）で印刷を中止できます。印刷キューウィンドウは次の手順で表示できます。
 - スタートメニューの〔設定〕→〔Bluetooth とデバイス〕→〔プリンターとスキャナー〕の順に選択します。
 - 本プリンターをクリックし、〔プリンターキューを開く〕を選びます。
- 印刷を一時停止したい場合は、プリンター本体のタッチパネルから操作してください。
➡ **印刷を一時停止状態にする (P. 12)**

印刷状況を確認する

ステータスモニターでは、印刷の進行状況を確認できます。



[ページ数]

3 ページ原稿を 10 部印刷する場合を例として説明します。表示は印刷設定によって異なります。

部単位で印刷する場合：「1」→「2」…「29」→「30」と表示されます。

ページ単位で印刷する場合：「1」→「2」→「3」と表示されます。

[印刷部数]

3 ページ原稿を 10 部印刷する場合を例として説明します。表示は印刷設定によって異なります。

部単位で印刷する場合：常に「0001/0001」と表示されます。
ページ単位で印刷する場合：「0001/0010」→「0002/0010」…「0009/0010」→「0010/0010」と表示されます。

[印刷総枚数]

ステータスモニターが起動されてからの総印刷枚数が表示されます。

[自動速度]

自動速度設定のオン / オフを表示します。

[印刷速度]

現在設定されている印刷速度を表示します。

[プログレスバー]

ページごとの部数の処理状況を表しています。

メモ

- ステータスモニター上の「選択したステータスの詳細を表示」やプリンタードライバーの各シートにある「ヘルプ」をクリックすると、インターネット上に公開されているユーザズガイドが表示されます。ユーザズガイドでは、表示されたメッセージの説明と対処方法を確認できます。
- インターネットに接続しない状態でパソコンを使用している場合は、パソコン内にユーザズガイドを登録する必要があります。詳しくは、「プリンタードライバーインストールガイド」を参照してください。
- タッチパネルからもプリンターの状態を確認することができます。確認できる項目は以下の通りです。



[印刷速度]

印刷中のみ、現在の印刷速度が表示されます。

[印刷枚数]

電源を入れてからこれまでに印刷を完了した枚数が表示されます。

電源を切ると、カウントがリセットされます。

[ジョブ数]

電源を入れてからこれまでに印刷されたジョブ数が表示されます。

電源を切ると、カウントがリセットされます。

プリンタードライバーを表示する

プリンタードライバーの設定画面は、お使いのアプリケーションソフトまたはプリンターのアイコンから表示できます。

アプリケーションソフトから印刷設定画面を表示する

印刷時に印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1 印刷するドキュメントを開き、[印刷] ダイアログボックスを表示する

アプリケーションソフトの [ファイル] メニュー（またはツールバー）から [印刷] を選びます。

2 本プリンターを選び、[詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックする

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



- 使用しているアプリケーションソフトによっては、コマンド名やメニュー名が異なったり、手順が多くなったりする場合があります。詳しい操作方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

Windows の設定から印刷設定画面を表示する

すべてのアプリケーションソフトに共通する印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1 [設定] → [Bluetooth とデバイス] → [プリンターとスキャナー] を選ぶ

- Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016 をお使いの場合：
[スタート] → [設定] → [デバイス] → [プリンターとスキャナー] を選ぶ

2 本プリンターをクリックし、[印刷設定] を選ぶ

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



- プリンターのプロパティ画面の [全般] シートの「利用可能な用紙」に表示される用紙サイズは、プリンターに取り付けられている用紙サイズとは異なる場合があります。現在使用している用紙サイズは、プリンタードライバーまたはアプリケーションの印刷設定を確認してください。
- プリンタードライバーの設定画面を [プリンターのプロパティ] から開くと、[ポート]（または [詳細設定]）シートなど、Windows の機能に関するシートが表示されます。それらのシートは、[印刷設定] やアプリケーションソフトから開いたときには表示されません。Windows の機能に関するシートについては、Windows のヘルプを参照してください。

プリンターのプロパティ画面を表示する

プリンターのメンテナンスを行ったり、プリンターの設定を変更したりする [ユーティリティ] シートを表示する場合、この方法を使います。

メモ

- ・プリンターのプロパティ画面の [ユーティリティ] シートと、印刷設定画面の [ユーティリティ] シートでは設定できる項目が異なります。(→ P.121)

1 [設定] → [Bluetooth とデバイス] → [プリンターとスキャナー] を選ぶ

2 本プリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] を選ぶ

- Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016 をお使いの場合：
本プリンターをクリックし、[管理] → [プリンターのプロパティ] を選ぶ

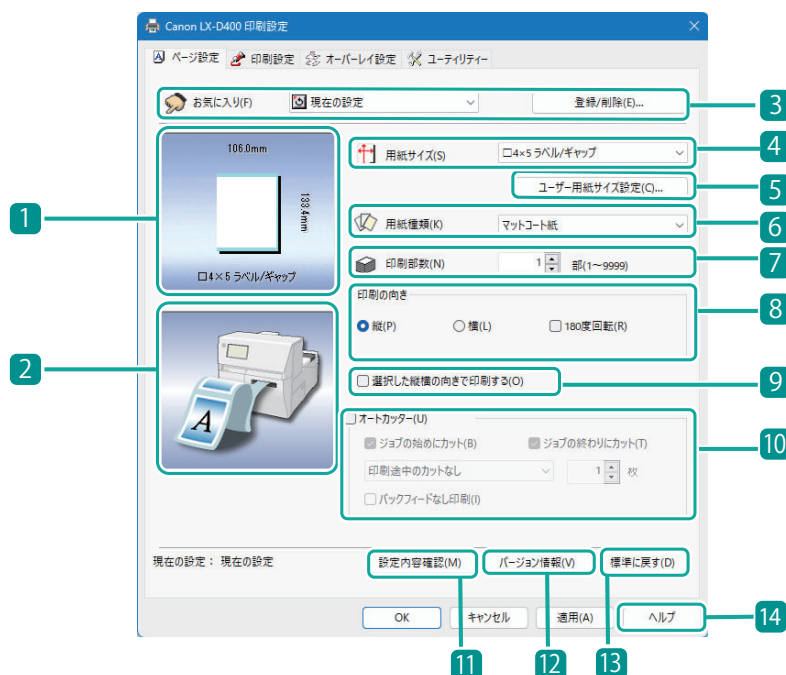
メモ

- ・プリンターのプロパティ画面の [全般] シートの「利用可能な用紙」に表示される用紙サイズは、プリンターに取り付けられている用紙サイズとは異なる場合があります。現在使用している用紙サイズは、プリンタードライバーまたはアプリケーションの印刷設定を確認してください。

[ページ設定] シートを使う

[ページ設定] シートについて説明します。

[ページ設定] シートでは、用紙に関する設定や印刷部数、印刷の向きなどを設定することができます。



1	用紙サイズのプレビュー	現在設定されている用紙サイズがプレビュー表示されます。
2	印刷の向きのプレビュー	現在設定されている印刷の向きがプレビュー表示されます。(→ P.74)
3	お気に入り	よく使う印刷設定を登録します(→ P.63) お気に入りの登録または削除を行う場合は、[登録 / 削除]をクリックします。
4	用紙サイズ	印刷に使用する用紙サイズを設定します。(→ P.66)
5	ユーザー用紙サイズ設定	用紙サイズを自由に設定します。(→ P.69)
6	用紙種類	用紙の種類を設定します。(→ P.73)
7	印刷部数	印刷する部数を設定します。

8 印刷の向き	用紙に対する印刷の向きを設定します。原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、アプリケーションソフトと同じものを選んでください。 [縦] 紙送りに対して、原稿の上下が変わらないように印刷します。通常はこの設定になっています。 [横] 紙送りに対して、原稿を 90 度回転させて印刷します。 [180 度回転] 原稿を 180 度回転して印刷します。
9 選択した縦横の向きで印刷する	ご使用のアプリケーションソフトが原稿の向きを自動的に回転させてしまい、[印刷の向き] で選択した縦横の向きで正しく印刷できない場合にチェックマークを付けます。通常、設定する必要はありません。 (→ P.76)  重要 ・ [選択した縦横の向きで印刷する] を設定してもアプリケーションソフトによっては正しく印刷できないことがあります。 ・ [選択した縦横の向きで印刷する] の設定は、[180 度回転] の設定には影響ありません。
10 オートカッター	ジョブ切りオートカッター（オプション）や RFID ユニット（オプション）が装着されている場合に使用します。 印刷後に用紙をカットする場合にチェックマークを付けます。用紙をカットするタイミングや間隔を変更することができます。(→ P.78)  メモ ・ ジョブ切りオートカッター（オプション）や RFID ユニット（オプション）が接続されてない場合も設定することができますが、実際の印刷結果には反映されません。
11 設定内容確認	現在の印刷設定の内容が表示されます。(→ P.82)
12 バージョン情報	プリンタードライバーのバージョンや著作権などの情報を確認できます。 (→ P.83)
13 標準に戻す	[ページ設定] シートの設定を標準の設定（初期値）に戻します。
14 ヘルプ	ボタンをクリックすると、オンライン上に公開されているユーザーズガイドが表示されます。 オフライン環境でパソコンをご使用の場合は、ユーザーズガイドをパソコン内に登録する必要があります。詳しくは「プリンタードライバーインストールガイド」をご参照ください。  メモ ・ Microsoft Edge をご利用の場合は、最新版にアップデートしたうえでご覧ください。

よく使う印刷設定を登録する

よく使う印刷の設定を、「お気に入り」として最大 10 件まで登録できます。「お気に入り」として登録した用紙情報はリストから選ぶだけで読み込まれ、いつでも同じ設定で印刷することができます。「お気に入り」の追加、削除やお気に入りを使用した印刷方法を説明します。

■ 印刷設定を登録する

📌 重要

- アプリケーションソフトからプリンタードライバーの設定画面を表示した場合は、「お気に入り」の登録や削除ができません。「お気に入り」の登録や削除を行う場合は、Windows の設定からプリンタードライバーの設定画面を表示してください。(→ P.59)

1 プリンタードライバーの印刷設定画面を開く

➡ Windows の設定から印刷設定画面を表示する (P. 59)

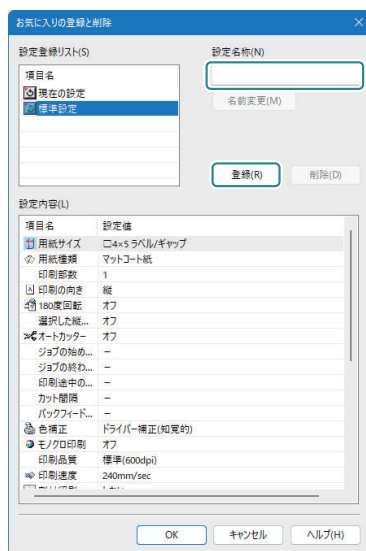
2 「ページ設定」シート、「印刷設定」シートおよび「オーバーレイ」シートで登録する内容を設定する

3 「登録 / 削除」をクリックする



「設定の登録と削除」ダイアログボックスが表示されます。

4 「設定名称」に設定したい任意の名称を入力し、「登録」をクリックする



確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



- 名前の入力は省略できません。
- 名前は半角、全角ともに 16 文字まで入力できます。ただし、スペースやタブは使用できません。

5 「はい」をクリックする

登録した設定が「設定登録リスト」に追加されます。

6 「OK」をクリックする

7 「印刷設定」ダイアログボックスの「OK」をクリックする

設定を完了します。



• お気に入りの名前を変更する

登録したお気に入りの名前を変更する場合は、「設定登録リスト」で名前を変更したい設定を選び、「名前変更」をクリックします。名前を変更したら、「登録」をクリックします。

• お気に入り削除する

登録したお気に入りを削除する場合は、「設定登録リスト」で削除したい設定を選び、「削除」をクリックします。現在お気に入りに選択されている設定は削除できませんので、別の設定を選択してから上記の手順で削除を行ってください。

• 設定内容を確認する

「ページ設定」シートの「設定内容確認」をクリックすると、「お気に入り」で選ばれている印刷設定の設定内容を確認できます。

ダイアログボックス上の「コピー」をクリックすると、設定内容を OS のクリップボードにコピーします。クリップボードにコピーした内容は、メモ帳などに貼り付けて設定内容を確認できます。

■ お気に入りの設定で印刷する

1 プリンタードライバーの印刷設定画面を開く

➡ Windows の設定から印刷設定画面を表示する (P. 59)

2 お気に入りの設定を適用する

[ページ設定] シートの [お気に入り] から、使用したいお気に入りの設定を選びます。

3 [印刷設定] ダイアログボックスの [OK] をクリックする

設定を完了します。

用紙サイズを選ぶ

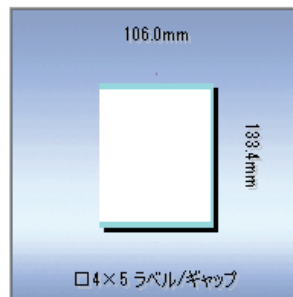
〔用紙サイズ〕では、印刷する用紙のサイズを選びます。

〔用紙サイズ〕は、次の中から選べます。



メモ

- 現在の用紙サイズは、プレビュー表示で確認できます。



■ 標準ラベル用紙（登録されている用紙）

13 種類の用紙サイズがあらかじめ登録されています。

用紙サイズの名称	用紙タイプ	用紙サイズ (mm)		余白量 (mm)				ギャップ / マーク長 (mm)	ギャップ (mm)	
		幅	長	上	下	左	右		左	右
4 × 1.5 ラベル / ギャップ	ラベル / ギャップ	97.3	38.1	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2	2.3
4 × 3 ラベル / ギャップ		97.3	76.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2	2.3
4 × 5 ラベル / ギャップ		101.6	127	1.5	1.5	3	1.5	6.4	0.5	3.9
4 × 8 ラベル / ギャップ		97.3	203.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2	2.3
2 × 1.5 ラベル / ギャップ		46.5	38.1	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2	2.3
2 × 3 ラベル / ギャップ		46.5	76.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2	2.3
2 × 8 ラベル / ギャップ		46.5	203.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2	2.3
42.0 × 65.0 ラベル / ギャップ		42	65	1.5	1.5	1.5	1.5	4.8	2	6
60.0 × 55.0 ラベル / ギャップ		60	55	1.5	1.5	1.5	1.5	5.3	2	2
75.0 × 50.0 ラベル / ギャップ		75	50	1.5	1.5	1.5	1.5	4.8	2	2
100.0 × 75.0 ラベル / ギャップ		100	75	1.5	1.5	2.5	2.5	5.5	1	1
100.0 × 100.0 ラベル / ギャップ		100	100	1.5	1.5	2.5	2.5	4.8	1	1
100.0 × 148.0 ラベル / ギャップ		100	148	1.5	1.5	2.5	2.5	6	1	1

■ アプリケーション指定

任意の用紙サイズを設定できます。

ユーザー用紙サイズでも任意の用紙サイズを設定できますが、アプリケーション指定の場合はアプリケーションソフトウェアから印刷設定画面を表示した場合に一時的な用紙サイズの設定を行います。

用紙サイズの名称	用紙タイプ	用紙サイズ (mm)		余白量 (mm)				ギャップ / マーク長 (mm)	ギャップ (mm)	
		幅	長	上	下	左	右		左	右
アプリケーション指定	ラベル / ギャップ	101.6	127.0	1.5	1.5	3	1.5	6.4	0.5	3.9

📖 メモ

- ・ アプリケーション指定は、用紙の名称は変更できません。

用紙サイズを自由に設定する

使用したい用紙のサイズが「用紙サイズ」にない場合は、「ユーザー用紙サイズ設定」で新しい用紙設定を行います。

用紙サイズの登録は「ユーザー用紙サイズ設定」に 50 種類まで登録できるほか、あらかじめ登録されている標準ラベル用紙のサイズを自由に変更して登録することもできます。

メモ

- 「用紙サイズの名称」「幅」「長さ」「表示単位」「用紙の形状」「ギャップ/マーク長」「余白」「ギャップ」が登録できます。
- 標準ラベル用紙名称は、変更できません。

1 プリンタードライバの印刷設定画面を開く

➡ Windows の設定から印刷設定画面を表示する (P. 59)

2 「ユーザー用紙サイズ設定」をクリックする

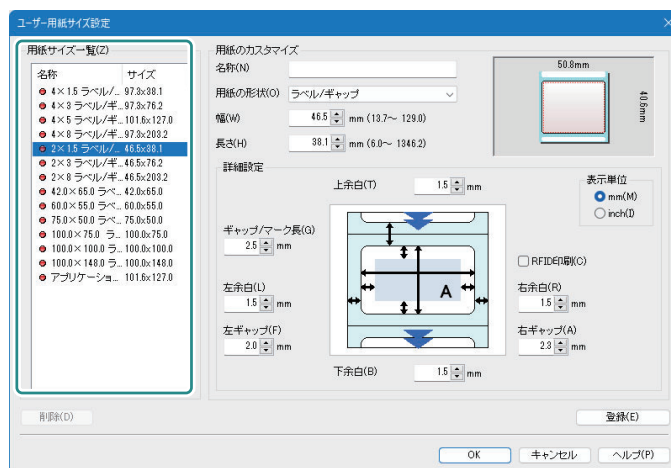
「ユーザー用紙サイズ設定」ダイアログボックスが表示されます。



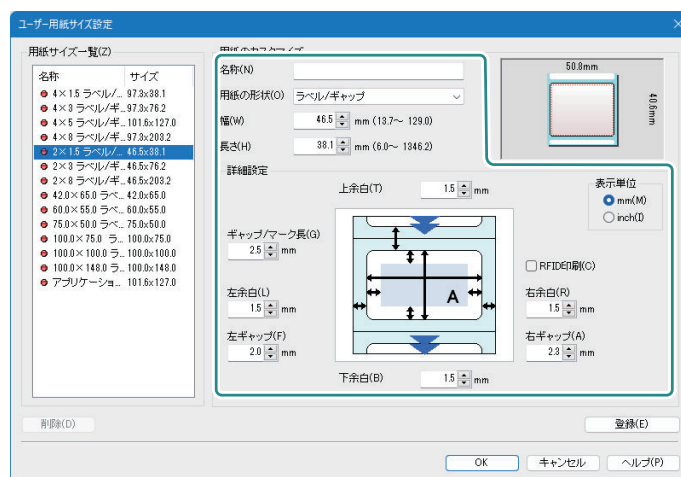
メモ

- アプリケーションソフトからプリンタードライバを開いた場合、「ユーザー用紙サイズ設定」は選択できません。以下の手順で操作してください。
 - 用紙サイズで「アプリケーション指定」を選ぶ
 - 「ユーザー用紙サイズ設定」をクリックする
 - 手順 4 に進む

3 「用紙サイズ一覧」から、基本にする用紙サイズを選ぶ



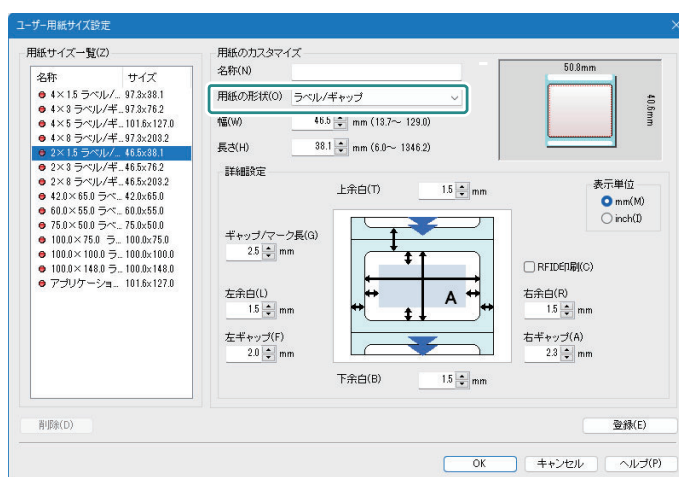
4 「名称」「幅」「長さ」「余白」「ギャップ/マーク長」「表示単位」の各項目を入力または選択する



[名称]	新しい用紙の名称を入力します。 名称は半角、全角ともに 15 文字まで入力できます。 メモ ・アプリケーションソフトからプリンタードライバを開いて [アプリケーション指定] の用紙サイズを編集する場合、[名称] は入力しません。
[幅] [長さ]	設定できる範囲内で数値を入力します。
[表示単位]	mm または inch を選択します。
[ギャップ/マーク長]	カスタムサイズに対するギャップ長、またはマーク長を入力します。
[用紙余白]	上下余白、左右余白、左右ギャップを入力します。
[RFID 印刷]	RFID 用紙を使用する場合は、チェックマークを入れます。

5 「用紙の形状」を選択する

印刷に使用する用紙の形状を選択します。



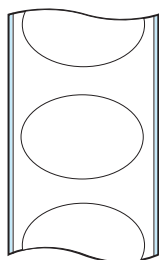
[ラベル / ギャップ]	四角形のラベル用紙を使う場合に選びます。ラベル間のギャップを検知して用紙の先端を認識します。丸型などの特殊形状で、余白ありラベル用紙をお使いの場合もこれを選んでください。
[ラベル / ブラックマーク]	裏側にブラックマークが印刷してある四角形のラベル用紙を使う場合に選びます。ブラックマークで用紙の先端を認識します。 丸型などの形状で、裏側にブラックマークが印刷してある余白ありラベル用紙をお使いの場合もこれを選んでください。
[タグ / ブラックマーク]	裏側にブラックマークが印刷してあるタグ用紙を使う場合に選びます。ブラックマークで用紙の先端を認識します。
[ラベル / なし]	裏側にブラックマークがないラベル用紙を使う場合に選びます。
[タグ / なし]	裏側にブラックマークがないタグ用紙を使う場合に選びます。
[ラベル / ギャップ (特殊形状)]	丸型などの余白なしラベル用紙を使う場合に選びます。ラベル間のギャップを検知して用紙の先端を認識します。
[ラベル / ブラックマーク (特殊形状)]	丸型などの形状で、裏側にブラックマークが印刷してある余白なしラベル用紙を使う場合に選びます。ブラックマークで用紙の先端を認識します。

メモ

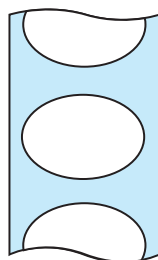
・ラベル用紙のタイプについて

ラベル用紙には、ラベルの周囲に余白があるタイプと、周囲に余白がないタイプがあります。丸形などのラベルをお使いの場合、余白の有無によって選択する用紙の形状が異なりますのでご注意ください。

・余白ありラベル用紙



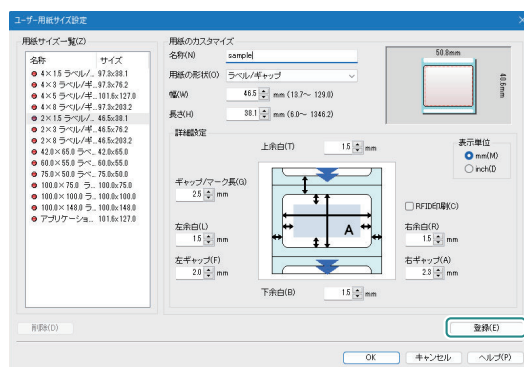
・余白なしラベル用紙



- ・用紙の形状ごとに、設定できる幅や長さの範囲が異なります。詳しくは「ユーザー用紙サイズの設定可能範囲 (P. 45)」を参照してください。

6 すべての入力完了したら「登録」をクリックする

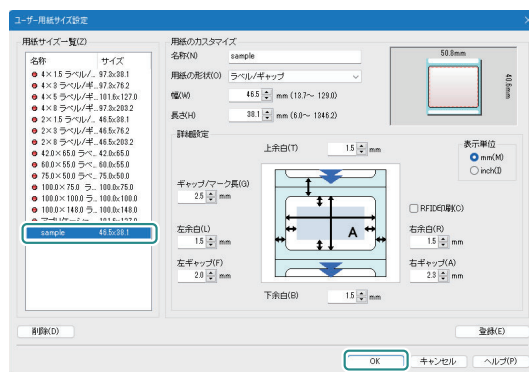
確認のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



メモ

- アプリケーションソフトからプリンタードライバを開いて「アプリケーション指定」の用紙サイズを編集する場合は、「登録」の代わりに「一時登録」が表示されます。

7 「用紙サイズ一覧」に入力した用紙名称が登録されていることを確認して、「OK」をクリックする



メモ

- アプリケーションソフトからプリンタードライバを開いて「アプリケーション指定」の用紙サイズを編集する場合は、「用紙サイズ一覧」に用紙名称は登録されません。

用紙の種類を選ぶ

〔用紙種類〕では印刷する用紙の種類を選びます。

〔用紙種類〕は、次の中から選べます。

■ 用紙の種類

マットコート紙 / 光沢紙 / 高光沢紙 / 合成紙 / 薄紙マットコート紙 / 白 PET

メモ

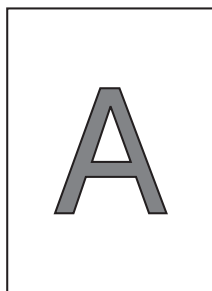
- ・プリンタードライバー上で選択した〔用紙種類〕が、プリンターにセットされている用紙と異なる場合は、正しい印刷結果が得られない場合がありますので注意してください。

印刷の向きを選ぶ

〔印刷の向き〕では、原稿の印刷する向きを選びます。

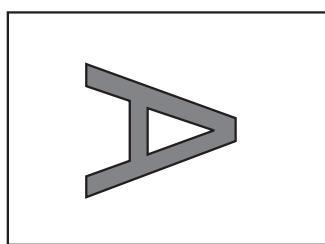


各設定の説明では、以下の原稿を印刷した場合の印刷結果を表わしています。

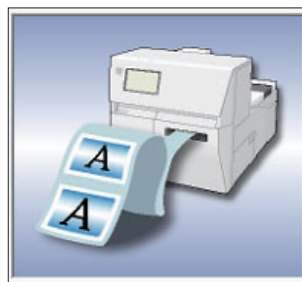


〔縦〕

用紙の送り方向に対して、原稿を 90° 右に回転させて印刷するときに選べます。

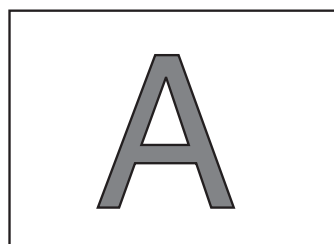


用紙の送り方向



[横]

用紙の送り方向に対して、原稿を水平にして印刷するときに選びます。



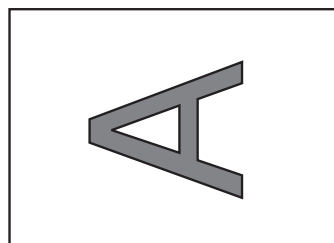
用紙の送り方向



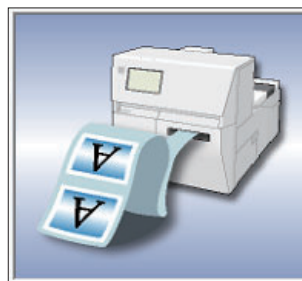
[180 度回転]

[縦] または [横] で設定した原稿を 180 度回転して印刷する場合にチェックをいれます。

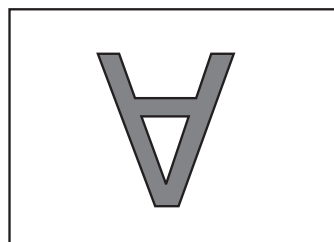
・ 縦 /180 度回転



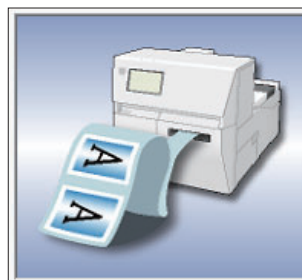
用紙の送り方向



・ 横 /180 度回転

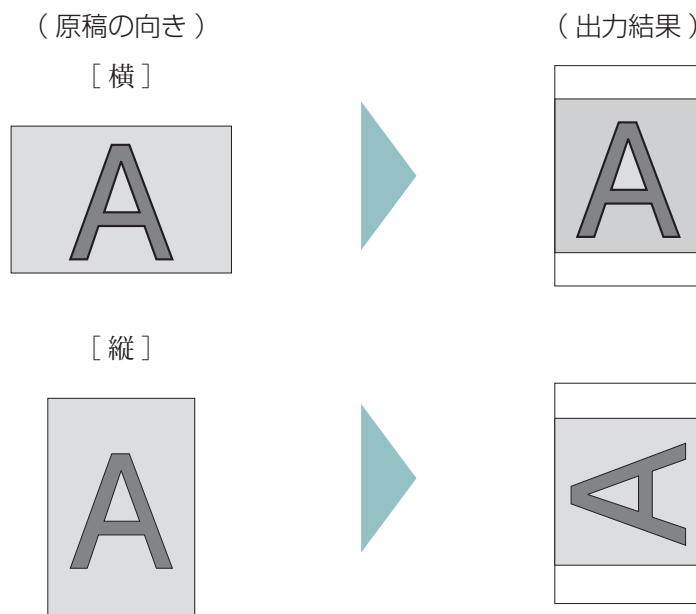


用紙の送り方向



選択した縦横の向きで印刷する

名刺などの横長の用紙に印刷する場合、アプリケーションソフトウェアによっては、原稿の向きを自動的に回転させてしまい、下図のように正しく印刷できないことがあります。このような場合は、プリンタードライバーの「印刷の向き」の設定に合わせて正しく印刷できるように、「選択した縦横の向きで印刷する」を設定する必要があります。



メモ

- ご使用のアプリケーションソフトで正しく印刷できない場合に設定してください。通常、設定する必要はありません。
- 「選択した縦横の向きで印刷する」を設定してもアプリケーションソフトによっては正しく印刷できないことがあります。
- 「選択した縦横の向きで印刷する」の設定は、「180度回転」の設定には影響ありません。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ Windows の設定から印刷設定画面を表示する (P. 59)

2 「選択した縦横の向きで印刷する」にチェックマークを入れます。

3 「印刷の向き」を設定します。

原稿の向き [横] のとき：

プリンタードライバーの [印刷の向き] を [縦] に設定します。

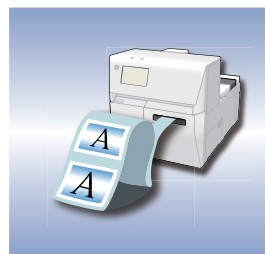
原稿の向き

[横]



プリンタードライバーの [印刷の向き]

[縦]

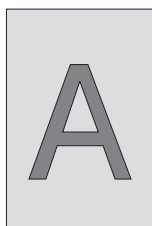


原稿の向き [縦] のとき：

プリンタードライバーの [印刷の向き] を [横] に設定します。

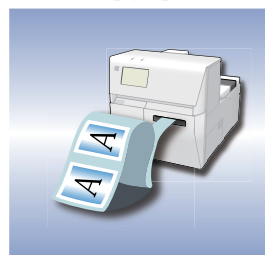
原稿の向き

[縦]



プリンタードライバーの [印刷の向き]

[横]



4 「OK」をクリックします。

カッターの設定をする

ジョブ切りオートカッター（オプション）をご購入いただくと、用紙をカットするタイミングや間隔をプリンタードライバーから設定することができます。以下の手順で操作してください。

1 プリンタードライバーの印刷設定画面を開く

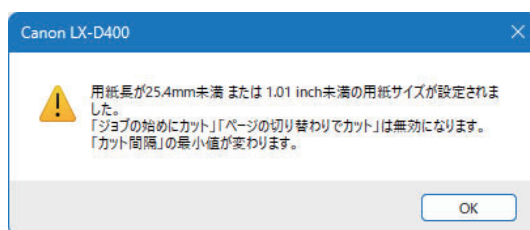
➡ Windows の設定から印刷設定画面を表示する (P. 59)

2 [ページ設定] シートの [オートカッター] にチェックを入れる



メモ

- オートカッターには最小カット長の制限があります。最小カット長に満たない用紙サイズの場合は、以下のメッセージが表示されます。



3 オートカッターのカット間隔を設定する

☒ オートカッター(U)

☐ ジョブの始めにカット(B) ☐ ジョブの終わりにカット(T)

指定した枚数でカット 1 枚

☐ バックフィードなし印刷(I)

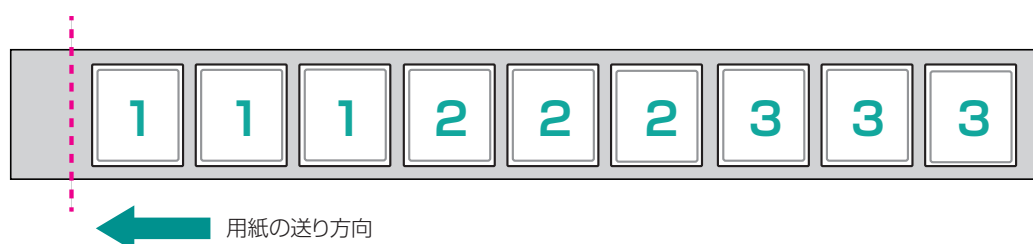
用紙をカットするタイミングや何枚ごとにカットするかの間隔を設定します。ジョブの始めと終わり部分および、ジョブの途中でのカット方法の設定を行います。

それぞれの設定のカット位置を、3ページ×3部、部単位で印刷した場合を例に説明します。

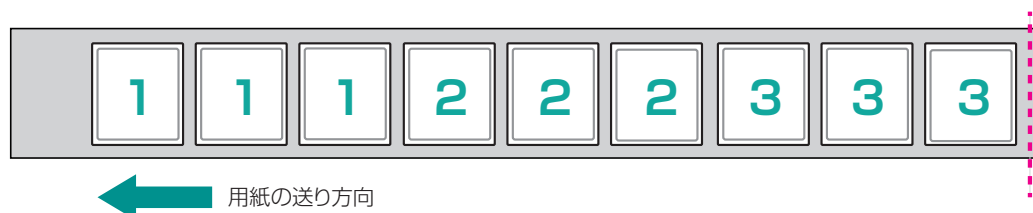
■ ジョブの始め / 終わりのカット方法を設定する

設定したい項目のチェックボックスにチェックを入れます。

[ジョブの先頭でカットする]



[ジョブの終わりでカットする]



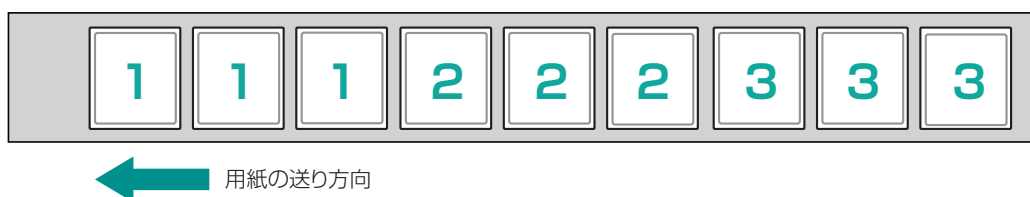
📖 メモ

- ジョブ全体の長さが 25.4 mm (1.01 インチ) 未満の場合、カット可能なサイズに調整するために最後に白紙が入る場合があります。

■ジョブの途中でのカット方法を設定する

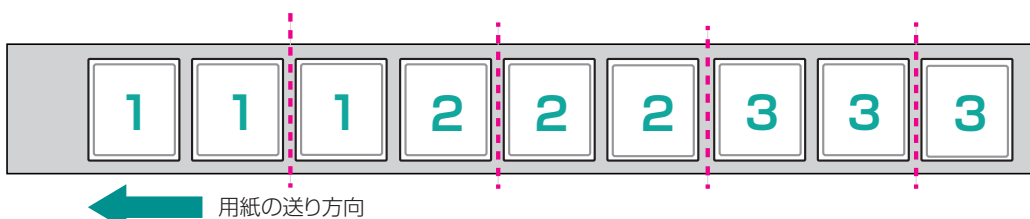
印刷ジョブの途中でカットするかどうかを、以下の3つから選びます。

[印刷途中のカットなし]



[指定した枚数でカット]

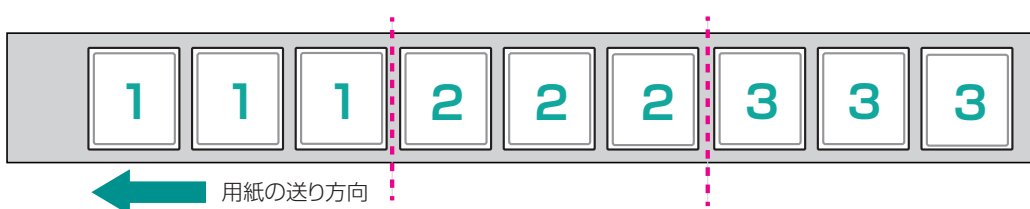
枚数を2に指定した場合



メモ

- ページの切り替わりに関係なく、指定した枚数でカットされます。
- 枚数の指定は、右側のボックスに1～9999の数値を入力して行います。

[ページの切り替わりでカット]



メモ

- 部数に関係なく、ページごとにカットされます。
- 最小カット長よりも短い用紙サイズが選択されている場合は、表示されません。

☑ 重要

- [ジョブの終わりにカットする]のチェックを入れていない場合も、[ジョブの始めにカットする]にチェックが入っている場合は、ジョブとの間でカットします。
- ジョブの途中のカット方法が[指定した枚数でカット]に設定されている時、ちょうどジョブの終了時にカットするタイミングになっても、[ジョブの終わりにカットする]にチェックが入っていない場合は最後のページをカットしません。
- [ジョブの途中でカットする]の印刷方式の設定と、印刷を行うアプリケーションソフトウェアの印刷方式の設定が異なっていると、正しくカットされません。正しくカットするためには、印刷方式の設定を必ず合わせてください。

4 バックフィードなし印刷を設定する場合は、[バックフィードなし印刷]にチェックを入れる

バックフィードなし印刷は、カットする前などに行われる用紙のバックフィード動作をせずに印刷するモードです。1枚ごとにカットするなど、カットする回数が多い場合は印刷効率を上げることができますが、画像によっては印刷ムラや横スジが入ったり、画像が欠けたりする場合があります。

📌 重要

- ・[バックフィードなし印刷]を設定するとき、カット間隔を150 mmより短くすると、カッターの消耗が早まる場合があります。

📖 メモ

- ・[バックフィードなし印刷]を設定すると、印刷速度が50 mm/secに変更され、[自動速度]を選択できなくなります。また、RFID印刷の場合は選択できません。

5 [OK]をクリックします。

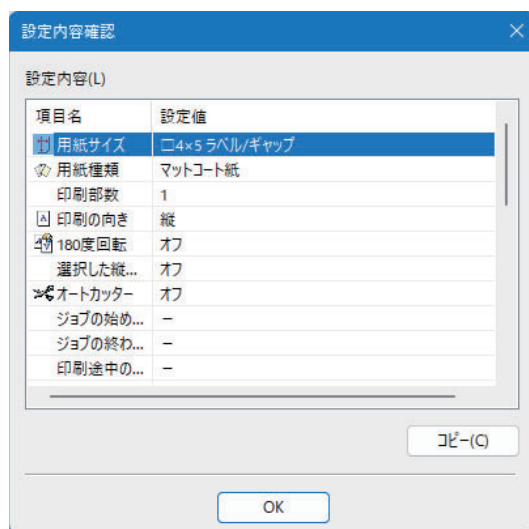
カット間隔が設定されます。

📖 メモ

- ・[カット間隔]の設定を標準に戻す場合は、[標準に戻す]をクリックします。ただし、印刷設定シート内で設定した[カット間隔]以外の項目も標準に戻りますので、保存しておきたい設定がある場合は「お気に入り」に登録してください。(→ P.63)

設定内容を確認する

〔設定内容確認〕をクリックすると、現在の用紙の設定内容が確認できます。



メモ

- ・〔設定内容確認〕の〔コピー〕をクリックすると、現在の設定内容を OS のクリップボードにコピーすることができます。

バージョン情報を確認する

[バージョン情報] をクリックすると、プリンタードライバーのバージョンや著作権などの情報を確認できます。
[プリンター情報取得] をクリックして、接続しているプリンターの情報を取得します。

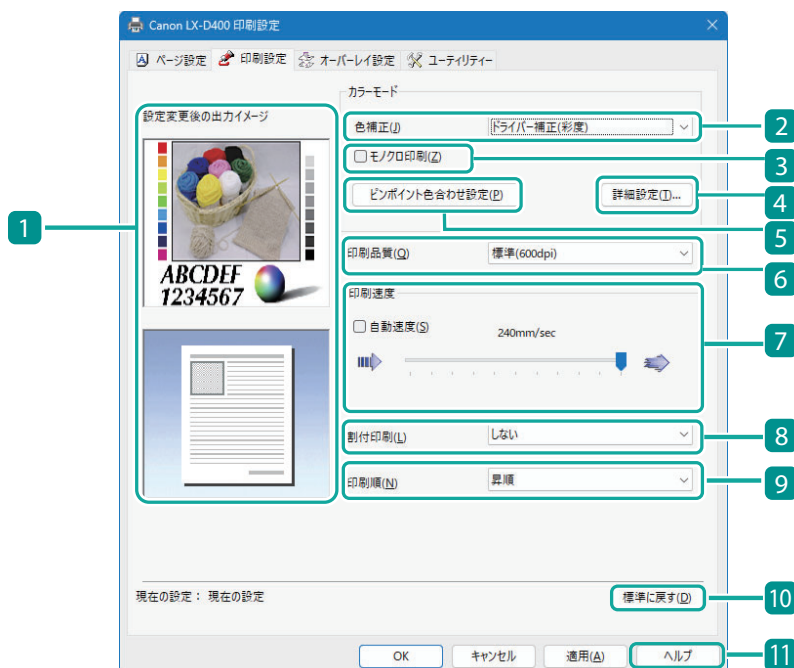
メモ

- シリアルナンバー：プリンターの製造番号
- ROM Version：プリンターの ROM バージョン
- プリンター情報は、プリンター本体の接続状態により取得ができない場合があります。
 - プリンターと接続していないとき
 - 通信、ネットワークが混雑しているとき

[印刷設定] シートを使う

[印刷設定] シートについて説明します。

[印刷設定] シートでは、印刷するときの画質や色に関する設定を行います。

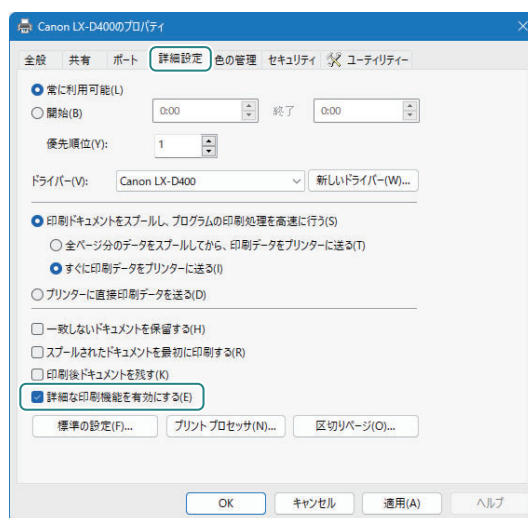


1 設定ビュー	上段：印刷設定をしたあとの印刷イメージがプレビュー表示されます。 下段：割付印刷、ページ順序を設定したときの印刷イメージがプレビュー表示されます。
2 色補正	ドライバーの色補正を使って、最適な色処理方法を指定します。 (→ P.86)
3 モノクロ印刷	チェックをいれると、カラー画像データをモノクロで印刷します。 (→ P.87)
4 詳細設定	[詳細設定] ダイアログボックスを表示します。より詳細な色調整が行えます。(→ P.99)
5 ピンポイント色合わせ設定	希望する色に近づけることができます。(→ P.88)
6 印刷品質	目的に合った印刷の品質を選びます。(→ P.104) ☑ 重要 ・ [用紙種類] の設定によっては、選択項目が変わることがあります。 [きれい (1200 dpi)] 印刷のスピードよりも品位を優先して印刷します。 [標準 (600 dpi)] 標準的なスピードと品位で印刷します。解像度は用紙の種類に応じて設定されます。 [速い (300 dpi)] 印刷の品位よりスピードを優先して印刷します。

7 印刷速度	印刷するスピードを設定します。(→ P.105)
8 割付印刷	1枚の用紙に複数ページを割りつけて印刷します。(→ P.107) [しない]、[2面]、[4面]、[6面]、[9面]、[16面]から選びます。
9 印刷順	印刷する順序を設定します。先頭ページから印刷する場合には[昇順]を、最終ページから印刷する場合は、[降順]を選びます。(→ P.108)  重要 ・ [割付印刷] が [しない] 以外に設定されているときは、昇順で印刷されます。
10 標準に戻す	[印刷設定] を標準の設定に戻します。
11 ヘルプ	ボタンをクリックすると、オンライン上に公開されているユーザーズガイドが表示されます。 オフライン環境でパソコンをご使用の場合は、ユーザーズガイドをパソコン内に登録する必要があります。詳しくは「プリンタードライバインストールガイド」をご参照ください。  メモ ・ Microsoft Edge をご利用の場合は、最新版にアップデートしたうえでご覧ください。

重要

- ・ [割付印刷]、[印刷順] は、プリンターのプロパティ画面で表示される [詳細設定] シートの [詳細な印刷機能の有効にする] にチェックマークが入っていないと、設定が有効になりません。



原稿に合った色調整を選ぶ

〔色補正〕では、原稿の内容に合った色合いの調整を行います。

次の5項目から選べます。



〔ドライバー補正（知覚的）〕	色の鮮やかさを重視して本プリンターに最適な色調整を行います。
〔ドライバー補正（彩度）〕	一般的な画像を自然な色合いで再現することを重視して、本プリンターに最適な色調整を行います。滑らかな階調性が特長です。 また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
〔ICM を使用する〕	プリンタードライバーでの色補正を行わず、ICM を使用して色補正を行います。 Windows の色補正機能である ICM（Windows Image Color Management）を使用します。
〔なし〕	色補正を行いません。
〔LX-D5500 調（写真入り）〕	Canon LX-D5500 の〔写真入り〕に合わせた色補正を行います。写真画像入りの印刷をする場合に選びます。
〔LX-D5500 調（色調整なし）〕	Canon LX-D5500 の〔色調整なし〕に合わせた色補正を行います。

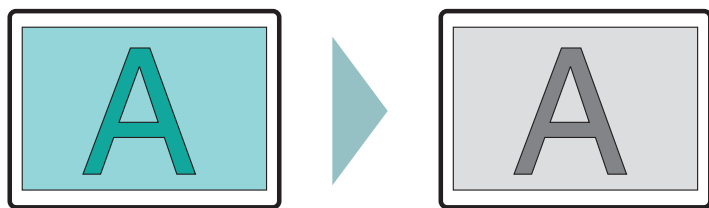
重要

- ・「ICM を使用する」、「LX-D5500 調（写真入り）」、「LX-D5500 調（色調整なし）」に設定すると、〔ピンポイント色合わせ〕（→ P.88）は設定できません。

メモ

- ・印刷内容に写真とグラフィックの両方が含まれている場合は、「写真入り」を選んでください。
- ・〔ICM を使用する〕、〔なし〕または〔LX-D5500 調（色補正なし）〕に設定した場合、「詳細設定」の〔明るさ調整〕はグレー表示になり、設定は無効になります。

カラーの原稿をモノクロで印刷する



カラーで作成した原稿を、モノクロで印刷する手順を説明します。

1 プリンタードライバーの印刷設定画面を開く

➡ Windows の設定から印刷設定画面を表示する (P. 59)

2 [印刷設定] シートの [カラーモード] で [モノクロ印刷] にチェックを入れる



3 [印刷設定] ダイアログボックスの [OK] をクリックする

設定を完了します。

重要

- ・ [モノクロ印刷] に設定すると、[ピンポイント色合わせ] (→ P.88) は設定できません。

ピンポイント色合わせを行う

ピンポイント色合わせでは、ロゴマークなどの特別に色合わせをしたい色を使用して印刷することができます。使用する色はあらかじめ登録しておく必要があります。

メモ

- ターゲット色は、必ず単色にしてください。グラデーションなどで作成している画像はピンポイント色合わせができません。
- ターゲット色と同じ RGB 値で作られている画像が、同じデータ内にあった場合は、その画像にも「ピンポイント色合わせ」で登録した色が反映されます。

■ ピンポイント色合わせに使用する色を登録する

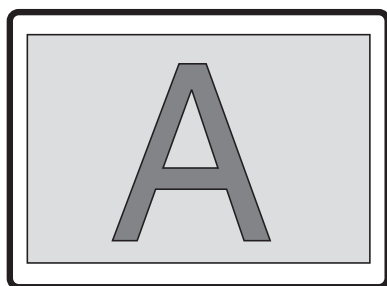
1 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

➡ プリンターのプロパティ画面を表示する (P.60)

2 「ユーティリティ」シートの「ピンポイント色合わせ」を選ぶ

ピンポイント色合わせダイアログボックスが表示されます。

3 「ピンポイント色合わせ」を行いたい色の元になる画像から、R/G/B の値を読み取る

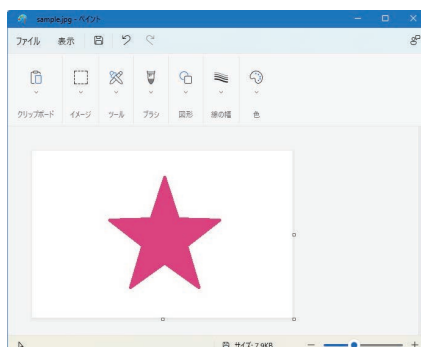


メモ

- R/G/B の値の読み取りは、Windows 標準搭載の「ペイント」などの画像処理ソフトウェアを使って行います。ここでは、「ペイント」を使用した場合の手順を例に説明します。

【R/G/B 値読み取り手順（「ペイント」を使用する場合）】

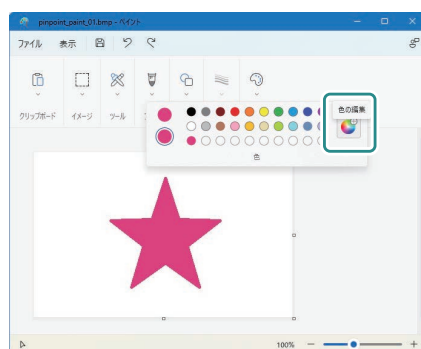
1. 色合わせを行いたい画像を「ペイント」で開きます。



2. [スポイト] ツールを選択したあと、対象の色をクリックします。



3. [色の編集] をクリックします。

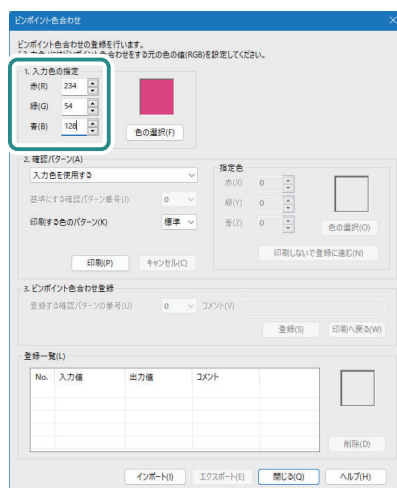


「色の編集」ダイアログボックスが表示され、対象の色のプレビュー表示および R/G/B 値が確認できます。



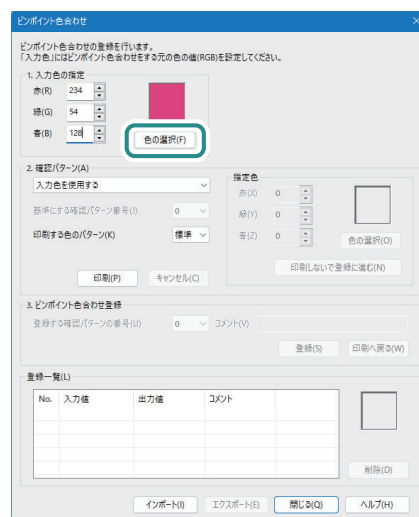
4 「1.入力色の指定」にて「赤／緑／青」に手順3で読み取ったR/G/B値を入力する

R/G/B値を入力すると、その色をプレビュー表示で確認できます。



- ・「色の選択」をクリックして入力することもできます。

1. 「色の選択」をクリックします。



2. 「基本色」から選択する、または色の情報を入力して「色の追加」をクリックします。



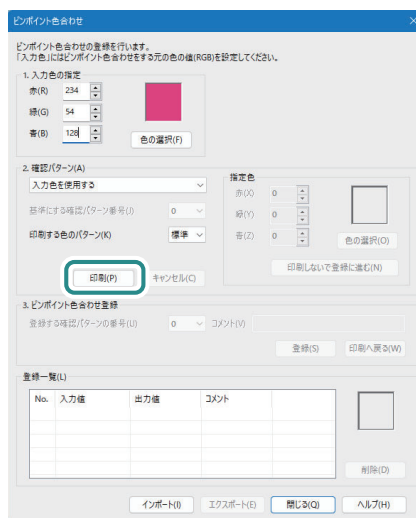
3. 「OK」をクリックします。

5 「2. 確認パターン」を設定する

次のいずれかの方法を選んで設定してください。

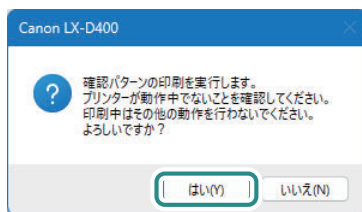
● 確認パターンを確認して色を登録する場合

1. 「入力色を使用する」が選択されていることを確認し、「印刷」をクリックします。

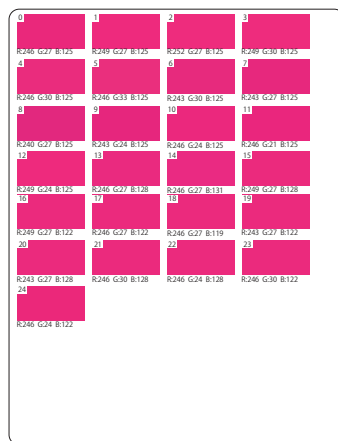


確認のメッセージが表示されます。

2. 「はい」をクリックします。



確認パターン（0～24番までの近似値となる色見本（カラーパレット））が印刷されます。



メモ

- 必要に応じて、「印刷する色パターン」を選択してください。

標準	基準色を中心に周辺色を均等に割り当てます。
RG	基準色から青 (B) の値を固定し、赤 (R) と緑 (G) の値のみ均等に割り当てます。
GB	基準色から赤 (R) の値を固定し、緑 (G) と青 (B) の値のみ均等に割り当てます。
RB	基準色から緑 (G) の値を固定し、赤 (R) と青 (B) の値のみ均等に割り当てます。

3. 印刷されたパターンを確認します。

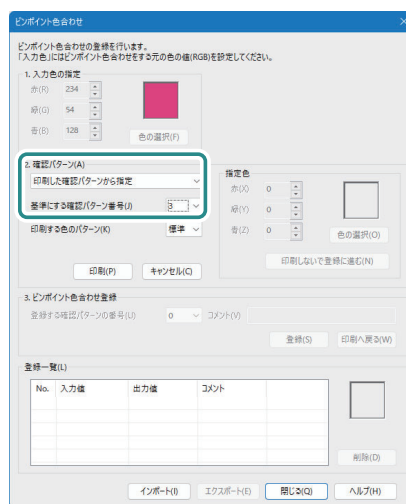
指定したい色が合った場合は、「3. ピンポイント色合わせ登録」に進みます。(→ P.94)

指定したい色がなかった場合は、次の手順 4 に進みます。

4. 印刷されたパターンに指定したい色がなかった場合は、[印刷へ戻る]をクリックします。



5. [印刷した確認パターンから指定] が選択されていることを確認し、指定したい色に一番近い色の番号を「基準にする確認パターン番号」に入力します。



6. [印刷] をクリックします。



● 指定色を使用して色を登録する場合

1. [指定色を使用する]を選択すると、「1. 入力色の指定」にて設定した色情報が「指定色」に設定されます。
2. [印刷しないで登録に進む]をクリックします。

ピンポイント色合わせ

ピンポイント色合わせの登録を行います。
「入力色」にはピンポイント色合わせをする元の色の値(RGB)を設定してください。

1. 入力色の指定

赤(R) 234
緑(G) 54
青(B) 128

色の選択(F)

指定色を使用する

登録する色数(ボタン番号)(I) 3

印刷する色のパターン(K) 標準

印刷(P) キャンセル(C)

指定色

赤(X) 234
緑(Y) 54
青(Z) 128

色の選択(O)

印刷しないで登録に進む(N)

3. ピンポイント色合わせ登録

登録する色数(ボタン番号)(I) 0 コメント(V)

登録(S) 印刷/入庫(W)

登録一覧(L)

No.	入力値	出力値	コメント

印刷(D)

インポート(I) エクスポート(E) 閉じる(Q) ヘルプ(H)

メモ

- ・ 確認パターンを印刷したい場合は、[印刷]をクリックしてください。

6 「3. ピンポイント色合わせ登録」を設定する

● 確認パターンを確認して色を登録する場合

1. 指定したい色に一番近い色の番号（0～24番）をプルダウンから選びます。
2. 「コメント」に名称（任意）を記入します。
3. 「登録」をクリックします。

ピンポイント色合わせ

ピンポイント色合わせの登録を行います。
「入力色」に最もピンポイント色合わせをする元の色の値(RGB)を設定してください。

1. 入力色の指定

赤(R) 234
緑(G) 54
青(B) 128
色の選択(F)

2. 確認パターン(A)

入力色を使用する
基準にする確認パターン番号(I) 0
印刷する色のパターン(K) 標準
印刷(P) キャンセル(C)

指定色

赤(R) 0
緑(G) 0
青(B) 0
色の選択(O)
印刷しないで登録に含む(N)

3. ピンポイント色合わせ登録

登録する確認パターンの番号(U) 3 コメント(V) マゼンタ色
登録(S) 印刷へ戻る(W)

登録一覧(L)

No.	入力値	出力値	コメント

印刷(D)

インポート(I) エクスポート(E) 閉じる(Q) ヘルプ(H)

● 指定色を使用して色を登録する場合

1. 「コメント」に名称（任意）を記入します。
2. 「登録」をクリックします。

ピンポイント色合わせ

ピンポイント色合わせの登録を行います。
「入力色」に最もピンポイント色合わせをする元の色の値(RGB)を設定してください。

1. 入力色の指定

赤(R) 234
緑(G) 54
青(B) 128
色の選択(F)

2. 確認パターン(A)

指定色を使用する
基準にする確認パターン番号(I) 0
印刷する色のパターン(K) 標準
印刷(P) キャンセル(C)

指定色

赤(R) 234
緑(G) 54
青(B) 128
色の選択(O)
印刷しないで登録に含む(N)

3. ピンポイント色合わせ登録

登録する確認パターンの番号(U) 0 コメント(V) Color_A
登録(S) 印刷へ戻る(W)

登録一覧(L)

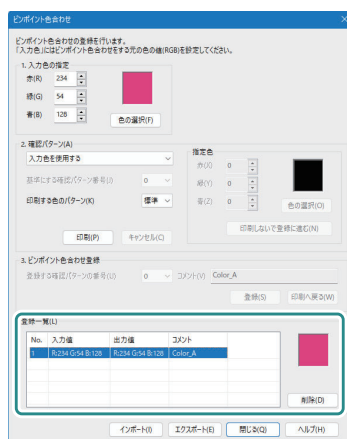
No.	入力値	出力値	コメント

印刷(D)

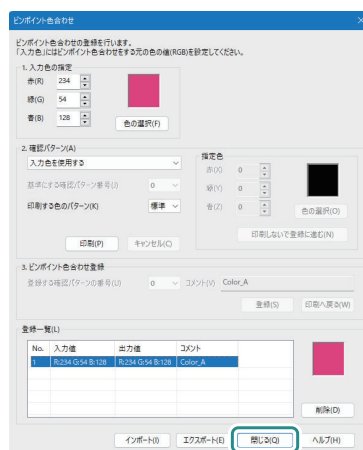
インポート(I) エクスポート(E) 閉じる(Q) ヘルプ(H)

7 「登録一覧」に指定の色が登録される

登録した色のセルをクリックすると、その色がプレビュー表示されます。

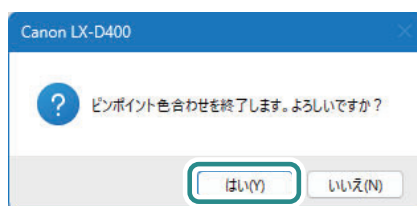


8 ピンポイント色合わせの登録が完了したら、「閉じる」をクリックする



確認のメッセージが表示されます。

9 「はい」をクリックする

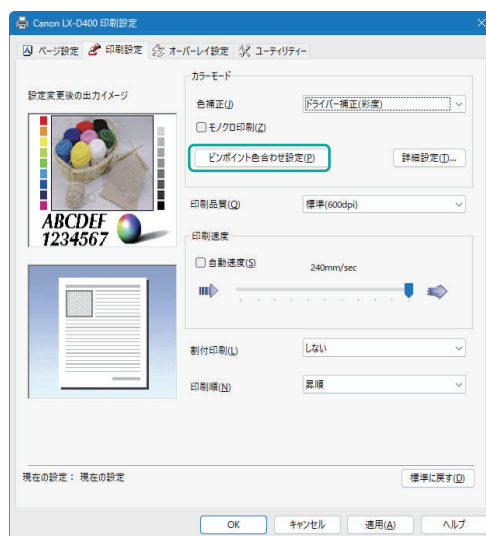


メモ

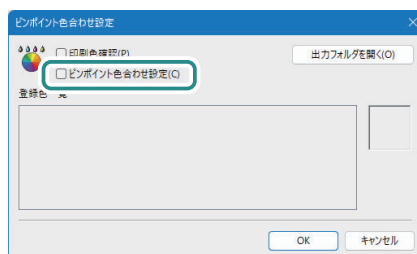
- ・[インポート][エクスポート]は、作成した特殊色を他のパソコンで印刷したい場合や他のパソコンで作成したものを印刷したい場合に使用します。(ファイル拡張子(*.bin))

- 登録色は、次のように確認できます。

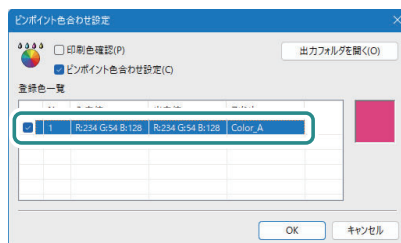
1) [印刷設定] シートの [ピンポイント色合わせ設定] をクリックします。



2) [ピンポイント色合わせ設定] にチェックを入れます。



登録色が表示されます。

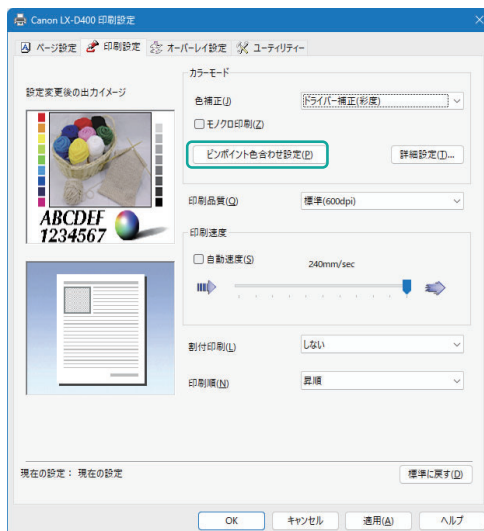


■ 登録した色を使用して印刷する

1 プリンタードライバーの印刷設定画面を開く

➡ Windows の設定から印刷設定画面を表示する (P. 59)

2 「印刷設定」シートの「ピンポイント色合わせ設定」をクリックする



「ピンポイント色合わせ」ダイアログボックスが表示されます。

④ 重要

- ・ ユーザー用紙種類で追加された用紙種類、「ICM を使用する」、「LX-D5500 調（写真入り）」、「LX-D5500 調（色調整なし）」、「モノクロ印刷」、「シャープネス」が「1（小）」以上に設定されている場合、ピンポイント色合わせは設定できません。

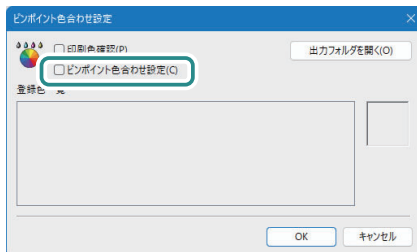
➡ インクの使用量を変更して印刷する (P. 126)

➡ 原稿に合った色調整を選ぶ (P. 86)

➡ カラーの原稿をモノクロで印刷する (P. 87)

➡ シャープネスをかける (P. 103)

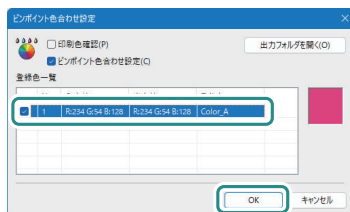
3 「ピンポイント色合わせ設定」にチェックを入れる



4 「登録色一覧」より色を選択し、「OK」をクリックする

登録した色のセルをクリックすると、その色がプレビュー表示されます。

色調整に反映させたくない色がある場合はチェックマークを外してください。



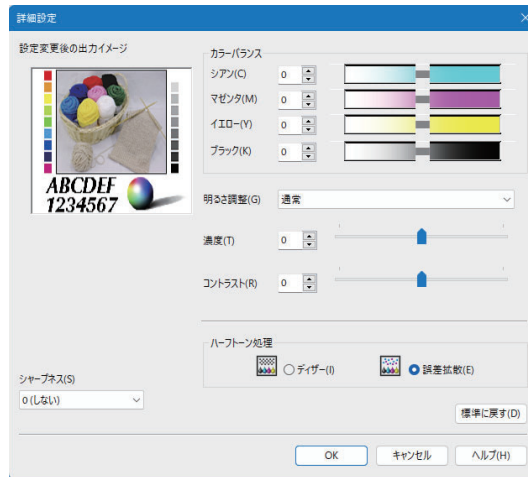
メモ

- ・「印刷色確認」にチェックマークをつけると、印刷する画像データの印刷を行わずにビットマップ画像を生成します。このビットマップ画像は、印刷結果が希望する色と異なった場合の色の調整に使用します。保存先のフォルダーを開く場合は、「出力フォルダを開く」をクリックします。

5 「印刷設定」ダイアログボックスの「OK」をクリックする

画質を調整する

画質を細かく調整したい場合は、[印刷設定] シートの [詳細設定] ダイアログボックスを使用します。



メモ

- [詳細設定] ダイアログボックスの設定を初期設定に戻す場合は、[詳細設定] ダイアログボックスの [標準に戻す] をクリックします。

■ カラーバランスを調整する

[カラーバランス] では、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各色の濃度を調整します。



カラーバランスは-50 ~ +50 の範囲で、スライダーをドラッグするか直接入力して調整します。中央が標準 (0) の位置で、左にスライドさせるほど淡くなり、右にスライドさせるほど濃くなります。調整後、[OK] をクリックします。

メモ

- スライダーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。

■ 明るさを調整する

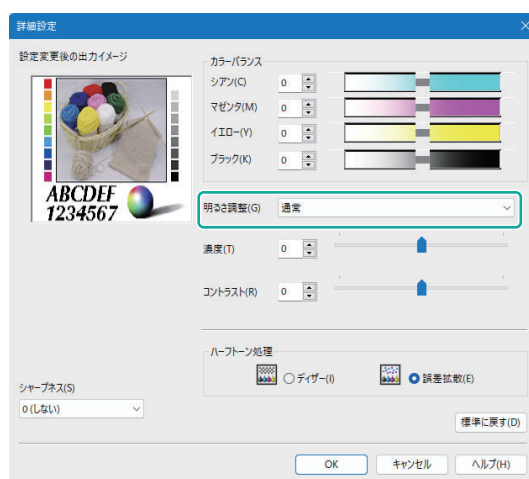
〔明るさ調整〕では、印刷した結果を見て、全体的に暗すぎたり、明るすぎたりする場合は、明るさを調整します。この調整では、もっとも暗い部分と明るい部分の濃淡は変えずに、中間色の明るさを調整できます。

メモ

- ・〔明るさ調整〕を行うときは、〔印刷設定〕シートの〔色補正〕を〔ドライバー補正（知覚的）〕、〔ドライバー補正（彩度）〕または〔LX-D5500 調（写真入り）〕に設定してください。〔なし〕、〔ICM を使用する〕、または〔LX-D5500 調（色補正なし）〕に設定したときは、明るさを調整できません。

〔明るさ調整〕は、次の3つから選べます。

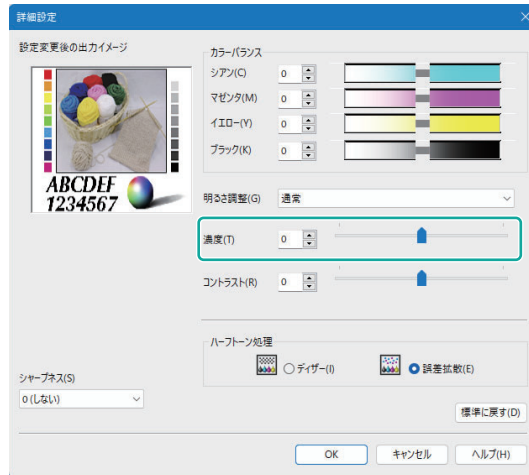
設定後、〔OK〕をクリックします。



〔明るく〕	ガンマ係数 1.4 のモニターに近づけます。 印刷内容を明るく印刷します。印刷結果が暗く感じた場合に選びます。
〔通常〕	ガンマ係数 1.8 のモニターに近づけます。 通常の明るさで印刷します。最初はこの設定で印刷し、印刷結果を見て必要に応じて〔明るく〕または〔暗く〕を選択します。
〔暗く〕	ガンマ係数 2.2 のモニターに近づけます。 印刷内容を暗く印刷します。印刷結果が明るすぎると感じた場合に選びます。

■ 濃度を調整する

〔濃度〕では、全体の濃度を調整します。



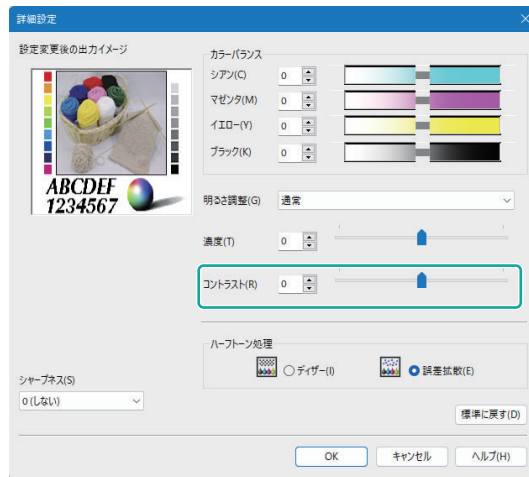
濃度は－50～＋50の範囲で、スライダーをドラッグするか直接入力して調整します。
中央が標準（0）の位置で、左にスライドさせるほど淡くなり、右にスライドさせるほど濃くなります。
調整後、〔OK〕をクリックします。

📖 メモ

- ・スライダーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。

■ コントラストを調整する

〔コントラスト〕では、全体のコントラストを調整します。



コントラストは－50～＋50の範囲で、スライダーをドラッグするか直接入力して調整します。
中央が標準（0）の位置で、左にスライドさせるほど暗い部分から明るい部分までの幅が広くなり、黒から白までの滑らかなトーン表現ができますが、下げすぎるとはっきりしない画像になってしまいます。
右にスライドさせるほど白いものはより白く、黒いものはより黒くなりますが、色の諧調は失われます。
調整後、〔OK〕をクリックします。

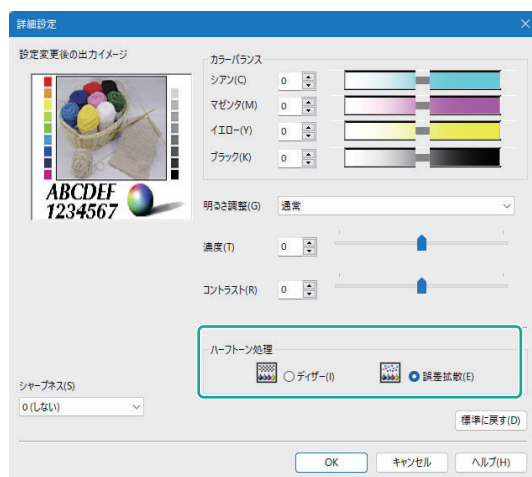
📖 メモ

- ・コントラストとは、画像の黒い部分から白い部分までの幅（許容量）のことです。
- ・スライダーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。

■ ハーフトーン処理を選ぶ

ハーフトーン処理の方法を選択します。

設定後、[OK] をクリックします。

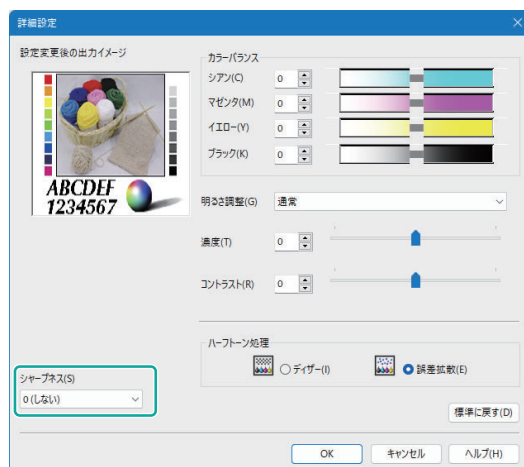


[デザイナー]	ドットを一定の法則に従って並べてハーフトーンを表現します。色の境界をくっきり見せたいグラフィックスなどの印刷に適しています。
[誤差拡散]	ドットをランダムに配置してハーフトーンを表現します。微妙なグラデーション表現が必要な写真の印刷に適しています。

■ シャープネスをかける

〔シャープネス〕では、印刷した結果を見て、全体的にぼやけていると感じた場合に、シャープネス処理を行ってくっきり見せることができます。

シャープネスは、プルダウンメニューから、0（しない）、1（小）、2（中）、3（大）の4段階で行います。選択後、〔OK〕をクリックします。



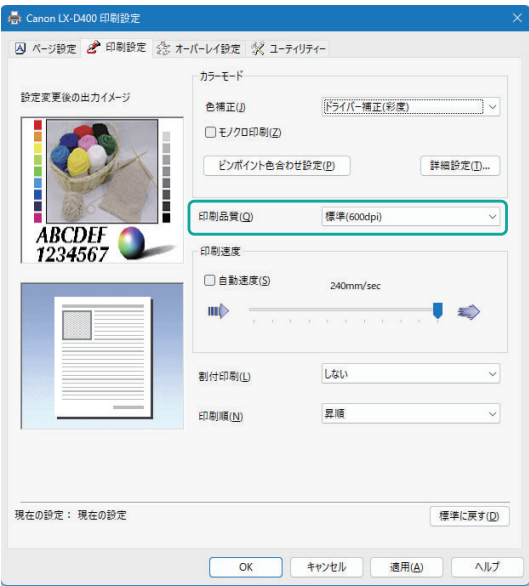
0（しない）	シャープネスを使用しません。
1（小）	シャープネスの処理を行います。
2（中）	シャープネスの処理を行います。
3（大）	シャープネスの処理を行います。

✓ 重要

- ・〔1（小）〕～〔3（大）〕に設定すると、〔ピンポイント色合わせ〕（→ P.88）は設定できません。

印刷品質を設定する

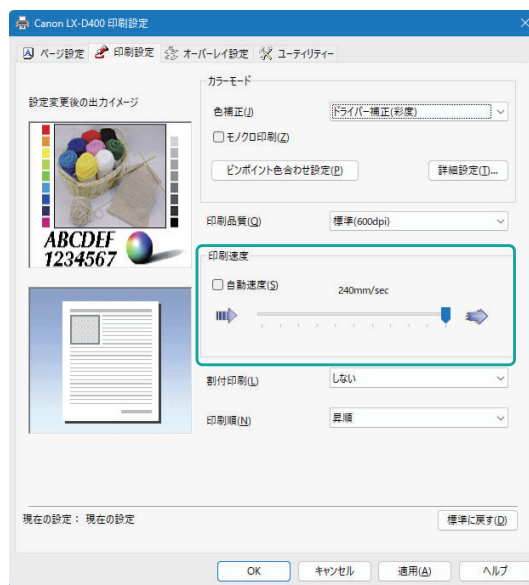
印刷するときの、印刷品質を設定します。



[速い (300 dpi)]	データを 300 dpi × 300 dpi の解像度で処理して印刷します。
[標準 (600 dpi)]	データを 600 dpi × 600 dpi の解像度で処理して印刷します。
[きれい (1200 dpi)]	データを 1200 dpi × 1200 dpi の解像度で処理して印刷します。

印刷速度を設定する

印刷する速度を変更して印刷することができます。初期値は、[240 mm/sec] に設定されています。
[自動速度] にチェックを入れると、印刷データの送信状況、画像の濃さに合わせて自動的に速度が変化します。



重要

- [自動速度] にチェックを入れてファンフォールド紙に印刷するとき
印刷ムラが発生する場合は [自動速度] のチェックを外して、手動で印刷速度を遅くしてください。
- 光沢紙 / 白 PET に印刷するとき
[用紙種類] が [光沢紙] または [白 PET] の場合は、印刷速度が最高 100 mm/sec に変更され、[自動速度] を選択できなくなります。手動で 100 mm/sec より速い設定にすることもできますが、インクの乾燥が不十分なまま搬送されて印刷面やプリンター内部を汚すおそれがあります。
印刷速度をより速い設定する場合は、テストプリントを行ってから変更することをおすすめします。
- 高光沢紙に印刷するとき
[用紙種類] が [高光沢紙] の場合は、印刷速度が 50 mm/sec に変更され、[自動速度] を選択できなくなります。手動で 50 mm/sec より速い設定にすることもできますが、インクの乾燥が不十分なまま搬送されて印刷面やプリンター内部を汚すおそれがあります。
印刷速度をより速い設定する場合は、テストプリントを行ってから変更することをおすすめします。
- バックフィードなし印刷を設定しているとき
[バックフィードなし印刷] が選択されている場合は、印刷速度が 50 mm/sec に変更され、[自動速度] を選択できなくなります。手動で 50 mm/sec より速い設定にすることもできますが、100 mm/sec より早く設定されているときは自動的に 100mm/sec 以下に変更されます。また、カットする長さによっては設定した速度より低速で搬送されることがあります。

- ・ [光沢紙] [白 PET] [高光沢紙] から他の用紙種類へ変更したとき
[光沢紙]、[白 PET] または [高光沢紙] を選択すると印刷速度は低速（50mm/sec または 100mm/sec）になります。他の用紙種類に変更した時は、印刷速度を [自動速度] にチェックを入れるか、または手動で変更してください。



メモ

- ・ 通常は一番右端の位置にスライダーがあります。右から左へスライダーを動かすことにより、段階的に遅い印刷速度へ変更することができます。用紙巻取装置などの後工程装置とタイミングを合わせたい場合や、速度によって画像に影響が出る場合に調整してください。

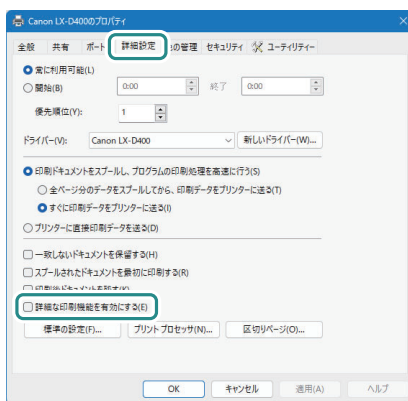
複数のページを1ページにまとめて印刷する

1枚の用紙に複数ページの原稿を並べて印刷します。[しない]、[2面]、[4面]、[6面]、[9面]、[16面]から選びます。



重要

- この機能を使う場合は、印刷する前に以下の手順でプロパティの設定を変更してください。
 - プリンターのプロパティ画面を表示します。(→ P.60)
 - [. 詳細設定] タブをクリックし、「詳細な印刷機能を有効にする」にチェックマークを入れます。



メモ

- 割り付け印刷の印刷イメージは、プレビューで確認できます。

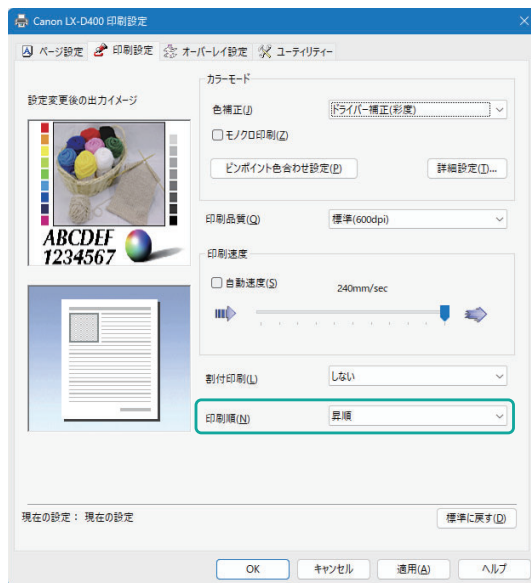


- [割り付け印刷]を行う場合（[しない]以外を選択）、[印刷順]（→ P.108）は設定できません。昇順で印刷されます。

印刷順を設定する

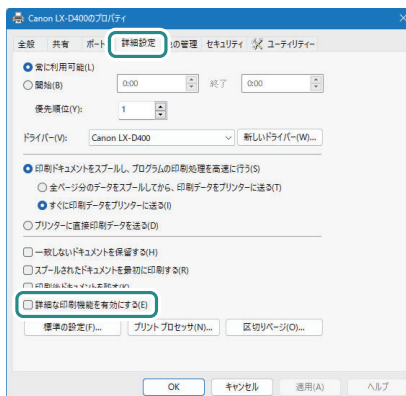
印刷する順序を設定します。

先頭ページから印刷する場合には「昇順」、最終ページから印刷する場合は「降順」を選びます。



重要

- この機能を使う場合は、印刷する前に以下の手順でプロパティの設定を変更してください。
 - プリンターのプロパティ画面を表示します。(→ P.60)
 - 「詳細設定」タブをクリックし、「詳細な印刷機能を有効にする」にチェックマークを入れます。



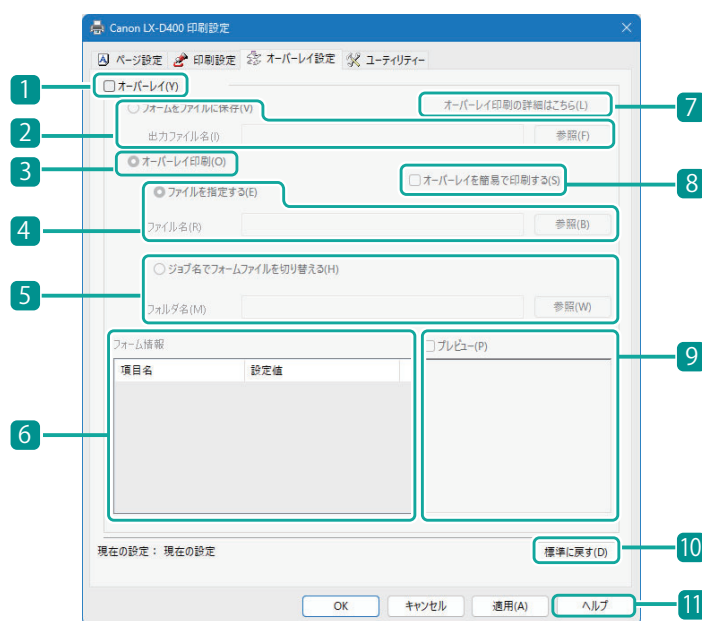
メモ

- 「割付け印刷」(→ P.107)を行う場合(「しない」以外を選択)、印刷順は設定できません。昇順で印刷されます。

[オーバーレイ設定] シートを使う

[オーバーレイ] シートについて説明します。

オーバーレイ印刷では、あらかじめ背景画像をフォームファイルとして作成しておき、印刷時に前景となる画像や文字と合成してすることができます。



1	オーバーレイ	チェックを入れるとオーバーレイ印刷が可能になります。
2	フォームをファイルに保存	フォームファイル作成の設定を行います。
3	オーバーレイ印刷	オーバーレイ印刷に関する設定を行います。
4	ファイルを指定する	オーバーレイに使用するフォームファイルのファイルパス、またはフォームファイルの保存先を指定します。
5	ジョブ名でフォームファイルを切り替える	オーバーレイに使用するフォームファイルを、ジョブ名で指定します。
6	フォーム情報	[ファイル名] で選択したフォームファイルの印刷設定情報が表示されます。
7	オーバーレイ印刷の詳細はこちら	オーバーレイ印刷のヘルプを表示します。
8	オーバーレイを簡易で印刷する	チェックボックスにチェックを入れると、フォームファイルと印刷データの処理が通常より早くなります。 重要 処理方法を変更するとイメージ通りの印刷結果を得られない場合があります。変更する前に、テスト印刷をして印刷結果を確認することをおすすめします。
9	プレビュー	チェックボックスにチェックを入れると、[ファイル名] で選択したファイルをプレビュー表示します
10	標準に戻す	オーバーレイ設定を標準の設定に戻します。

11 ヘルプ	ボタンをクリックすると、オンライン上に公開されているユーザーズガイドが表示されます。 オフライン環境でパソコンをご使用の場合は、ユーザーズガイドをパソコン内に登録する必要があります。詳しくは「プリンタードライバーインストールガイド」をご参照ください。  メモ • Microsoft Edge をご利用の場合は、最新版にアップデートしたうえでご覧ください。
--------	---

オーバーレイ印刷とは

〔オーバーレイ設定〕シートではオーバーレイ印刷の設定ができます。

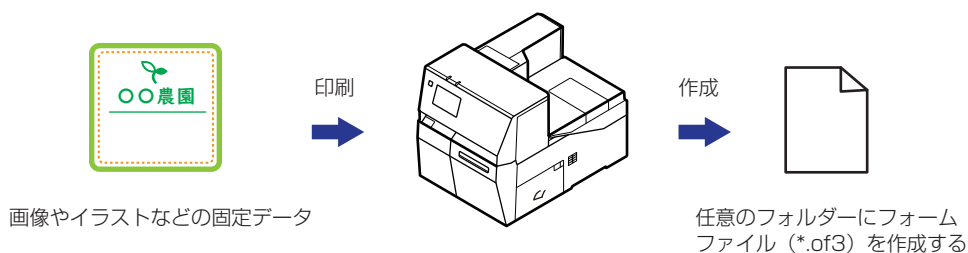
オーバーレイ印刷とは、すべてのページに共通して印刷される固定データをあらかじめ「フォームファイル」として作成しておき、原稿（文字などの可変データ）を印刷したときにプリンター内部で2つのデータを合成して印刷する機能です。

画像を多く配置したテンプレートを使用しているデータなどは、データ容量の大きい画像データを何度もプリンターに送信することなく印刷できるため、よりスピーディーな印刷が可能となります。

● オーバーレイ印刷の流れ

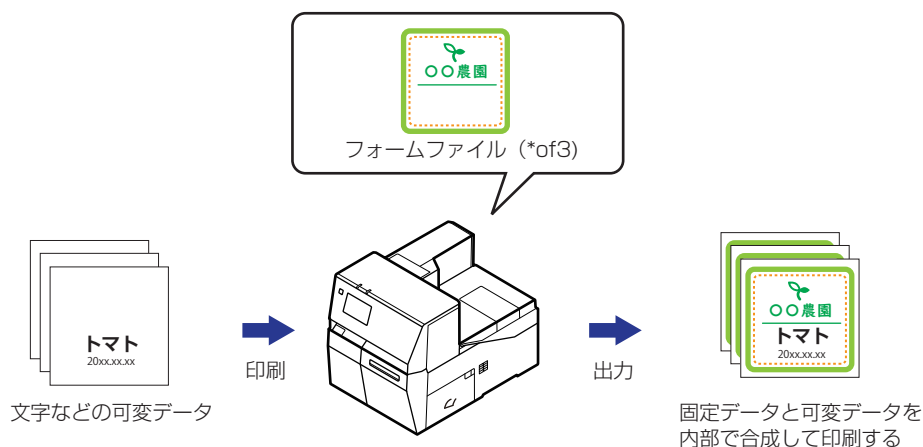
Step1：画像やイラストなどの固定データを印刷し、フォームファイルを作成します。

➡ フォームをファイルに保存する (P. 112)



Step2：文字などの可変データを印刷し、オーバーレイ印刷を実行します。

➡ オーバーレイ印刷を行う (P. 114)



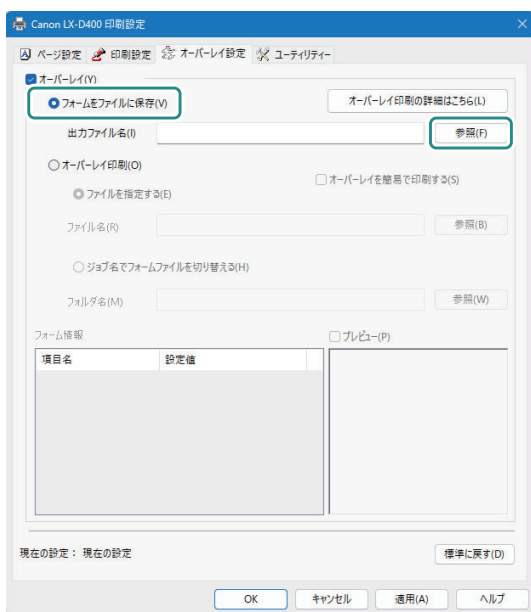
フォームをファイルに保存する

固定データ（テンプレートなど）をプリンターに保存し、フォームファイルを作成します。

- 1 フォームファイルとなるデータを、作成したアプリケーションソフトで開く
- 2 アプリケーションソフトからプリンタードライバの設定画面を表示する
➡ アプリケーションソフトから印刷設定画面を表示する (P. 59)
- 3 「オーバーレイ設定」タブをクリックし、「オーバーレイ」にチェックマークを入れる



- 4 「フォームをファイルに保存」を選び、「参照」をクリックする



5 フォームファイルの保存場所と「ファイル名」を指定し、「保存」をクリックする

6 「OK」をクリックする

7 アプリケーションソフトの「印刷」ダイアログボックスから「印刷」（または「プリント」）をクリックする

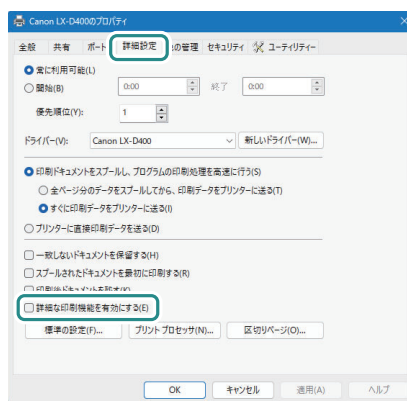
指定場所にフォームファイル（*.of3）が保存されます。



- 複数ページの印刷データをフォームファイルとして作成した場合でも、1つのファイルとして保存します。

重要

- サーバクライアント環境でオーバーレイ印刷する場合は、次のように設定する必要があります。
 - フォームファイル（*.of3）は、サーバー側とクライアント側の双方から参照できる共有フォルダーに保存する
 - 「ファイル名」（フォームファイル（*.of3）の保存場所）は、ネットワーク上から双方が参照できるパス名で指定する（例：\\PC-Common\FormFolder\file.of3）
- 上記を設定してもオーバーレイ印刷ができない場合は、次の手順で、プリンタードライバーのスプール形式が「RAWモード」になっているか確認してください。
 1. プリンターのプロパティ画面を表示します。（→ P.60）
 2. 「詳細設定」タブをクリックし、「詳細な印刷機能を有効にする」の項目を確認します。
チェックマークがついている場合はチェックマークを外します。



スプール形式がRAWモードに設定されます。

オーバーレイ印刷を行う

作成したフォームファイルを使って、オーバーレイ印刷をします。
オーバーレイ印刷には以下の2種類の方法があります。

- ➡ フォームファイルを指定して印刷する (P. 114)
- ➡ ジョブ名でフォームファイルを切り替えて印刷する (P. 117)

■ フォームファイルを指定して印刷する

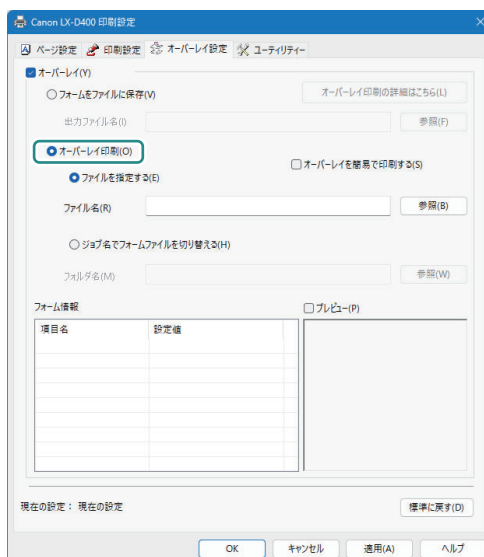
1 プリンタードライバーの印刷設定画面を開く

- ➡ Windows の設定から印刷設定画面を表示する (P. 59)

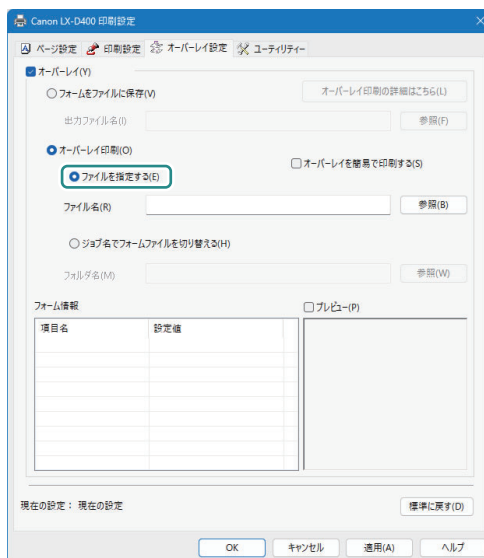
2 「オーバーレイ設定」シートの「オーバーレイ」にチェックを入れる



3 「オーバーレイ印刷」にチェックを入れる

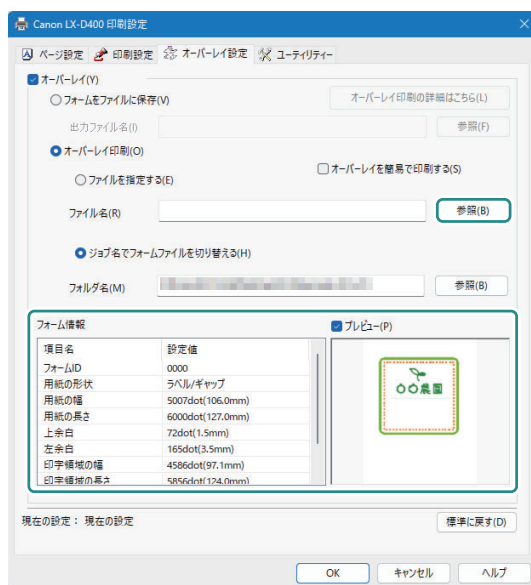


4 「ファイルを指定する」にチェックを入れる



5 [参照] をクリックして作成したフォームファイル (*.of3) を選ぶ

[フォーム情報] を確認します。[プレビュー] にチェックを入れると、フォームファイルのプレビューが表示されます。



メモ

- ・ [オーバーレイを簡易で印刷する] にチェックマークを入れて印刷すると、通常のオーバーレイ印刷（チェックマークが入っていないとき）よりも高速に印刷処理を行うことができます。ただし、フォームファイルと原稿が重なる部分も印刷するため、重なった部分は色が混ざり合って印刷されます。通常のオーバーレイ印刷（チェックマークが入っていないとき）では、フォームファイルと原稿の重なる部分は印刷しないため、原稿のイメージどおりに印刷されます。

6 [OK] をクリックする

7 印刷を実行する

印刷データがフォームファイルと重なって印刷されます。

■ ジョブ名でフォームファイルを切り替えて印刷する

ジョブ名とはプリンターキューに表示される印刷ジョブの名称で、通常は印刷ファイル名がそのままジョブ名になります。

例) 印刷ファイル名: 商品 A.xlsx

ジョブ名: 商品 A.xlsx

・印刷ファイル名のつけ方

あらかじめ印刷ファイル名を編集し、印刷ファイル名に " @ " ではさんだフォームファイル名 (拡張子を除く) を付け加えることで、適用するフォームファイルを指定できます。

例) もとの印刷ファイル名: 商品 A.xlsx

適用するフォームファイル名: フォーム B.of3

変更後の印刷ファイル名: 商品 A@ フォーム B@.xlsx

変更後の印刷ファイル名にすることにより、ジョブ名が「商品 A@ フォーム B@.xlsx」となり、フォームファイル「フォーム B.of3」を指定することができます。

メモ

- ・ジョブ名で指定するフォームファイルは印刷データと同じフォルダー内に保存されている必要があります。
- ・プリンターキューは、以下の手順で開くことができます。
 1. [設定] → [Bluetooth とデバイス] → [プリンターとスキャナー] を選ぶ
 2. 本プリンターをクリックし [プリンターキューを開く] を選ぶ
- ・ご使用になるアプリケーションによってはファイル名とジョブ名と一致しないことがあります。
この場合はジョブ名でフォームファイルを指定できないため、「[フォームファイルを指定して印刷する \(P. 114\)](#)」の手順に従ってオーバーレイ印刷を行ってください。

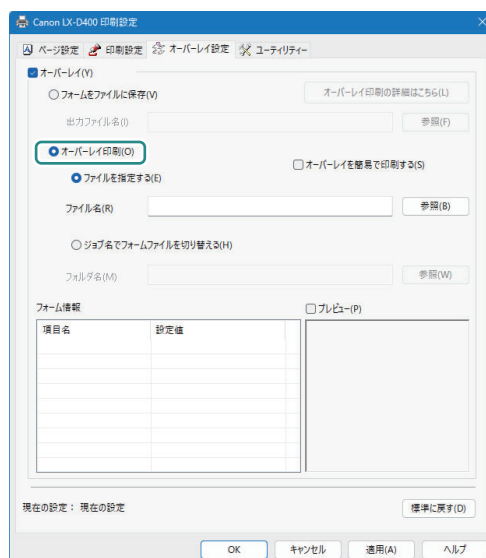
1 プリンタードライバーの印刷設定画面を開く

➡ [Windows の設定から印刷設定画面を表示する \(P. 59\)](#)

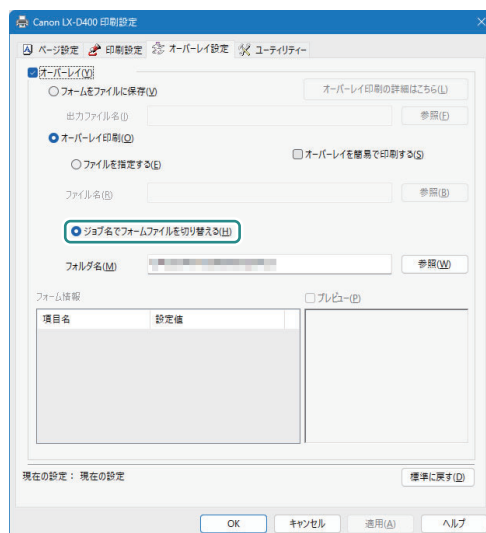
2 「オーバーレイ設定」シートの「オーバーレイ」にチェックを入れる



3 「オーバーレイ印刷」にチェックを入れる



4 [ジョブ名でフォームファイルを切り替える]にチェックを入れる

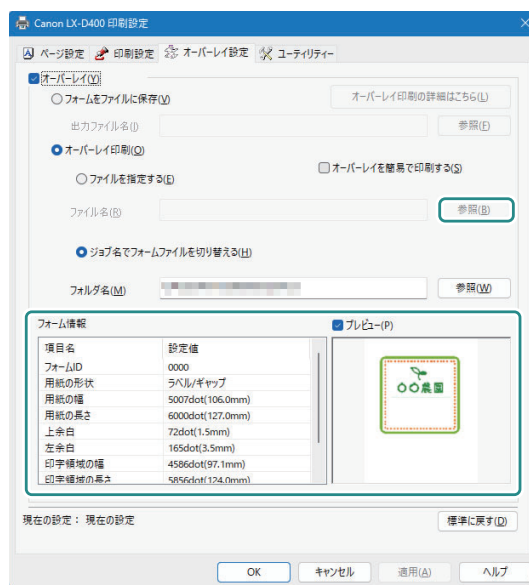


メモ

- 印刷設定情報が印刷データとフォームファイルとで異なっている場合、オーバーレイ印刷はできません。ただし、原稿をモノクロで印刷する場合は、フォームデータと色数が異なっても、オーバーレイ印刷を行うことができます。
- フォームファイルによっては、[フォームファイル情報]や[プレビュー]が表示されないことがあります。

5 [参照] をクリックして作成した印刷データ (*.xlsx) を選ぶ

[フォームファイル情報] と [プレビュー] を確認します。



メモ

- ・ [オーバーレイを簡易で印刷する] にチェックマークを入れて印刷すると、通常のオーバーレイ印刷（チェックマークが入っていないとき）よりも高速に印刷処理を行うことができます。ただし、フォームファイルと原稿が重なる部分も印刷するため、重なった部分は色が混ざり合って印刷されます。通常のオーバーレイ印刷（チェックマークが入っていないとき）では、フォームファイルと原稿の重なる部分は印刷しないため、原稿のイメージどおりに印刷されます。

6 [OK] をクリックする

7 印刷を実行する

印刷データがフォームファイルと重なって印刷されます。

[ユーティリティ] シートを使う

[ユーティリティ] シートについて説明します。

[ユーティリティ] シートでは、プリンターのメンテナンス、ステータスマニターの起動、プリンターの節電機能などに関する設定を行います。



1	クリーニング（弱）	プリントヘッドをクリーニングします。 クリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善します。 インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。（→ P.291）
2	クリーニング（中）	
3	クリーニング（強）	
4	ヘッド位置調整 *	プリントヘッドの位置を調整します。（→ P.295）
5	ログ設定	プリンターの設定値ファイルとログファイルを出力します。（→ P.123）
6	ヘルプ設定	ヘルプを参照する際の接続先を設定します。詳しくは「プリンタードライバーインストールガイド」をご覧ください。
7	スリープ	プリンターをスリープ状態にします。（→ P.125）
8	ステータスマニター起動	ステータスマニターを表示します。（→ P.143）
9	ピンポイント色合わせ *	印刷結果を思ったとりの色味に近づけたい色を、プリンタードライバーに登録します。（→ P.88）
10	ユーザー用紙情報設定 *	印刷に使用するインクの量を変更します。（→ P.126）
11	屋内移動準備 *	本プリンターを同一フロア内または別の階のフロアなどに移動するときの準備を行います。（→ P.272）

12 輸送準備 *	本プリンターをトラックや航空機などで長距離の輸送をする場合の準備を行います。(→ P.278)
13 設定移行ユーティリティ起動 *	設定移行ユーティリティを起動します。(→ P.129)
14 Language Settings	ドライバーの表示言語を設定します。
15 ヘルプ	ボタンをクリックすると、オンライン上に公開されているユーザーズガイドが表示されます。 オフライン環境でパソコンをご使用の場合は、ユーザーズガイドをパソコン内に登録する必要があります。詳しくは「プリンタードライバーインストールガイド」をご参照ください。  メモ • Microsoft Edge をご利用の場合は、最新版にアップデートしたうえでご覧ください。

* プリンターのプロパティ画面の [ユーティリティ] シートに表示される項目

プリンターのプロパティ画面の [ユーティリティ] シートと、印刷設定画面の [ユーティリティ] シートでは、設定できる項目が異なります。

重要

- [ユーティリティ] シートの各項目の設定を行うときは、プリンターの電源が入っていて、パソコンと接続されている必要があります。
- 本プリンターの管理者権限が必要な [ユーティリティ] シートの設定について
プリンターのプロパティ画面で表示される [ユーティリティ] シートの項目 (* の項目) を設定するときは、本プリンターの管理者 (本プリンターのドライバーをインストールしたユーザー) 権限が必要です。管理者権限を持たないユーザーが設定を行う場合は、管理者権限を持つユーザーにお問い合わせの上、次の手順で操作を進めてください。
 1. プリンターのプロパティ画面を表示する (→ P.60)
プリンターのプロパティ画面が表示されます。
 2. [全般] シートの [プロパティの変更] をクリックします。
[ユーザーアカウント制御] の画面が表示されたときは、本プリンターの管理者のパスワードを入力してください。

設定値を確認する / ログ出力を設定する

本プリンターに設定されている設定値を出力したり、印刷時のログデータの保存設定を行います。

メモ

- プリンターが「オンライン」または「スリープ」でない状態の場合、設定値やログの出力を行えません。操作する前にプリンターの状態を確認してください。

➡ ステータスマニターの起動と表示方法 (P. 144)

■ 設定値を確認する

1 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

➡ プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)

2 [ユーティリティ] シートの [ログ設定] をクリックする

ダイアログボックスが表示されます。



メモ

- 設定値出力先は、初期設定で下記の場所に設定されています。
C: ¥Users¥Public¥Documents¥Canon¥Canon LX-D400¥Log
出力先のフォルダーや書き出したファイル名を自由に設定したい場合は [参照] を押し、表示されたダイアログボックスで設定してください。

3 出力の設定を確認して、[実行]をクリックする

現在プリンターに設定されている情報が所定のフォルダーに書き出されます。
書き出されたテキストデータを開いて、各項目の設定値を確認してください。

メモ

- 設定値はテキストファイル（拡張子：.txt）で書き出されます。
 - 設定値出力で書き出される項目は以下の通りです。
- | | | |
|------------|--------------|------------------|
| ・ 用紙サイズ | ・ 用紙種類 | ・ 印刷部数 |
| ・ 印刷の向き | ・ 180 度回転 | ・ 選択した縦横の向きで印刷する |
| ・ オートカッター | ・ ジョブの始めにカット | ・ ジョブの終わりにカット |
| ・ 印刷途中のカット | ・ カット間隔 | ・ 色補正 |
| ・ モノクロ印刷 | ・ 印刷品質 | ・ 印刷速度 |
| ・ 割付印刷 | ・ 印刷順 | ・ ピンポイント色合わせ設定 |
| ・ 印刷色確認 | ・ インク節約モード | ・ カラーバランス |
| ・ ハーフトーン処理 | ・ 明るさ調整 | ・ シャープネス |
| ・ 濃度 | ・ コントラスト | ・ オーバーレイ |
| ・ 印刷モード | ・ プレビュー | ・ オーバーレイを簡易で印刷する |

■ ログ出力を設定する

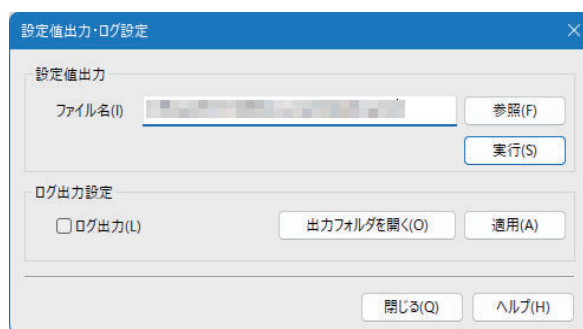
プリンターの動作ログファイルを USB メモリーに保存するときに使用します。サービス担当者から、プリンターの修理・メンテナンス用に、このログファイルの回収をお願いする場合があります。

1 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

➡ プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)

2 [ユーティリティ] シートの [ログ設定] をクリックする

ダイアログボックスが表示されます。



3 [ログ出力] にチェックマークを入れ、[適用] を押す

メモ

- 印刷設定から [ユーティリティ] シートを開いた場合、[ログ出力設定] はグレースケールで表示され使用できません。

スリープ状態に切り替える

本プリンターをスリープ状態に切り替えます。

メモ

- 印刷中は、スリープ状態に切り替えることができません。
- 通常状態で一定時間印刷が行われないと、自動的にスリープ状態に切り替わります。ただし、スリープタイマーを [OFF] に設定している場合は、自動的にスリープ状態に切り替わることはありません。
- スリープモードへの移行時間は、自由に設定することができます。詳しい手順は「[電源オフ / スリープ状態への移行時間を変更する \(P. 198\)](#)」をご覧ください。
- スリープ状態では、次のような場合に自動的に通常状態（印刷できる状態）に切り替わります。
 - 電源キーが押されたとき
 - 印刷データを受信したとき
 - クリーニングなどの操作が行われたとき

1 プリンターがオンライン状態になっていることを確認する

ステータスランプが点灯していることを確認してください。

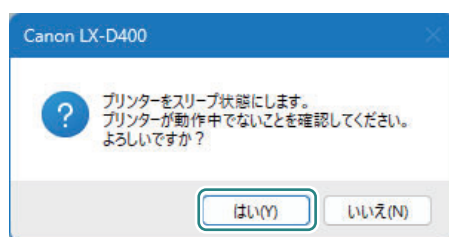
2 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

➡ [プリンターのプロパティ画面を表示する \(P. 60\)](#)

3 [ユーティリティ] シートの [スリープ] をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

4 [はい] をクリックする



タッチパネルに「スリープ移行中 しばらくお待ちください」と表示され、スリープモードに移行します。

メモ

- プリンターの操作パネルからも、スリープ状態に切り替えることができます。
 - ➡ [スリープ状態にする \(P. 11\)](#)

インクの使用量を変更して印刷する

印刷に使用するインクの量を変更して印刷します。

カラーバランスや濃度などの印刷設定の設定範囲を超えて、全体的な濃淡を調整できます。

インクの使用量を変更して印刷するときは、あらかじめ、インクの使用量を設定した新しい用紙種類を登録する必要があります。

重要

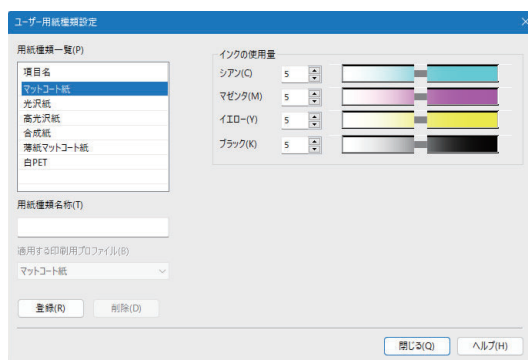
- 用紙種類は 100 種類まで登録できます。
- あらかじめ登録されている用紙種類（マットコート紙、光沢紙、合成紙、薄紙マットコート紙、白 PET）には、変更や登録ができません。
- 新しく登録された用紙種類を使用する場合、ユーティリティの「ピンポイント色合わせ」（→ P.88）は設定できません。
- インクの使用量を増やして印刷するとき
通常よりもインクを多く使用します。そのため、印刷に時間がかかったり、画像がにじんだりする場合があります。その場合は、印刷速度を下げてください。（→ P.105）
 - インクが乾くまでに、通常より長い時間がかかります
インクが乾くまでは印刷面に触れないでください。濃度が高すぎる箇所は、インクが完全に乾かない場合があります。完全に乾いていない状態の印刷面に振れると、手や衣服が汚れることがあります。
 - 搬送部が汚れることがあります
印刷した用紙が汚れる場合は、搬送部を清掃してください。
 - 印刷速度の設定で「自動速度」は選択できません

1 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

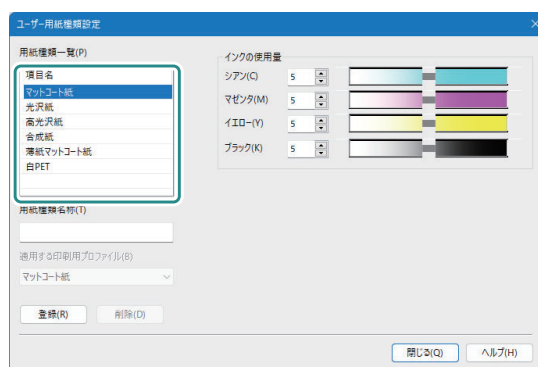
➡ プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)

2 「ユーティリティ」シートの「ユーザー用紙種類設定」を選ぶ

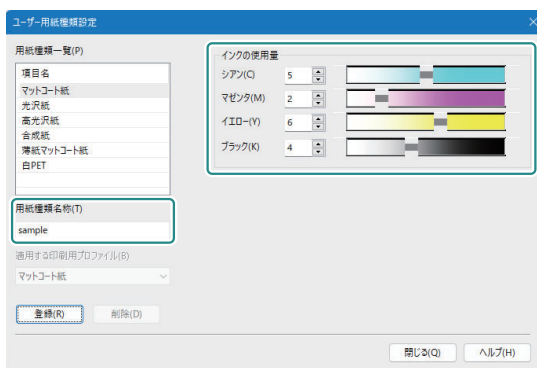
「ユーザー用紙種類設定」ダイアログが表示されます。



3 「用紙種類一覧」から、適用する印刷プロファイルの用紙種類を選びます。

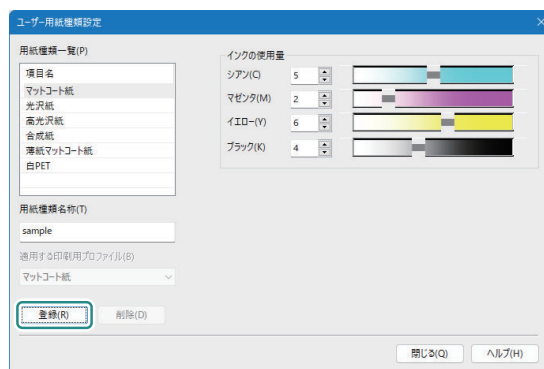


4 新しい用紙種類の情報を入力します。



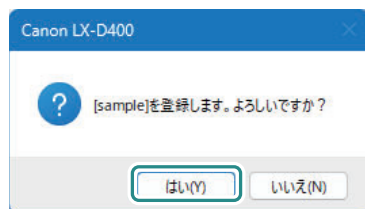
名称	新しい用紙種類の名称を入力します。 半角、全角ともに 31 文字まで入力できます。
インクの使用量	それぞれの色のインクの使用量を設定します。 スライダーを右にスライドさせるほどインクの使用量を増やし、左にスライドさせるほどインクの使用量を減らします。  メモ 何度か印刷テストを行ってから、用紙に合った数値を設定することをおすすめします。

5 「登録」をクリックします。

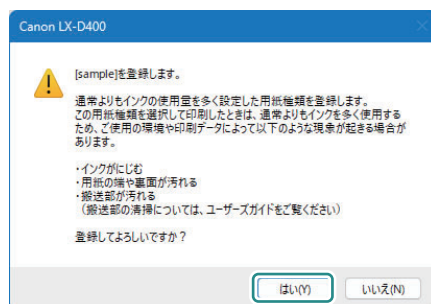


確認のメッセージが表示されます。

6 「はい」をクリックします。



- インクの使用量を増やした用紙種類を登録する場合は、次のような確認のメッセージが表示されます。表示された内容を確認したあと、「はい」をクリックしてください。



「用紙種類一覧」に新しい用紙種類が登録されます。

7 「閉じる」をクリックします。

プリンタードライバーの設定情報を移行する

「設定移行ユーティリティ」を使うと、プリンタードライバーに登録した設定内容を別のプリンタードライバーで読み込む（インポートする）ことや、その設定内容をファイル保存する（エクスポートする）ことができます。たとえば、プリンターを増設したときに、同じ設定内容を再登録する必要がなく、登録済みの設定を使って印刷できます。

メモ

- ・ インポート / エクスポートできる設定内容は次のとおりです。
 - 「ページ設定」シートの「お気に入り」に登録されている印刷設定
 - 「ページ設定」シートの「用紙サイズ」に登録されている用紙サイズ
- ・ インポート / エクスポートには次のような制限があります。
 - 対応プリンターは、LX-D400、LX-P5500 です。
 - 異なる機種間でインポートできるのは「用紙サイズ」情報のみです。また、インポート時はプリンタードライバーから直接読み込んでください。詳しい操作手順は「[プリンタードライバーから直接インポートする \(P. 139\)](#)」をご覧ください。

■ 設定情報をエクスポートする

プリンタードライバーの設定内容をファイルに保存します。

プリンタードライバーの設定情報のエクスポートには、以下の2つの方法があります。

- ・ **設定情報を一括でエクスポートする (P.130)**

プリンタードライバーに登録されている設定情報（お気に入り、ユーザー用紙サイズ）を、まとめて一括で保存します。

- ・ **設定情報を選んでエクスポートする (P.132)**

設定情報の一覧から、必要な項目だけを選択して保存します。また、既存のエクスポートファイルを読み込んで、設定を追加登録することも可能です。

📖 メモ

- ・ 設定情報は、ファイルに保存せずに、プリンタードライバーから直接読み込むこともできます。

➡ **プリンタードライバーから直接インポートする (P.139)**

● 設定情報を一括でエクスポートする

1 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

➡ **プリンターのプロパティ画面を表示する (P.60)**

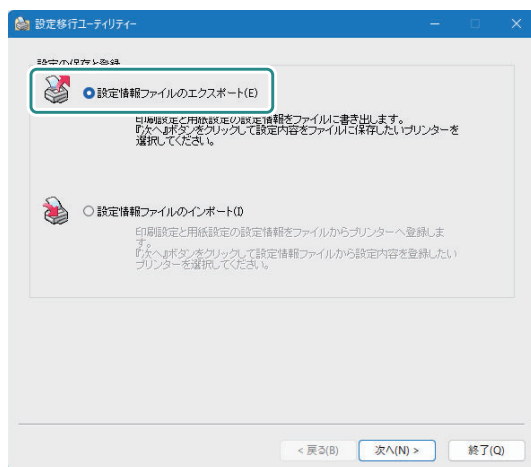
2 [ユーティリティ] シートの [設定移行ユーティリティ起動] をクリックする

設定移行ユーティリティが起動します。

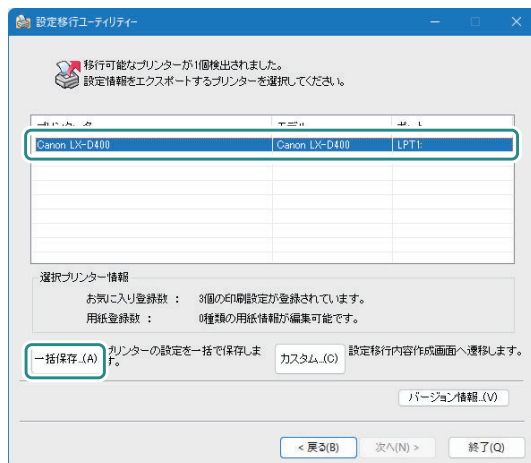
📖 メモ

- ・ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい] をクリックしてください。

3 [設定情報ファイルのエクスポート] を選び、[次へ] をクリックする



4 エクスポートするプリンター（ドライバー）を一覧から選び、[一括保存]をクリックする



「設定移行データ確認」ダイアログボックスが表示されます。

5 [OK] をクリックする

エクスポートファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

6 ファイルの保存場所を選び、ファイル名 (*.tdd) を入力する

7 [保存] をクリックする

エクスポートファイルが保存されます。エクスポートの方法に合わせて操作する

8 [OK] をクリックする

9 設定移行ユーティリティを終了する

[終了] をクリックします。

● 設定情報を選んでエクスポートする

1 プリンタードライバのプロパティ画面を開く

➡ プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)

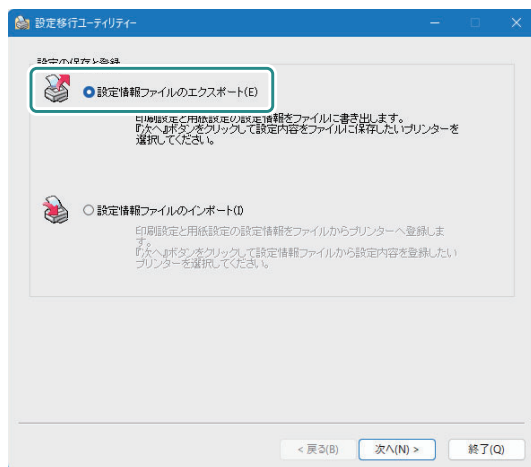
2 [ユーティリティ] シートの [設定移行ユーティリティ起動] をクリックする

設定移行ユーティリティが起動します。

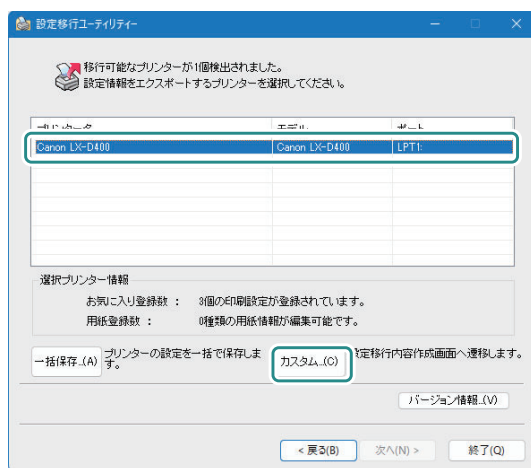


- ・「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

3 [設定情報ファイルのエクスポート] を選び、[次へ] をクリックする



4 エクスポートするプリンター（ドライバー）を一覧から選び、[カスタム] をクリックする



「移行データ作成」ダイアログボックスが表示されます。

5 プリンタードライバーに登録されている設定情報の中から、エクスポートファイルに保存する情報を選ぶ

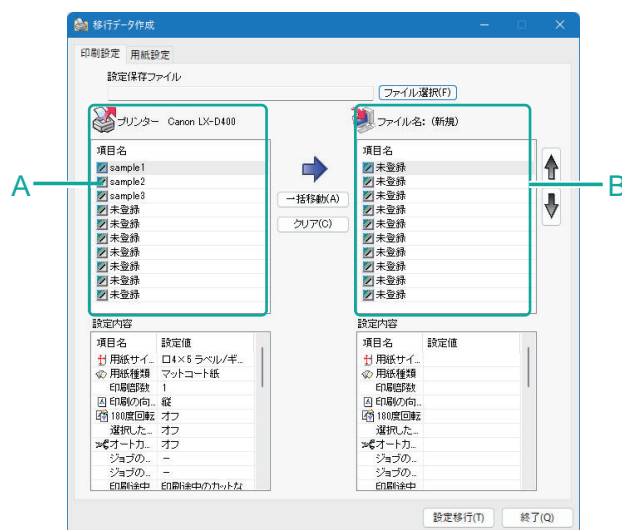
エクスポート対象の設定情報は、以下の2つのシートに分類されています。各シートから、必要な設定を選んで保存してください。

〔印刷設定〕シート：

〔ページ設定〕シートの〔お気に入り〕に登録されている印刷設定の中から、エクスポートファイルに保存する設定を選択します。

〔用紙設定〕シート：

〔ページ設定〕シートの〔用紙サイズ〕に登録されているユーザー用紙サイズの中から、エクスポートファイルに保存する設定を選択します。



A（プリンタードライバーに登録されている設定）から B（エクスポートファイルに保存する設定）へ、設定をドラッグアンドドロップで登録できます。

「未登録」の位置にドロップした場合：

設定はリストに追加されます。

すでに登録されている項目名（用紙名）の上にドロップした場合：

その項目名（用紙名）の設定が上書きされます。

すべての設定を一括で登録する場合：

〔一括移動〕をクリックしてください。一括移動すると、既存の設定情報をすべて上書きします。

メモ

- ・印刷設定は最大 10 個まで、用紙設定は最大 50 種類までを登録できます。
- ・エクスポートファイルに保存する設定の順序を入れ替えたいときは、設定項目の横にある上下ボタンを使用してください。
- ・A（プリンタードライバーに登録されている設定）の項目名（用紙名）は、選択した状態でもう一度クリックすると編集可能になり、名称を変更できます。
- ・B（エクスポートファイルに保存する設定）を元の状態に戻したい場合は、〔クリア〕をクリックしてください。
- ・既存のエクスポートファイルに設定を追加して保存したい場合は、〔ファイル選択〕をクリックし、対象のファイルを指定してください。

6 「設定移行」をクリックする

「設定移行データ確認」ダイアログボックスが表示されます。

7 「OK」をクリックする

エクスポートファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

8 ファイルの保存場所を選び、ファイル名（*.tdd）を入力する

9 「保存」をクリックする

エクスポートファイルが保存されます。

10 「OK」をクリックする

11 設定移行ユーティリティを終了する

「終了」をクリックします

■ 設定内容をインポートする

プリンタードライバーの設定情報のインポートは、次のいずれかの方法で行うことができます。

- ・ **エクスポートファイルをインポートする (P.135)**

あらかじめ、プリンタードライバーの設定情報を保存したファイル（エクスポートファイル）を作成しておき、ファイルから設定情報を読み込みます。

- ・ **プリンタードライバーから直接インポートする (P.139)**

他の LX-D400 プリンタードライバー、または LX-D5500 のプリンタードライバーから、設定情報を直接読み込みます。

● エクスポートファイルをインポートする

1 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

➡ **プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)**

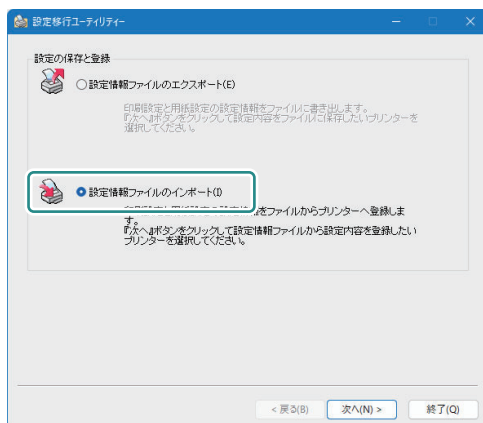
2 [ユーティリティ] シートの [設定移行ユーティリティ起動] をクリックする

[設定移行ユーティリティ] が起動します。

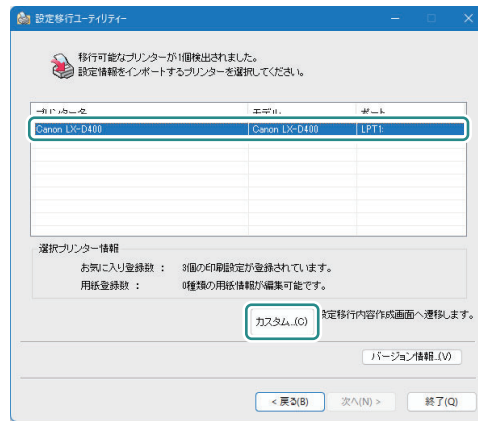


- ・ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい] をクリックしてください。

3 [設定情報ファイルのインポート] を選び、[次へ] をクリックする



4 インポートするプリンター（ドライバー）を一覧から選び、[カスタム]をクリックする



「移行データ作成」ダイアログボックスが表示されます。

5 [ファイル選択]をクリックする

6 エクスポートファイル (*.tdd) を選び、[開く]をクリックする

7 エクスポートファイルに保存されている設定情報の中から、プリンタードライバーに読み込む設定情報を選ぶ

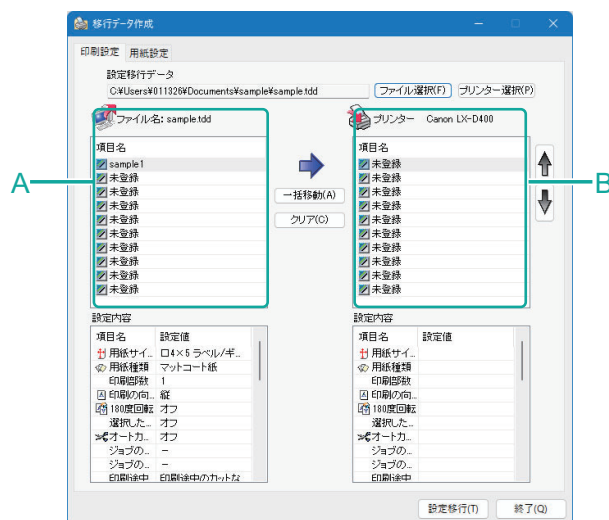
読み込み対象の設定情報は、以下の2つのシートに分類されています。各シートから、必要な設定を選んで読み込んでください。

〔印刷設定〕シート：

エクスポートファイルに保存されている印刷設定の中から、プリンタードライバーの〔ページ設定〕シートの〔お気に入り〕に登録する設定を選択します。

〔用紙設定〕シート：

エクスポートファイルに保存されているユーザー用紙サイズの中から、〔ページ設定〕シートの〔用紙サイズ〕に登録する設定を選択します。



A(エクスポートファイルに保存されている設定)からB(プリンタードライバーに登録されている設定)へ、設定をドラッグアンドドロップで登録できます。

「未登録」の位置にドロップした場合：

設定はリストに追加されます。

すでに登録されている項目名（用紙名）の上にドロップした場合：

その項目名（用紙名）の設定が上書きされます。

すべての設定を一括で登録する場合：

〔一括移動〕をクリックしてください。一括移動すると、既存の設定情報をすべて上書きします。

メモ

- 印刷設定は最大10個まで、用紙設定は最大50種類までを登録できます。
- プリンタードライバーに保存する設定の順序を入れ替えたいときは、設定項目の横にある上下ボタンを使用してください。
- A(エクスポートファイルに保存されている設定)の項目名(用紙名)は、選択した状態でもう一度クリックすると編集可能になり、名称を変更できます。
- B(プリンタードライバーに登録されている設定)を元の状態に戻したい場合は、〔クリア〕をクリックしてください。
- AとBに同じ項目名(用紙名)が存在する場合、A側の項目名(用紙名)は赤くマーキングされます。赤くマーキングされた項目名(用紙名)は、Bに登録することができません。別の印刷設定(用紙設定)として登録したい場合は、A側の項目名(用紙名)を変更してから再度操作を行ってください。

8 「設定移行」をクリックする

「設定移行データ確認」ダイアログボックスが表示されます。

9 「OK」をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

10 「OK」をクリックする

インポートが完了します。

11 「OK」をクリックする

12 設定移行ユーティリティを終了する

「終了」をクリックします。

● プリンタードライバーから直接インポートする

1 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

➡ プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)

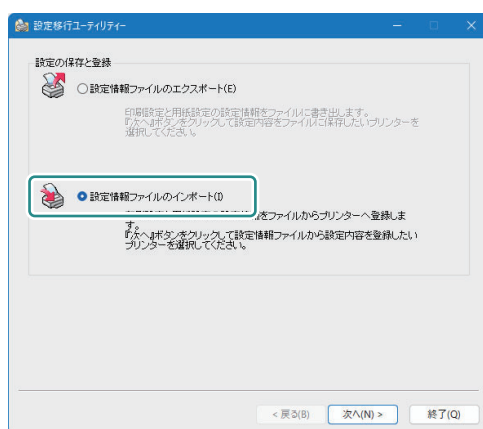
2 [ユーティリティ] シートの [設定移行ユーティリティ起動] をクリックする

[設定移行ユーティリティ] が起動します。

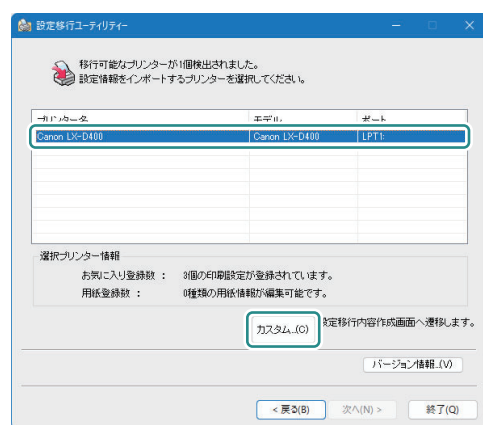


- ・「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい] をクリックしてください。

3 [設定情報ファイルのインポート] を選び、[次へ] をクリックする



4 インポートするプリンター（ドライバー）を一覧から選び、[カスタム] をクリックする



「移行データ作成」ダイアログボックスが表示されます。

5 [プリンター選択] をクリックする

6 移行元となるプリンターを選び、[OK] をクリックする

7 移行元のプリンターに保存されている設定情報の中から、プリンタードライバーに読み込む設定情報を選ぶ

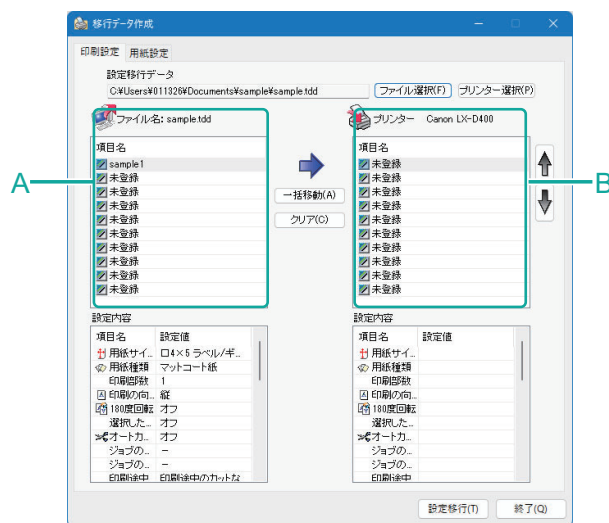
読み込み対象の設定情報は、以下の2つのシートに分類されています。各シートから、必要な設定を選んで読み込んでください。

〔印刷設定〕シート：

移行元のプリンターに保存されている印刷設定の中から、プリンタードライバーの〔ページ設定〕シートの〔お気に入り〕に登録する設定を選択します。

〔用紙設定〕シート：

移行元のプリンターに保存されているユーザー用紙サイズの中から、〔ページ設定〕シートの〔用紙サイズ〕に登録する設定を選択します。



A（移行元のプリンターに保存されている設定）から B（プリンタードライバーに登録されている設定）へ、設定をドラッグアンドドロップで登録できます。

「未登録」の位置にドロップした場合：

設定はリストに追加されます。

すでに登録されている項目名（用紙名）の上にドロップした場合：

その項目名（用紙名）の設定が上書きされます。

すべての設定を一括で登録する場合：

〔一括移動〕をクリックしてください。一括移動すると、既存の設定情報をすべて上書きします。

メモ

- 印刷設定は最大 10 個まで、用紙設定は最大 50 種類までを登録できます。
- プリンタードライバーに保存する設定の順序を入れ替えたいときは、設定項目の横にある上下ボタンを使用してください。
- A（移行元のプリンターに保存されている設定）の項目名（用紙名）は、選択した状態でもう一度クリックすると編集可能になり、名称を変更できます。
- B（プリンタードライバーに登録されている設定）を元の状態に戻したい場合は、〔クリア〕をクリックしてください。
- A と B に同じ項目名（用紙名）が存在する場合、A 側の項目名（用紙名）は赤くマーキングされます。赤くマーキングされた項目名（用紙名）は、B に登録することができません。別の印刷設定（用紙設定）として登録したい場合は、A 側の項目名（用紙名）を変更してから再度操作を行ってください。

8 「設定移行」をクリックする

「設定移行データ確認」ダイアログボックスが表示されます。

9 「OK」をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

10 「OK」をクリックする

インポートが完了します。

11 「OK」をクリックする

12 設定移行ユーティリティを終了する

「終了」をクリックします。

ドライバーの表示言語を変更する

ドライバーに表示する言語を変えられます。初期値は「日本語」に設定されています。

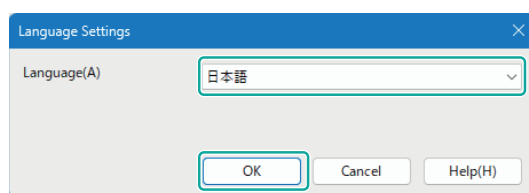
1 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

➡ プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)

2 [ユーティリティ] シートの [Language Settings] をクリックする

ダイアログボックスが表示されます。

3 言語を選び、[OK] をクリックする



[日本語]	日本語で表示します。
[Use OS Language Settings]	使用している OS の言語設定で表示します。
[English]	英語で表示します。

メモ

- 印刷設定画面の [ユーティリティ] シートの [Language Settings] からでもドライバーの表示言語を設定できますが、[Use OS Language Settings] はリストに表示されません。

4 メッセージが表示されたら、[OK] をクリックする

メモ

- [ユーティリティ] シートの表示言語設定 ([Language Settings]) は、設定を行う画面によって適用範囲が異なります。
 - プリンタープロパティから設定した場合は、パソコン内のすべてのユーザーに適用されます。
 - 印刷設定から設定した場合は、ユーザーごとに言語を設定でき、個別に設定している場合はその設定が優先されます。
 - 個別設定がない場合は、パソコン全体の設定が適用されます。

5 プリンタードライバーを閉じてから、再起動する

表示言語が変更されます。

ステータスマニターの使いかた

ステータスマニターを使用すると、プリンターの状態や印刷の状況を知ることができます。

ステータスマニターを表示する

ステータスマニターの起動方法および表示方法を説明します。

■ ステータスマニターを起動する

ステータスマニターを起動します。

メモ

- ステータスマニターは、印刷が開始されたときに自動的に起動し、表示される設定になっています。
 - ステータスマニターは、メニューの設定によって Windows を起動したときに自動的に起動させることもできます。
- 起動したステータスマニターのウィンドウは、通常はタスクバーやタスクトレイに入れ、エラーなどが発生した場合にウィンドウを表示させることもできます。

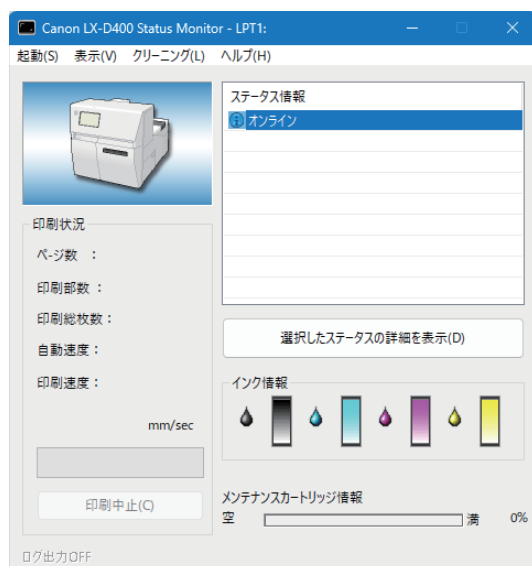
➡ [ステータスマニターの起動と表示方法 \(P. 144\)](#)

1 プリンタードライバのプロパティ画面を開く

➡ [プリンターのプロパティ画面を表示する \(P. 60\)](#)

2 [ユーティリティ] シートの [ステータスマニター起動] をクリックする

ステータスマニターが起動します。



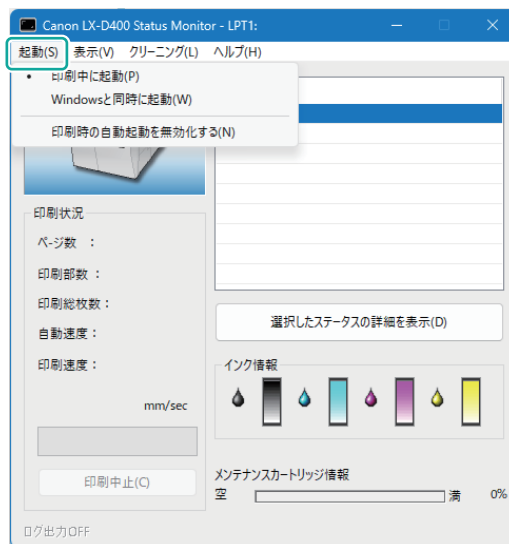
■ ステータスマニターの起動と表示方法

ステータスマニターの起動方法および表示方法について説明します。
起動および表示方法は次の手順で設定します。

1 「起動」をクリックしてプルダウンメニューを開き、起動方法を選ぶ

「印刷中に起動」または「Windows と同時に起動」をクリックします。

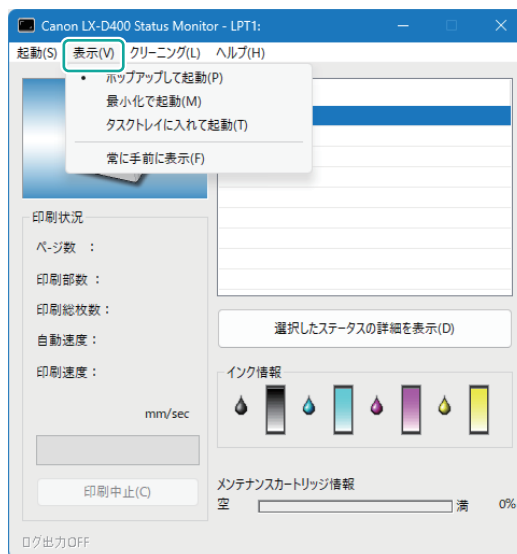
設定された項目の先頭に「●」が付きます。



「印刷中に起動」	印刷を開始したときに、ステータスマニターが自動的に起動して表示されます。ステータスマニターは、印刷が終わると自動的に閉じます。（初期状態の設定）
「Windows と同時に起動」	Windows を起動したときに、ステータスマニターが自動的に起動します。

2 「表示」をクリックしてプルダウンメニューを開き、表示方法を選ぶ

「ポップアップして起動」、「最小化で起動」または「タスクトレイに入れて起動」をクリックします。
設定された項目の先頭に「●」が付きます。



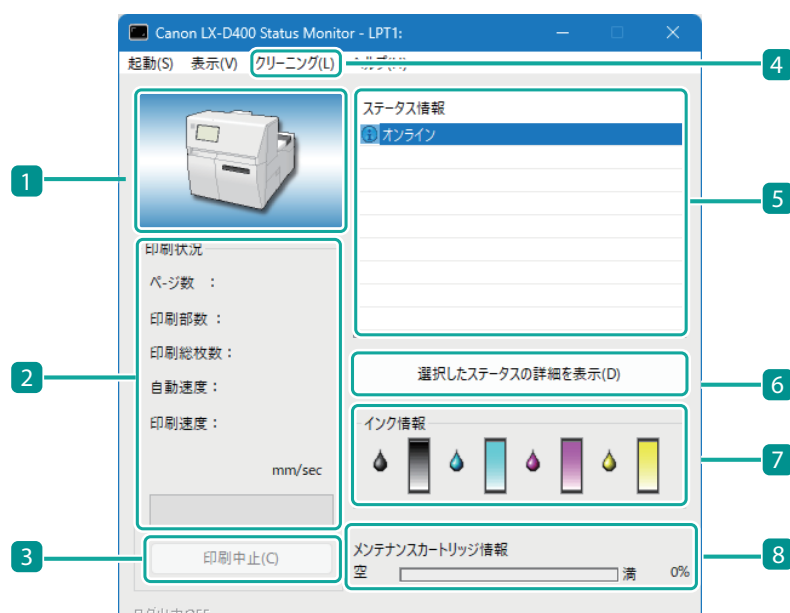
「ポップアップして起動」	ステータスマニターのウィンドウを画面に表示します。 (初期状態の設定)
「最小化で起動」	起動したステータスマニターのウィンドウを、最小化してタスクバーに収納します。
「タスクトレイに入れて起動」	起動したステータスマニターを、タスクトレイの中にアイコン化された状態で表示します。
「常に手前に表示」	他のアプリケーションソフトウェアなどのウィンドウを開いても、ステータスマニターのウィンドウを常に手前に表示します。

メモ

- ウィンドウが表示されたときに常に手前に表示させる場合は、「常に手前に表示」をクリックし、先頭にチェックを付けます。この設定は、「表示」メニューの他の項目とは無関係に設定できます。
- 「常に手前に表示」にチェックを付けると、ステータスマニターのウィンドウが半透明で表示されます。
- 「最小化で起動」または「タスクトレイに入れて起動」に設定しても、プリンターにエラーが発生すると自動的にポップアップし、メッセージを表示します。ポップアップされたウィンドウの最小化ボタンをクリックすると、再びタスクバーに収納できます。

ステータスマニターを使う

ステータスマニターでは、現在の印刷状況を確認できるほか、プリンターの状態やインクの消費状態、メンテナンスカートリッジのインク回収量を確認できます。



1 プリンター状態のイメージ	現在のプリンターの状態をプレビュー表示します。
2 印刷状況	現在の印刷状況を数値とインジケータで表示します。 画面の見方は「 印刷状況を確認する (P. 58) 」をご覧ください。
3 印刷中止	印刷を中止します。
4 クリーニング	印刷中にプリンターのポーズキーを押して「印刷一時停止中」になっているときのみ、有効になります。
5 ステータス情報	現在のプリンターの状態を知らせるメッセージを表示します。
6 詳細なステータス表示	プリンターの状態を詳しく説明する別ウィンドウを開きます。
7 インク情報	インクタンクの消費状況を表示します。
8 メンテナンスカートリッジ情報	メンテナンスカートリッジ内のインク回収量を表示します。

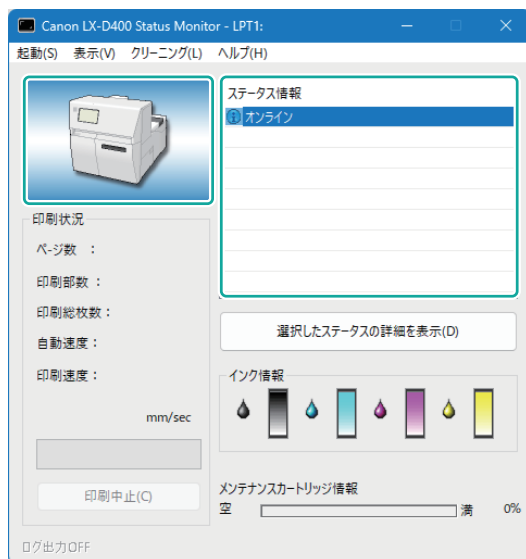
メモ

- ステータスマニター上の「選択したステータスの詳細を表示」やプリンタードライバーの各シートにある「ヘルプ」をクリックすると、インターネット上に公開されているユーザズガイドが表示されます。ユーザズガイドでは、表示されたメッセージの説明と対処方法を確認できます。
- インターネットに接続しない状態でパソコンを使用している場合は、パソコン内にユーザズガイドを登録する必要があります。詳しくは、「プリンタードライバーインストールガイド」を参照してください。
- タッチパネルからもプリンターの状態を確認することができます。詳しくは「[印刷状況を確認する \(P. 58\)](#)」をご覧ください。

■ ステータス情報を見る

プリンターの状態を確認します。

- 現在のプリンターの状態を4つのイメージで表示します。



	オンラインの状態であることを示します。(背景はブルー) 印刷を行うことができます。
	オフライン状態であることを示します。(背景はグレー)
	警告が発生していることを示します。(背景はイエロー) [ステータス情報]に警告メッセージが表示されますが、印刷を続けることができます。 必要に応じて対処を行ってください。
	エラーが発生していることを示します。(背景はレッド) [ステータス情報]にエラーメッセージが表示され、印刷を行うことができません。 必要な対処を行ってください。

メモ

- ステータスマニターが最小化されている場合、またはタスクトレイに入っている場合は、エラーが発生した時点でステータスマニターのウィンドウが表示されます。

● ステータス情報を見る

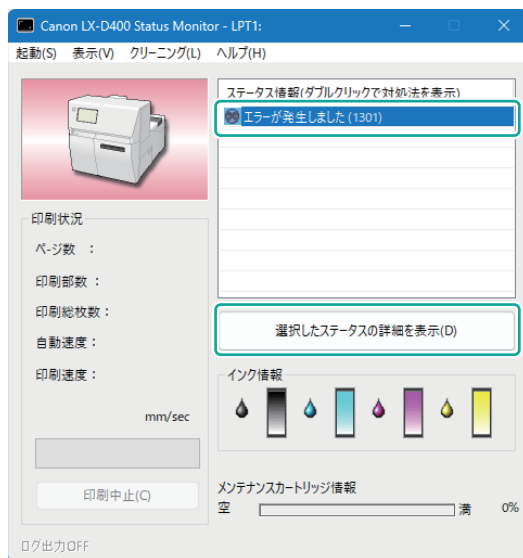
-  **インフォメーション**
プリンターに関する情報が表示されます。メッセージ内容を確認してください。
-  **警告メッセージ**
警告が発生しています。警告の内容をメッセージで確認してください。
この場合、印刷を行うことはできます。
-  **オペレーターエラー**
お客様の操作が必要なエラーが発生しています。
エラー内容をメッセージで確認し、必要な対処を行ってください。
-  **ハードウェアエラー**
お客様の操作では復帰不可能なエラーが発生しています。
電源をオフにしてください。再度、電源をオンにしてもエラーが発生する場合は、サポート番号（4桁の英数字）を控えてご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。

メモ

- 複数のエラーが同時に発生した場合は、重要度の高いエラーから順に「ステータス情報」に表示されます。

ステータス情報に表示されたメッセージについて、さらに詳しく知りたい場合は、次の手順で説明ウィンドウを表示して確認することができます。

1 説明を見るメッセージを選び、「選択したステータスの詳細を表示」をクリックする



メモ

- 「ステータス情報」の項目をダブルクリックしても、同様に説明ウィンドウを表示できます。

2 「はい」をクリックする

Web ブラウザーを開いてオンライン上のユーザズガイドを表示します。メッセージの説明と対処方法を確認できます。

- オフライン環境でお使いの場合

パソコン内に保存されているユーザズガイドを表示します。メッセージの説明と対処方法を確認できます。

メモ

- ・ パソコン内にユーザズガイドを保存してヘルプとして表示するための設定方法は、「プリンタードライバーインストールガイド」をご覧ください。

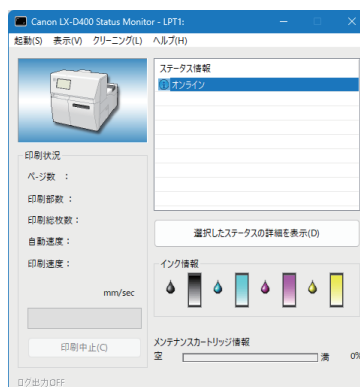
■ インク情報を見る

インクの消費状況を確認します。

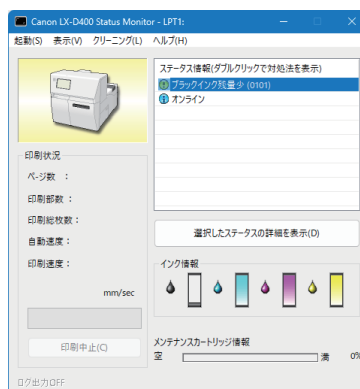
インクタンクの種類は、左からブラック（Bk）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）です。

それぞれのインクタンクのインク残量をイメージで表示します。

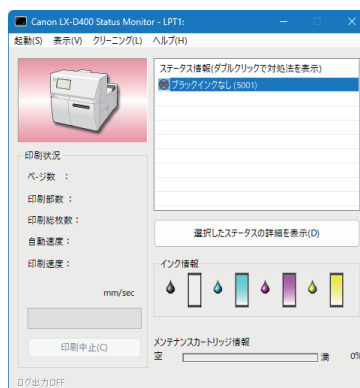
- ・ インクあり



- ・ インク残量約 20%



- ・ インクなし



☑ 重要

- ・ インクタンクは、交換するとき以外は抜き差ししないでください。部材の消耗を早める原因となります。
- ・ インクタンク交換の際は、インクタンクを抜いたまま長時間放置しないでください。
- ・ 「XXXX インク残量少」が表示されたら、新しいインクタンクを用意してください。新しいインクタンクの入手方法については、ご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。

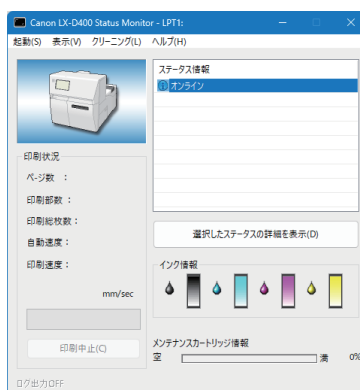
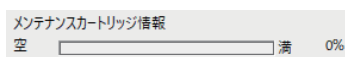
■ メンテナンスカートリッジ情報を見る

メンテナンスカートリッジのインク回収量を確認します。

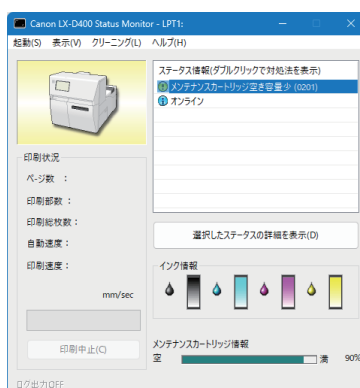
メモ

- メンテナンスカートリッジは、プリントヘッドのクリーニングなどを行った際に使用したインクを回収するカートリッジです。
- ステータスモニター内の下段にあるメンテナンスカートリッジ情報のインジケーターに現在の空き情報が表示されています。

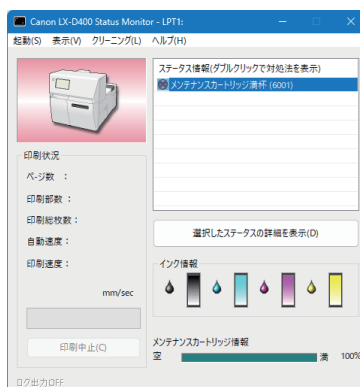
- 空き容量が十分にある状態



- 空き容量 約 20%



- 空き容量なし



重要

- 「メンテナンスカートリッジ空き容量少」が表示されたら、新しいメンテナンスカートリッジを用意してください。新しいメンテナンスカートリッジの入手方法については、本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。

プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストール手順は、「プリンタードライバーインストールガイド」を参照してください。

プリンタードライバーをカスタムインストールする

「カスタムインストール」は、すでにプリンタードライバーがインストールされているパソコンのプリンター設定をインストールセットとしてあらかじめ準備しておくことで、別のパソコンにドライバーとともにインストールする機能です。複数のパソコンにドライバーをインストールしてお使いになる場合、パソコンごとに印刷設定をする必要がなくなります。

🟢 重要

- ・ インストールセットを作成するパソコンとインストール先のパソコンで以下の設定が異なる場合、インストールセットが正しく動作しないことがあります。
 - OS
 - 言語の設定

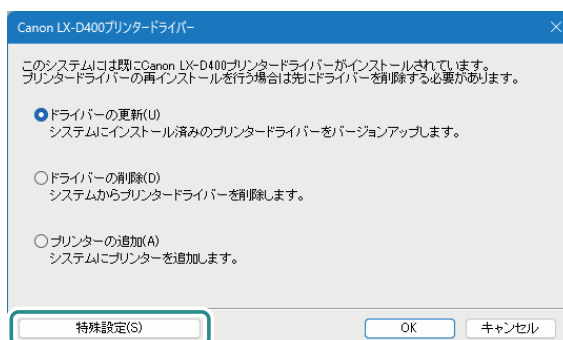
📖 メモ

- ・ インストールセットとして他のパソコンにインストールできる項目は、以下の通りです。
 - ・ プリンター名称
 - ・ ユーザー定義用紙種類
 - ・ お気に入り
 - ・ ユーザー用紙サイズ
 - ・ ピンポイント色合わせ設定
 - ・ ポート情報

■ インストールセットを作成する

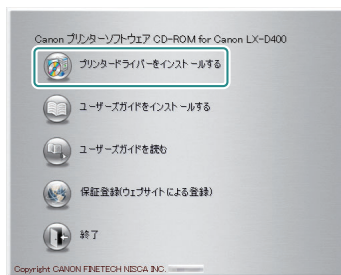
すでにプリンタードライバーがインストールされているパソコンを使って、以下の手順で操作してください。

1 インストーラーを起動し〔特殊設定〕をクリックする

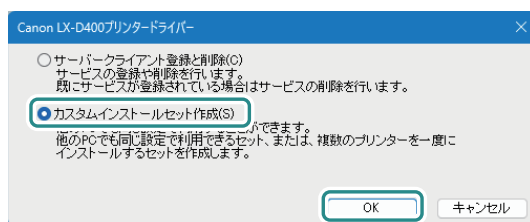


メモ

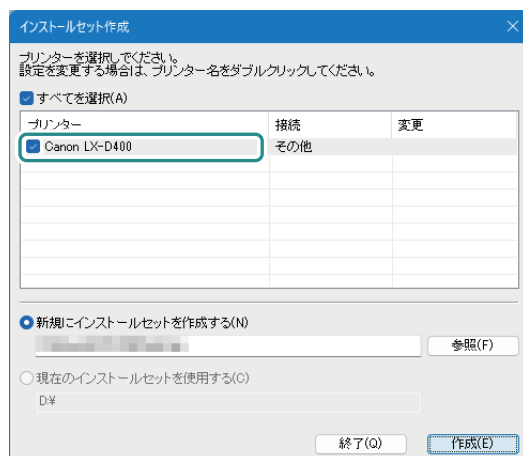
- CDドライブからインストーラーを起動した場合は以下の画面が表示されます。〔プリンタードライバーをインストールする〕を選ばと、手順1の画面が表示されます。



2 〔カスタムインストールセット作成〕を選択し、〔OK〕をクリックする

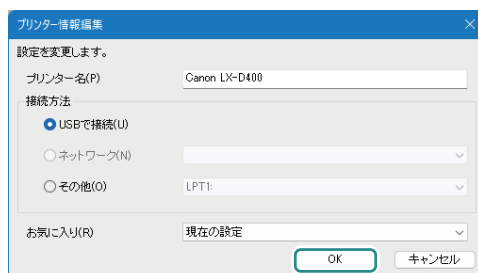


3 プリンターを選択する

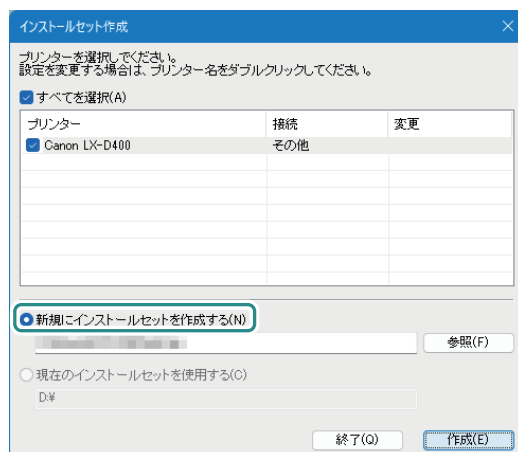


メモ

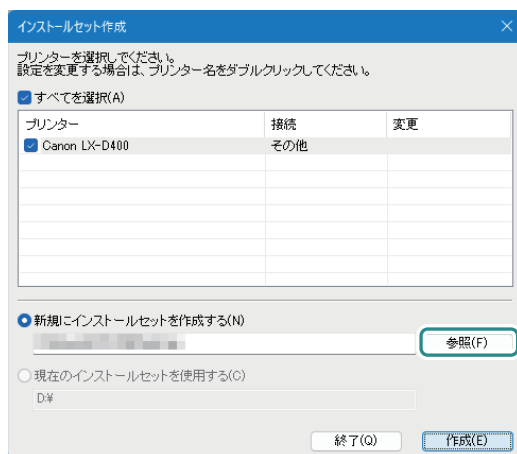
- プリンター名を右クリックまたはダブルクリックするとプリンター情報の編集画面が表示され、インストールセットに設定する以下の項目を編集することができます。設定を変更した場合は [OK] をクリックして画面を閉じます。



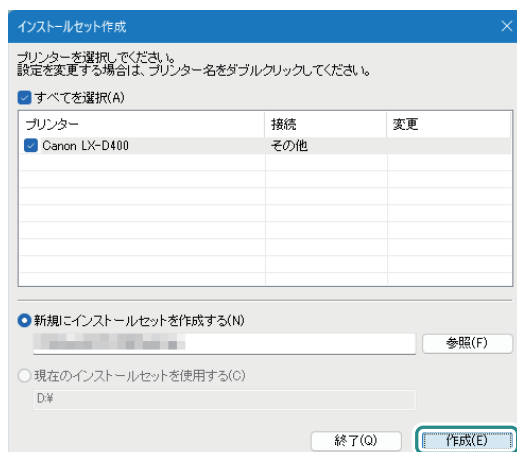
4 「新規にインストールセットを作成する」を選択する



5 「参照」をクリックし、インストールセットを保存するフォルダーを指定する

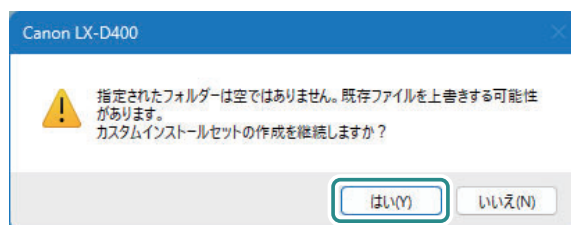


6 「作成」をクリックする



メモ

- 以下のメッセージが表示された場合は、内容を確認して「はい」をクリックしてください。



7 「OK」をクリックする

8 「終了」をクリックして「インストールセット作成」を終了する

指定したフォルダー内にインストールセットが作成されます。

■ インストールセットを使ってカスタムインストールする

プリンタードライバーをこれからインストールするパソコンで、以下の手順で操作してください。

🟢 重要

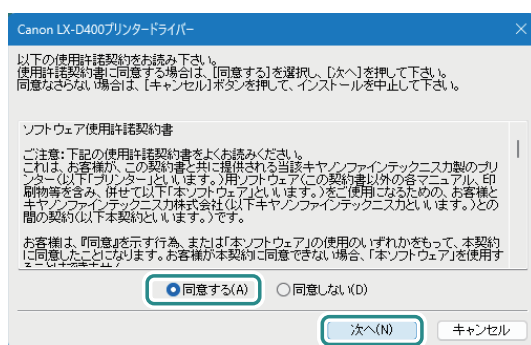
- ・ パソコンには、管理者のアカウントでサインインしてください。
- ・ ウィルス検出プログラムやシステムに常駐するプログラムは、あらかじめ終了してください。
- ・ カスタムインストールセットを作成した時と同じ言語を選択してインストールを行ってください。
- ・ プリンターをパソコンと接続するには、USB 接続とネットワーク接続の 2 種類があります。
USB 接続の場合は、パソコンに指示が表示されるまで以下の操作をしないでください。
 - プリンター本体の電源を入れる
 - プリンター本体とパソコンを USB ケーブルを接続する

1 インストールセットを保存したフォルダー内の [CFSETUP.EXE] をダブルクリックする

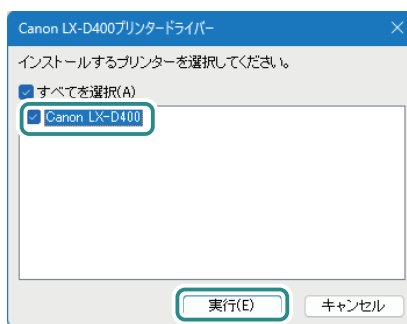
- ・ [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたとき：
 1. [はい] をクリックします。
- ・ Windows エクスプローラーが表示されるとき：
 1. [autoplay.exe の実行] をクリックします。
 2. [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは [はい] をクリックします。
- ・ 何も表示されないとき：
 1. CD-ROM ドライブアイコンをダブルクリックします。
 2. [autoplay.exe] をダブルクリックします。
 3. [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは [はい] をクリックします。

2 [同意する] を選び、[次へ] をクリックする

使用許諾契約書をよく確認してください。

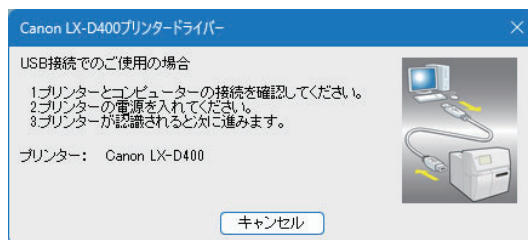


- ### 3 インストールするプリンターを選択し、[実行]をクリックする
- インストールセットとして使用可能なプリンター設定の一覧が表示されます。

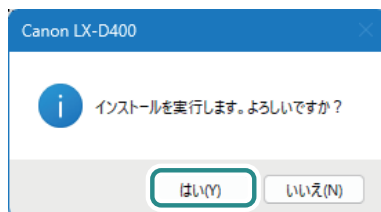


4 [はい] をクリックする

- USB 接続の場合
以下の画面が表示されたら、画面の手順にしたがってプリンターの電源を入れてください。



インストールセットの設定と、プリンタードライバーがインストールされます。



5 [OK] をクリックする

これでカスタムインストールは完了です。

プリンタードライバーを更新する

現在使用しているプリンタードライバーから、最新のプリンタードライバーにバージョンアップすると、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。

インストールされているドライバーを、新しいバージョンに更新する手順を説明します。

プリンタードライバーのバージョンは、[ページ設定] シートの [バージョン情報] から確認できます。

📌 重要

- ・ 管理者権限のユーザーでサインインしてください。
印刷中のドキュメントがありましたら、印刷を終了させるか、終了するのをお待ちください。
- ・ プリンタードライバーのすべてのダイアログボックスを閉じてください。

1 キヤノンホームページ (canon.jp/download) からプリンタードライバーをダウンロードする

📌 重要

- ・ インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

2 インストーラーを起動する

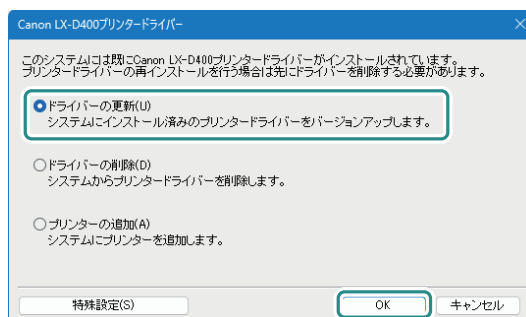
入手したファイルのアイコンをダブルクリックします。

インストールプログラムが起動します。

📖 メモ

- ・ [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[はい] をクリックします。

3 [ドライバーの更新] を選び、[OK] をクリックする



4 画面の案内に従って、インストールする

5 パソコンの再起動を促すメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする

パソコンの再起動が自動的に開始されます。

プリンタードライバーを削除する

使わなくなったプリンタードライバーは削除することができます。

プリンタードライバーを削除するときは、使用中のアプリケーションソフトをすべて終了させてください。

不要になったプリンタードライバーは以下の手順で削除してください。

1 インターフェイスクーブルをすべて取り外す

印刷が行われていないことを確認したあと、プリンターの電源を切ってからインターフェイスクーブルを取り外します。

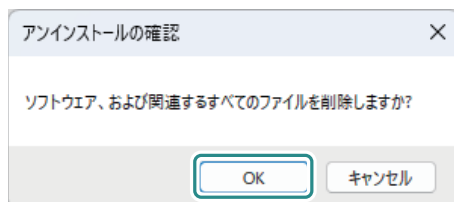
2 [スタート] → [すべてのアプリ] → [Canon LX-D400] → [Canon LX-D400 ドライバーのアンインストール] の順に選ぶ

- Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016 をお使いの場合：
[スタート] → [Canon LX-D400] → [Canon LX-D400 ドライバーのアンインストール] の順に選ぶ

3 「開始」をクリックする



- ・ [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[はい] をクリックします。
- ・ 有線 LAN 接続でプリンターをお使いの場合
以下の画面が表示されたら [OK] を選びます。

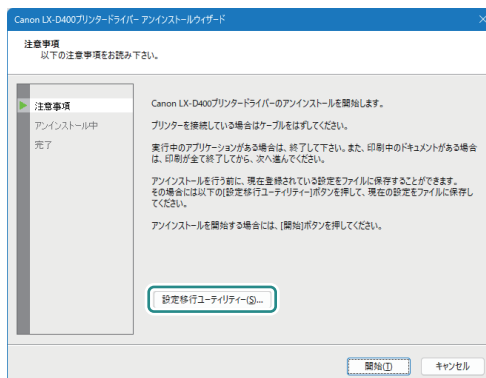


画面が表示されなかった場合は、以下の手順でネットワークモジュールをアンインストールしてください。

1. プリンタードライバーをアンインストールする
2. パソコンを再起動する
3. [スタート] → [設定] → [アプリ] → [インストールされているアプリ] の順に選ぶ
4. [Canon Network IF] の [...] をクリックし、[アンインストール] を選択する

アンインストールウィザードが起動します。画面の指示にしたがって操作してください。

- ・ プリンタードライバーの設定項目などを保存しておきたいときは、[設定移行ユーティリティ] をクリックして設定内容を保存してください。➡ [プリンタードライバーの設定情報を移行する \(P. 129\)](#)



4 「完了」をクリックする

5 パソコンの再起動を促すメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする

パソコンの再起動が自動的に開始されます。



- ・ [いいえ] を選んだ場合は、再度プリンタードライバーのインストールを行う前に、必ずパソコンを再起動してください。

サーバークライアント登録を設定する

サーバーとしてお使いになるパソコンにプリンタードライバーをインストールした場合は、サーバークライアント登録を行ってください。

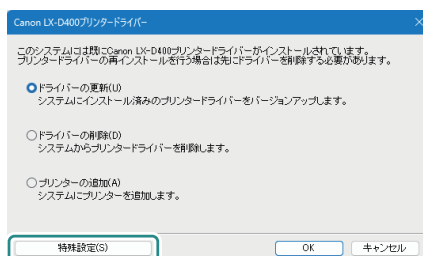
■ サーバークライアント登録をする

サーバークライアント登録するときは、[サーバークライアント登録]をクリックします。

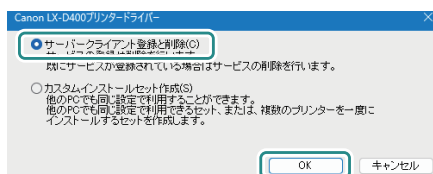
1 CD-ROM を起動する

2 [プリンタードライバーをインストールする]をクリックする

3 [特殊設定]をクリックする



4 [サーバークライアント登録と削除]を選択し、[OK]をクリックする



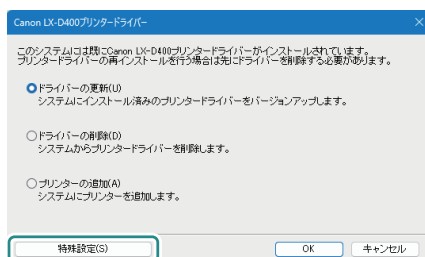
■ サーバークライアント登録を削除する

サーバークライアント登録のサービスを削除したいときは、再度サーバークライアント登録を実行してください。

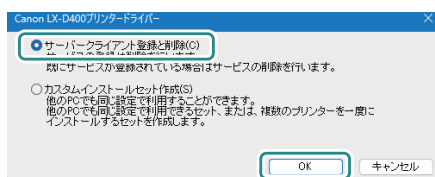
1 CD-ROM を起動する

2 [プリンタードライバーをインストールする] をクリックする

3 [特殊設定] をクリックする

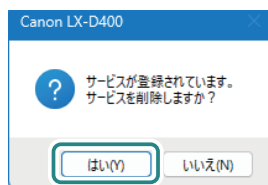


4 [サーバークライアント登録と削除] を選択し、[OK] をクリックする



確認画面が表示されます。

5 [はい] をクリックする



他社製のプリンタードライバーをネットワーク接続で使用する

他社製のプリンタードライバーをネットワーク接続で使用する場合、あらかじめ LX-D400 のネットワークポートを作成しておく必要があります。以下の手順で操作してください。

① 重要

- ネットワークポートを作成するには、LX-D400 のプリンタードライバーをダウンロードする必要があります。最新版のプリンタードライバーはキヤノンホームページ（canon.jp/download）からダウンロードできます。
- プリンタードライバーは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。
- パソコンには、管理者のアカウントでサインインしてください。
- ウィルス検出プログラムやシステムに常駐するプログラムは、あらかじめ終了してください。
- 社内 LAN に接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- Windows Server で、サーバー機能として DNS サーバー機能を追加してお使いの場合、DNS サーバーのサービスの状態が「実行中」になってからインストールを行ってください。
- ネットワークポートを作成する前に、プリンターのネットワーク接続設定を行ってください。（→ P.239）

📖 メモ

- 本製品にはルーターやハブなどのネットワーク機器や LAN ケーブルは付属していません。

1 LX-D400 のプリンタードライバーをダウンロードする

2 ダウンロードした exe ファイルをダブルクリックする

3 ダイアログを閉じる

ユーザーアカウント制御画面が立ち上がった場合	「いいえ」を選択する
ドライバーの言語選択画面が立ち上がった場合	×ボタンを押す

exe ファイルが解凍され、同じ階層にフォルダーが作成されます。

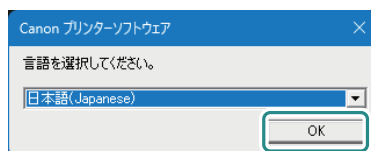
4 手順 3 で作成されたフォルダーを開く

5 ネットワークセットアップウィザードをダブルクリックして起動する

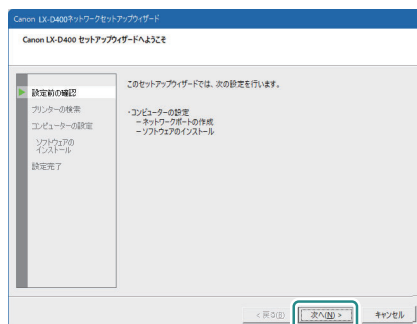
ネットワークセットアップウィザードは、フォルダー内の次の場所に保存されています。階層 : `lxd400_drv_v1020_usca_x64¥Network`

ファイル名 : `Cftnwlnst_2A1.exe`

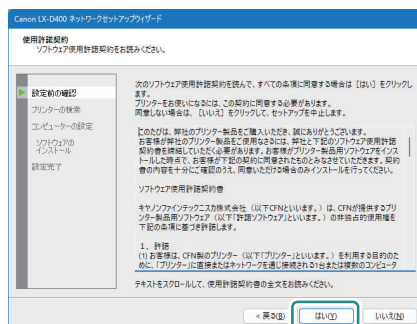
6 ネットワークポートの作成に使用する言語を選び、[OK]をクリックする



7 [次へ]をクリックする

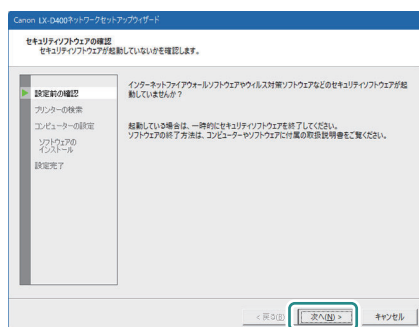


8 使用許諾を読み、[はい]をクリックする



9 「次へ」をクリックする

セキュリティソフトウェアについて、画面に記載されていることを確認してください。

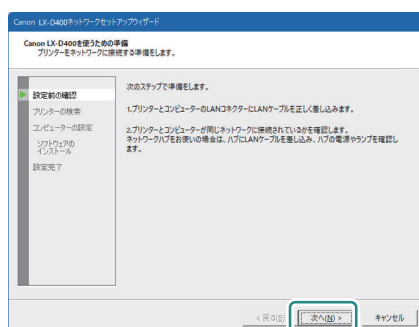


10 プリンターとルーターなどのネットワーク機器を LAN ケーブルで接続する

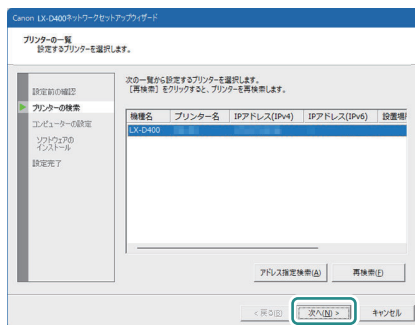


- プリンターのネットワーク接続手順の詳細については、「[接続方法を選ぶ \(P. 236\)](#)」を参照してください。

11 「次へ」をクリックする



12 本プリンターが表示されたら、[次へ]をクリックする



📌 重要

- プリンターを検索しても何も表示されないときは、[再検索]をクリックしてください。それでも表示されないときは、ネットワーク環境に問題がある場合がありますので、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

次のような理由が考えられます。

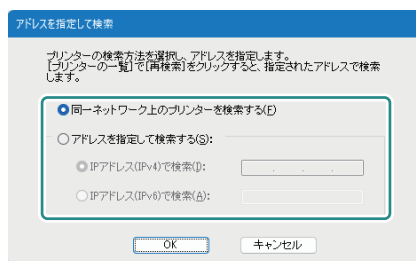
- 本プリンターとパソコンが別のネットワーク上に設置されているため、パソコンから検索できない状態にあります。
- ネットワークの運用上、決められた IP アドレスが設定されていないと、ネットワークに接続できない場合があります。

これらが原因の場合は、本プリンターとパソコンを同一ネットワーク上で接続して IP アドレスを設定してください。設定したあとは、再度 [再検索] をクリックしてください。

- Windows Server OS で、サーバー機能として DNS サーバー機能を追加していて、プリンターを検索しても何も表示されない場合は、以下の手順でインストールをやり直してください。
 1. パソコンまたは DNS サーバーのサービスを再起動する
 2. DNS サーバーのサービスの状態が「実行中」になったことを確認する
 3. 手順 1 からインストールをやり直す

📌 重要

- IP アドレスを指定して検索するときは
 1. [アドレス検索指定] をクリックします。
 2. [アドレスを指定して検索する] を選択し、IP アドレス (IPv4 または IPv6) を入力します。



3. [OK] をクリックすると、検索が始まります。

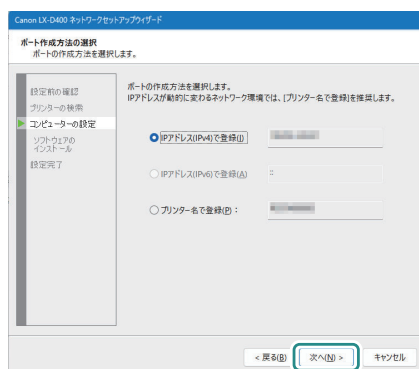
- プリンターの IP アドレスを確認したい場合は、タッチパネルのホーム画面で  (メニュー) → [ネットワーク設定] → [ネットワーク情報] の順に操作してください。

📖 メモ

- ネットワーク環境にあるパソコンをご使用の場合は、プリンターの認識に時間がかかることがあります。

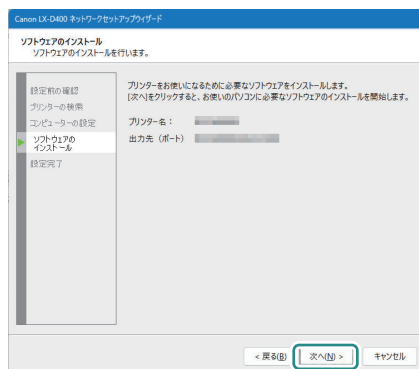
13 ポートの作成方法を選び、[次へ]をクリックする

DHCP サーバーを使用している場合は、[プリンター名で登録]を選んでください。

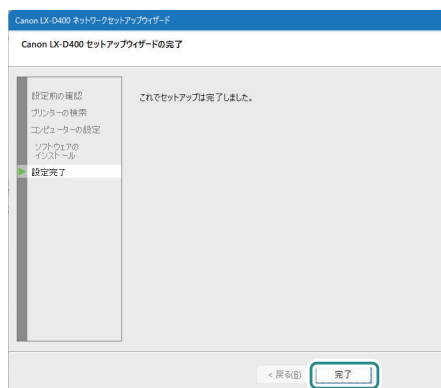


- プリンター名は本体のタッチパネルで確認することができます。タッチパネルのホーム画面で、 (メニュー) → [ネットワーク設定] → [デバイス情報設定] の順に選んでください。

14 [次へ]をクリックする



15 [完了]をクリックする



プリンターの設定

タッチパネルの使い方	170
ホーム画面の構成	170
タッチパネルで設定を変更する	175
インフォメーション	175
プリンターの設定値を確認する	178
メニュー	180
管理者パスワードを設定する	188
電源オフ / スリープ状態への移行時間を変更する	198
ギャップ / ブラックマーク調整を行う	200
特殊用紙設定を登録する	200
特殊用紙設定を使って印刷する	217
特殊用紙設定を削除する	218
センサーしきい値を調整する	219
印刷位置を調整する	222
カット位置を調整する	224
ショートカットの作成	226
プリンターの設定を移行する	232
プリンターの設定を初期化する	233

タッチパネルの使い方

ホーム画面の構成

プリンターが起動すると、タッチパネルにはホーム画面が表示されます。

ホーム画面から、用紙の操作や設定、プリンターの状態の確認、メンテナンスや各種設定などのメニューを選ぶことができます。



1 本体ステータス表示部

現在のプリンターの状態を色とメッセージで表示します。

 (ブラック)	オンライン状態であることを示します。印刷を行うことができます。
 (ホワイト)	ポーズ状態またはオフライン状態であることを示します。
 (グリーン)	印刷中の状態を示します。印刷ジョブ名が表示されます。
 (オレンジ)	警告が発生していることを示します。メッセージをタップすると詳細が表示されます。印刷を続けることはできますが、必要に応じて対処を行ってください。
 (赤)	オペレーターエラーが発生していることを示します。 印刷を続けることはできません。対処方法は「 ステータスマニターやタッチパネルにメッセージが表示された (P. 339) 」をご覧ください。
 (紫)	ハードウェアエラーが発生していることを示します。 印刷を続けることはできません。対処方法は「 ステータスマニターやタッチパネルにメッセージが表示された (P. 339) 」をご覧ください。

2 本体操作部	各アイコンをタップすると、以下の操作を行います。 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="584 143 708 584">  </td><td data-bbox="708 143 1426 584"> バックフィード 用紙を交換位置まで巻き戻します。 長押しすると、押し続けている間用紙を巻き戻します。  メモ 累積 300 mm 未満の用紙を巻き戻すことができます。巻き戻し量が 300 mm に達すると「用紙交換エラー」が発生し巻き戻し動作が停止します。 長押しして巻き戻している場合「用紙交換エラー」は発生せず、「搬送可能バックフィード量を超えたので停止します」のメッセージが表示され、巻き戻し動作が停止します。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="584 584 708 741">  </td><td data-bbox="708 584 1426 741"> フィード 用紙を 1 枚分送り出します。 長押しすると、押し続けている間用紙を送り出します。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="584 741 708 898">  </td><td data-bbox="708 741 1426 898"> カット 用紙をカットします。オートカッター（オプション）が装着されていない場合、表示されません。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="584 898 708 1189">  </td><td data-bbox="708 898 1426 1189"> ポーズ プリンターを一時停止状態にします。再度押すと一時停止状態は解除されます。 印刷中：ポーズ状態になり、印刷が一時停止します。 印刷中以外：オフライン状態になり、解除されるまではデータを受信しても印刷されません。 </td></tr> </table>		バックフィード 用紙を交換位置まで巻き戻します。 長押しすると、押し続けている間用紙を巻き戻します。  メモ 累積 300 mm 未満の用紙を巻き戻すことができます。巻き戻し量が 300 mm に達すると「用紙交換エラー」が発生し巻き戻し動作が停止します。 長押しして巻き戻している場合「用紙交換エラー」は発生せず、「搬送可能バックフィード量を超えたので停止します」のメッセージが表示され、巻き戻し動作が停止します。		フィード 用紙を 1 枚分送り出します。 長押しすると、押し続けている間用紙を送り出します。		カット 用紙をカットします。オートカッター（オプション）が装着されていない場合、表示されません。		ポーズ プリンターを一時停止状態にします。再度押すと一時停止状態は解除されます。 印刷中：ポーズ状態になり、印刷が一時停止します。 印刷中以外：オフライン状態になり、解除されるまではデータを受信しても印刷されません。
	バックフィード 用紙を交換位置まで巻き戻します。 長押しすると、押し続けている間用紙を巻き戻します。  メモ 累積 300 mm 未満の用紙を巻き戻すことができます。巻き戻し量が 300 mm に達すると「用紙交換エラー」が発生し巻き戻し動作が停止します。 長押しして巻き戻している場合「用紙交換エラー」は発生せず、「搬送可能バックフィード量を超えたので停止します」のメッセージが表示され、巻き戻し動作が停止します。								
	フィード 用紙を 1 枚分送り出します。 長押しすると、押し続けている間用紙を送り出します。								
	カット 用紙をカットします。オートカッター（オプション）が装着されていない場合、表示されません。								
	ポーズ プリンターを一時停止状態にします。再度押すと一時停止状態は解除されます。 印刷中：ポーズ状態になり、印刷が一時停止します。 印刷中以外：オフライン状態になり、解除されるまではデータを受信しても印刷されません。								
3 カウンター表示部	プリンター本体の各種カウンター情報を表示します。 総印刷枚数とジョブ数がカウントされ、どちらも印刷が完了したタイミングで進みます。各カウンターの表示 / 非表示は自由に切り替えることができます。（→ P.184）								
4 ショートカットキー	ショートカット画面を表示します。（→ P.226）								
5 インフォメーションキー	ヘルプ / ガイダンスを表示します（→ P.175）								
6 メニューキー	全体メニューを表示します（→ P.180）								
7 消耗品残量表示部	インクタンク（C/M/Y/K）とメンテナンスカートリッジの残量を 10 段階で表示します。								

8 接続方法表示部

プリンターとパソコンが現在どんな方法で接続されているかを表示します。



有線 LAN で接続されています



USB ケーブルで接続されています

 メモ

- USB ポートにメディアが接続されていると、（メモリーメディア取り外し）が表示されます。メディアを安全に取り外したい場合は、ここを押してください。

■ タッチパネルの基本操作

タッチパネルに指先で軽く触れたり、触れた指を動かしたりすることで、いろいろな機能や設定などを選ぶことができます。

✓ 重要

- ・タッチパネルを操作するときには、以下のことに注意してください。タッチパネルが誤動作したり、破損したりすることがあります。
 - タッチパネルを指で強く押さない
 - タッチパネルを指以外のもの（特にボールペンや鉛筆、爪など先の鋭いもの）で押さない
 - タッチパネルに濡れた手や、汚れた手で触れない
 - タッチパネル上には何も物を乗せない
- ・タッチパネルに保護フィルムを貼らないでください。はがす際にタッチパネルを傷付けるおそれがあります。



タップ

指先で軽く触れ、すぐに離します。画面の項目を選ぶときなどに使います。本ガイドでは、タップ操作のことを「押す」または「選ぶ」と表記しています。



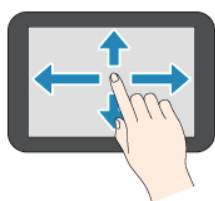
タッチ

指先で軽く触れます。
メニューやリストなどを連続で進める（戻す）ときは、その方向のマークをタッチしたままにします。本ガイドでは、タッチ操作のことを「長押し」と表記しています。



フリック

画面に触れた指を上下左右にはらいます。
メニューやリストをすばやく進める（戻す）ときに使います。



ドラッグ

指先で軽く触れたまま、上下左右に動かします。
メニューやリストを見ながら移動するときに使います。

■ 項目を選ぶ

項目名やボタンをタップして選択します。

■ 画面をスクロールする

画面に  （スクロールアイコン）が表示された場合は、画面に表示しきれない情報がまだあることを示しています。この場合、画面をフリックすると、フリックした方向に画面がスクロールします。

■ 設定値を変更する

[+] または [-] をタップして目盛を調整します。スライダーを左右にフリックしても調整可能です。

タッチパネルで設定を変更する

タッチパネルではプリンター本体の設定を変更したり、クイックガイドを表示して操作手順を確認することができます。

インフォメーション

インフォメーションでは、操作手順のガイドの参照やプリンターの履歴の確認ができます。

[ホーム画面] →  (インフォメーション)

■ インフォメーションの階層

確認できる項目は、以下の通りです。

項目	
クイックガイド	
	インクタンクを交換する
	メンテナンスカートリッジを交換する
	用紙をセットする
	外部給紙 / ファンフォールド紙をセットする
	用紙を交換する
	使い切った用紙の処理をする
	プリンターを清掃する
	用紙を登録する
	プリンターを輸送する
困ったときには	
	用紙がつまった
	印刷結果がおかしい
	その他のトラブル
プリンター情報	
ネットワーク情報	
印刷履歴	
	トータル
	日別
	月別
オペレーターエラー履歴	
ハードウェアエラー履歴	
警告履歴	
ジャム履歴	
設定値出力	
	本体設定
	ネットワーク設定
第三者のソフトウェアライセンス	
RFID 情報 *	

*RFID ユニット（オプション）装着時のみ表示されます。

■ クイックガイド

消耗品の交換やプリンターの清掃などの手順を確認することができます。

■ 困ったときには

用紙がつまったり、思った通りの印刷結果にならない場合の対処方法を確認することができます。

■ プリンター情報

機種名、シリアルナンバー、ファームウェアのバージョンなど、本プリンターの基本的な情報を確認することができます。

■ ネットワーク情報

IP アドレスや LAN 設定など、本プリンターのネットワークに関する情報を確認することができます。

■ 印刷履歴

本プリンターの印刷履歴を確認することができます。

【トータル】

これまでの総印刷枚数、総印刷長等を表示します。

【日別】

印刷枚数と印刷長を日別に表示します。

【月別】

印刷枚数と印刷長を月別に表示します。

■ オペレーターエラー履歴

オペレーターエラーが発生した日にち、時刻、エラーコード、印刷枚数を確認することができます。

■ ハードウェアエラー履歴

ハードウェアエラーとは、復帰不能なエラーのことです。ハードウェアエラーが発生した日にち、時刻、エラーコード、印刷枚数を確認することができます。

■ 警告履歴

警告が発生した日にち、時刻、エラーコード、印刷枚数を確認することができます。

■ ジャム履歴

紙づまりが発生した日にち、時刻、エラーコード、印刷枚数を確認することができます。

■ 設定値出力

プリンター本体の設定値を印刷したり、USB メモリーにエクスポートすることができます。

➡ [プリンターの設定値を確認する \(P. 178\)](#)

■ 第三者のソフトウェアライセンス

本製品に含まれる、第三者のソフトウェアライセンス条件を閲覧することができます。

■ RFID 情報

RFID に関する情報を確認することができます。

メモ

- ・ オプションの RFID ユニットが接続されている場合にのみ表示されます。

[RFID ユニット仕向け国]

それぞれの ID と対象国・地域は以下の通りです。

ID	仕向け国・地域
1	日本
2	U.S.A、カナダ

プリンターの設定値を確認する

プリンターの設定を印刷して確認することができます。以下の手順でタッチパネルを操作してください。

① 重要

- 設定値の印刷には、幅 2 インチ以上×長さ 1.5 インチ以上の用紙をお使いください。

1 ホーム画面で、（インフォメーション）を押す

2 「設定値出力」を押す

3 確認したい項目を選ぶ

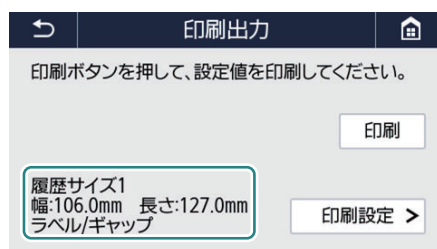
「本体設定」または「ネットワーク設定」を選びます。

4 出力方法を選ぶ

〔印刷出力〕 または 〔USB メモリーファイルへ出力〕 を選びます。

● 〔印刷出力〕を選んだ場合

1. 表示された印刷設定を確認する



・セットされている用紙と設定が異なる場合

1. 〔印刷設定〕 を押す
2. 〔用紙〕 欄を押し、表示されたリストからプリンターにセットされている用紙のサイズを選ぶ



・最近使用した用紙サイズから選ぶ場合

〔履歴サイズ1〕 ～ 〔履歴サイズ3〕 のいずれかを選択します。



- ・ 〔用紙〕 のうち 〔履歴サイズ1〕 ～ 〔履歴サイズ3〕 には、最新のジョブ3件の印刷設定がそれぞれ保存されています。ただし、特殊形状ラベルの印刷設定はノズルチェックパターンの印刷に適さないため、最新のジョブ3件に特殊形状ラベルの設定が含まれていても 〔履歴サイズ1〕 ～ 〔履歴サイズ3〕 に保存されません。

・標準ラベル用紙から用紙サイズを選ぶ場合

使用する用紙のサイズを選択します。

リストに登録されている用紙サイズの一覧は「[用紙サイズを選ぶ \(P. 66\)](#)」をご覧ください。

・用紙サイズを自由に設定する場合

各項目をタップして、用紙情報を入力します。（カスタムサイズ）

用紙の形状によって、設定可能な範囲が異なります。詳しくは「[ユーザー用紙サイズの設定可能範囲 \(P. 45\)](#)」をご覧ください。

3.  (戻る) を押す

● 〔USB メモリーファイルへ出力〕を選んだ場合

1. 〔はい〕 を選ぶ
 2. 〔OK〕 を選ぶ
- 設定値が USB メモリーに出力されます。

メニュー

メニューでは、プリンターのメンテナンスや設定ができます。

[ホーム画面] →  (メニュー)

■ メニューの階層

設定できる項目と初期値は以下のとおりです。

設定項目	初期値
メンテナンス (→ P.183)	
ノズルチェックパターン印刷	
クリーニング (弱)	-
クリーニング (中)	-
クリーニング (強)	-
屋内移動準備	-
輸送準備	-
再印刷	-
印刷位置調整	上下 : 0.0 mm 左右 : 0.0 mm
カット位置調整	0.0 mm
ギャップセンサー上下位置合わせ (→ P.30)	-
用紙タイプ設定 (→ P.184)	
給紙タイプ	ロール紙
RFID 用紙選択 *	選択しない
特殊用紙選択	選択しない
システム設定 (→ P.184)	
ホーム画面表示	
印刷速度	表示する
印刷枚数	表示する
ジョブ数	表示する
用紙サイズ単位	mm
ショートカット登録	
Language	日本語
地域設定	
日付	-
時刻	日本時間
タイムゾーン	UTC+9:00
ディスプレイ	
明るさ	5
消灯時間	1 分
スリープタイマー	1 時間
オフタイマー	12 時間
電源キースリープ	有効
ブザー音	
操作音	小
印刷終了通知音	OFF
動作終了通知音	中

エラー通知音	中
ネットワーク設定 (→ P.186)	
デバイス情報設定	
プリンター名	(シリアルナンバー)
設置場所	-
ネットワーク情報	
LAN 設定	
IPv4 設定	
IP アドレス設定	
IP アドレスの自動取得	ON
IP アドレス	-
サブネットマスク	-
デフォルトゲートウェイ	-
DNS 設定	
プライマリー DNS アドレス	-
セカンダリー DNS アドレス	-
ホスト名	-
ドメイン名	-
DNS の動的更新	OFF
mDNS	ON
DHCP オプション設定	
ホスト名の取得	OFF
DNS サーバーアドレスの取得	OFF
ドメイン名の取得	OFF
PING コマンド	-
IPv6 設定	
IPv6 を使用	OFF
リンクローカルアドレス	-
ステータスアドレス設定	ON
手動アドレス設定	
手動アドレスを使用	OFF
手動アドレス	-
プレフィックス長	64
デフォルトルーターアドレス	-
DHCPv6 を使用	OFF
DNS 設定	
プライマリー DNS アドレス	-
セカンダリー DNS アドレス	-
ホスト名	(シリアルナンバー)
ドメイン名	-
DNS の動的更新	OFF
mDNS	OFF
DHCP オプション設定	
DNS サーバーアドレスの取得	OFF
ドメイン名の取得	OFF
PING コマンド	
IP アドレス	-
ホスト名	-

ポート設定		
独自プロトコルを使用		ON
RAW 印刷の設定		
RAW 印刷を使用		ON
タイムアウト		5 分
LPD 印刷の設定		
LPD 印刷を使用		ON
タイムアウト		5 分
SNMP 設定		
SNMPv1 設定		
SNMPv1 を使用		ON
コミュニティ名 1 設定		
コミュニティ名 1		ON
コミュニティ名		public
コミュニティ名 2 設定		
コミュニティ名 2		OFF
コミュニティ名		public2
SNMPv3 設定		
SNMPv3 を使用		OFF
ユーザー名		-
セキュリティ設定		認証あり / 暗号化あり
認証アルゴリズム		MD5
認証パスワード		-
暗号化アルゴリズム		DES
暗号化パスワード		-
ファイアウォール設定		
IPv4 アドレス：受信フィルター		
フィルターを使用		OFF
デフォルトポリシー		許可
例外アドレス		-
IPv6 アドレス：受信フィルター		
フィルターを使用		OFF
デフォルトポリシー		許可
例外アドレス		-
MAC アドレス：受信フィルター		
フィルターを使用		OFF
デフォルトポリシー		許可
例外アドレス		-
管理者 (→ P.189)		
メンテナンスオペレーター		

■ メンテナンス

[ホーム画面] →  (メニュー) → [メンテナンス]

メモ

- ・ 各設定項目の初期値は、「[メニューの階層 \(P. 180\)](#)」を参照してください。

[クリーニング (弱)]

[クリーニング (中)]

[クリーニング (強)]

➡ [プリントヘッドをクリーニングする \(P. 291 \)](#)

[屋内移動準備]

➡ [プリンターの屋内移動準備をする \(P. 272 \)](#)

[輸送準備]

➡ [プリンターの輸送準備をする \(P. 278 \)](#)

[再印刷]

最後に印刷を完了したページを再度印刷します。

メモ

- ・ ノズルチェックパターン印刷を実行したあとに再印刷を実行すると、ノズルチェックパターンを印刷します。
- ・ 起動してから一枚も印刷していない場合は、プリンター内に印刷データがないため、再印刷を実行できません。

[ノズルチェックパターン印刷]

➡ [ノズルのつまりを確認する \(P. 287 \)](#)

[印刷位置調整]

➡ [仕上がりを調整する \(P. 310 \)](#)

[カット位置調整]

➡ [カット位置を調整する \(P. 311 \)](#)

[ギャップセンサー上下位置合わせ]

➡ [特殊形状ラベルを使う \(P. 30 \)](#)

■ 用紙タイプ設定

[ホーム画面] →  (メニュー) → [用紙タイプ設定]

📖 メモ

- ・各設定項目の初期値は、「[メニューの階層 \(P. 180\)](#)」を参照してください。
- ・各設定項目を初期値に戻したい場合は、画面右上の  **リセット** (リセット) を押してください。

[給紙タイプ]

用紙の給紙方法を設定します。

[ロール紙]

ロールホルダースロットにセットしたロール紙を使用する場合に選びます。

[外部給紙 / ファンフォールド紙]

他の装置にセットしたロール紙や、ファンフォールド紙を使用する場合に選びます。

[RFID 用紙選択]

➔ [RFID 用紙の情報を登録する \(P. 361\)](#)

📖 メモ

- ・オプションの RFID ユニットを装着している場合に表示されます。

[特殊用紙選択]

➔ [特殊用紙設定を使って印刷する \(P. 217\)](#)

■ システム設定

[ホーム画面] →  (メニュー) → [システム設定]

📖 メモ

- ・各設定項目の初期値は、「[メニューの階層 \(P. 180\)](#)」を参照してください。
- ・各設定項目を初期値に戻したい場合は、画面右上の  **リセット** (リセット) を押してください。

[ホーム画面表示]

カウンター表示部の各項目の表示 / 非表示の状態が表示されます。

[印刷速度]

印刷中の印刷速度を表示するかどうかを設定します。表示する場合は、[表示する] を選びます。

[総印刷枚数]

印刷完了した総枚数を表示するかどうかを設定します。表示する場合は、[表示する] を選びます。

[ジョブ総数]

印刷完了した総ジョブ数を表示するかどうかを設定します。表示する場合は、[表示する] を選びます。

📖 メモ

- ・[印刷速度] は印刷中のみ表示され、それ以外の状態では表示されません。
- ・[総印刷枚数] [ジョブ総数] は本プリンターの電源を入れた時からの総数をカウントします。一度電源を切ると数値はリセットされます。

[用紙サイズ単位]

用紙サイズの単位を設定します。

[ショートカット登録]

➔ ショートカットの作成 (P. 226)

[Language]

タッチパネルに表示する言語を設定します。

[地域設定]

日付、時刻、タイムゾーンが表示されます。

[日付]

現在の日付を設定する場合に選びます。

[時刻]

現在の時刻を設定する場合に選びます。

[タイムゾーン]

お住まいの国や地域に合わせて、タイムゾーンを設定する場合に選びます。

ご使用の国、地域に合った協定世界時 (UTC) に対する時差を選んでください。

[ディスプレイ]

タッチパネルに関する設定が表示されます。

[明るさ]

タッチパネルの明るさを設定する場合に選びます。9 段階の明るさから選ぶことができます。

[消灯時間]

タッチパネルの消灯時間を設定する場合に選びます。[詳細設定] を選ぶと 10 秒 ~600 秒の範囲で細かく設定できます。

[スリープタイマー]

➔ 電源オフ / スリープ状態への移行時間を変更する (P. 198)

[オフタイマー]

➔ 電源オフ / スリープ状態への移行時間を変更する (P. 198)

[電源キー スリープ]

電源キーを短押しした際に、スリープモードに移行する設定を有効にするかどうかを設定します。

メモ

- ・ [無効] に設定すると、電源キーを短押ししてもスリープモードに移行しません。一切の操作がない状態でスリープタイマーで設定した時間を経過したとき、またはプリンタードライバーの [ユーティリティ] シートから操作 (➔ P.125) したときのみ、スリープモードに移行します。

[ブザー音]

ブザー音に関する設定が表示されます。それぞれの大きさは OFF / 小 / 中 / 大の4つから選ぶことができます。

[操作音]

入力確認時に鳴る音の大きさを設定します。

[印刷終了通知音]

印刷終了時に鳴る音の大きさを設定します。

[動作終了通知音]

アップデートやマニュアルクリーニングなどの動作が終了時に鳴る音の大きさを設定します。

[エラー通知音]

エラー発生時に鳴る音の大きさを設定します。

■ ネットワーク設定

[ホーム画面] →  (メニュー) → [ネットワーク設定]

メモ

- 各設定項目の初期値は、「**メニューの階層 (P.180)**」を参照してください。

[デバイス情報設定]

デバイス情報が表示されます。

[プリンター名]

プリンター名を設定します。最大 15 文字まで入力できます。

[設置場所]

設置場所を設定します。最大 15 文字まで入力できます。

メモ

- 使用可能な文字は半角英数字のみです。
- すでに LAN 接続されている機器と同じプリンター名は使用できません。
- プリンター名の最初と最後の文字に、- (ハイフン) は使用できません。

[ネットワーク情報]

ネットワーク設定の一覧が表示されます。

メモ

- タッチパネルの右上の [印刷] を押すと、ネットワーク情報を印刷することができます。(→ P.178)

[LAN 設定]

LAN の設定をします。

[IPv4 設定]

➡ [IPv4 アドレスを設定する \(P. 239\)](#)

[IPv6 設定]

➡ [IPv6 アドレスを設定する \(P. 242\)](#)

[ポート設定]

➡ [ポートを設定する \(P. 244\)](#)

[SNMP 設定]

SNMPv1、SNMPv3 に関する設定をします。

[ファイアウォール設定]

特定の IP アドレスからのフィルタリングを設定します。

管理者パスワードを設定する

管理者パスワードを設定すると、プリンターの一部の設定を変更できるユーザーを、パスワードを知っているユーザー（管理者）のみに限定することができます。管理者パスワードの設定を「ON」にすると、以下のメニューの利用や設定の変更をする際に、管理者パスワードの入力が必要になります。

- ・ ヘッド位置調整
- ・ ギャップ / ブラックマーク調整
- ・ RFID 設定

以下の手順で、管理者パスワードを設定 / 変更します。

① 重要

- ・ プリンターのご購入時は、管理者パスワードの設定が「OFF」になっています。セキュリティの観点から、パスワードの設定を「ON」にしてのご使用をおすすめします。

1 ホーム画面で、（メニュー）を押す

2 「管理者」を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

3 「設定」→「パスワード設定」→「ON」の順に押す

4 新しい管理者パスワードを入力する

① 重要

- ・ パスワードを変更する場合は、以下の文字制限があります。
 - 4 ～ 32 文字で設定してください。
 - 使用可能な文字は半角英数字のみです。
 - セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせで 8 文字以上にすることをおすすめします。

5 「OK」を押す

6 画面の指示にしたがって、設定した管理者パスワードを再入力する

7 「OK」を押す

管理者パスワードが有効になります。

■ 管理者パスワードを解除したいときは

ホーム画面で （メニュー）→「管理者」を選び、パスワードを入力したあと「設定」→「パスワードの設定」→「OFF」を選びます。

■ 管理者メニューの階層

項目名	初期値
設定 (→ P.192)	
パスワード設定 (→ P.188)	OFF
特殊設定 (→ P.192)	
紙面予備吐量	自動
AIS モード	標準
バックフィードタイミング	自動
濃度ムラ軽減モード	無効
用紙こすれ軽減モード	無効
プリントヘッド高さ調整	0.00mm
オートクリーニング設定	
紙づまりエラー後のクリーニング	自動
スリットラベルモード	
モード	無効
スリット長	0.5 mm
インク残量検知	有効
設定エクスポート (→ P.194)	
設定ファイルエクスポート	-
設定ファイルインポート	-
USB メモリーの取り外し	-
ユーザー権限設定 (→ P.194)	
システム設定	公開
ネットワーク設定	公開
外部制御モード設定 (→ P.195)	
RS-232C 通信設定	
ボーレート	19200 bps
データビット	8bit
パリティ	なし
ストップビット	1bit
外部 IO モード	無効
外部 IO ピーラーモード	無効
外部 IO 内部電源使用設定	無効
外部 IO 使用時印刷枚数設定	
モード	無効
枚数	1 枚
外部 IO 入力信号設定	
印刷開始指令	-
ポーズ指令	-
再印刷指令	-
用紙送り指令	-
緊急停止	-
クリーニング (弱) 指令	-
クリーニング (中) 指令	-
クリーニング (強) 指令	-
オートクリーニング指令	-
バックフィード指令	-
リセット指令	-

	カット指令	-
	エラー解除指令	-
外部 IO 出力信号設定		
	プリンター READY 信号	-
	印刷データ準備完了信号	-
	印刷完了・紙送り状態信号	-
	用紙エンド信号	-
	インクエンド信号	-
	インクニアエンド信号	-
	エラー信号	-
	警告信号	-
	クリーニング中信号	-
	バックフィード中信号	-
	印刷 READY 信号	-
	バックフィード指示待ち信号	-
	カット実行済み状態	-
	ページ毎印刷完了信号	-
	クリーニング指示待ち信号	-
外部 IO 入出力信号設定初期化		
初期設定に戻す (→ P.233)		
	本体設定初期化	-
	ネットワーク設定初期化	-
	全設定初期化	-
ヘッド位置調整 (→ P.196)		
ギャップ/ブラックマーク調整 (→ P.196)		
	特殊用紙選択	選択しない
特殊用紙登録・編集		
	特殊用紙登録	-
	マニュアル調整	-
	センサーしきい値調整	0
	印刷位置調整	0.0
	カット位置調整	0.0
	特殊用紙削除	
RFID (→ P.196)		
RFID 用紙設定		
	RFID 用紙選択	選択しない
	RFID 用紙登録・編集	
	RFID 用紙削除	
	RFID 印刷モード設定	自動
	RFID リカバリー動作モード設定	リカバリー無し
	不良インレイ連続許容回数	1 回
	RFID データ読み取り	
	RFID 誤書き込み防止メモリー消去	
トラブルシューティング (→ P.197)		
	ログ出力	
	特殊ファイル読込	
	USB メモリーの取り外し	
	故障時の輸送準備	

システム設定 *
ネットワーク設定 *

* 管理者権限で「非公開」に設定している場合のみ表示されます。

目次

本製品について

用紙の取り扱い

印刷

プリンターの設定

パソコンとの接続

メンテナンス調整

困ったときは

RFID用紙の印刷

仕様

■ 設定

📖 メモ

- 各設定項目を初期値に戻したい場合は、画面右上の  **リセット**（リセット）を押してください。各項目の初期値は「**管理者メニューの階層 (P. 189)**」をご覧ください。

【パスワード設定】

管理者用のパスワードを設定します。パスワードは英数字半角 4 ～ 32 文字で設定してください。

【特殊設定】

【紙面予備吐量】

一定間隔でインクを用紙面に放出することにより、未使用色のプリントヘッド（ノズル）でインクが固着してしまわないように常に動作させて、プリントヘッドの性能を保持します。この際のインクの量を [なし] / [自動] / [ハーフ] / [標準] / [2 倍] から選択することができます。
[なし] にした場合は、クリーニング動作が追加されるので印刷時間が長くなります。

【AIS モード】

同じノズルを連続して使用するとプリントヘッドの消耗が速くなります。これを軽減するために、一定枚数ごとに印刷画像を左または右に移動させて印刷する機能です。

ノズルの負荷を軽減するために [標準] または [2 段階シフト] を選択することをおすすめします。

[無効] : AIS モードを使用しません。

[標準] : 一定枚数ごとに印刷画像を左または右に最大 0.2 mm 移動させて印刷します。

[2 段階シフト] : [標準] よりもノズルの移動範囲を増やして印刷します。[標準] と比べて印刷位置のずれが大きくなりますが、プリントヘッドの消耗を遅くすることができます。
細い野線など、同じノズルの使用頻度が高い画像を印刷する場合に適しています。

【バックフィードタイミング】

印刷が終了すると、未使用の用紙を印刷開始位置に戻すためのバックフィード動作が行われます。この動作をおこなうタイミングを選択します。

[自動] : 装着しているカッターにあわせて、バックフィードのタイミングを切り替えます。

手動カッターの場合 :

次の印刷データを受信したときにバックフィードします。

ジョブ切りオートカッター / RFID ユニットの場合 :

印刷終了時のオートカットをした場合は印刷終了の 5 秒後にバックフィードします。

印刷終了時のオートカットをしない場合は次の印刷データを受信するとバックフィードします。

[印字前] : 次の印刷データを受信するとバックフィードします。

[印字後] : 印刷終了の 5 秒後にバックフィードします。

[印字後（待ち時間指定）] : 印刷終了後、さらに指定した待ち時間を経過したらバックフィードします。1 ～ 60 秒の範囲を 1 秒単位で設定できます。

〔濃度ムラ軽減モード〕

〔有効〕：指定速度に関わらず搬送速度が 80 mm/sec に制限されますが、印刷ムラを少なくすることができます。また、印刷を開始するまでに約 20 秒かかります。

〔無効〕：印刷設定で指定した印刷速度が反映されます。

〔用紙こすれ軽減モード〕 (→ P.318)

〔プリントヘッド高さ調整〕 (→ P.319)

〔オートクリーニング設定〕

紙づまりエラー後のクリーニングを実施するかどうかを〔自動〕/〔しない〕から設定します。

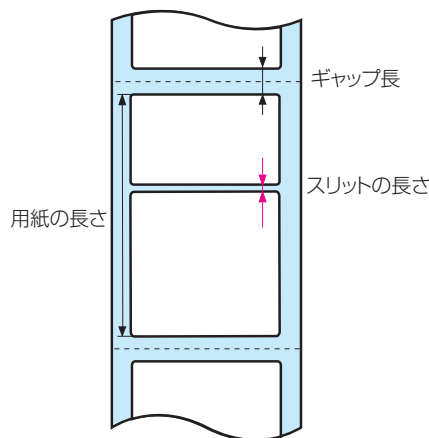
メモ

- 紙づまり後のクリーニングには 4 分程度の時間がかかります。
- 〔しない〕を選択した場合は、任意のタイミングで定期的にクリーニングを行ってください。
(→ P.291) クリーニングが行われないと印刷結果のかすれや白抜け、またはべた塗り部分のムラなどが発生しやすくなります。

〔スリットラベルモード〕

スリットラベルを使用する場合、あらかじめスリットの長さを設定しておくことで、プリンターのスリット誤検知によるエラーが発生しなくなります。

● スリットラベルの例



〔モード〕：スリットラベルモードを使用するかどうかを〔有効〕/〔無効〕から選択します。

〔スリット長〕：〔モード〕で〔有効〕を選択している場合に、スリットの長さを設定します。0.5 mm ～ 3.0 mm の範囲を 0.5 mm 単位で設定できます。

[インク残量検知]

このプリンターのインクタンクには、印刷中のインク切れやプリンターの故障を防止するためのインク残量検知機能があります。インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなり、印刷を停止します。そのため、インクを補充したインクタンクを使用する場合は、インク残量検知機能を無効にする必要があります。

本メニューは通常はグレイアウトして選択できませんが、「インクなしエラー」または「インク残量不明エラー」もしくはこの両方が発生したときにのみ、選択できるようになります。詳しい操作手順は「[インク残量検知機能について \(P. 337\)](#)」をご覧ください。

☑ 重要

- ・インク残量検知機能を無効にして印刷を行った場合、プリンターに損傷や異常が発生することがあります。インクを補充したことが原因の故障につきましては、キヤノンは責任を負いません。

[設定エクスポート]

[設定ファイルエクスポート] (→ [P.232](#))

プリンター内の設定ファイルを、USB メモリーに書き出します。

[設定ファイルインポート] (→ [P.232](#))

USB メモリー内の設定ファイルを、本プリンターに読み込みます。

📖 メモ

- ・USB メモリーに保存された設定ファイルを読み込む場合は、一番上の階層に保存してください。フォルダーの中に保存されている設定ファイルは読み込むことができません。

[USB メモリーの取り外し]

設定ファイルのエクスポート / インポートに使用した USB メモリーを取り外す際に選択します。

[ユーザー権限設定]

[システム設定]

[システム設定] のメニューを、管理者ではないユーザーに公開するかどうかを設定します。

[公開] :  (メニュー) を押すと [システム設定] のメニューが表示されます。管理者ではないユーザーも設定を変更できます。

[非公開] : 管理者メニュー内に [システム設定] のメニューが表示されます。管理者のみが設定を変更できます。

[ネットワーク設定]

[ネットワーク設定] のメニューを、管理者ではないユーザーに公開するかどうかを設定します。

[公開] :  (メニュー) を押すと [システム設定] のメニューが表示されます。管理者ではないユーザーも設定を変更できます。

[非公開] : 管理者メニュー内に [ネットワーク設定] のメニューが表示されます。管理者のみが設定を変更できます。

📖 メモ

- ・管理者とは、管理者パスワードを知っているユーザーのことです。

➡ [管理者パスワードを設定する \(P. 188\)](#)

[外部制御モード設定]

[RS-232C 通信設定]

RS-232C 接続によるコマンド制御の設定をします。

[ボーレート] : [9600bps] / [19200bps] / [38400bps]

[データビット] : [7bit] / [8bit]

[パリティ] : [なし] / [偶数] / [奇数]

[ストップビット] : [1bit] / [2bit]

[外部 IO モード]

外部 IO モードの設定を [有効] / [無効] から選択します。

[外部 IO ピーラーモード]

外部 IO ピーラーモードの設定を [有効] / [無効] から選択します。

[外部 IO 内部電源使用設定]

外部 IO 内部電源使用の設定を [有効] / [無効] から選択します。

[外部 IO 使用時印刷枚数設定]

外部 IO 使用時印刷枚数の設定をします。

[モード] : [有効] / [無効]

[枚数] : 1 枚 ~ 10000 枚の範囲で 1 枚単位で設定できます。

[外部 IO 入力信号設定]

外部 IO 入力信号の設定をします。それぞれの項目を下記から選択します。

[ピン番号] : [無効] / [PIN10] ~ [PIN15]

[アクティブ] : [HIGH] / [LOW]

[信号] : [レベル] / [パルス]

[外部 IO 出力信号設定]

外部 IO 出力信号の設定をします。それぞれの項目を下記から選択します。

[ピン番号] : [無効] / [PIN10] ~ [PIN15]

[アクティブ] : [HIGH] / [LOW]

[信号] : [レベル] / [パルス]

[外部 IO 入出力信号設定初期化]

外部 IO 入力信号 / 外部 IO 出力信号の設定を初期化します。

[初期設定に戻す] (→ P.233)

[本体設定初期化]

システム設定の設定値を初期設定に戻します。

[ネットワーク設定初期化]

ネットワーク設定の設定値を初期設定に戻します。

[全設定初期化]

全ての設定を初期値に戻します。

■ ヘッド位置調整

[ホーム画面] →  (メニュー) → [管理者] → [ヘッド位置調整]

➔ [プリントヘッドの位置調整を行う \(P. 295\)](#)

■ ギャップ/ブラックマーク調整

[ホーム画面] →  (メニュー) → [管理者] → [ギャップ/ブラックマーク調整]

メモ

- 各設定項目を初期値に戻したい場合は、画面右上の  リセット (リセット) を押してください。

[特殊用紙選択] (→ [P.217](#))

登録済みの特殊用紙一覧から、有効にする用紙を選択します。

[特殊用紙登録] (→ [P.200](#))

特殊用紙の設定を最大 5 種類まで登録できます。

[特殊用紙削除] (→ [P.218](#))

登録済みの特殊用紙一覧から、削除する用紙を選択します。

■ RFID

メモ

- RFID ユニット (オプション) (→ [P.360](#)) を装着している場合にのみ表示されます。
- 各設定項目を初期値に戻したい場合は、画面右上の  リセット (リセット) を押してください。

[ホーム画面] →  (メニュー) → [管理者] → [RFID]

[RFID 用紙設定] (→ [P.362](#))

RFID 用紙の情報の登録 / 削除を行ったり、登録済みの RFID 用紙一覧から有効にする用紙を選択します。

[RFID 印刷モード設定] (→ [P.373](#))

RFID 印刷モードの設定を選択します。

[RFID リカバリー動作モード設定] (→ [P.375](#))

RFID のエンコードに失敗した場合の、リカバリー動作の設定を選択します。

[不良インレイ連続許容回数] (→ [P.374](#))

RFID のエンコードに失敗した場合に、リカバリー動作をさせる回数を設定します。

[RFID データ読み取り] (→ [P.376](#))

エンコード済みの RFID 用紙を読み取って、データの内容を確認します。

[RFID 誤書き込み防止メモリー消去] (→ [P.377](#))

プリンター内で保持している RFID エンコード用のデータを消去します。

■ トラブルシューティング

[ホーム画面] →  (メニュー) → [管理者] → [トラブルシューティング]

[ログ出力]

プリンターのログを USB メモリーに書き出します。ログデータはパスワード付きの ZIP 形式ファイルで保存されます。

メモ

- ・ プリンターの動作ログファイルを USB メモリーに保存するときに使用します。サービス担当者から、プリンターの修理・メンテナンス用に、このログファイルの回収をお願いする場合があります。

[特殊ファイル読込]

USB メモリー内の PRN ファイルを本プリンターに読み込みます。

メモ

- ・ PRN ファイルとは、プリンターに送信される様々な印刷データと印刷指示をひとつにまとめて保存したファイルです。
- ・ USB メモリーに保存された PRN ファイルを読み込む場合は、一番上の階層に保存してください。フォルダーの中に保存されている特殊ファイルは読み込むことができません。

[USB メモリーの取り外し]

USB メモリーを取り外す際に選択します。

重要

- ・ USB メモリーは必ず手順に従って取り外してください。手順通りに取り外さないと、USB メモリーと本プリンターが故障する原因になります。

[故障時の輸送準備]

エラーが発生していてインク抜きを行えない状態のプリンターを輸送するときに使用します。

詳しい手順は「[ハードウェアエラーが発生したプリンターの輸送準備をする \(P. 284\)](#)」をご覧ください。

電源オフ/スリープ状態への移行時間を変更する

プリンタードライバーやプリンターからの操作が一定時間行われていないときに、電源を自動的に切ったり、スリープ状態に移行したりする時間を変更します。

■ 自動電源オフの時間を変更する

✓ 重要

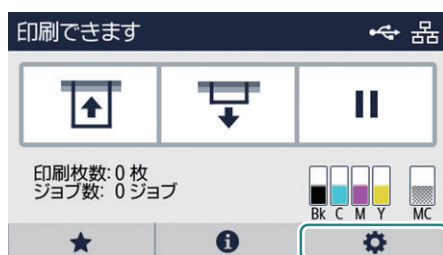
- スリープタイマーが「OFF」に設定されていると変更できません。設定したい場合は、スリープタイマーの設定を「OFF」以外に変更してください。

📖 メモ

- 各設定項目を初期値に戻したい場合は、画面右上の **リセット**（リセット）を押してください。

1 ホーム画面で （メニュー）を選ぶ

下記の画面が表示されていないときは、（ホーム）をタップしてください。



2 「システム設定」→「オフタイマー」を選ぶ

📖 メモ

- 「システム設定」が表示されない場合は、管理者によって「システム設定」が「非公開」に設定されています。設定を変更したい場合は本プリンターの管理者にご相談ください。

✓ 重要

- 設定を変更すると消費電力が上がる場合がありますので、ご注意ください。

3 表示されたメッセージを確認し「OK」を押す

4 設定時間を選ぶ

電源オフまでの待機時間は、OFF または 1 ～ 720 分の間で設定できます。

📖 メモ

- 「詳細設定」を選ぶと、電源オフまでの待機時間を 1 分単位で設定できます。

■ スリープ移行時間を変更する

1 ホーム画面で （メニュー）を選ぶ

下記の画面が表示されていないときは、（ホーム）をタップしてください。



2 [システム設定] → [スリープタイマー] を選ぶ

メモ

- ・ [システム設定] が表示されない場合は、管理者によって [システム設定] が [非公開] に設定されています。設定を変更したい場合は本プリンターの管理者にご相談ください。

重要

- ・ 設定を変更すると消費電力が上がる場合がありますので、ご注意ください。

3 表示されたメッセージを確認し [OK] を押す

4 設定時間を選ぶ

スリープモードに移行するまでの待機時間は、1 ～ 240 分の間で設定できます。

メモ

- ・ [詳細設定] を選ぶと、スリープモードに移行するまでの待機時間を 1 分単位で設定できます。
- ・ [OFF] に設定すると、[オフタイマー] のメニューはグレイアウトし設定を変更できなくなります。

ギャップ/ブラックマーク調整を行う

本プリンターは、ラベルギャップやブラックマークを使って用紙の先端を検知して印刷を行いますが、あらかじめ印刷されているラベルや、ブラックマークのない RFID 用紙などは先端を正しく検知できず、印刷位置がずれることがあります。

これらの用紙に印刷する際は、プリンターのセンサー感度を調整し、その調整値を登録することで、正しい位置に印刷できるようになります。この調整値を「特殊用紙設定」と呼びます。

特殊用紙設定を登録する

センサー感度を調整し、その調整値を特殊用紙として登録することで、正しい位置に印刷できます。

印刷されていない用紙を用意し、以下の手順で操作してください。なお、ブラックマークの有無により登録方法が異なります。

特殊用紙設定は最大 5 件まで登録できます。

➡ **ブラックマークがない用紙の場合 (P. 201)**

➡ **ブラックマークがある用紙の場合 (P. 209)**

■ ブラックマークがない用紙の場合

1 ホーム画面で、（メニュー）を押す

2 「管理者」を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

3 「ギャップ/ブラックマーク調整」→「特殊用紙登録・編集」を押す

4 「未登録」を選ぶ

←	特殊用紙選択	リセット
選択しない		
	1. 未登録	
	2. 未登録	
	3. 未登録	
	4. 未登録	
	5. 未登録	

5 「特殊用紙登録」を選ぶ

←	特殊用紙登録・編集	🏠
	特殊用紙登録	>
	マニュアル調整	>
	センサーしきい値調整	0 >
	印刷位置調整	0.0mm >
	カット位置調整	0.0mm >

6 「ギャップ」を選び、「次へ」を押す

特殊用紙登録	🏠
Step 1. センサー種類を選択してください。	
☒ ギャップ	
☐ ブラックマーク	
キャンセル	次へ ▶

7 用紙の名称を入力し、[OK]を押す



登録完了のメッセージが表示されます。

8 [OK]を押す

[特殊用紙登録・編集] 画面に戻ります。

9 [マニュアル調整]を選ぶ

←	特殊用紙登録・編集	→
	特殊用紙登録	>
	マニュアル調整	>
	センサーしきい値調整	0 >
	印刷位置調整	0.0mm >
	カット位置調整	0.0mm >

マニュアル調整の手順が、タッチパネルに表示されます。

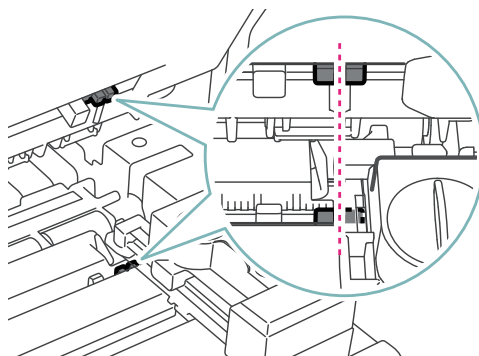
10 ロールカバーを開く

プリンターに用紙がセットされている場合は、用紙を取り外してください。

- ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 20)
- ➡ ファンフォールド紙を取り外す (P. 40)

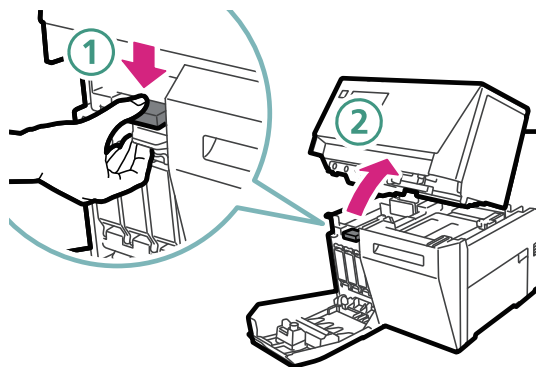
11 上センサーと下センサーの位置が垂直に一致していることを確認したあと、ロールカバーを閉じる

ずれている場合は、いずれか一方のセンサーを動かして一致させてください。



[次へ] を押します。

12 インクタンクカバーを開き、上ユニットオープンレバーを押して、上ユニットを開く

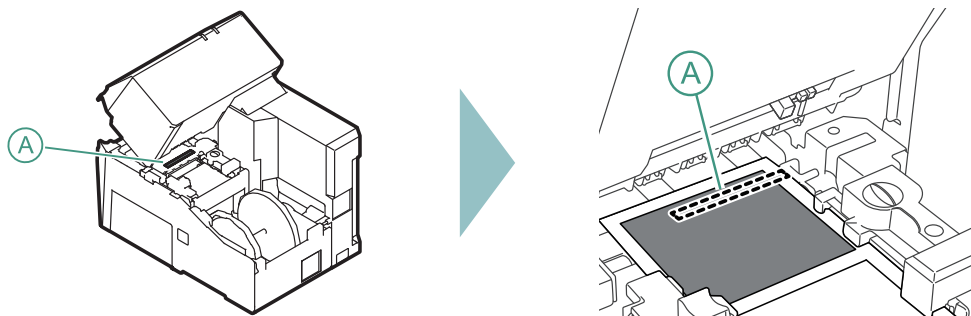


[次へ] を押します。

13 登録したい用紙を用意する

[次へ] を押します。

14 用紙のラベル部分をセンサー窓（A）の上に置く

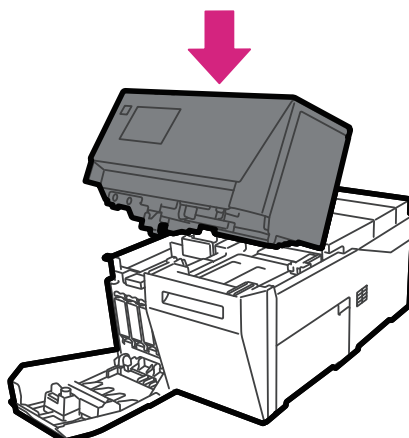


④ 重要

- ・ センサー窓（A）に、すでに印刷された部分や RFID インレイが重ならないようにしてください。

[次へ] を押します。

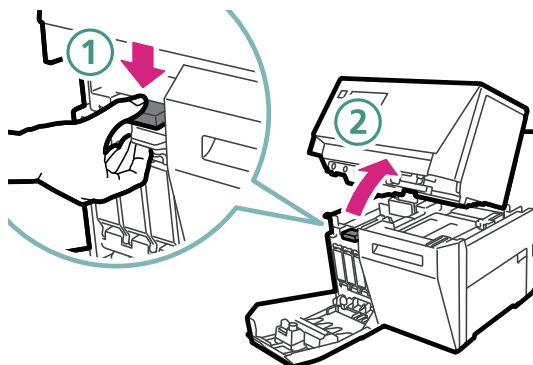
15 上ユニットを閉じる



16 [次へ] を押す

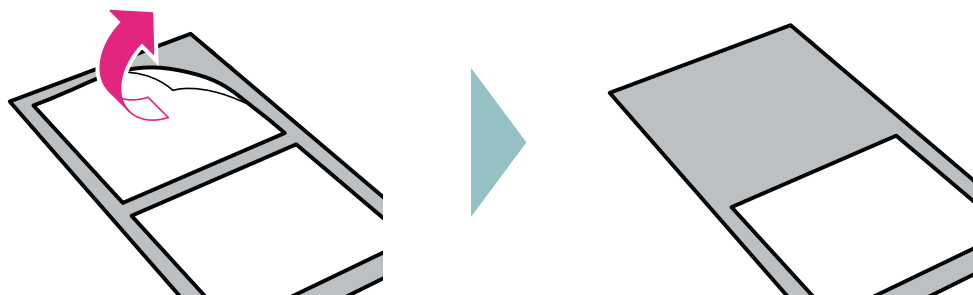
プリンターが用紙を読み込みこます。

17 上ユニットオープンレバーを押して、上ユニットを開く



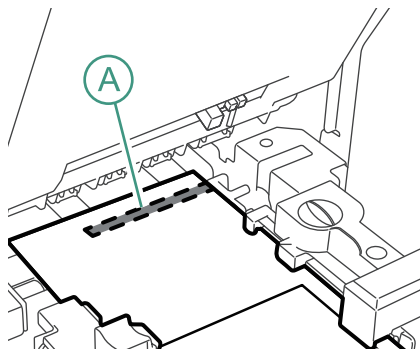
[次へ] を押します。

18 ラベルをはがして、セパレーター部分を広く露出させる



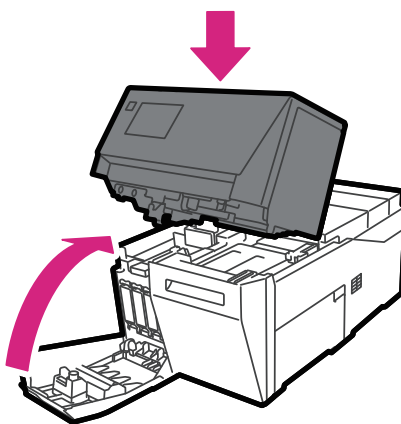
[次へ] を押します。

19 用紙のセパレーター部分をセンサー窓（A）の上に置く



「次へ」を押します。

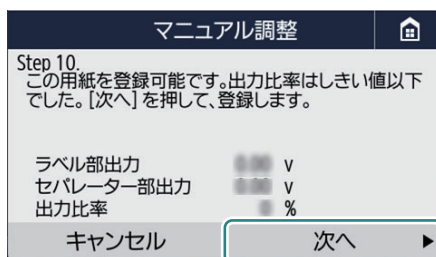
20 上ユニットおよびインクタンクカバーを閉じる



21 「次へ」を押す

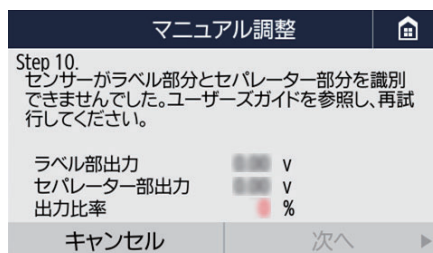
プリンターが用紙を読み取ります。

22 読み取り結果を確認し、[次へ]を押す

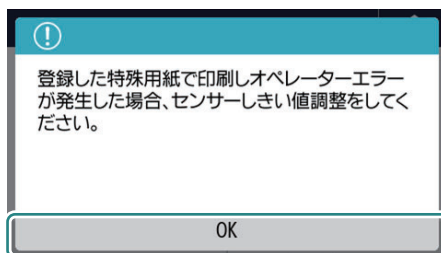


メモ

- 何度試しても読み取り結果に下記の画面が表示される場合は[キャンセル]を押し、手順9からマニュアル調整をやりなおしてください。



23 メッセージを確認し、[OK]を押す

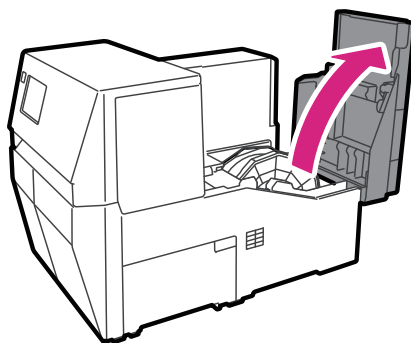


24 ホーム画面で、[用紙バックフィード]を長押しする

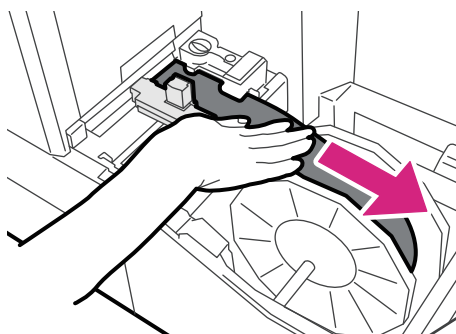


プリンターが停止したら手順25に進みます。

25 ロールカバーを開く

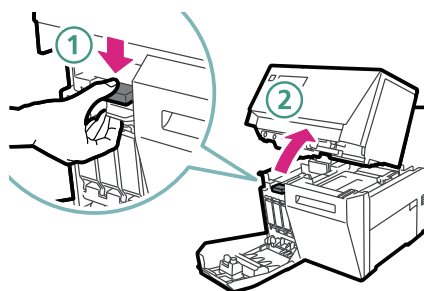


26 搬送部から用紙を引き抜く



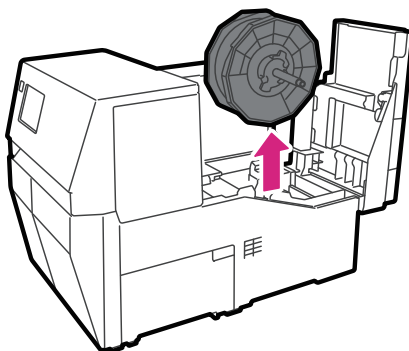
メモ

- 用紙の先端が引き抜けなときは、以下の手順で上ユニットを開いてください。
 1. インクタンクカバーを開ける
 2. 上ユニットオープンレバーを押し、上ユニットを開く



27 ロールホルダーを後方に回してロール紙を巻き取る

28 ロールホルダーを取り外す



29 印刷結果を確認する

登録した特殊用紙設定で印刷を行い、結果を確認します。(→ P.217)

📖 メモ

- ・ オペレーターエラーが発生した場合は、センサーしきい値を調整してください。(→ P.219)

■ ブラックマークがある用紙の場合

1 ホーム画面で、（メニュー）を押す

2 「管理者」を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

3 「ギャップ/ブラックマーク調整」→「特殊用紙登録・編集」を押す

4 「未登録」を選ぶ

←	特殊用紙選択	リセット
	選択しない	
	1. 未登録	
	2. 未登録	
	3. 未登録	
	4. 未登録	
	5. 未登録	

5 「特殊用紙登録」を選ぶ

←	特殊用紙登録・編集	🏠
	特殊用紙登録 >	
	マニュアル調整 >	
	センサーしきい値調整 0 >	
	印刷位置調整 0.0mm >	
	カット位置調整 0.0mm >	

6 「ブラックマーク」を選び、「次へ」を押す

特殊用紙登録		🏠
Step 1. センサー種類を選択してください。 [次へ]を押して、用紙名称を入力してください。		
☐	ギャップ	
☒	ブラックマーク	
キャンセル		次へ ▶

7 用紙の名称を入力し、[OK]を押す



登録完了のメッセージが表示されます。

8 [OK]を押す

[特殊用紙登録・編集] 画面に戻ります。

9 [マニュアル調整]を選ぶ

⏮	特殊用紙登録・編集	🏠
	特殊用紙登録	>
	マニュアル調整	>
	センサーしきい値調整	0 >
	印刷位置調整	0.0mm >
	カット位置調整	0.0mm >

マニュアル調整の手順が、タッチパネルに表示されます。

10 ロールカバーを開く

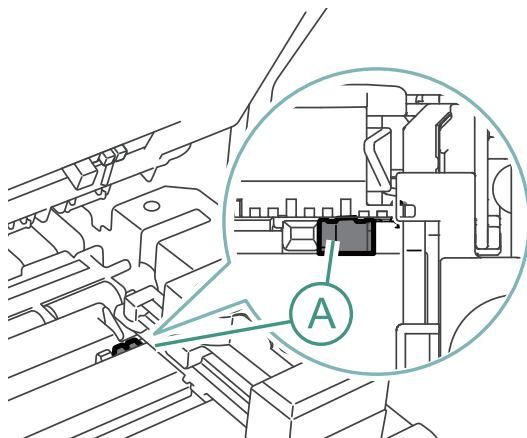
プリンターに用紙がセットされている場合は、用紙を取り外してください。

➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 20)

➡ ファンフォールド紙を取り外す (P. 40)

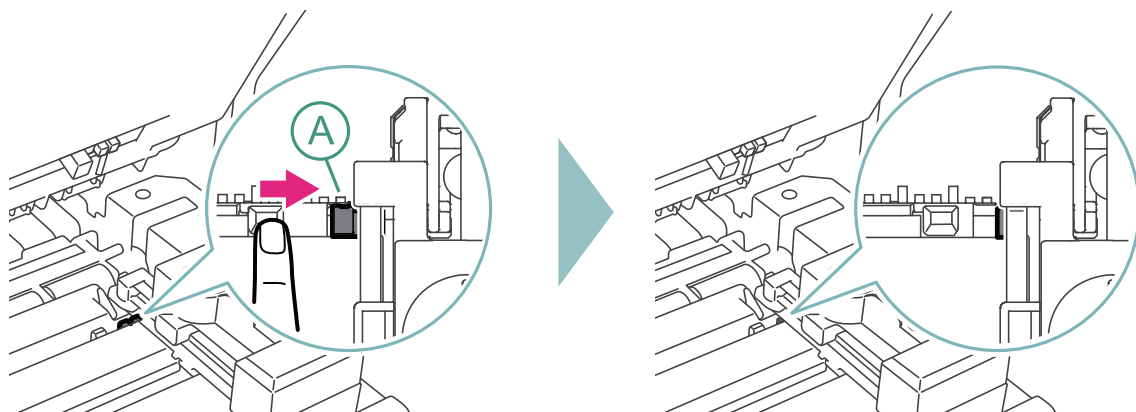
11 下センサー（A）を搬送ガイド（L）側の標準位置に合わせたあと、ロールカバーを閉じる

下センサー（A）を搬送ガイド（L）側へ移動した際にクリック感がある位置が標準位置です。



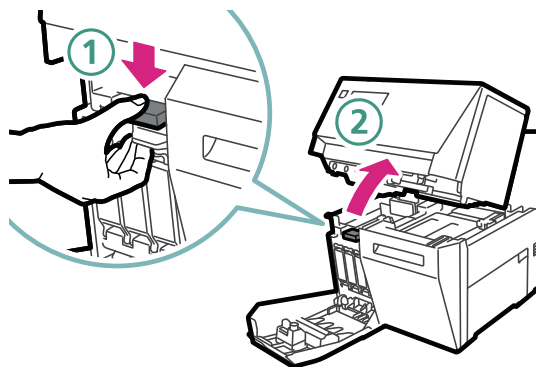
メモ

- 幅が 0.5 インチ（12.7 mm）の用紙を登録する場合は、下センサーを標準位置からさらに搬送ガイド（L）側へ移動し、突き当ててください。



[次へ] を押します。

12 インクタンクカバーを開き、上ユニットオープンレバーを押して、上ユニットを開く

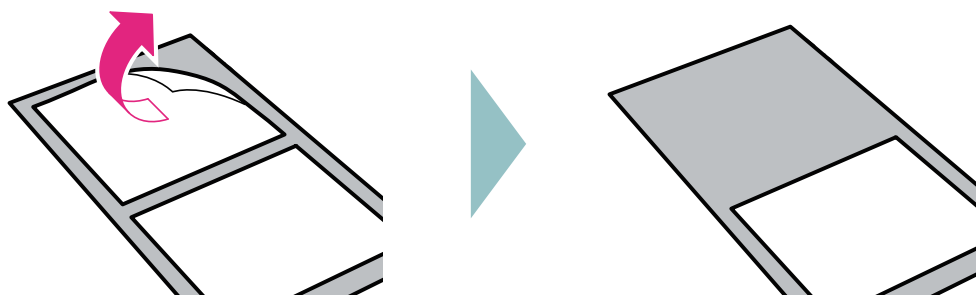


[次へ] を押します。

13 登録したい用紙を用意する

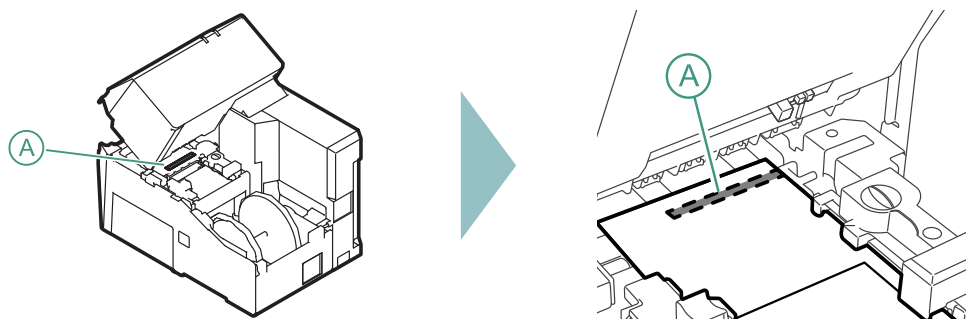
[次へ] を押します。

14 ラベル用紙の場合はラベルをはがして、セパレーター部分を広く露出させる ラベル用紙ではない場合は、この手順は不要です。



[次へ] を押します。

15 用紙のセパレーター部をセンサー窓（A）の上に置く

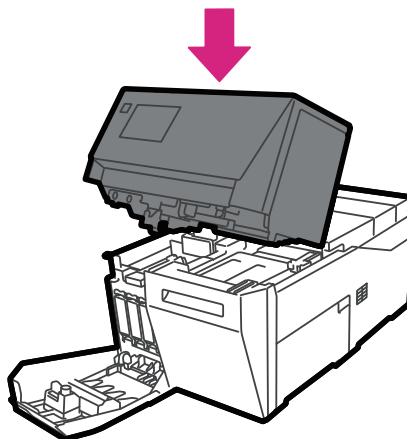


✓ 重要

- ・ センサー窓（A）にブラックマークやすでに印刷された部分が重ならないようにしてください。

[次へ] を押します。

16 上ユニットを閉じる

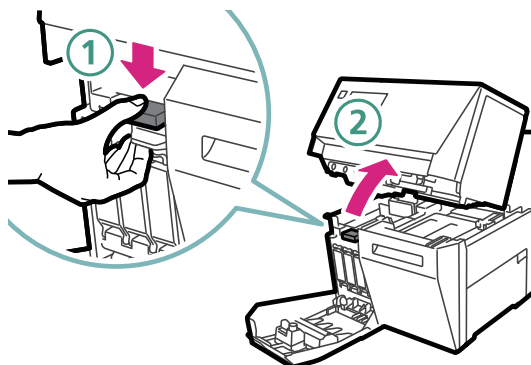


「次へ」を押します。

17 「次へ」を押す

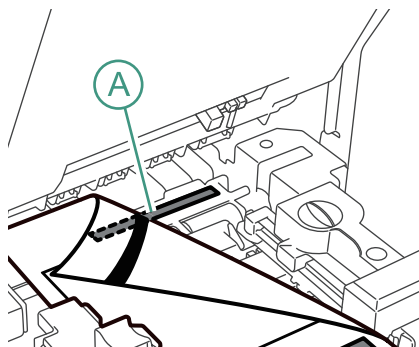
プリンターが用紙を読み取ります。

18 上ユニットオープンレバーを押して、上ユニットを開く



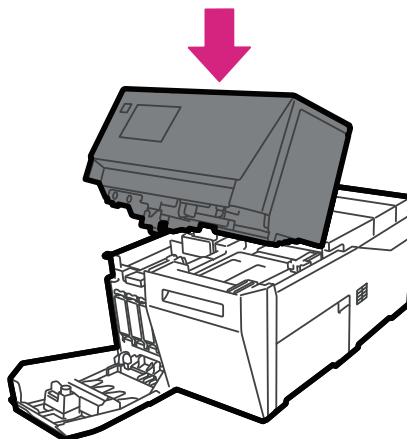
「次へ」を押します。

19 用紙のブラックマーク部分をセンサー（A）の上に置く



「次へ」を押します。

20 上ユニットを閉じる

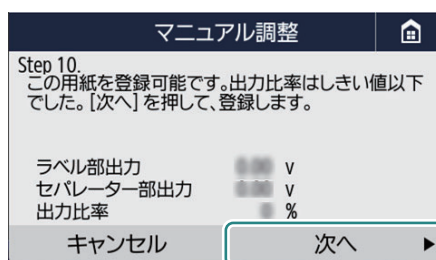


「次へ」を押します。

21 「次へ」を押す

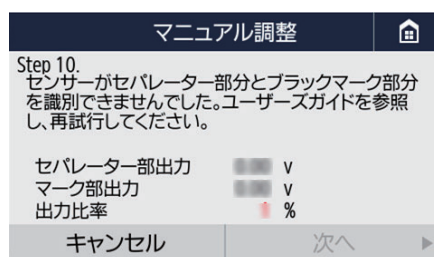
プリンターが用紙を読み取ります。

22 読み取り結果を確認し、「次へ」を押す

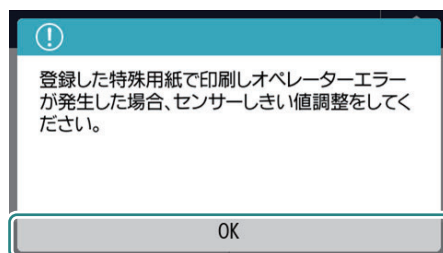


メモ

- 何度試しても読み取り結果に下記の画面が表示される場合は「キャンセル」を押し、手順9からマニュアル調整をやりなおしてください。



23 [OK] を押す

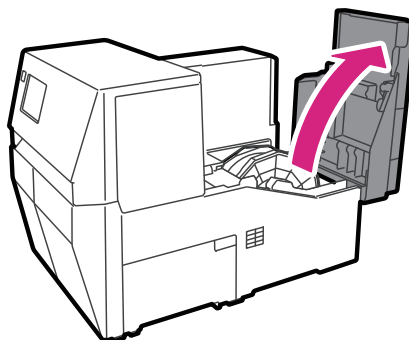


24 ホーム画面で、[用紙バックフィード] を長押しする

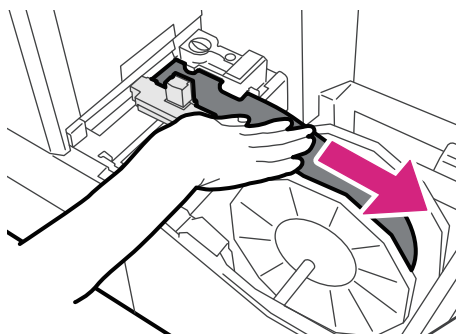


プリンターが停止したら手順 25 に進みます。

25 ロールカバーを開く

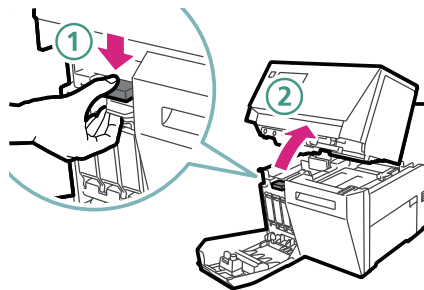


26 搬送部から用紙を引き抜く



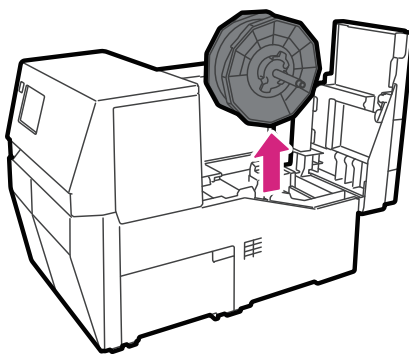
メモ

- 用紙の先端が引き抜けるときは、以下の手順で上ユニットを開いてください。
 1. インクタンクカバーを開ける
 2. 上ユニットオープンレバーを押し、上ユニットを開く



27 ロールホルダーを後方に回してロール紙を巻き取る

28 ロールホルダーを取り外す



29 印刷結果を確認する

登録した特殊用紙設定で印刷を行い、結果を確認します。(→ P.217)

メモ

- オペレーターエラーが発生した場合は、センサーしきい値を調整してください。(→ P.219)

特殊用紙設定を使って印刷する

特殊用紙設定を使用して印刷します。

- 1 ホーム画面で、（メニュー）を押す
- 2 [用紙タイプ設定] → [特殊用紙選択] を押す
- 3 一覧から印刷に使う設定を選ぶ



4 印刷する

➡ 印刷の基本操作 (P. 54)

メモ

- 別の用紙に交換したときは、特殊用紙設定を確認してください。用紙にあった特殊用紙が選択されていない場合、正しい位置に印刷されなくなることがあります。
- [選択しない] を選ぶ、または画面右上の  リセット（リセット）を押すと、特殊用紙設定が選択されていない状態になります。

特殊用紙設定を削除する

不要になった特殊用紙設定を削除します。

- 1 ホーム画面の  (メニュー) → [管理者] を選ぶ
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- 2 [ギャップ / ブラックマーク調整] → [特殊用紙削除] を押す
- 3 一覧から、削除したい設定を選ぶ

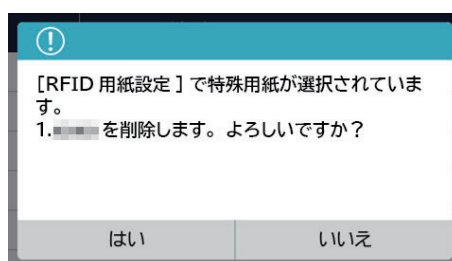
←	特殊用紙削除	→
	1. sample	
	2. 未登録	
	3. 未登録	
	4. 未登録	
	5. 未登録	

確認のメッセージが表示されます。

- 4 [OK] を押す

メモ

- オプションの RFID ユニットをご使用の場合、選んだ特殊用紙設定が [RFID 用紙設定] (→ P.362) で選択されていると以下のメッセージが表示されます。必要な設定を誤って削除しないように、ご注意ください。



- 5 メッセージを確認し [OK] を押す

特殊用紙が削除されます。

センサーしきい値を調整する

特殊用紙設定で印刷したときにオペレーターエラーが発生した場合は、以下の手順でセンサーしきい値の調整を行います。エラー画面に表示されているサポート番号を控えておいてください。

1 ホーム画面で、（メニュー）を押す

2 「管理者」を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

3 「ギャップ/ブラックマーク調整」→「特殊用紙登録・編集」を押す

4 一覧から調整したい設定を選ぶ

←	特殊用紙登録・編集	🏠
	1. sample	
	2. 未登録	
	3. 未登録	
	4. 未登録	
	5. 未登録	

5 「センサーしきい値調整」を選ぶ

←	特殊用紙登録・編集	🏠
	特殊用紙登録	>
	マニュアル調整	>
	センサーしきい値調整	0 >
	印刷位置調整	0.0mm >
	カット位置調整	0.0mm >

6 表示されたメッセージを確認し、「OK」を押す

←	センサーしきい値調整	🏠
登録した特殊用紙でマニュアル調整後、印刷し以下のオペレーターエラーが発生した場合、[調整ガイド]を参考に調整してください。		
・用紙なし (30nn)		
・用紙長さ違い (31nn)		
・マーク長さサイズ違い (32nn)		
・紙つまり (印刷中) (34nn)		
OK		

7 「調整ガイド」を押して、調整値を確認する



「調整ガイド」を押すと、サポート番号ごとの調整値が表示されます。例えば「マーク長サイズ違いエラー（サポート番号：3202）」が発生した場合は、調整値「-4」を設定してください。

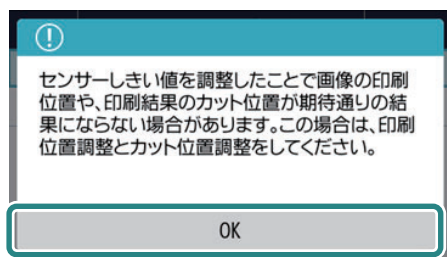
エラー名称	サポート番号	調整値
用紙なし	3002	+4
用紙長さ違い	3102	+4
	3104	-4
マーク長サイズ違い	3202	-4
	3203	+4
紙づまり（印刷中）	3401	-4
	3402	-4
	3403	+4
	3404	+4
	3405	-4
	3406	+4

9 右上の ✕（閉じる）を押して、調整ガイドを閉じる

10 調整値を選ぶ



11 表示されたメッセージを確認し、[OK]を押す



センサーしきい値の調整が反映されます。

12 印刷結果を確認する

登録した特殊用紙設定で印刷を行い、結果を確認します。(→ P.217)

メモ

- 画像の印刷位置やカット位置がずれる場合は、印刷位置調整 (→ P.222)、カット位置調整 (→ P.224) を行ってください。

印刷位置を調整する

センサーしきい値を調整すると、印刷位置がずれることがあります。その場合は、以下の手順で印刷位置を調整してください。

1 ホーム画面で、（メニュー）を押す

2 「管理者」を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

3 「ギャップ/ブラックマーク調整」→「特殊用紙登録・編集」を押す

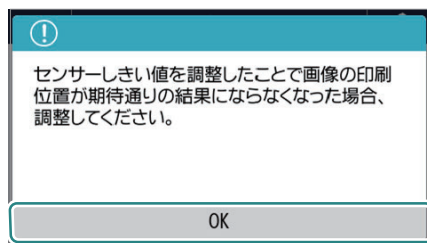
4 一覧から調整したい設定を選ぶ

←	特殊用紙登録・編集	🏠
	1. sample	
	2. 未登録	
	3. 未登録	
	4. 未登録	
	5. 未登録	

5 「印刷位置調整」を選ぶ

←	特殊用紙登録・編集	🏠
	特殊用紙登録	>
	マニュアル調整	>
	センサーしきい値調整	0 >
	印刷位置調整	0.0mm >
	カット位置調整	0.0mm >

6 表示されたメッセージを確認し、「OK」を押す



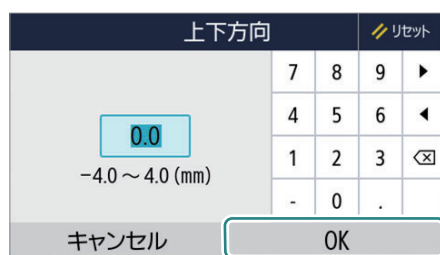
7 印刷位置の上下方向を調整する

1. 数値入力エリアを押す

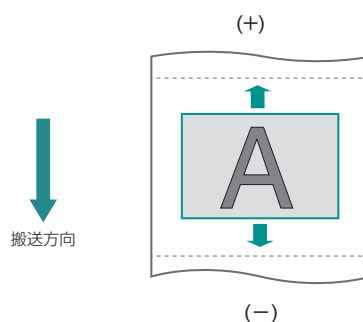


2. 調整値を入力し、[OK] を押す

調整値は -4mm~+4mm の間を、0.1mm 単位で設定できます。



下方向に移動する場合は「-」（マイナス）、上方向に移動する場合は「+」（プラス）で、画像の移動幅を指定します。



📖 メモ

- 調整した印刷位置の設定は、手順 4 で選んだ特殊用紙設定を使用して印刷する場合にのみ有効です。
印刷位置は  (メニュー) → [メンテナンス] → [印刷位置調整] (→ P.310) でも調整できますが、本機能で調整した値は反映されません。
- 特殊用紙設定を使用する場合の印刷位置は、以下の値の合算になります：
 - 本機能で調整した値
 -  (メニュー) → [メンテナンス] → [印刷位置調整] (→ P.310) で調整した値

カット位置を調整する

センサーしきい値を調整すると、カット位置がずれることがあります。その場合は以下の手順で、カット位置を調整してください。

1 ホーム画面で、（メニュー）を押す

2 「管理者」を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

3 「ギャップ/ブラックマーク調整」→「特殊用紙登録・編集」を押す

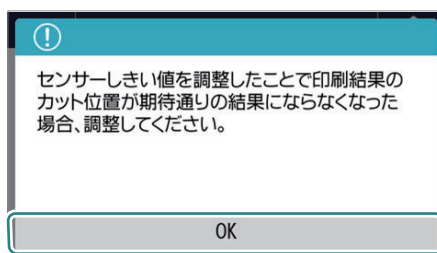
4 一覧から調整したい設定を選ぶ

←	特殊用紙登録・編集	🏠
	1. sample	
	2. 未登録	
	3. 未登録	
	4. 未登録	
	5. 未登録	

5 「カット位置調整」を選ぶ

←	特殊用紙登録・編集	🏠
	特殊用紙登録	>
	マニュアル調整	>
	センサーしきい値調整	0 >
	印刷位置調整	0.0mm >
	カット位置調整	0.0mm >

6 表示されたメッセージを確認し、「OK」を押す



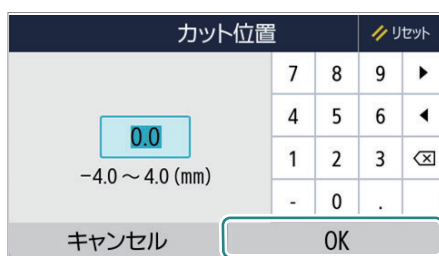
7 カット位置の上下方向を入力する

1. 数値入力エリアを押す

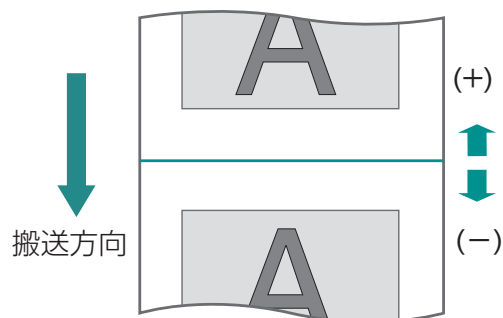


2. 調整値を入力し、[OK] を押す

調整値は -4mm~+4mm の間を、0.1mm 単位で調整できます。



下方向に移動する場合は「-」（マイナス）、上方向に移動する場合は「+」（プラス）で、カット位置の移動幅を指定します。



メモ

- 調整したカット位置の設定は、手順 4 で選んだ特殊用紙設定を使用して印刷する場合にのみ有効です。
印刷位置は  (メニュー) → [メンテナンス] → [カット位置調整] (→ P.311) でも調整できますが、本機能で調整した値は反映されません。
- 特殊用紙設定を使用する場合のカット位置は、以下の値の合算になります：
 - 本機能で調整した値
 -  (メニュー) → [メンテナンス] → [カット位置調整] (→ P.311) で調整した値

ショートカットの作成

よく使用する機能をショートカットメニューに登録できます。ホーム画面に戻らずに続けて使用したい機能を呼び出せるので便利です。

ショートカットメニューは後から編集したり（→ P.228）削除したり（→ P.230）することもできます。

メモ

- ・ ショートカットメニューは1ページごとに最大6件、3ページ分を登録できます。

■ ショートカットメニューに登録する

1 ホーム画面で★（ショートカット）を選ぶ



メモ

- ・ ホーム画面から、⚙️（メニュー）→ [システム設定] → [ショートカット登録] → [はい] を選んでショートカットメニューを開くこともできます。その場合は、手順4に進んでください。
- ・ [システム設定] が表示されない場合は、管理者によって [システム設定] が [非公開] に設定されています。設定を変更したい場合は本プリンターの管理者にご相談ください。

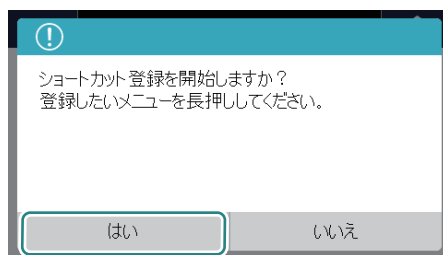
2 「登録できます」と表示されているボタンを選ぶ



メモ

- ・ 初期設定では「ノズルチェックパターン」、「クリーニング（弱）」、「クリーニング（中）」、「クリーニング（強）」、「給紙タイプ」が登録されています。

3 「はい」を選ぶ



メニュー一覧が表示されます。

4 ショートカットメニューに登録したい機能を長押しする

🏠	ショートカット登録	🏠
👤	メンテナンス	>
📄	用紙タイプ設定	>
🖨️	システム設定	>
🌐	ネットワーク設定	>
⚙️	管理者	>
👤	ホーム	>

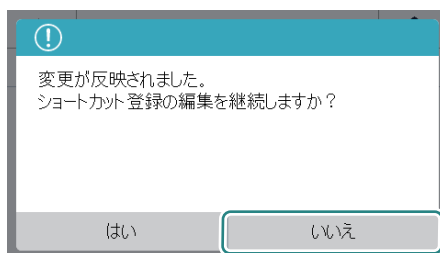
5 ショートカットメニューに登録したいページを選ぶ

🏠	ショートカット登録
	登録しない
	Page1
	Page2
	Page3

📖 メモ

- すでに 6 件の機能が登録されているページは選べません。

6 「いいえ」を選ぶ



メモ

- ・「はい」を選択すると、手順4の画面に戻ります。

ショートカットメニューに、手順4で選択した機能が追加されます。



■ ショートカットメニューを編集する

1 ★ (ショートカット) を選ぶ

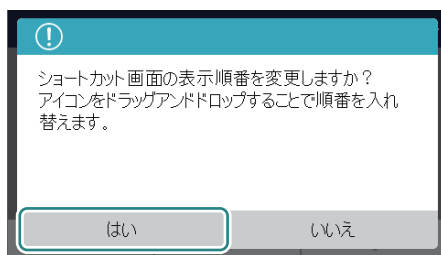


2 編集したい機能のボタンを長押しする

長押しすると、ボタンの背景が白から水色に変わります。



3 「はい」を選ぶ



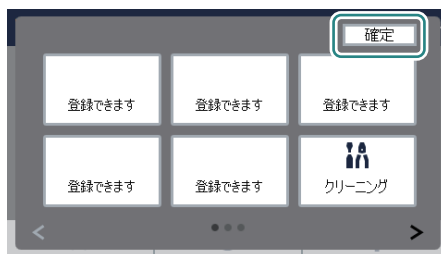
4 ボタンの表示順番を設定する

- 同じページ内で表示順番を変更したい場合
 1. 編集したい機能のボタンを文字がグレーになるまで長押しします。
 2. ドラッグしながら変更したい位置に移動させます。
- 他のページに移動したい場合
 1. 編集したい機能をタップします。
 2. 選択メニューが表示されたら、移動させたいページを選びます。

メモ

- ・すでに6件の機能が登録されているページは移動先に選択できません。

5 「確定」を選ぶ



■ ショートカットメニューを削除する

1 ★（ショートカット）を選ぶ

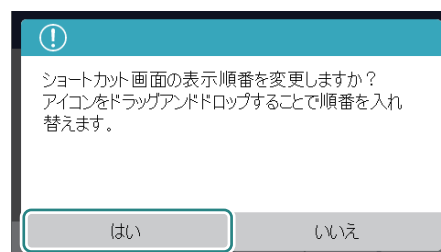


2 ショートカットメニューの中の、任意の機能のボタンを長押しする

長押しすると、ボタンの背景が白から水色に変わります。

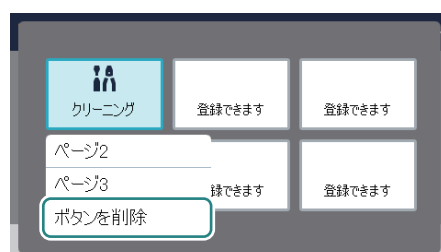


3 [はい] を選ぶ

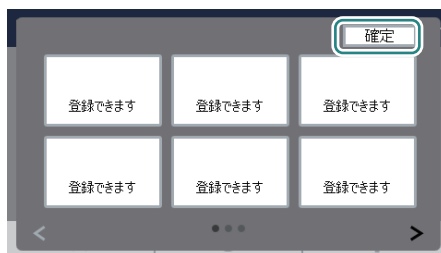


4 削除したい機能を選ぶ

5 選択メニューが表示されたら、[ボタンを削除] を選ぶ



6 「確定」を選ぶ



プリンターの設定を移行する

本体設定を、同一機種のほかのプリンターに移行できます。

メモ

- 同じファームウェアのバージョン間のみ対応します。移行対象データは固定です。
- 本プリンターで使用できる USB メモリーのフォーマットは FAT32 のみです。NTFS および exFAT でフォーマットされた USB メモリーは認識できません。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。(→ P.188)

1 設定をエクスポートする

1. USB メモリーを USB メモリー接続部にセットする
2. ホーム画面で、 (メニュー) を押す
3. [管理者] を押す
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
4. [設定] → [設定エクスポート] → [設定ファイルエクスポート] の順に押す
5. [はい] を押す
6. [OK] を押す
7. [USB メモリーの取り外し] または  (メモリーメディア取り外し) を押す

2 設定をインポートする

1. USB メモリーを USB メモリー接続部にセットする
2. ホーム画面で、 (メニュー) を押す
3. [管理者] を押す
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
4. [設定] → [設定エクスポート] → [設定ファイルインポート] の順に押す
5. インポートするファイルを選択する
6. [OK] を押す
7. [USB メモリーの取り外し] または  (メモリーメディア取り外し) を押す

メモ

- USB メモリーに保存された設定ファイルを読み込む場合は、一番上の階層に保存してください。フォルダーの中に保存されている設定ファイルは読み込むことができません。
- USB メモリーを取り外す際は [USB メモリーの取り外し] を選択するかわりに  (メモリーメディア取り外し) を押しても、USB メモリーを安全に取り外すことができます。

プリンターの設定を初期化する

プリンターの設定を初期設定に戻します。

📌 重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。(→ P.188)

1 ホーム画面で、 (メニュー) を押す

2 「管理者」を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

3 「設定」→「初期設定に戻す」の順に押す

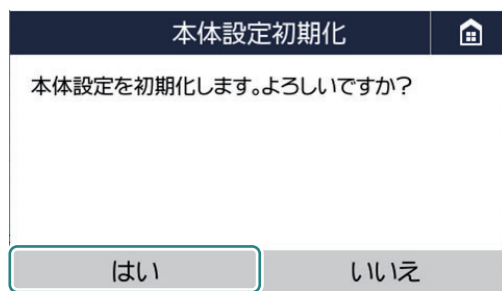
4 初期設定に戻したい設定を選ぶ

本体設定初期化	 (メニュー) で設定した項目を初期設定に戻します。 → メニューの階層 (P.180) ただし、以下の項目は初期設定に戻りません。 「ネットワーク設定」(→ P.194) で設定した項目 「管理者」→「ヘッド位置調整」(→ P.196) で設定した項目 「管理者」→「ギャップ/ブラックマーク調整」(→ P.196) で設定した項目 「管理者」→「RFID」(→ P.196) で設定した項目
ネットワーク設定初期化	「ネットワーク設定」で設定した項目を初期設定に戻します。 → ネットワーク設定 (P.186)
設定全初期化	「本体設定初期化」と「ネットワーク設定初期化」で初期化される項目を初期設定に戻します。

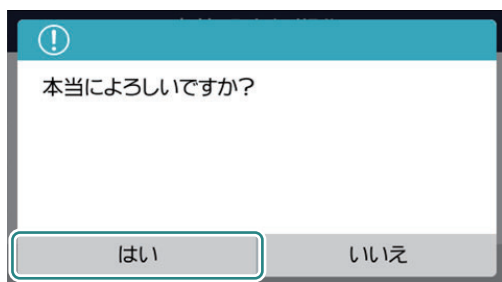
📖 メモ

- 外部 IO 入出力信号設定の初期化について
本体設定初期化を行うと、外部 IO 入出力信号設定も初期設定に戻ります。
外部 IO 入出力信号設定のみを初期設定に戻す場合は、「**外部 IO 入出力信号設定初期化 (P.195)**」から行ってください。

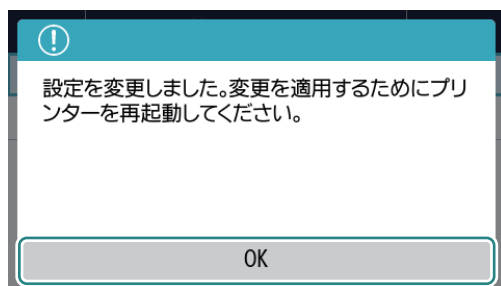
5 メッセージを確認し、[はい]を押す



6 メッセージを確認し、[はい]を押す



7 メッセージの内容を確認し、[OK]を押す



プリンターを再起動してください。(→ P.10)

パソコンとの接続

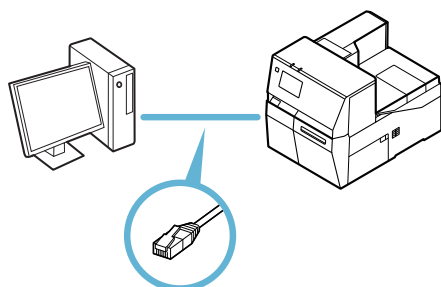
接続方法を選ぶ	236
有線 LAN 接続.....	237
USB 接続.....	238
ネットワーク設定を変更する	239
LAN 設定をする	239
ポートを設定する	244
使用するネットワーク環境に合わせる	245
ネットワーク設定情報を確認する	246
不正アクセス対策について	251
ネットワーク環境でプリンターを共有する	252
プリントサーバー機での設定	253
クライアント機での設定	254

接続方法を選ぶ

本製品では、2 種類の接続方法をご利用いただけます。

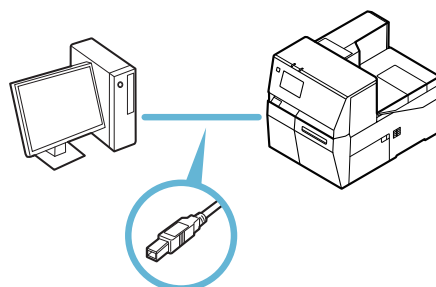
● 有線 LAN 接続 (→ P.237)

LAN ケーブルを使用してプリンターとパソコンを接続します。



● USB 接続 (→ P.238)

USB ケーブルを使用してプリンターとパソコンを接続します。



✓ 重要

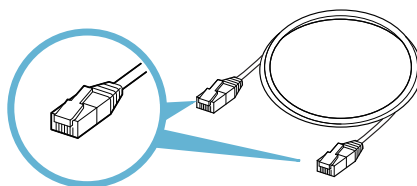
- USB ケーブルは、パソコンやプリンターの電源オンの状態でも抜き差しすることはできますが、次の場合はケーブルを抜き差ししないでください。正しく動作しなくなる場合があります。
 - パソコンの起動中 (デスクトップ画面が表示されるまでの間)
 - プリンターの印刷中
 - プリンタードライバーのインストール中
- パソコンやプリンターが電源オン状態のときにケーブルを外す場合は、パソコン側のコネクタを抜くようにしてください。また、ケーブルを差し直す場合は、5 秒以上間隔を空けて差し込んでください。間隔が短いと正しく動作しない場合があります。

有線 LAN 接続

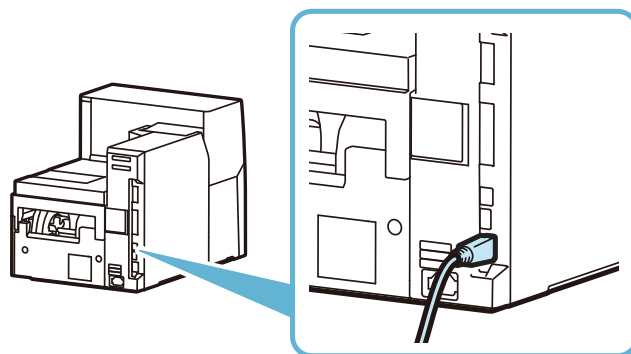
✓ 重要

- ・ カテゴリー 5e 以上のツイストペアケーブルをご使用ください。
- ・ パソコンなどの機器とルーターが接続されていることを確認してください。設定を確認する方法については、ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- ・ 接続するパソコンにプリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンタードライバーのインストールを行ってください。
- ・ プリンタードライバーのインストールについては、プリンタードライバー CD に収録されているドライバーインストールガイドをお読みください。
- ・ ルーターをご使用の場合は、プリンターとパソコンなどの機器を LAN 側（同一セグメント内）に接続してください。
- ・ ネットワーク機器の構成やルーター機能の有無、設定方法、セキュリティの設定はご使用の環境によって異なります。詳細については、ご使用の機器のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- ・ オフィスでご使用の場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ・ セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続する場合は、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。十分、ご注意ください。

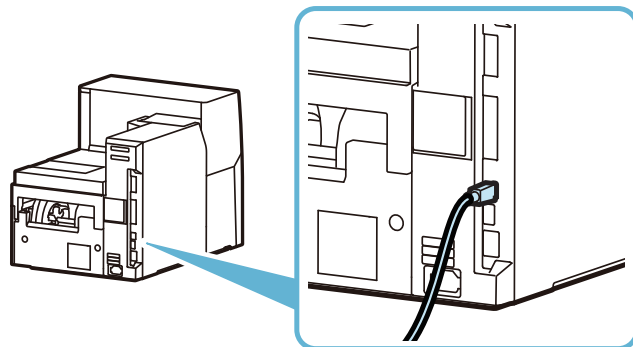
1 市販の LAN ケーブルを準備します。



2 LAN ケーブルで、プリンターとルーターなどのネットワーク機器を接続します。ほかのポートに接続しないようにしてください。



1 プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続します。

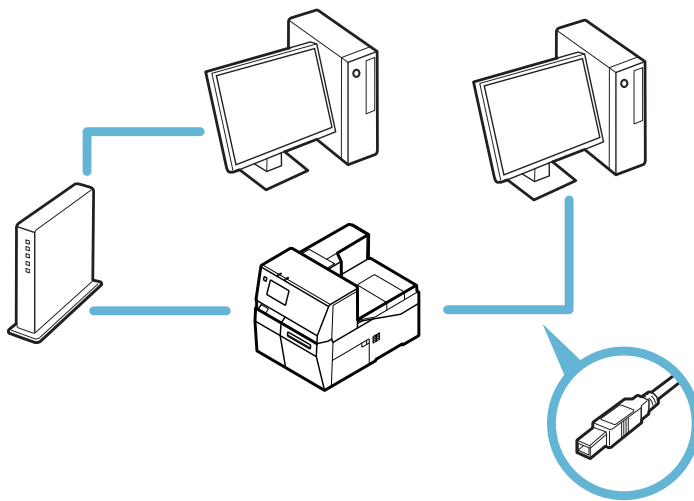


USB 接続では、プリンターとパソコンが 1 対 1 で接続されます。

パソコンが LAN と接続されている場合、パソコン側でプリンターを共有設定することにより、他の機器からプリンターを使うことができます。

メモ

- ・ ルーターと有線 LAN で接続している場合でも、他のパソコンと USB で接続することができます。



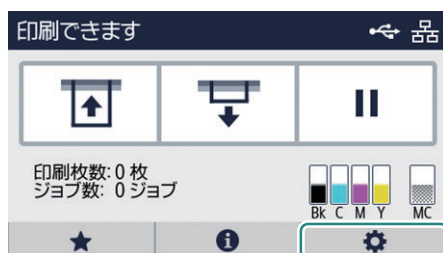
ネットワーク設定を変更する

ネットワークの設定を変更する場合は、あらかじめネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な設定を行ってください。

LAN 設定をする

■ IPv4 アドレスを設定する

1 ホーム画面で、（メニュー）を選ぶ



2 [ネットワーク設定] → [LAN 設定] → [IPv4 設定] の順に選ぶ



- ・ [ネットワーク設定] が表示されない場合は、管理者によって [ネットワーク設定] が [非公開] に設定されています。設定を変更したい場合は本プリンターの管理者にご相談ください。

3 [IP アドレス設定] を選ぶ

4 IP アドレスを設定する

● IP アドレスを手動で設定する場合：

1. [IP アドレスの自動取得] → [OFF] の順に選ぶ
2. [IP アドレス] を選択して IP アドレスを入力する
3. [OK] を選ぶ
4. [サブネットマスク] を選択してサブネットマスクを入力する
5. [OK] を選ぶ
6. [デフォルトゲートウェイ] を選択してデフォルトゲートウェイを入力する
7. [OK] を選ぶ

● IP アドレスを自動的に割り当てる場合：

1. [IP アドレスの自動取得] を選ぶ
2. [ON] を選ぶ

5 必要に応じて、以下を設定する

● DNS サーバーを使用する場合

1. [DNS 設定] を選ぶ
2. [プライマリー DNS アドレス] を選択して IP アドレスを入力する
3. [OK] を選ぶ
4. [セカンダリー DNS アドレス] を選択してサブネットマスクを入力する
5. [OK] を選ぶ
6. [ドメイン名] を選択してドメイン名を入力する
7. [OK] を選ぶ
8. [DNS の動的更新] を選択して [OFF] または [ON] を選ぶ
9.  (ホーム) を選ぶ

● mDNS を使用する場合

1. [mDNS] → [ON] を選ぶ

● DHCP サーバー接続時にオプションを使用する場合

1. [DHCP オプション設定] を選び、必要なオプションの設定をする
2.  (ホーム) を選ぶ

メモ

- ・ [ホスト名] はプリンター名と同じです。また、プリンター名は本メニューからは変更できません。変更したい場合は、[ホーム画面] →  (メニュー) → [ネットワーク設定] → [デバイス情報設定] → [プリンター名] の順に選び、プリンター名を編集してください。[DHCP オプション設定] で必要なオプションを設定した場合、DHCP サーバー側で対応するオプション設定を有効にしてください。プリンター側が [ON] に設定されていても、DHCP サーバー側が無効に設定されていると意図した表示にならないことがあります。
- ・ 「ホスト名の取得」や「ドメイン名の取得」を [ON] に設定する場合、DHCP サーバー側で設定するそれぞれの名称は、以下の条件を満たすように設定してください。条件を満たさない状態で [ON] に設定すると、意図した表示にならないことがあります。
 - ホスト名は 15 文字以内にすること
 - ドメイン名に禁止事項 (スペース禁止など) を含まないこと

● PING コマンドを使用する場合

1. [PING コマンド] を選ぶ
2. [IP アドレス] を選択して IP アドレスを入力し、[実行] を押す
3.  (ホーム) を選ぶ

■ IPv6 アドレスを設定する

メモ

- IPv6 アドレスは複数と同時に使用することができます。

1 ホーム画面で、 (メニュー) を選ぶ



2 [ネットワーク設定] → [LAN 設定] → [IPv6 設定] → [IPv6 を使用] → [ON] の順に選ぶ

メモ

- [ネットワーク設定] が表示されない場合は、管理者によって [ネットワーク設定] が [非公開] に設定されています。設定を変更したい場合は本プリンターの管理者にご相談ください。

3 必要に応じて、以下を設定する

- IP アドレスを手動で設定する場合

1. [手動アドレス] → [ON] を選ぶ
2. [手動アドレス] を選んで、IP アドレスを入力し、[OK] を押す
3. [プレフィックス長] を選んでプレフィックス長を入力し、[OK] を押す
4. [デフォルトルーターアドレス] を選んでデフォルトルーターアドレスを入力し、[OK] を押す

- DHCPv6 を使って DHCP サーバーからステートレスアドレスを取得する場合

1. [DHCPv6 を使用] → [ON] を選ぶ
2. [ステートレスアドレス設定] → [ON] を選ぶ

- DNS サーバーを使用する場合

1. [DNS 設定] を選ぶ
2. [プライマリー DNS アドレス] を選択して IP アドレスを入力する
3. [OK] を選ぶ
4. [セカンダリー DNS アドレス] を選択してサブネットマスクを入力する
5. [OK] を選ぶ
6. [ドメイン名] を選択してドメイン名を入力する
7. [OK] を選ぶ
8. [DNS の動的更新] を選択して [OFF] または [ON] を選ぶ
9.  (ホーム) を選ぶ

- mDNS を使用する場合

1. [mDNS] → [ON] を選ぶ

- DHCP サーバー接続時にオプションを使用する場合

1. [DHCP オプション設定] を選び、必要なオプションの設定をする
2.  (ホーム) を選ぶ

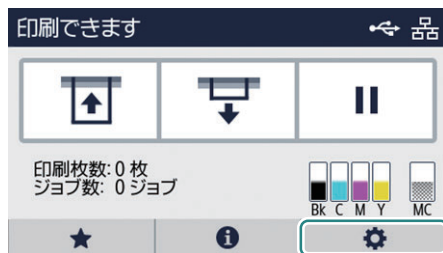
メモ

- [DHCP オプション設定] で必要なオプションを設定した場合、DHCP サーバー側で対応するオプション設定を有効にしてください。
プリンター側が [ON] に設定されていても、DHCP サーバー側が無効に設定されていると意図した表示にならないことがあります。
- 「ドメイン名の取得」を [ON] に設定する場合、DHCP サーバー側で設定する名称は、以下の条件を満たすように設定してください。条件を満たさない状態で [ON] に設定すると、意図した表示にならないことがあります。
 - ドメイン名に禁止事項（スペース禁止など）を含まないこと

- PING コマンドを使用する場合

1. [PING コマンド] を選ぶ
2. [IP アドレス] を選択して IP アドレスを入力し、[実行] を押す
3. [ホスト名] を選択してホスト名を入力し、[実行] を押す
4.  (ホーム) を選ぶ

1 ホーム画面で、 (メニュー) を選ぶ



2 [ネットワーク設定] → [LAN 設定] → [ポート設定] を選ぶ

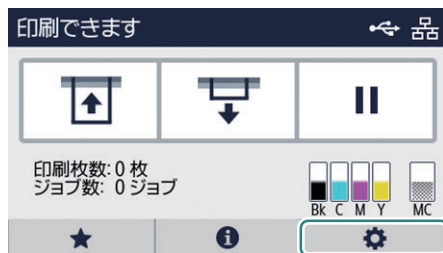


- ・ [ネットワーク設定] が表示されない場合は、管理者によって [ネットワーク設定] が [非公開] に設定されています。設定を変更したい場合は本プリンターの管理者にご相談ください。

3 必要に応じて、以下を設定する

- 独自プロトコルを使用する場合：
 1. [独自プロトコルを使用] → [ON] を選ぶ
- RAW 印刷を使用する場合
 1. [RAW 印刷を使用] → [ON] を選ぶ
 2. [タイムアウト] を選び、タイムアウトまでの時間を設定する
- LPD 印刷を使用する場合
 1. [LPD 印刷を使用] → [ON] を選ぶ
 2. [タイムアウト] を選び、タイムアウトまでの時間を設定する

1 ホーム画面で、（メニュー）を選ぶ



2 [ネットワーク設定] を選ぶ

メモ

- ・ [ネットワーク設定] が表示されない場合は、管理者によって [ネットワーク設定] が [非公開] に設定されています。設定を変更したい場合は本プリンターの管理者にご相談ください。

[デバイス情報設定]

プリンター名、設置場所を設定します。最大 15 文字まで入力できます。

メモ

- ・ すでに LAN 接続されている機器と同じプリンター名は使用できません。
- ・ プリンター名の最初と最後の文字に、- (ハイフン) は使用できません。

[ネットワーク情報]

ネットワーク設定の一覧が表示されます。右上の [印刷] を押すと、ネットワーク情報を印刷することができます。

[LAN 設定]

IP アドレスの設定をします。

[IPv4 設定] (→ P.239)

[IPv6 設定] (→ P.242)

[ポート設定] (→ P.244)

[SNMP 設定]

SNMPv1、SNMPv3 に関する設定をします。

[ファイアウォール設定]

特定の IP アドレスからのフィルタリングを設定します。

ネットワーク設定情報を確認する

本プリンターに設定されているネットワーク設定情報を確認します。

➡ タッチパネル上で確認する (P. 246)

➡ 印刷して確認する (P. 249)

■ タッチパネル上で確認する

1 ホーム画面で、 (メニュー) を選ぶ



2 [ネットワーク設定] → [ネットワーク情報] の順に選ぶ

ネットワーク設定情報が表示されます。



- ・ [ネットワーク設定] が表示されない場合は、管理者によって [ネットワーク設定] が [非公開] に設定されています。設定を変更したい場合は本プリンターの管理者にご相談ください。

		設定内容 (XX は半角英数字を示す)
本体情報		
	プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
	設置場所	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
	MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
	ファームウェアバージョン	XX.XX.XX.XXXX
LAN 設定		
IPv4 設定		
IP アドレス設定		
	IP アドレスの自動取得	ON/OFF
	IP アドレス	XXXX.XXXX.XXXX.XXXX
	サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
DNS 設定		
	プライマリー DNS アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
	セカンダリー DNS アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
	ホスト名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
	ドメイン名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
	DNS の動的更新	ON/OFF
	mDNS	ON/OFF

DHCP オプション設定

ホスト名の取得	ON/OFF
DNS サーバーアドレスの取得	ON/OFF
ドメイン名の取得	ON/OFF

IPv6 設定

IPv6 を使用	ON/OFF
リンクローカルアドレス	FE80:0000:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
ステートレスアドレス設定	ON/OFF
手動アドレス設定	
手動アドレスを使用	ON/OFF
手動アドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
プレフィックス長	1~128
デフォルトルーターアドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
DHCPv6 を使用	ON/OFF

DNS 設定

プライマリー DNS アドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
セカンダリー DNS アドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
ホスト名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
ドメイン名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
DNS の動的更新	ON/OFF
mDNS	ON/OFF

DHCP オプション設定

DNS サーバーアドレスの取得	ON/OFF
ドメイン名の取得	ON/OFF

ポート設定

独自プロトコルを使用	ON/OFF
RAW 印刷の設定	
RAW 印刷を使用	ON/OFF
タイムアウト	1 ~ 60 分
LPD 印刷の設定	
LPD 印刷を使用	ON/OFF
タイムアウト	1 ~ 60 分

SNMP 設定

SNMPv1 設定

SNMPv1 を使用	ON/OFF
コミュニティ名 1 設定	
コミュニティ名 1	ON/OFF
コミュニティ名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
コミュニティ名 2 設定	
コミュニティ名 2	ON/OFF
コミュニティ名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

SNMPv3 設定

SNMPv3 を使用	ON/OFF
ユーザー名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

	セキュリティ設定	認証あり / 暗号化あり 認証あり / 暗号化なし 認証なし / 暗号化なし
	認証アルゴリズム	MD5/SHA1/SHA224/SHA256/SHA384/SHA512
	認証パスワード	8 ~ 16 文字までの半角英数字記号
	暗号化アルゴリズム	MD5/SHA1/SHA224/SHA256/SHA384/SHA512
	暗号化パスワード	8 ~ 16 文字までの半角英数字記号
ファイアウォール設定		
	IPv4 アドレス：受信フィルター	
	フィルターを使用	ON/OFF
	デフォルトポリシー	許可 / 拒否
	例外アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
	IPv6 アドレス：受信フィルター	
	フィルターを使用	ON/OFF
	デフォルトポリシー	許可 / 拒否
	例外アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
	MAC アドレス：受信フィルター	
	フィルターを使用	ON/OFF
	デフォルトポリシー	許可 / 拒否
	例外アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX

■ 印刷して確認する

✓ 重要

- ・ ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、お使いのネットワークに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。
- ・ 用紙がセットされていることを確認してください。
- ・ 設定値の印刷には、幅 2 インチ以上×長さ 1.5 インチ以上の用紙をお使いください。これより小さいサイズ of 用紙をご使用になるとエラーが発生して印刷することができません。
- ・ 印刷中やエラーが発生している状態のときは、設定値印刷を行えません。

1 ホーム画面で、 (メニュー) を選ぶ



2 [ネットワーク設定] → [ネットワーク情報] の順に選ぶ

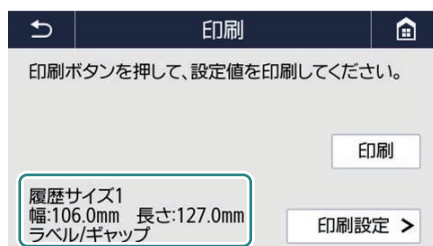
ネットワーク設定情報が表示されます。

📖 メモ

- ・ [ネットワーク設定] が表示されない場合は、管理者によって [ネットワーク設定] が [非公開] に設定されています。設定を変更したい場合は本プリンターの管理者にご相談ください。

3 [印刷] を押す

4 表示された印刷設定を確認する



● セットされている用紙と設定が異なる場合

1. [印刷設定] を押す
2. [用紙] 欄を押し、表示されたリストからプリンターにセットされている用紙のサイズを選ぶ



・最近使用した用紙サイズから選ぶ場合

[履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3] のいずれかを選択します。



- ・ [用紙] のうち [履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3] には、最新のジョブ3件の印刷設定がそれぞれ保存されています。ただし、特殊形状ラベルの印刷設定はノズルチェックパターンの印刷に適さないため、最新のジョブ3件にこれらの設定が含まれていても [履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3] に保存されません。
- ・ 標準ラベル用紙から用紙サイズを選ぶ場合
使用する用紙のサイズを選択します。
リストに登録されている用紙サイズの一覧は「[用紙サイズを選ぶ \(P. 66\)](#)」をご覧ください。
- ・ 用紙サイズを自由に設定する場合
各項目をタップして、用紙情報を入力します。(カスタムサイズ)
用紙の形状によって、設定可能な範囲が異なります。詳しくは「[ユーザー用紙サイズの設定可能範囲 \(P. 45\)](#)」をご覧ください。

3.  (戻る) を押す

5 [印刷] を押す

ネットワーク設定情報が印刷されます。

不正アクセス対策について

プリンターにおける、外部からの不正アクセス対策について説明します。プリンターをネットワーク環境でお使いの方、管理者の方は、ご利用の前にご確認ください。

外部からの不正アクセス対策のポイントは次の2点です。

■ プライベート IP アドレスで運用する

IP アドレスとは、ネットワーク上の機器に割り当てられる番号のことで、インターネット接続に使われる IP アドレスを「グローバル IP アドレス」、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使われる IP アドレスを「プライベート IP アドレス」といいます。

プリンターにグローバル IP アドレスが設定されている場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセス可能な状態であり、外部からの不正アクセスによる情報漏洩などのリスクも高まります。

一方、プライベート IP アドレスが設定されている場合は、社内 LAN などのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。したがって、プリンターの IP アドレスにはプライベート IP アドレスを設定して運用してください。

プライベート IP アドレスには、次のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。本プリンターに設定されている IP アドレスがプライベート IP アドレスかどうかをご確認ください。

プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

IP アドレスの確認のしかた

- プリンター本体の操作パネルで、[ホーム画面] →  (メニュー) → [ネットワーク設定] → [LAN 設定] からお使いのネットワーク方式を選び、IP アドレスを確認します。

メモ

- プリンターにグローバル IP アドレスが設定されていても、ファイアーウォール等で外部からのアクセスを防御する環境を設定すれば、不正アクセスのリスクは軽減されます。

■ ファイアウォール、ルーター等で通信を制限する

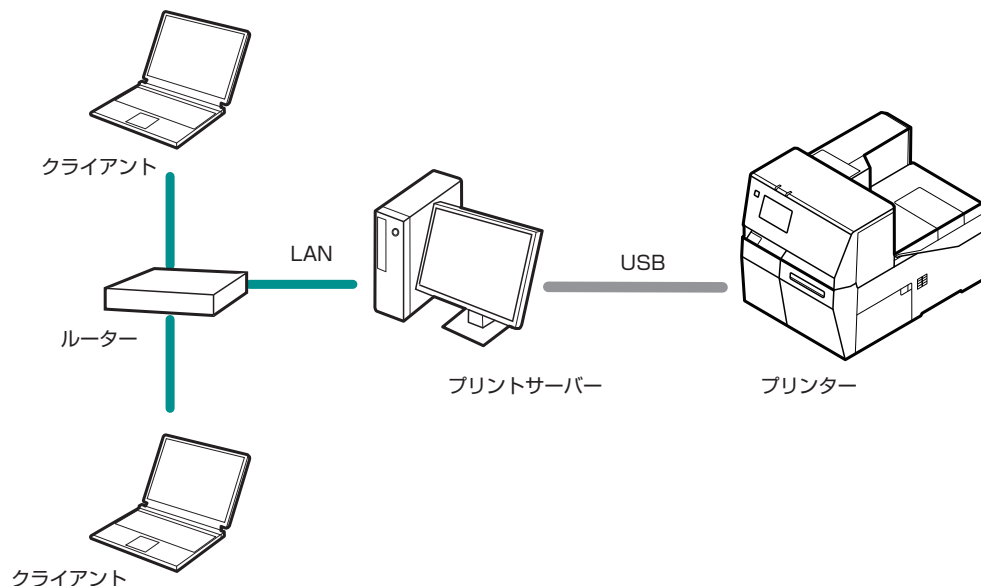
ファイアウォールとは、外部ネットワークからの不正アクセスを防止し、組織内のネットワークへの攻撃や侵入を防ぐシステムです。

危険と思われる特定の外部 IP アドレスからの通信を制限することで、お使いのネットワークへの不正アクセスを防止できます。

ご家庭でお使いのルーターにも、同様な機能が備わっています。設定を変更する場合には、十分注意して行ってください。

ネットワーク環境でプリンターを共有する

パソコンをネットワーク環境で使用しているときは、1 台のプリンターを共有して複数のパソコンから印刷することができます。



プリントサーバー機での設定

プリントサーバー機でプリンタードライバーの共有を設定します。その後、クライアント機からプリントサーバー機への接続を設定します。

📖 メモ

- ネットワークに接続する各パソコンの Windows のバージョンが同じである必要はありません。

1 プリントサーバー機にプリンタードライバーをインストールする

2 [設定] → [Bluetooth とデバイス] → [プリンターとスキャナー] を選ぶ

3 本プリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] を選ぶ

👍 重要

- ソフトウェアを起動したり、インストールやアンインストールを行ったりする場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。管理者の権限を持つユーザーでサインインした場合は、[はい] をクリックして、操作を続けてください。
ソフトウェアによっては、管理者の権限を持つユーザー以外は操作が続行できない場合があります。この場合は、管理者の権限を持つユーザーに切り替え、操作をやりなおしてください。

4 [共有] タブを開き、[共有オプションの変更] をクリックする

5 [このプリンターを共有する] にチェックマークを付け、必要に応じて共有名を設定して、[OK] をクリックする

以上でプリントサーバー機での設定は完了です。次に、クライアント機での設定を行ってください。

クライアント機での設定

プリントサーバー機での設定が終わったら、クライアント機での設定を行います。

1 クライアント機でエクスプローラーを開き、共有したいプリンターのアイコンをダブルクリックする

2 画面の指示に従いプリンタードライバーのインストールを行う

以上で、クライアント機での設定は完了です。

ほかのクライアント機で設定する場合も、同様に手順 1 ～手順 2 を行ってください。

Chapter 6

メンテナンス / 調整

消耗品の交換	256
消耗品の残量を確認する	256
インクタンクを交換する	259
メンテナンスカートリッジを交換する	264
プリンターの清掃	267
プリンターの外装を清掃する	267
上ユニット内部を清掃する	269
プリンターの移動 / 輸送	272
プリンターの屋内移動準備をする	272
プリンターの輸送準備をする	278
最新のソフトウェアを入手する	286
画質調整と改善	287
ノズルのつまりを確認する	287
プリントヘッドをクリーニングする	291
印刷中にクリーニングを行う	293
プリントヘッドの位置調整を行う	295
仕上がりを調整する	310

消耗品の交換

消耗品の残量を確認する

インクタンクとメンテナンスカートリッジの残量は、タッチパネルのホーム画面の消耗品残量表示部に表示されています。



メモ

- ステータスモニターからも消耗品の残量を確認することができます。
 - ➡ [インク情報を見る \(P. 150\)](#)
 - ➡ [メンテナンスカートリッジ情報を見る \(P. 151\)](#)

■ インクタンクの残量を確認する

インクタンクの残量は、Bk/C/M/Yの色ごとに 0% ～ 100% の間を 10% 単位で表示されます。

インクの残量が 10%以下になるとその色のインクの残量の上に **!**（注意アイコン）が、その色のインクがなくなると **×**（インクなしアイコン）が表示されます。インク残量が 0%になっても残量表示がなくなることはありません。

インク残量	100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%	20%	10%	0%
インクタンクレベル											

メモ

- インクタンクの残量が右のように表示された場合、インクタンクの残量検知が無効になっています。そのまま印刷を行うとプリンターに損傷、異常が発生する場合がありますので、本プリンター用の新しいインクタンクに交換してください。
- インクの残量の上に **!**（注意アイコン）または **×**（インクなしアイコン）が表示された場合は、タッチパネルに表示されたメッセージで詳細を確認し、対処してください。



■ メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する

メンテナンスカートリッジの残り容量は、0% ～ 100% の間を 10% 単位で表示されます。

残り容量が 10%以下になると **!**（注意アイコン）が、残り容量がなくなると **×**（メンテナンスカートリッジフルアイコン）が表示されます。

	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
残り容量 レベル表示											

メモ

- メンテナンスカートリッジの残り容量が右のように表示された場合、プリンターがメンテナンスカートリッジを正しく認識できていません。再度セットし直しても解決しない場合は、本製品をご購入の販売店または、お客様相談センターにご連絡ください。

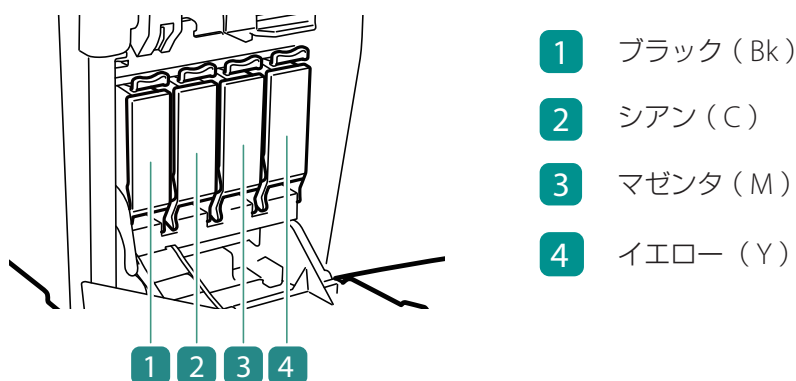


インクタンクを交換する

インクの残量が少なくなると、タッチパネルには警告メッセージが、ステータスマニターには「XXXXインク残量少」のメッセージが表示されます。印刷は継続できますが、インクがなくなると「XXXXインクなし」のエラーメッセージが表示されて印刷を停止します。ここでは、インクタンクを交換する方法を説明します。

メモ

- 「XXXXインク残量少」メッセージが表示されたら、できるだけ早く新しいインクタンクを入手してください。新しいインクタンクの入手方法については、本製品をご購入の販売店、お客様相談センターにお問い合わせください。
※XXXXは、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは本プリンター用のインクタンクを使用してください。4色のインクタンクの位置は、次のとおりです。



セットする位置が違う場合は、インクタンクを差し込むことができません。無理にセットしないでください。

- タッチパネルの本体ステータス表示部をタップすると、エラーの詳細や操作手順を確認できます。(→P.170)

重要

- 本プリンターは、プリントヘッドの品質を維持するためインクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。そのため、使用済みインクタンク内に使用できないインクが残ります。
- 良い印刷結果を得るために、インクは開封後6ヶ月以内に使い切ってください。
- インクタンクは、交換するとき以外は抜き差しをしないでください。部材の消耗を早める原因となります。
- インクタンクの交換は速やかに行ってください。また、インクタンクを取り外した状態で長時間放置しないでください。
- インクタンクは、変形するおそれがありますので、高温になる場所に長時間放置しないでください。
- インクタンクは、直射日光の当たらない場所で保管してください。

■ インクタンクの取り扱い上の注意

インクタンクを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

⚠ 注意

- 安全のため、インクタンクはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

✔ 重要

- 取り外したインクタンクのインク供給部には、インクが付着している場合があります。インクタンクの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- 本製品で一度使用したインクタンクを、ほかのプリンターに使用しないでください。インクの残量が正しく検知されず、プリンターに損傷・異常が発生することがあります。
- インクタンクは、開封後、半年以内に使い切ることをおすすめします。時間の経過したインクタンクを使用すると、印刷品質が低下する場合があります。
- プリンターは、長期間（1か月以上）、インクタンクを取り外した状態にしないでください。プリンターに残ったインクがつまり、印刷不良の原因になります。
- 同じインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクとプリンターとの接合部に不具合が生じ、インクタンクからインクが漏れてプリンターに損傷を与える場合があります。

📖 メモ

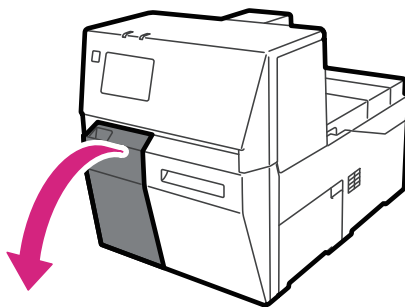
- キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みのインクタンクの回収を推進しています。回収窓口につきましては、キヤノンのウェブサイトを確認いただけます。事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みのインクタンクをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。
- キヤノンでは、使用済みのインクタンク回収を通じてベルマーク運動に参加しています。ベルマーク参加校単位で使用済みのインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、キヤノンのウェブサイトでご案内しています。

■ インクタンクの交換手順

✓ 重要

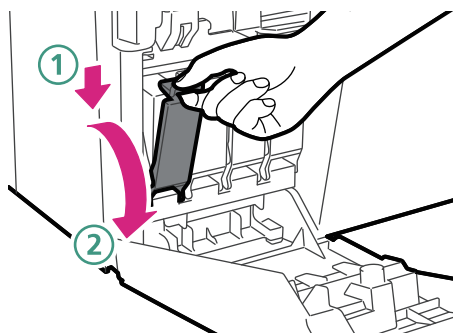
- 電源を入れた直後のプリンターの初期化中、ヘッドクリーニング中は、インクタンクを取り外さないでください。インクが漏れる可能性があります。

1 インクタンクカバーを開く

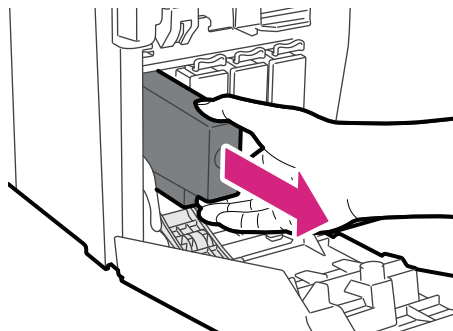


2 インクタンク固定レバーを開く

インクタンク固定レバーを上から押し込み、手前に引きます



3 空になったインクタンクを手前に引き抜く

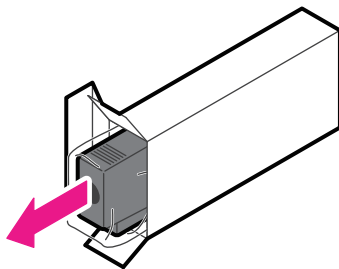


4 新しいインクタンクを用意する

メモ

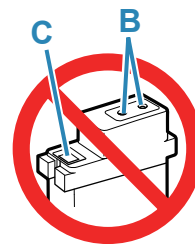
- インクタンクが低温の場合は、室温になじませてからプリンターに取り付けてください。

5 袋を開封し、インクタンクを取り出す



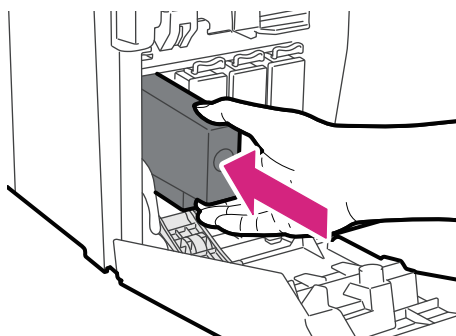
重要

- インクタンクを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。
- インクタンクを振らないでください。インクタンクを振ってインクが泡立った状態でプリンターにセットすると、印刷結果に白い抜けやかすれが生じたり、エラーが発生することがあります。
- インク供給部（B）や端子部（C）には、絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。



6 新しいインクタンクをセットする

インクタンクを上下間違えないようにして、ゆっくりと奥に突き当たるまで差し込みます。



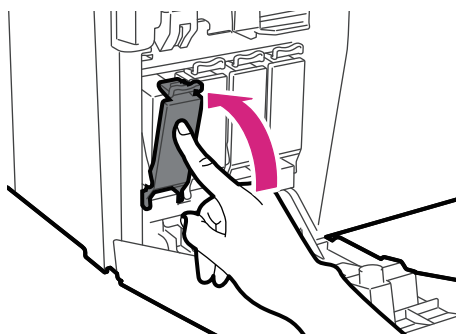
⚠ 警告

- インクタンクの挿入部内には、針部があり危険です。絶対に内部に指を入れないでください。

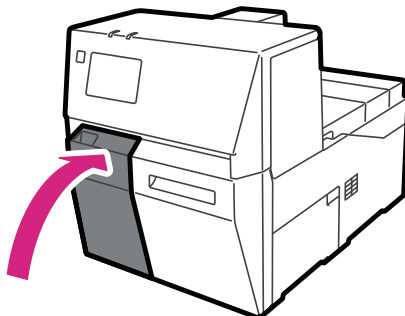
✓ 重要

- 取り付ける色と向きが違うと、インクタンクはホルダーに取り付けられません。インクタンクをホルダーに取り付けられない場合は、無理に入れずに、ラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認して取り付けなおしてください。

7 インクタンク固定レバーを閉じる



8 インクタンクカバーを閉じる



メンテナンスカートリッジを交換する

■ メンテナンスカートリッジの取り扱い上の注意

メンテナンスカートリッジを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

⚠ 注意

- 安全のため、メンテナンスカートリッジはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

✔ 重要

- メンテナンスカートリッジは、交換するとき以外は取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

📖 メモ

- 使用済みメンテナンスカートリッジの処理方法

企業でお使いの場合：

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」に従って適切に処理してください。

一般家庭でお使いの場合：

お住まいの地域の条例や自治体の指示に従って、適切に廃棄してください。

- メンテナンスカートリッジをご購入の際は、以下のメンテナンスカートリッジの型番が記載されていることをご確認ください。

メンテナンスカートリッジ：型式名 WT-X404

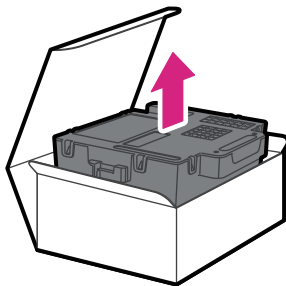
■ メンテナンスカートリッジの交換手順

回収されたインクでメンテナンスカートリッジが満杯になると、タッチパネルとステータスマニターに「メンテナンスカートリッジ満杯」が表示されて、プリンターが停止します。

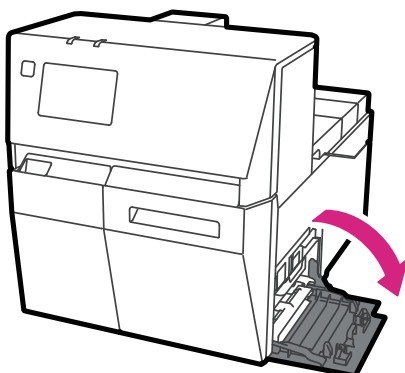
📖 メモ

- ・ タッチパネルの本体ステータス表示部をタップすると、エラーの詳細や操作手順を確認できます。(→ P.170)

1 新しいメンテナンスカートリッジの梱包箱を開き、メンテナンスカートリッジとビニール袋を取り出す

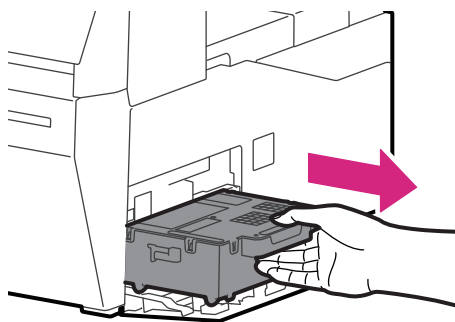


2 メンテナンスカートリッジカバーを開く



3 使用済みのメンテナンスカートリッジを取り出す

メンテナンスカートリッジはゆっくり引き出してください。

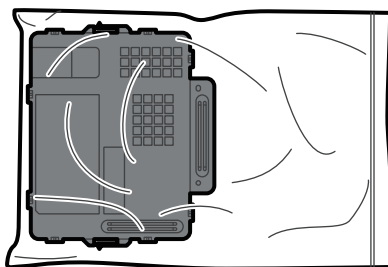


👍 重要

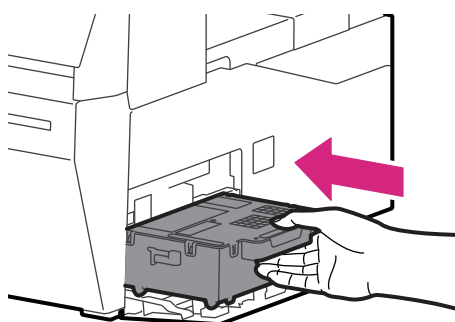
- ・ 満杯になったメンテナンスカートリッジと取り出す際は、傾けたり、落としたりしないように気を付けてください。インクが飛散して、床や衣服などを汚してしまう場合があります。

4 使用済みのメンテナンスカートリッジをビニール袋に入れる

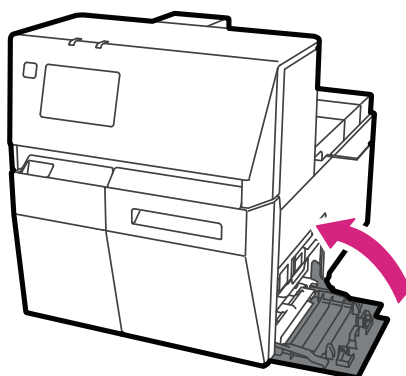
メンテナンスカートリッジの水平を保ったまま、空気を抜きながらビニール袋に入れます。最後に、ビニール袋のファスナーをしっかりと閉じてください。



5 新しいメンテナンスカートリッジを挿入する



6 メンテナンスカートリッジカバーを閉じる



プリンターの清掃

プリンターの外装を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、プリンターは定期的に清掃してください。
快適にご使用いただくために、月に1回程度、プリンターの外装を清掃してください。

1 プリンターの電源を切る（→P.10）

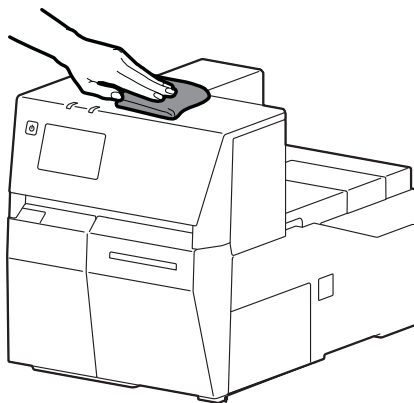
2 コンセントから電源コードを取り外す

⚠ 注意

- 必ず、プリンターの電源を切って、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源が入ると、作動した内部の部品に触れて、けがをする場合があります。
- アース線は、電源コードを抜いたあとで取り外してください。

3 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取る

プリンターの外装、電源コードのプラグ部などを清掃します。



⚠ 警告

- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンター内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

✓ 重要

- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。
- 中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。

4 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取る

5 コンセントに電源コードを接続する

⚠ 注意

- 電源コードは、アース線を取りつけてから接続してください。

上ユニット内部を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、月に1回程度、上ユニット内部を清掃してください。

また、快適にご使用いただくために、以下の場合に上ユニット内部を清掃してください。

- ・印刷面や用紙の裏面が汚れる場合
- ・ロール紙1本を使い切った場合
- ・小さい用紙に印刷した場合
- ・カット屑が多く出る用紙に印刷した場合
- ・ロール紙を交換した場合
- ・紙粉が多く出る用紙に印刷した場合

✓ 重要

- ・清掃部分に用紙があると清掃できない場合があります。用紙を取り除いてください。

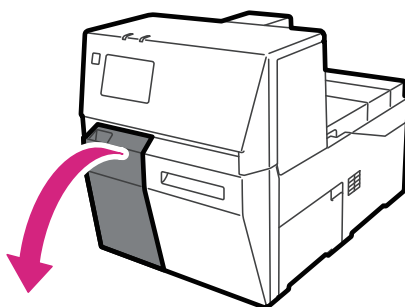
1 プリンターの電源を切る (→ P.10)

2 コンセントから電源コードを取り外す

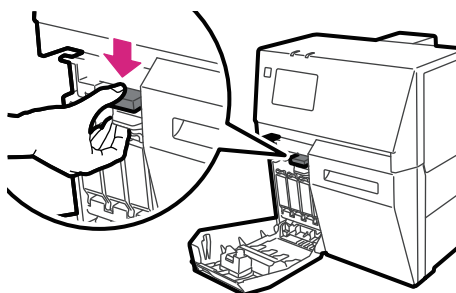
⚠ 注意

- ・必ず、プリンターの電源を切って、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源が入ると、作動した内部の部品に触れて、けがをすることがあります。
- ・アース線は、電源コードを抜いたあとで取り外してください。

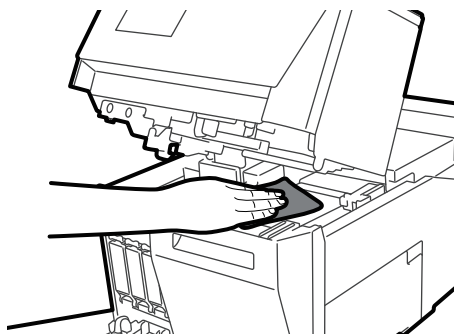
3 インクタンクカバーを開く



4 上ユニットオープンレバーを押し、上ユニットを開く

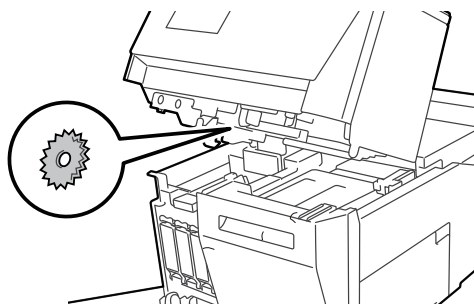


5 糸くずの出ない乾いた布で、搬送部（搬送ベルトなど）の汚れをふき取る



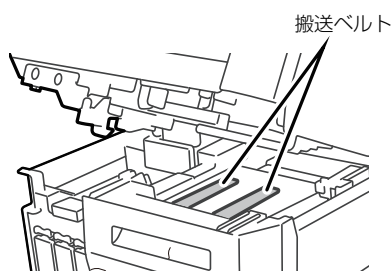
⚠ 注意

- 搬送部に手を入れる際は、上ユニット内部の拍車に触れないようにしてください。けがや汚れの原因となります。



✓ 重要

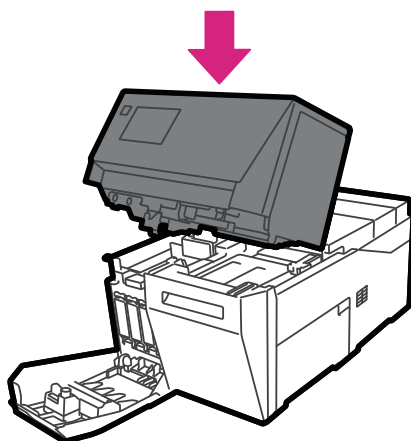
- 搬送部が汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、搬送部を清掃することをおすすめします。（→ P.269）
- 搬送ベルトを無理にひっぱったり裏返したりしないでください。搬送ベルトが変形し、用紙が斜めに搬送されるおそれがあります。



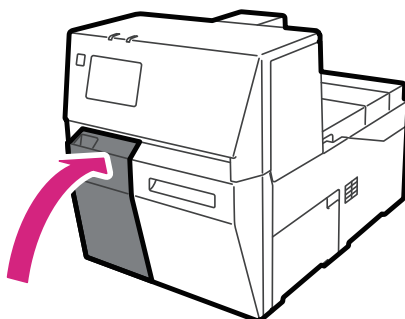
📖 メモ

- ペーパータオルやティッシュペーパーは使用しないでください。切れたかすや紙粉が本体内に入ると、故障の原因となります。

6 上ユニットを閉じる



7 インクタンクカバーを閉じる



プリンターの移動 / 輸送

プリンターを移動または輸送する際は、内部機構を保護するために、事前に以下の手順を実施してください。

- ・ 同一建物内でプリンターを移動させる場合
➡ プリンターの屋内移動準備をする (P. 272)
- ・ 屋外へ乗り物に載せて輸送する場合
➡ プリンターの輸送準備をする (P. 278)

プリンターの屋内移動準備をする

建物内で本プリンターを移動させるときは、必ず以下の手順に従って移動させてください。

この操作は、タッチパネルまたはプリンタードライバー から行います。

- ➡ タッチパネルから屋内移動準備を行う (P. 273)
- ➡ プリンタードライバーから屋内移動準備を行う (P. 275)

⚠ 注意

- ・ 本製品を移動するときは、移動前に必ずプリンタードライバーから「屋内移動準備」を実行してください。必要な処置を行わずに、そのまま移動すると、インクが本製品内部にこぼれて、火災・感電・故障の原因になることがあります。

📖 メモ

- ・ 「屋内移動準備」は移動時に本体内にインクが漏れないように、インク受けからインクを抜き取ります。

■ タッチパネルから屋内移動準備を行う

① 重要

- ・ 印刷中、またはエラーが発生している状態では、[屋内移動準備] を行えません。
- ・ [屋内移動準備] は、インクを消費しますので、必要な場合のみ行ってください。

1 用紙を取り外す

- ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 20)
- ➡ ファンフォールド紙を取り外す (P. 40)

2 タッチパネルに消耗品の交換を指示するメッセージが表示されている場合は、消耗品を交換する

- ➡ インクタンクを交換する (P. 259)
- ➡ メンテナンスカートリッジを交換する (P. 264)

3 ホーム画面で、 (メニュー) を押す

4 [メンテナンス] → [屋内移動準備] を押す

確認のメッセージが表示されます。

5 [はい] を選ぶ

インクの抜き取りが始まります。

完了のメッセージが表示されるまでは、プリンターを操作しないでください。

① 重要

- ・ メンテナンスカートリッジは、交換のメッセージが表示されたとき以外は取り外さないでください。インクの吸引中にメンテナンスカートリッジを取り外すと、インクが漏れる可能性があります。

6 完了のメッセージが表示されたら、[OK] を押す

7 プリンターの電源を切る (→ P.10)

8 プリンターからインターフェースケーブル、電源コードを取り外す

⚠ 注意

- ・アース線は、電源コードを抜いたあとで取り外してください。

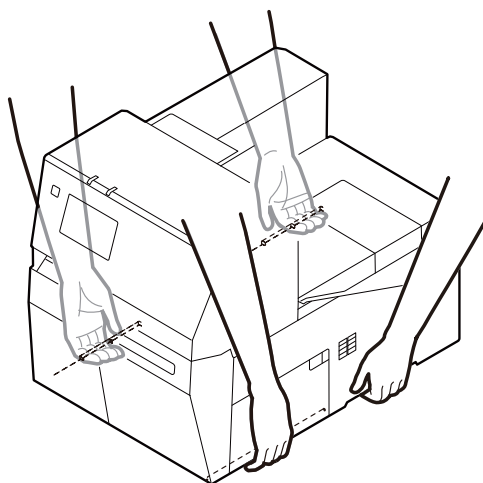
✔ 重要

- ・電源が切れるまで電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くときは、ステータスランプが消えていることを確認してください。

9 プリンターを移動する

⚠ 注意

- ・本製品は約 23 kg です。持ち上げるときは、必ず 2 人で底部（左右 2 か所ずつ）にある取っ手にしっかり手をかけて抱えるように持ち上げてください。無理な体勢で持ち上げようとすると、落下などによるけがの原因になります。



- ・本製品は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。

✔ 重要

- ・上ユニットやインクタンクカバー、メンテナンスカートリッジカバーが開いた状態で、本プリンターを移動または輸送しないでください。故障や本体損傷の原因となります。

10 移動設置後、電源コードを取り付ける

⚠ 注意

- ・電源コードは、アース線を取りつけてから接続してください。

11 プリンターのコネクタにインターフェースケーブルを接続したあと、パソコン側に接続する

12 電源キーを押して、プリンターを起動する

■ プリンタードライバーから屋内移動準備を行う

🟢 重要

- ・印刷中、またはエラーが発生している状態では、[屋内移動準備]を行えません。
- ・[屋内移動準備]は、インクを消費しますので、必要な場合のみ行ってください。
- ・設定には、本プリンターの管理者権限が必要です。
本プリンターの管理者権限を持たないユーザーが設定を進めると、「プリンター管理に対する権限がありません。詳しくはコンピューターの管理者にお問い合わせください。」というメッセージが表示されます。詳しくは、「**本プリンターの管理者権限が必要な[ユーティリティ]シートの設定について (P. 122)**」をご覧ください。
- ・ステータスモニターが起動しているときは、ステータスモニターを閉じてください。
- ・共有プリンターに設定したプリンターに対して本機能を実行する場合、サーバー側で作業するときはクライアント上で、クライアント側で作業するときはサーバー上でステータスモニターが起動していないことを確認してから作業してください。ステータスモニターが起動している場合、正しく処理が完了できないことがあります。

1 用紙を取り外す

- ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 20)
- ➡ ファンフォールド紙を取り外す (P. 40)

2 タッチパネルに消耗品の交換を指示するメッセージが表示されている場合は、消耗品を交換する

- ➡ インクタンクを交換する (P. 259)
- ➡ メンテナンスカートリッジを交換する (P. 264)

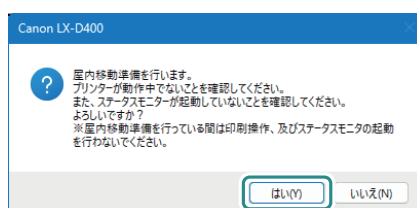
3 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

- ➡ プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)

4 [ユーティリティ] シートの [屋内移動準備] をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

5 [はい] をクリックする



インクの抜き取りが始まります。

完了のメッセージが表示されるまでは、プリンターを操作しないでください。

🟢 重要

- ・メンテナンスカートリッジは、交換のメッセージが表示されたとき以外は取り外さないでください。インクの吸引中にメンテナンスカートリッジを取り外すと、インクが漏れる可能性があります。

6 完了のメッセージが表示されたら、[OK]を押す

7 プリンターの電源を切る (→ P.10)

8 プリンターからインターフェースケーブル、電源コードを取り外す

⚠ 注意

- ・アース線は、電源コードを抜いたあとで取り外してください。

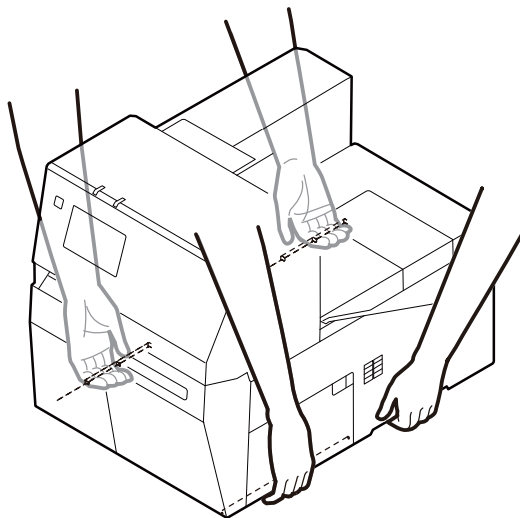
✓ 重要

- ・電源が切れるまで電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くときは、ステータスランプが消えていることを確認してください。

9 プリンターを移動する

⚠ 注意

- ・本製品は約 23 kg です。持ち上げるときは、必ず 2 人で底部（左右 2 か所ずつ）にある取っ手に必ず手をそえて抱えるように持ち上げてください。無理な体勢で持ち上げようとすると、落下などによるけがの原因になります。



- ・本製品は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。

✓ 重要

- ・上ユニットやインクタンクカバー、メンテナンスカートリッジカバーが開いた状態で、本プリンターを移動または輸送しないでください。故障や本体損傷の原因となります。

10 移動設置後、電源コードを取り付ける

⚠ 注意

- ・電源コードは、アース線を取りつけてから接続してください。

11 プリンターのコネクタにインターフェイスケーブルを接続したあと、パソコン側に接続する

12 電源キーを押して、プリンターを起動する

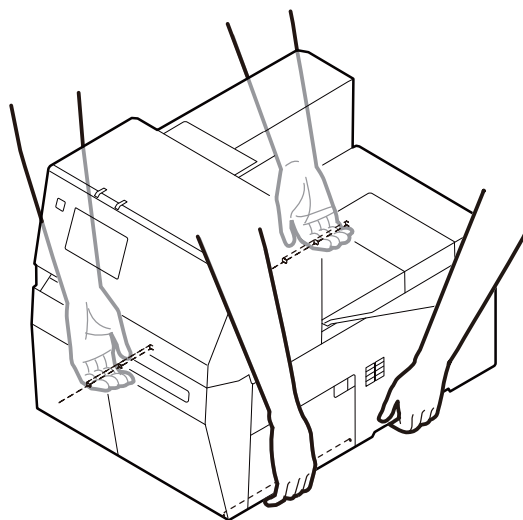
プリンターの輸送準備をする

移転や引っ越しなど、長距離の輸送や振動の伴う輸送（航空機、電車および自動車等）を行うときは、必ず以下の手順に従って輸送の準備を行ってください。

この操作は、タッチパネルまたはプリンタードライバーから行います。

！ 注意

- ・ 長距離の輸送や振動の伴う輸送（航空機、鉄道および自動車車両等）を行うときは、事前に販売店にご相談ください。必要な処置を行わずに輸送による振動、衝撃などを与えますと、機械に損傷を与え、火災・故障の原因となります。
- ・ 本製品を輸送するときは、輸送前に必ずプリンタードライバーから「輸送準備」を実行してください。必要な処置を行わずに、そのまま輸送すると、インクが本製品内部にこぼれて、火災・感電・故障の原因になることがあります。
- ・ 本製品は約 23 kg です。持ち上げるときは、必ず 2 人で底部（左右 2 か所ずつ）にある取っ手にしっかり手をかけてから抱えるように持ち上げてください。無理な体勢で持ち上げようとすると、落下などによるけがの原因になります。



- ・ 本製品は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。

✓ 重要

- ・ 上ユニットやインクタンクカバー、メンテナンスカートリッジカバーが開いた状態で、本プリンターを移動または輸送しないでください。故障や本体損傷の原因となります。

📖 メモ

- ・ 「輸送準備」はプリンター本体内のインク流路からインクを抜き取ります。

■ タッチパネルから輸送の準備を行う

✓ 重要

- ・印刷中、またはエラー発生中は、[輸送準備]を行えません。
- ・ハードウェアエラーが発生している状態でプリンターを輸送する場合、本製品をご購入の販売店、お客様相談センターまたはサービス担当者にご相談の上、プリンターの状態をお伝えください。「**ハードウェアエラーが発生したプリンターの輸送準備をする (P. 284)**」の実行をお願いすることがあります。
- ・[輸送準備]は、インクを消費しますので、必要な場合のみ行ってください。

1 用紙を取り外す

- ➡ **ロール紙をプリンターから取り外す (P. 20)**
- ➡ **ファンフォールド紙を取り外す (P. 40)**

2 タッチパネルに消耗品の交換を指示するメッセージが表示されている場合は、消耗品を交換する

- ➡ **インクタンクを交換する (P. 259)**
- ➡ **メンテナンスカートリッジを交換する (P. 264)**

3 ホーム画面で、 (メニュー) を押す

4 [メンテナンス] → [輸送準備] を押す

プリンターが輸送を行うための準備を始めます。
動作中はプリンターを操作しないでください。

5 タッチパネルの表示にしたがって操作する

1. 表示された画面の内容を確認し、[次へ] を押します。
2. プリンター本体のインクタンクをすべて取り外し、インクタンクカバーを閉じます。
3. [次へ] を押します。
インクの抜き取りが始まります。
「Step3」の画面が表示されるまでは、プリンターを操作しないでください。
4. 表示された画面の内容を確認し、[閉じる] を押します。

✓ 重要

- ・インクタンクはプリンターから外した状態で輸送してください。取りつけた状態で輸送すると、本体を傾けたときにインクがプリンター本体の内部に漏れるおそれがあります。

6 タッチパネルを確認し、「メンテナンスカートリッジ満杯」または「メンテナンスカートリッジ空き容量少」のメッセージが表示されている場合は、メンテナンスカートリッジを交換する

- ➡ **メンテナンスカートリッジを交換する (P. 264)**

7 プリンターの電源を切る (→ P.10)

8 プリンターからインターフェースケーブル、電源コードを取り外す

⚠ 注意

- ・アース線は、電源コードを抜いたあとで取り外してください。

✔ 重要

- ・電源が切れるまで電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くときは、ステータスランプが消えていることを確認してください
- ・再設置時には、インクタンクおよびメンテナンスカートリッジの交換が必要になる場合があります。事前に新品をご用意ください。

■ プリンタードライバーから輸送の準備を行う

✓ 重要

- ・印刷中、またはエラー発生中は、[輸送準備] を行えません。
- ・ハードウェアエラーが発生している状態でプリンターを輸送する場合、本製品をご購入の販売店、またはお客様相談センターにご相談の際にプリンターの状態をお伝えください。「**ハードウェアエラーが発生したプリンターの輸送準備をする (P. 284)**」の実行をお願いすることがあります。
- ・印刷中、またはエラー発生中は、[輸送準備] を行えません。やむを得ず輸送準備を行う場合の手順は、「**ハードウェアエラーが発生したプリンターの輸送準備をする (P. 284)**」をご覧ください。
- ・[輸送準備] は、インクを消費しますので、必要な場合のみ行ってください。
- ・設定には、本プリンターの管理者権限が必要です。
本プリンターの管理者権限を持たないユーザーが設定を進めると、「プリンター管理に対する権限がありません。詳しくはコンピューターの管理者にお問い合わせください。」というメッセージが表示されます。詳しくは、「**本プリンターの管理者権限が必要な [ユーティリティ] シートの設定について (P. 122)**」をご覧ください。
- ・ステータスモニターが起動しているときは、ステータスモニターを閉じてください。
- ・共有プリンターに設定したプリンターに対して本機能を実行する場合、サーバー側で作業するときはクライアント上で、クライアント側で作業するときはサーバー上でステータスモニターが起動していないことを確認してから作業してください。ステータスモニターが起動している場合、正しく処理が完了できないことがあります。

1 用紙を取り外す

- ➡ **ロール紙をプリンターから取り外す (P. 20)**
- ➡ **ファンフォールド紙を取り外す (P. 40)**

2 ステータスモニターに消耗品の交換を指示するメッセージが表示されている場合は、消耗品を交換する

- ➡ **インクタンクを交換する (P. 259)**
- ➡ **メンテナンスカートリッジを交換する (P. 264)**

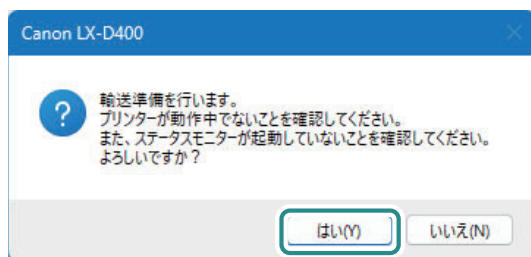
3 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

- ➡ **プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)**

4 [ユーティリティ] シートの [輸送準備] をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

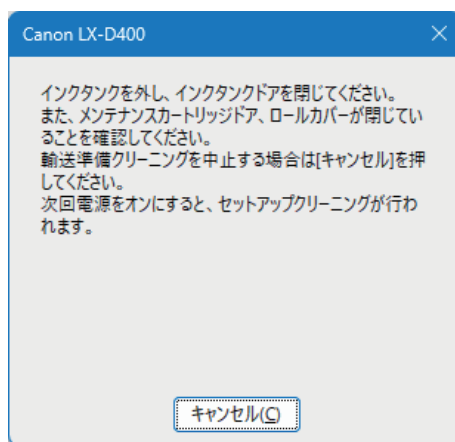
5 「はい」をクリックする



プリンターが輸送を行うための準備を始めます。動作中はプリンターを操作しないでください。

6 次の画面が表示されたら、すべてのインクタンクを取り外す

➡ インクタンクを交換する (P. 259)



インクタンクカバーを閉じると、インクの抜き取りが始まります。
完了のメッセージが表示されるまでは、プリンターを操作しないでください。

☑ 重要

- メンテナンスカートリッジは、交換のメッセージが表示されたとき以外は取り外さないでください。インクの吸引中にメンテナンスカートリッジを取り外すと、インクが漏れる可能性があります。

7 完了のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックする

8 タッチパネルを確認し、「メンテナンスカートリッジ満杯」または「メンテナンスカートリッジ空き容量少」のメッセージが表示されている場合は、メンテナンスカートリッジを交換する

➡ メンテナンスカートリッジを交換する (P. 264)

9 プリンターの電源を切る (→ P.10)

10 プリンターからインターフェイスケーブル、電源コードを取り外す

⚠ 注意

- ・アース線は、電源コードを抜いたあとで取り外してください。

✓ 重要

- ・電源が切れるまで電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くときは、ステータスランプが消えていることを確認してください。
- ・再設置時には、インクタンクおよびメンテナンスカートリッジの交換が必要になる場合があります。事前に新品をご用意ください。

ハードウェアエラーが発生したプリンターの輸送準備をする

ハードウェアエラーが発生していて通常の輸送準備を行えない場合は、まず本製品をご購入の販売店、またはお客様相談センターにご相談の上、プリンターの状態をお伝えください。その際に「故障時の輸送準備」の実行をお願いすることがあります。以下の手順で行ってください。

⚠ 注意

- 通常の輸送準備では輸送中のインク漏れを防止するためにプリンター本体内のインク流路のインクをすべて抜き取りますが、本メニューから輸送準備を行った場合、インク流路にインクが残ってしまうことがあります。インクが本体内外にこぼれると、火災・感電・故障の原因となったり、周囲のものを汚すことがあります。プリンターを移動させる場合は水平を保ったまま静かに行ってください。

✓ 重要

- 「インク漏れ」エラーが発生しているときは実行できません。電源を入れ直してもエラーが解消されない場合は、サービス担当者にその旨をお伝えください。

1 用紙を取り外す

- ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 20)
- ➡ ファンフォールド紙を取り外す (P. 40)

2 タッチパネルに「メンテナンスカートリッジ満杯」エラーが表示されている場合は、新しいメンテナンスカートリッジに交換する

- ➡ メンテナンスカートリッジを交換する (P. 264)

3 ホーム画面で、 (メニュー) を押す [管理者] → [トラブルシューティング] → [故障時の輸送準備] を押す

プリンターが輸送を行うための準備を始めます。
動作中はプリンターを操作しないでください。

4 タッチパネルの表示にしたがって操作する

1. 表示された画面の内容を確認します。
2. プリンター本体のインクタンクをすべて取り外し、インクタンクカバーを閉じます。
3. メンテナンスカートリッジをセットします。
4. プリンターが動作中でないことを確認します。
5. [次へ] を押します。
プリンターの状態の確認が行われます。
「Step2」の画面が表示されるまでは、プリンターを操作しないでください。
6. 表示された画面の内容を確認し、[次へ] を押します。
7. インクの抜き取りが始まります。
「Step3」の画面が表示されるまでは、プリンターを操作しないでください。
8. 表示された画面の内容を確認し、[閉じる] を押します。

📌 重要

- ・インクタンクはプリンターから外した状態で輸送してください。取り付けた状態で輸送すると、本体を傾けたときにインクがプリンター本体の内部に漏れるおそれがあります。

5 プリンターの電源を切る (→ P.10)

6 プリンターからインターフェースケーブル、電源コードを取り外す

⚠️ 注意

- ・アース線は、電源コードを抜いたあとで取り外してください。

📌 重要

- ・電源が切れるまで電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くときは、ステータスランプが消えていることを確認してください。
- ・再設置時には、インクタンクおよびメンテナンスカートリッジの交換が必要になる場合があります。事前に新品をご用意ください。

最新のソフトウェアを入手する

最新のソフトウェア（プリンタードライバー、ファームウェア）を入手するには、キヤノンホームページにアクセスしてお使いの機種ソフトウェアをダウンロードしてください。

ソフトウェアのダウンロード canon.jp/download

メモ

- ・ソフトウェアをインストールするためには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。
- ・インターネットの接続に必要なプロバイダーとの契約料・通信費などはお客さまのご負担となります。あらかじめご了承ください。

ソフトウェアのダウンロードとアップデートの詳細については、キヤノンホームページを参照してください。

画質調整と改善

ノズルのつまりを確認する

印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの各ノズルがつまっていないかを確認します。

✓ 重要

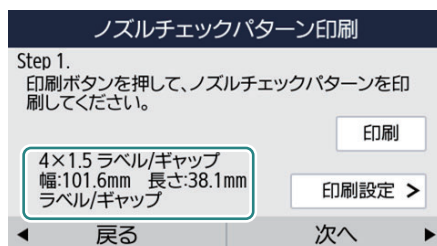
- ノズルチェックパターンの印刷には、幅4インチ以上×長さ2インチ以上の用紙をお使いください。これより小さいサイズの用紙をご使用の場合、エラーが発生し印刷することができません。

1 用紙をセットする

2 ホーム画面で、 (メニュー) を押す

3 [メンテナンス] → [ノズルチェックパターン印刷] の順に押す

4 表示された印刷設定を確認する



● セットされている用紙と設定が異なる場合

1. [印刷設定] を押す
2. [用紙] 欄を押し、表示されたリストからプリンターにセットされている用紙のサイズを選ぶ



・最近使用した用紙サイズから選ぶ場合

[履歴サイズ1] ～ [履歴サイズ3] のいずれかを選択します。

📖 メモ

- ・ [用紙] のうち [履歴サイズ1] ～ [履歴サイズ3] には、最新のジョブ3件の印刷設定がそれぞれ保存されています。ただし、特殊形状ラベルの印刷設定はノズルチェックパターンの印刷に適さないため、最新のジョブ3件に特殊形状ラベルの設定が含まれていても [履歴サイズ1] ～ [履歴サイズ3] に保存されません。
- ・ 標準ラベル用紙から用紙サイズを選ぶ場合
使用する用紙のサイズを選択します。
リストに登録されている用紙サイズの一覧は「[用紙サイズを選ぶ \(P. 66\)](#)」をご覧ください。
- ・ 用紙サイズを自由に設定する場合
各項目をタップして、用紙情報を入力します。(カスタムサイズ)
用紙の形状によって、設定可能な範囲が異なります。詳しくは「[ユーザー用紙サイズの設定可能範囲 \(P. 45\)](#)」をご覧ください。

3.  (戻る) を押す

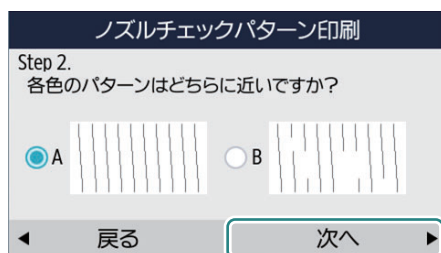
5 「印刷」を押す

ノズルチェックパターンが印刷されます。

6 「はい」を押す

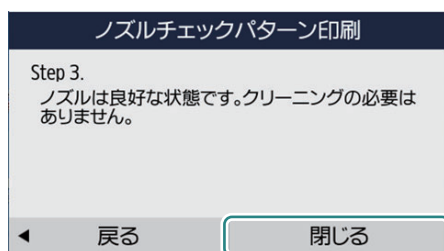
7 「次へ」を押す

8 印刷結果により近いパターンを選んで「次へ」を押す

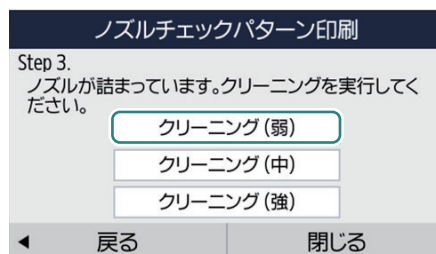


9 ノズルチェックの結果を確認する

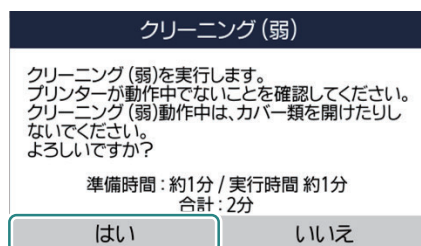
- 「ノズルは良好な状態です」と表示された場合
クリーニングの必要はありません。
[閉じる]を押すと、ノズルチェックパターンの印刷を終了します。



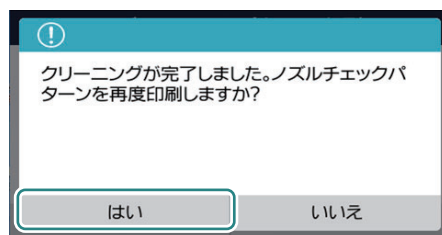
- 「ノズルが詰まっています」と表示された場合
以下の手順でクリーニングを行ってください。
1. クリーニング（弱）を押してください。



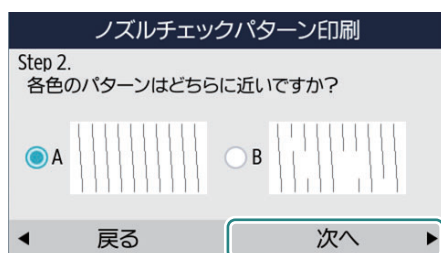
2. 確認画面が表示されます。[はい]を押すと、クリーニングが始まります。



3. クリーニングが完了すると以下の画面が表示されます。
[はい]を選んで、再度ノズルチェックパターンの印刷を行ってください。



4. 印刷結果に近いパターンを選択し、印刷結果を確認します。
ノズルのつまりが解消されない場合は、より強いクリーニングを行ってください。



プリントヘッドをクリーニングする

印刷がかすれる場合は、プリントヘッドをクリーニングすると改善される場合があります。

この操作は、タッチパネルまたはプリンタードライバー から行います。

クリーニング（弱）	印刷のかすれが発生したときに行ってください。
クリーニング（中）	クリーニング（弱）を行っても印刷のかすれが発生するときに行ってください。
クリーニング（強）	クリーニング（中）を行っても印刷のかすれが発生するときに行ってください。

✓ 重要

- ・ クリーニング中は、その他の動作を行わないでください。
- ・ 印刷中やエラーが発生している状態のときは、クリーニングはできません。先にエラーを解消してください。
- ・ [クリーニング] によって状況が改善されない場合は、別の原因が考えられます。ご購入の販売店や、お客さま相談センターにお問い合わせください。
- ・ クリーニングはインクを消費しますので、必要な場合のみ行ってください。
- ・ プリンターを長期間使用しなかった場合、ノズルがつまることがあります。ノズルがつまることを防ぐために、定期的に印刷することをおすすめします。

■ タッチパネルからクリーニングを行う

1 ホーム画面で、（メニュー）を押す

2 [メンテナンス] を選ぶ

3 [クリーニング（弱）]、[クリーニング（中）]、または [クリーニング（強）] を選ぶ

4 [はい] を押す

クリーニングが実行されます。クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

終了までに、クリーニング（弱）の場合は約 1 分、クリーニング（中）の場合は約 4 分、クリーニング（強）の場合は約 10 分かかります。

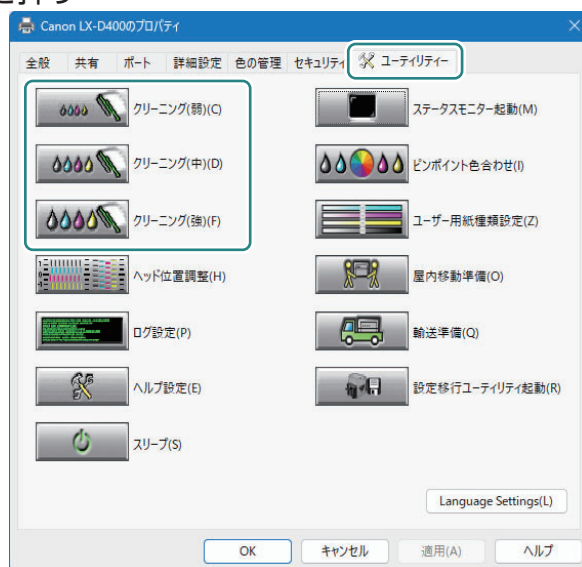
5 ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルのつまりが改善されているかどうかを確認する（→ P.287）

■ プリンタードライバーからクリーニングを行う

1 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

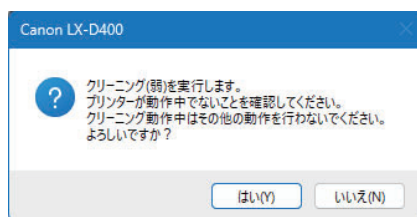
➡ プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)

2 [ユーティリティ] シートの [クリーニング (弱)], [クリーニング (中)], または [クリーニング (強)] を押す



確認のメッセージが表示されます。

3 [はい] を押す



ヘッドクリーニングが実行されます。クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了までに、クリーニング (弱) の場合は約 1 分、クリーニング (中) の場合は約 4 分、クリーニング (強) の場合は約 10 分かかります。

4 ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルのつまりが改善されているかどうかを確認する (→ P.287)

印刷中にクリーニングを行う

印刷を一時停止させてクリーニングを行うことができます。

1 ホーム画面で、**II**（ポーズ）を選ぶ



本体ステータス表示部が（ポーズ）に切り換わり、プリンターが一時停止状態になります。



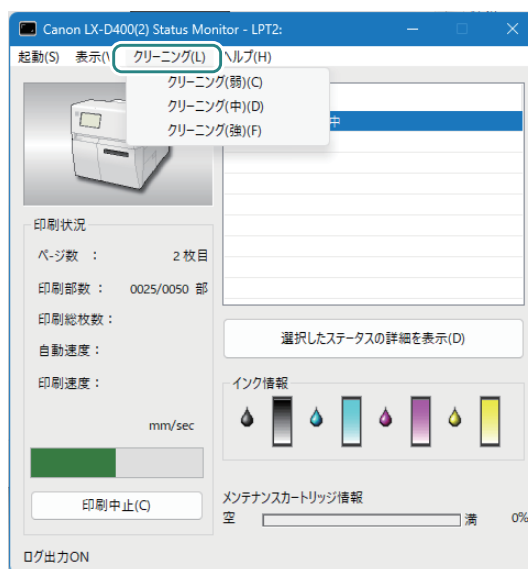
2 クリーニングを行う

● タッチパネルから行う場合

1. ホーム画面で、 (メニュー) → [メンテナンス] の順に選択します。
2. [クリーニング(弱)][クリーニング(中)][クリーニング(強)]のいずれかを選びます。

● プリンタードライバーから行う場合

1. ステータスモニターを開きます。
➡ **ステータスモニターを表示する (P.143)**
2. [クリーニング]メニューから [クリーニング(弱)][クリーニング(中)][クリーニング(強)]のいずれかを選びます。



クリーニングを開始します。

3 ホーム画面で、 (ポーズ)を選ぶ

印刷が再開されます。

4 印刷結果を確認する

プリントヘッドの位置調整を行う

本プリンターは、設置時に最良の状態で印刷できるように調整されていますが、印刷物の縦線がゆがむ場合や色ずれが起きた場合は「ヘッド位置調整」を実行すると改善されることがあります。ヘッド位置調整パターンを印刷して、そのパターンを見ながら調整します。この操作はプリンタードライバーまたはタッチパネルから行うことができます。

➡ **タッチパネルから行う場合（P.295）**

➡ **プリンタードライバーから行う場合（P.301）**

■ 重要

- ・ プリンターにセットしている用紙サイズにより調整パターンは変化しますが、調整方法は同じです。
- ・ 印刷中やエラーが発生している状態のときは、ヘッド位置調整はできません。
- ・ 調整パターンの印刷には、幅 1 インチ以上×長さ 3 インチ以上、または、または幅 2 インチ以上×長さ 1.5 インチ以上用紙をお使いください。
- ・ 設定には、本プリンターの管理者権限が必要です。（→ P.122）

■ タッチパネルから行う場合

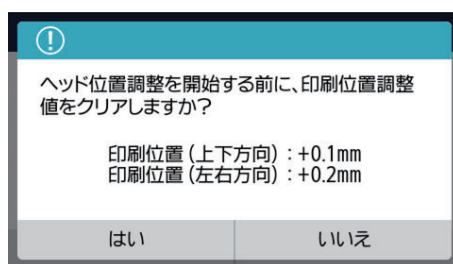
1 ホーム画面の （メニュー）→「管理者」を選ぶ

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

2 「ヘッド位置調整」を選ぶ

メモ

- ・ 印刷位置調整（→ P.310）で印刷位置を調整している場合は、以下の画面が表示されます。メッセージを確認して「はい」または「いいえ」を選びます。



3 「印刷」を選ぶ



● セットされている用紙と設定が異なる場合

1. 「印刷設定」を押す
2. 「用紙」欄を押し、表示されたリストからプリンターにセットされている用紙のサイズを選ぶ



・最近使用した用紙サイズから選ぶ場合

「履歴サイズ1」～「履歴サイズ3」のいずれかを選択します。



- ・「用紙」のうち「履歴サイズ1」～「履歴サイズ3」には、最新のジョブ3件の印刷設定がそれぞれ保存されています。ただし、特殊形状ラベルの印刷設定はノズルチェックパターンの印刷に適さないため、最新のジョブ3件に特殊形状ラベルの設定が含まれていても「履歴サイズ1」～「履歴サイズ3」に保存されません。

・標準ラベル用紙から用紙サイズを選ぶ場合

使用する用紙のサイズを選択します。

リストに登録されている用紙サイズの一覧は「[用紙サイズを選ぶ \(P. 66\)](#)」をご覧ください。

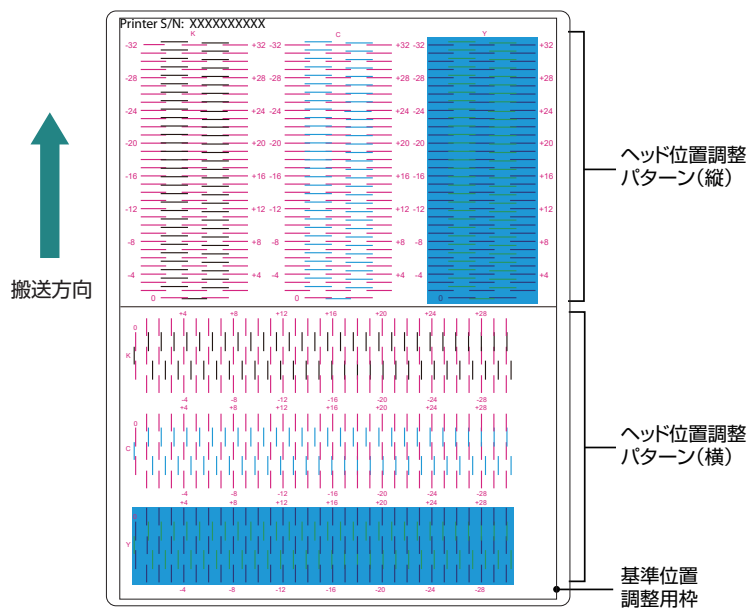
・用紙サイズを自由に設定する場合

各項目をタップして、用紙情報を入力します。(カスタムサイズ)

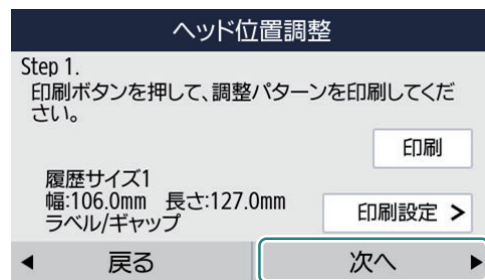
用紙の形状によって、設定可能な範囲が異なります。詳しくは「[ユーザー用紙サイズの設定可能範囲 \(P. 45\)](#)」をご覧ください。

3.  (戻る) を押す

調整パターンが印刷されます。

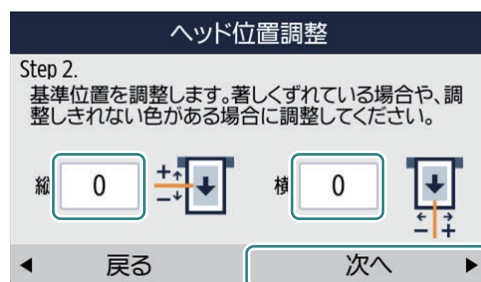


4 [次へ]を選ぶ



5 基準位置の調整を行う（通常は調整不要です）

調整パターンの外周に描かれた枠線が用紙の上端から 1.5 mm、左端から 1.5 mm の位置にあることを確認し、著しくずれている場合は調整してください。



メモ

- 調整が必要な場合は、以下の手順で行ってください。

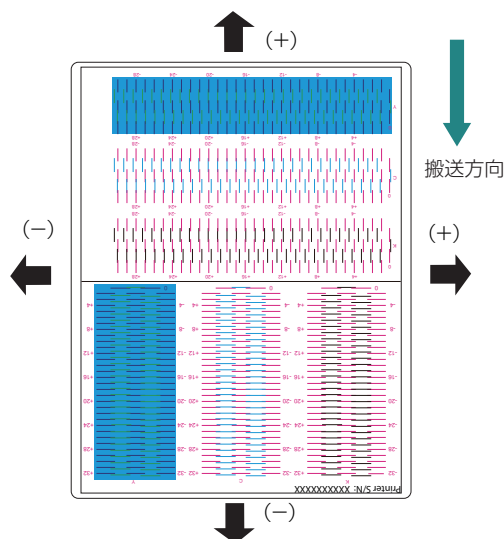
• Step 2 基準位置調整を行う場合

【縦方向の調整】

〔縦〕の入力エリアを押し、調整値を入力します。枠線を上側に動かしたい場合は数値をプラス（+）側に、下側に動かしたい場合は数値をマイナス（-）側に動かします。

【横方向の調整】

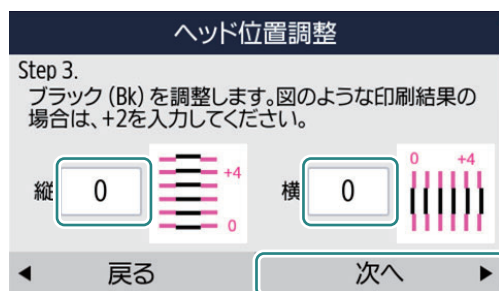
〔横〕の入力エリアを押し、調整値を入力します。枠線を左側に動かしたい場合は数値をマイナス（-）側に、右側に動かしたい場合は数値をプラス（+）側に動かします。



6 〔次へ〕を選ぶ

7 ブラック色（Bk）の調整値を設定し、[次へ]を選ぶ

調整パターンの[K]（ブラック）の縦方向、横方向を確認して、それぞれマゼンタの線と重なっている数値を読み取り、入力します。



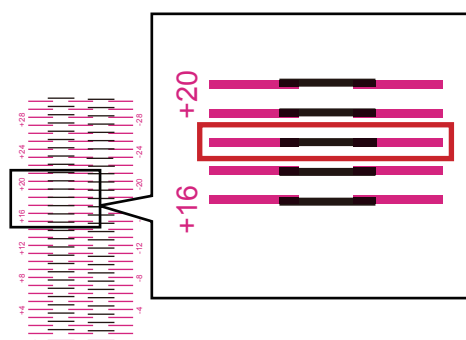
メモ

【縦方向の調整】

ヘッド位置調整パターンのマゼンタの線とブラックの線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

例えば、次のような場合は、調整値が「+18」になります。

「縦」のテキストボックスに「+18」を入力します。

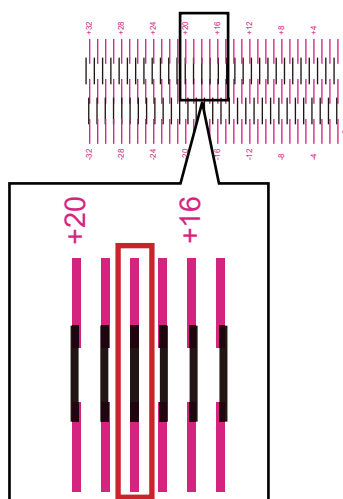


【横方向の調整】

ヘッド位置調整パターンのマゼンタの線とブラックの線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

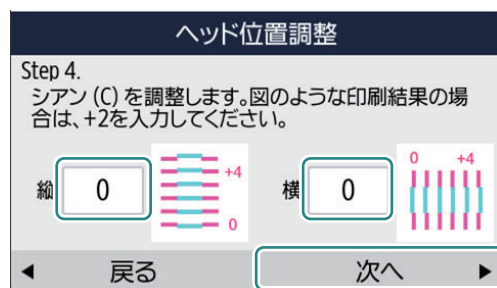
例えば、次のような場合は、調整値が「+18」になります。

「横」のテキストボックスに「+18」を入力します。



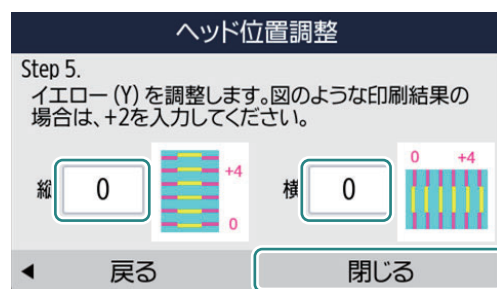
8 シアン色（C）の調整値を設定し、[次へ]を選ぶ

調整パターンの [C]（シアン）の縦方向、横方向を確認して、それぞれマゼンタの線と重なっている数値を読み取り、入力します。



9 イエロー色（Y）の調整値を設定し、[閉じる]を選ぶ

調整パターンの [Y]（イエロー）の縦方向、横方向を確認して、それぞれマゼンタの線と重なっている数値を読み取り、入力します。



10 [はい]を選ぶ

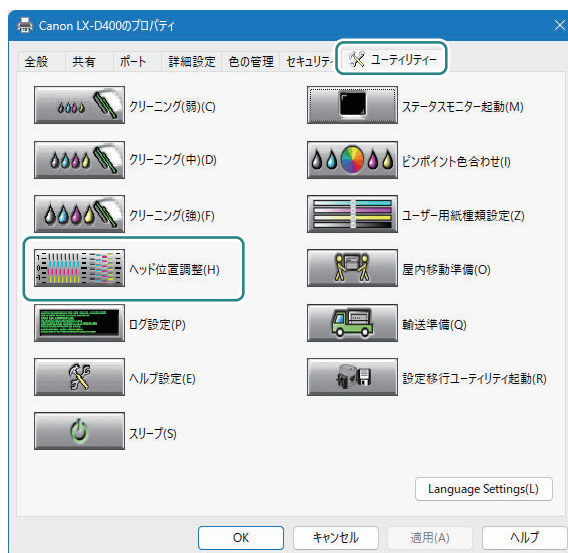
調整値が保存されます。

■ プリンタードライバーから行う場合

1 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

➡ プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)

2 [ユーティリティ] シートの [ヘッド位置調整] をクリックする

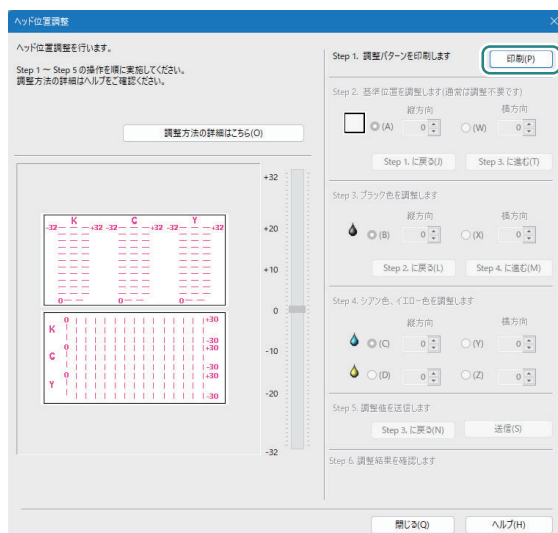


[ヘッド位置調整] ダイアログボックスが表示されます。



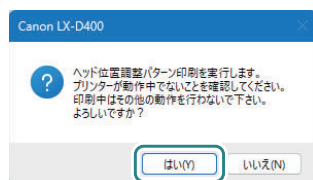
- ・ [ヘッド位置調整] ダイアログボックスの [調整方法の詳細はこちら] をクリックすると、調整方法に関するヘルプ画面を表示します。

3 プリンターが動作中でないことを確認して、[印刷] をクリックする

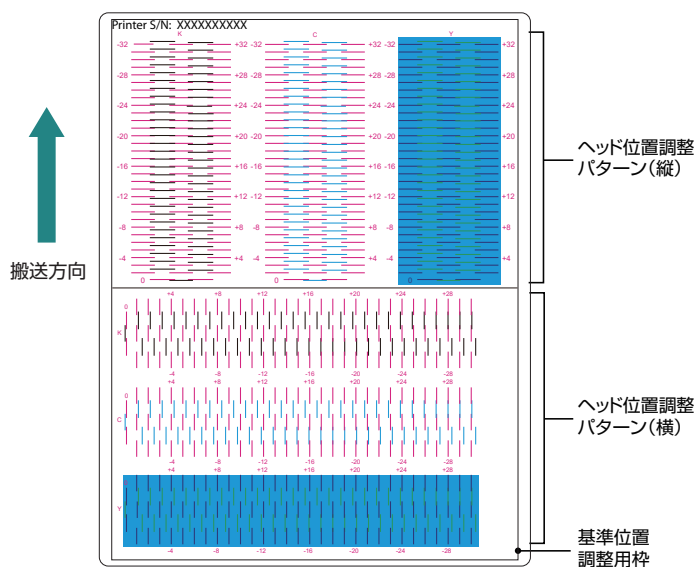


確認のメッセージが表示されます。

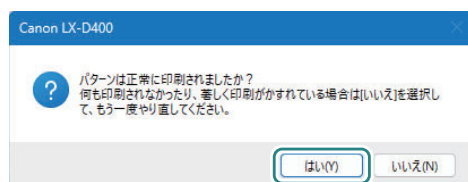
4 「はい」をクリックする



調整パターンが印刷されます。



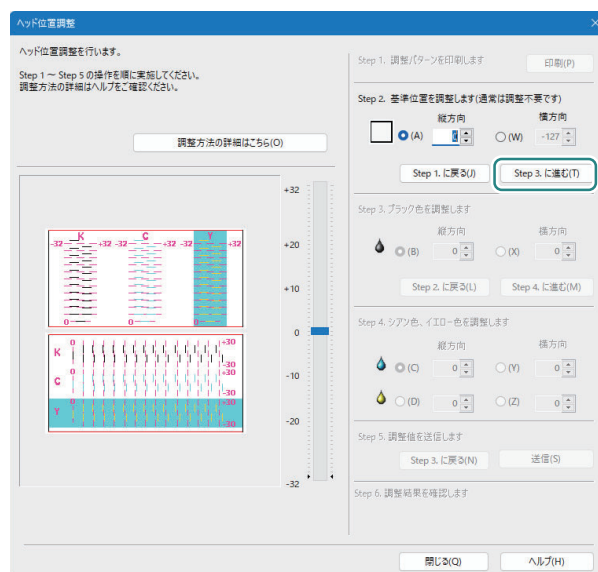
5 調整パターンが正常に印刷されたときは、「はい」をクリックする



何も印刷されていない、印刷結果が著しくかすれているなど、正常に印刷されなかった場合は「いいえ」を選んで、手順1からやり直してください。

6 Step 2. 基準位置の調整を行う（通常は調整不要です）

調整パターンの外周に描かれた枠線が用紙の上端から 1.5 mm、左端から 1.5 mm の位置にあることを確認し、著しくずれている場合は調整してください。



メモ

- 調整が必要な場合は、以下の手順で行ってください。

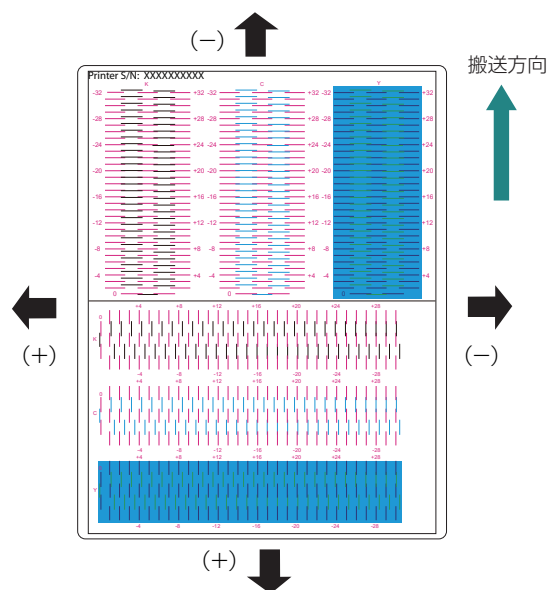
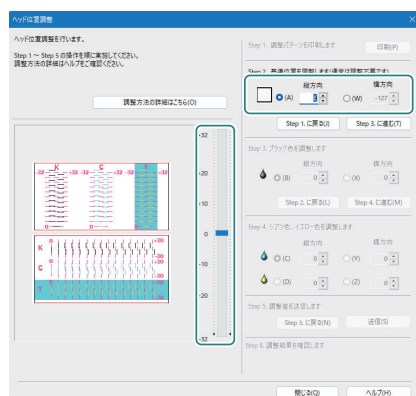
• Step 2 基準位置調整を行う場合

【縦方向の調整】

〔縦方向〕の〔A〕をクリックし、中央のスライダーをドラッグして数値を増減します。枠線を上側に動かしたい場合は数値をマイナス（－）側に、下側に動かしたい場合は数値をプラス（＋）側に動かします。

【横方向の調整】

〔横方向〕の〔W〕をクリックし、中央のスライダーをドラッグして数値を増減します。枠線を左側に動かしたい場合は数値をプラス（＋）側に、右側に動かしたい場合は数値をマイナス（－）側に動かします。

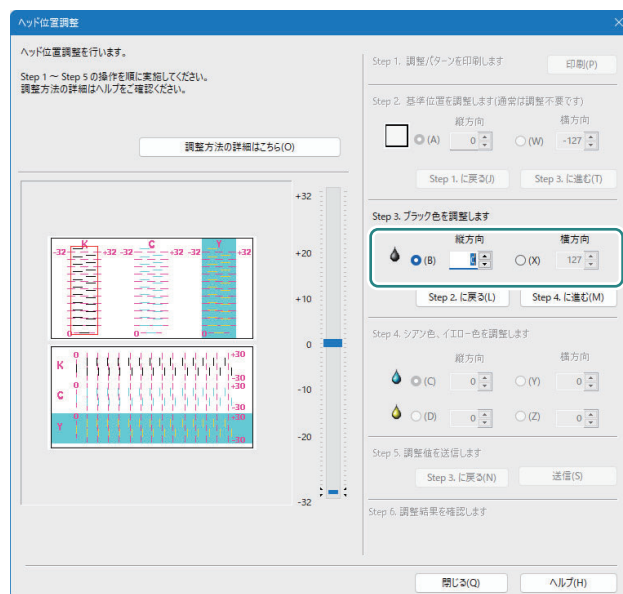


- ・入力ボックスをクリックし、キーボードから数値を入力することもできます。
- ・、 ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。
- ・数値を 1 増減させると、黒枠は上下左右に 0.0211 mm 移動します。
- ・調整範囲は縦（-32 ～ +32）、横（-30 ～ +30）ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダーの目盛りに表示される ▲、▼の間で設定してください。

7 [Step 3 に進む] をクリックする

8 Step 3. ブラック色の調整を行う

調整パターンの [K]（ブラック）の [B] 縦方向、[X] 横方向を確認して、それぞれ赤い線と重なっている数値を読み取り、入力します。



メモ

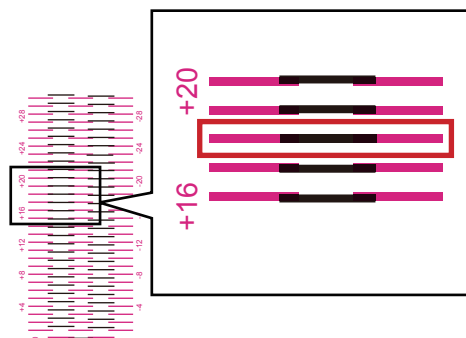
- ・[B] 縦方向や[X] 横方向を選択すると、調整パターンの確認位置が赤枠で示されます。
- ・ひとつ前の設定を見直したい場合は、「～に戻る」をクリックしてください。

【縦方向の調整】

ヘッド位置調整パターンのマゼンタの線とブラックの線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

例えば、次のような場合は、調整値が「+18」になります。

ヘッド位置調整シートの Step 3 の [縦方向]（B）をチェックして、「18」を入力します。

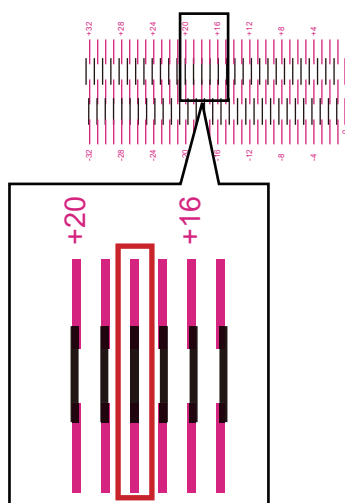


【横方向の調整】

ヘッド位置調整パターンのマゼンタの線とブラックの線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

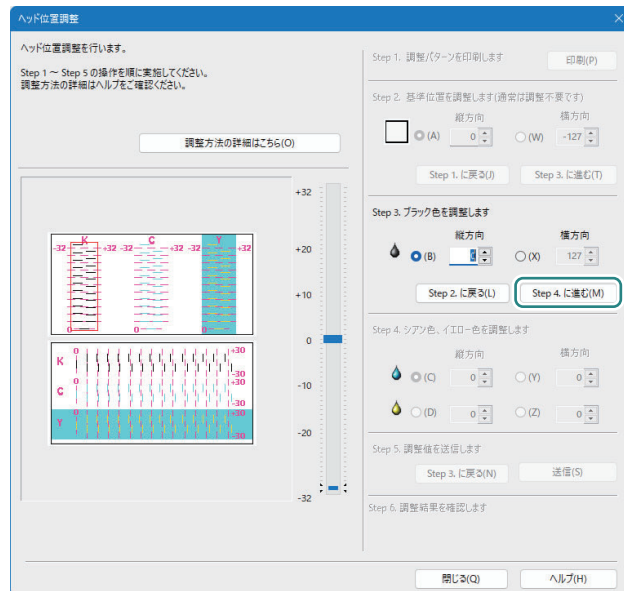
例えば、次のような場合は、調整値が「+18」になります。

ヘッド位置調整シートの Step 3 の「横方向」(X) をチェックして、「18」を入力します。



- [▲]、[▼] ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。
- 調整範囲は縦（-32 ～ +32）、横（-30 ～ +30）ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダーの目盛りに表示される ▲、▼の間で設定してください。

9 数値を入力したら、「Step 4. に進む」をクリックする



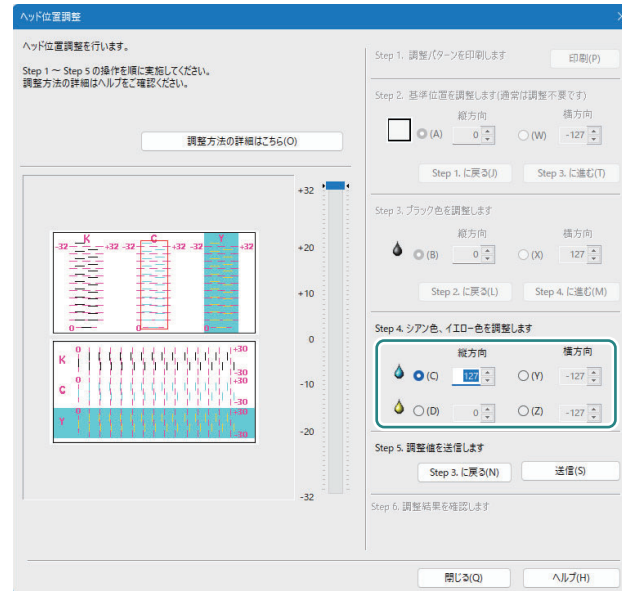
10 Step 4. シアン色、イエロー色の調整を行います。

〔シアン色〕

調整パターンの〔C〕の縦方向、〔Y〕横方向を確認して、それぞれマゼンタの線と重なっている数値を読み取り、入力します。

〔イエロー色〕

調整パターンの〔D〕の縦方向、〔Z〕横方向を確認して、それぞれマゼンタの線と重なっている数値を読み取り、入力します。



メモ

- ・〔C〕〔D〕縦方向や〔Y〕〔Z〕横方向を選択すると、調整パターンの確認位置が赤枠で示されます。
- ・ひとつ前の設定を見直したい場合は、「～に戻る」をクリックしてください。

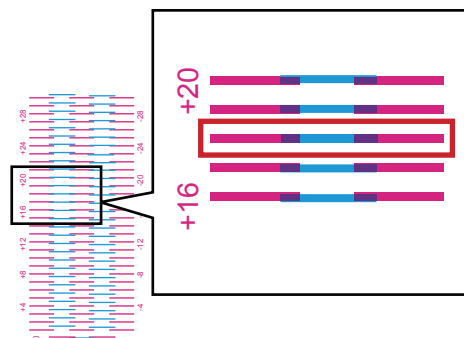
【縦方向の調整】

シアン、イエローの各色について、それぞれヘッド位置調整パターンの赤色の線と各色の線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

例えば、次のような場合は、シアン調整値が「+18」になります。

ヘッド位置調整シートの Step 4 の〔縦方向〕（C）をチェックして「18」を入力します。

同じようにイエローも行います。（〔縦方向〕（D））



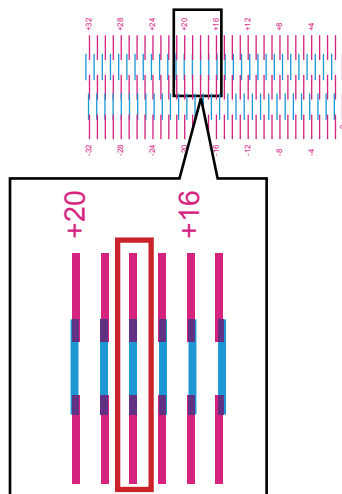
【縦方向の調整】

シアン、イエローの各色について、それぞれヘッド位置調整パターンの赤色の線と各色の線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

例えば、次のような場合は、シアン調整値が「+18」になります。

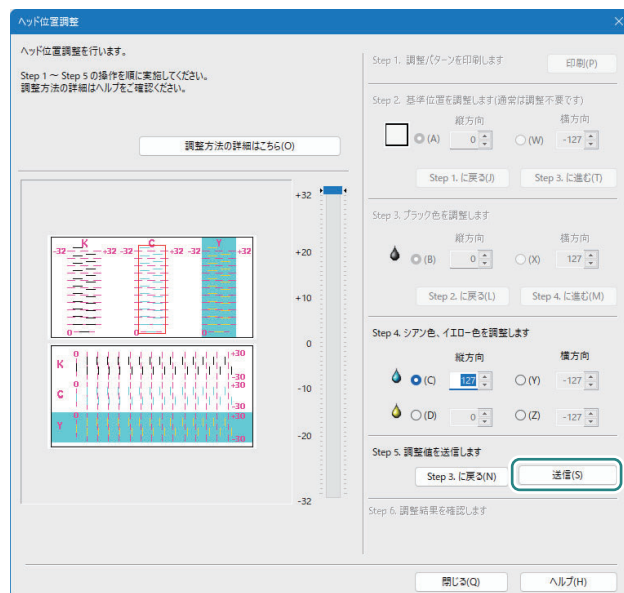
ヘッド位置調整シートの Step 4 の「横方向」（Y）をチェックして、「18」を入力します。

同じようにイエローも行います。（「横方向」（Z））



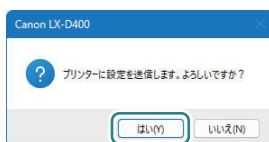
- 、 ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。
- 調整範囲は縦（-32～+32）、横（-30～+30）ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダーの目盛りに表示される ▲、▼の間で設定してください。

11 入力が終わったら、「送信」をクリックする



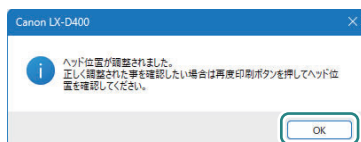
確認のメッセージが表示されます。

12 「はい」をクリックする



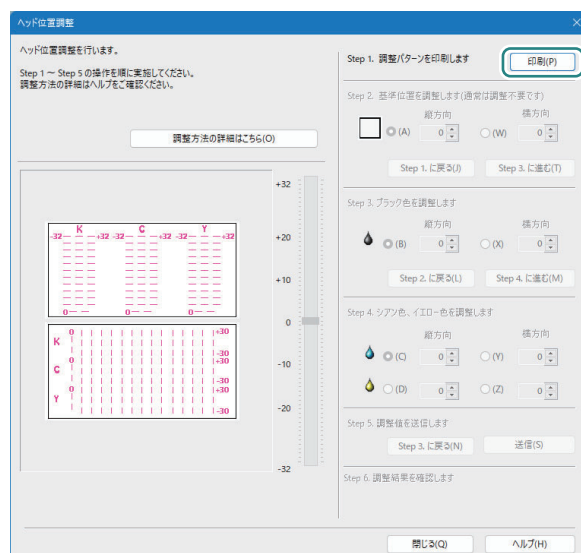
調整値がプリンターへ送信されて、ヘッド位置が調整されます。

13 「OK」をクリックする



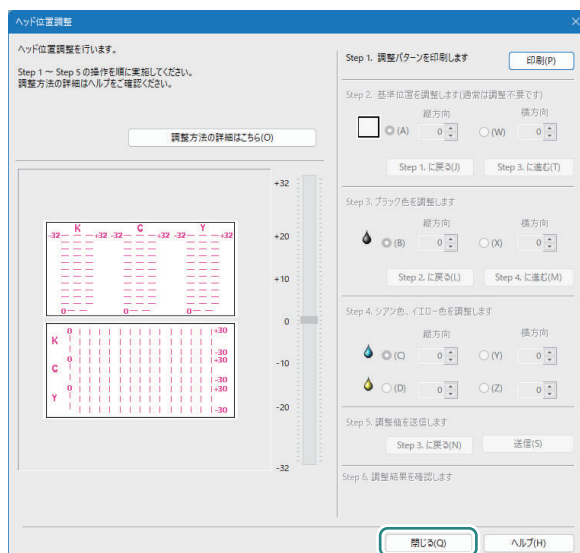
14 「印刷」をクリックする

再度、ヘッド位置調整パターンを印刷してヘッド位置が正しく調整されたことを確認します。



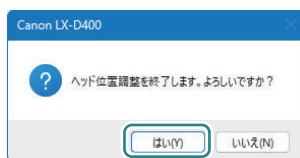
印刷された調整パターンを見て、各色の「0」の位置の線がなめらかにつながっている場合は調整完了です。線がずれて見える場合は、再度 Step 1 から調整を行ってください。

15 ヘッド位置調整が終了したら、「閉じる」をクリックする



確認のメッセージが表示されます。

16 「はい」をクリックする



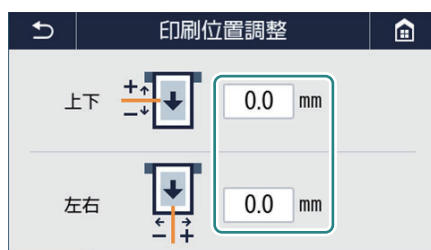
仕上がり进行调整する

画像の印刷位置やカット位置が期待通りの結果にならない場合は、タッチパネルの〔メンテナンス〕メニューで印刷位置とカット位置を調整することができます。

印刷位置を調整する

- 1 ホーム画面で、（メニュー）を押す
- 2 〔メンテナンス〕→〔印刷位置調整〕の順に押す
- 3 調整値を入力する

1. 上下または左右の数値入力エリアを押す

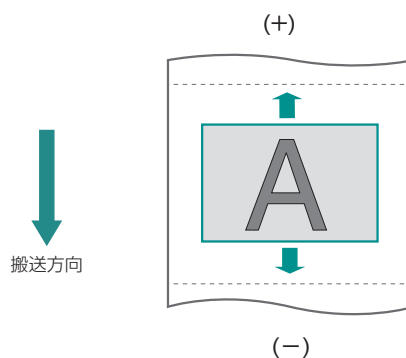


2. 調整値を選択する

調整値は上下方向 / 左右方向ともに、1.0 から -1.0 までの間を 0.1 単位で設定できます。

上下方向

画像の印刷位置は、－（マイナス）に設定すると排紙方向に移動し、＋（プラス）に設定すると給紙方向に移動します。



左右方向

画像の印刷位置は、－（マイナス）に設定すると排紙側から見て左方向に移動し、＋（プラス）に設定すると右方向に移動します。



■ カット位置を調整する

- 1 ホーム画面で、（メニュー）を押す
- 2 [メンテナンス] → [カット位置調整] の順に押す
- 3 調整値を入力する

1. 数値入力エリアを押す

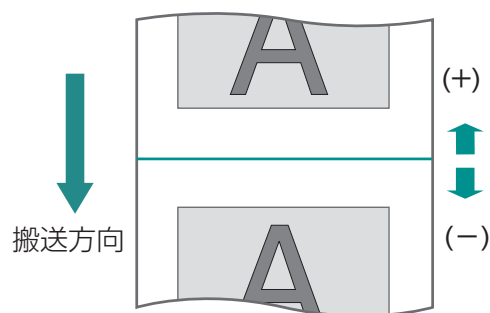


2. 調整値を入力し、[OK] を選ぶ



📖 メモ

- 入力できる調整値の範囲は、装着されているカッターの種類によって異なります。
- カット位置は、-（マイナス）に設定すると排紙方向に移動し、+（プラス）に設定すると給紙方向に移動します。



4 位置調整の結果を確認したい場合は、[お試しカット]を行う

1. 表示された印刷設定を確認する



- セットされている用紙と設定が異なる場合

1. [印刷設定] を押す
2. [用紙] 欄を押し、表示されたリストからプリンターにセットされている用紙のサイズを選ぶ



- ・ 最近使用した用紙サイズから選ぶ場合

[履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3] のいずれかを選択します。

📖 メモ

- ・ [用紙] のうち [履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3] には、最新のジョブ3件の印刷設定がそれぞれ保存されています。ただし、特殊形状ラベルの印刷設定はノズルチェックパターンの印刷に適さないため、最新のジョブ3件に特殊形状ラベルの設定が含まれていても [履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3] に保存されません。

- ・標準ラベル用紙から用紙サイズを選ぶ場合
使用する用紙のサイズを選択します。
リストに登録されている用紙サイズの一覧は「[用紙サイズを選ぶ \(P. 66\)](#)」をご覧ください。
- ・用紙サイズを自由に設定する場合
各項目をタップして、用紙情報を入力します。（カスタムサイズ）
用紙の形状によって、設定可能な範囲が異なります。詳しくは「[ユーザー用紙サイズの設定可能範囲 \(P. 45\)](#)」をご覧ください。

3. （戻る）を押す

2. 「お試しカット」を押す
調整パターンが印刷されます。調整後のカット位置を確認してください。

■ カット位置を調整する

- 1 ホーム画面で、（メニュー）を押す
- 2 [メンテナンス] → [カット位置調整] の順に押す
- 3 調整値を入力する

1. 数値入力エリアを押す

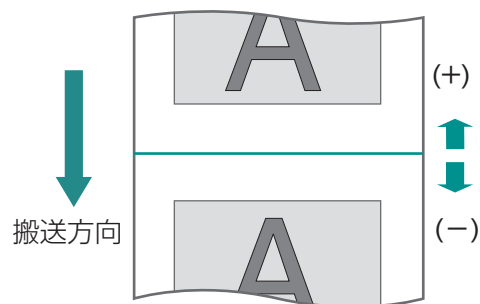


2. 調整値を入力し、[OK] を選ぶ



📖 メモ

- 入力できる調整値の範囲は、装着されているカッターの種類によって異なります。
- カット位置は、-（マイナス）に設定すると排紙方向に移動し、+（プラス）に設定すると給紙方向に移動します。



4 位置調整の結果を確認したい場合は、[お試しカット]を行う

1. 表示された印刷設定を確認する



- セットされている用紙と設定が異なる場合

1. [印刷設定] を押す
2. [用紙] 欄を押し、表示されたリストからプリンターにセットされている用紙のサイズを選ぶ



- ・最近使用した用紙サイズから選ぶ場合

[履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3] のいずれかを選択します。



- ・[用紙]のうち[履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3]には、最新のジョブ3件の印刷設定がそれぞれ保存されています。ただし、特殊形状ラベルの印刷設定はノズルチェックパターンの印刷に適さないため、最新のジョブ3件に特殊形状ラベルの設定が含まれていても[履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3]に保存されません。

- ・標準ラベル用紙から用紙サイズを選ぶ場合

使用する用紙のサイズを選択します。

リストに登録されている用紙サイズの一覧は「[用紙サイズを選ぶ \(P. 66\)](#)」をご覧ください。

- ・用紙サイズを自由に設定する場合

各項目をタップして、用紙情報を入力します。(カスタムサイズ)

用紙の形状によって、設定可能な範囲が異なります。詳しくは「[ユーザー用紙サイズの設定可能範囲 \(P. 45\)](#)」をご覧ください。

3.  (戻る) を押す

2. [お試しカット] を押す

調整パターンが印刷されます。調整後のカット位置を確認してください。

■ 停止位置を調整する

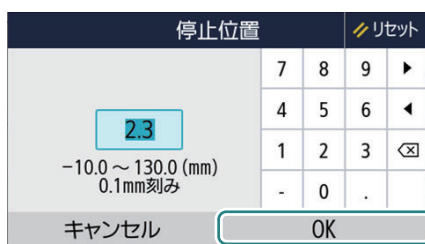
ジョブ切りオートカッター（オプション）が装着されている場合に使用するメニューです。

- 1 ホーム画面で、（メニュー）を押す
- 2 [メンテナンス] → [停止位置調整] の順に押す
- 3 調整値を入力する

1. 数値入力エリアを押す

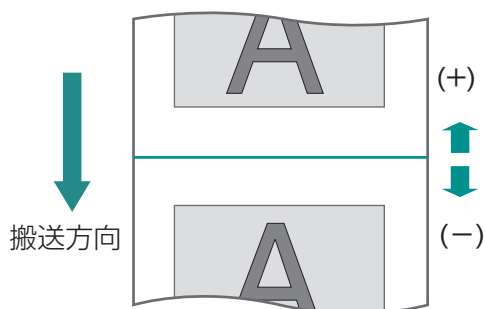


2. 調整値を入力し、[OK] を選ぶ



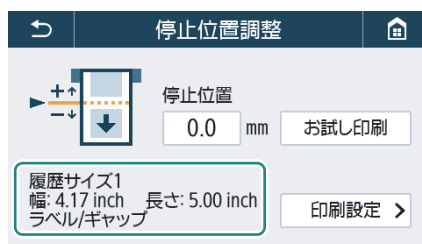
メモ

- 入力できる調整値の範囲は、装着されているカッターの種類によって異なります。
- 停止位置は、-（マイナス）に設定すると排紙方向に移動し、+（プラス）に設定すると給紙方向に移動します。



4 位置調整の結果を確認したい場合は、[お試し印刷]を行う

1. 表示された印刷設定を確認する



- セットされている用紙と設定が異なる場合

1. [印刷設定] を押す
2. [用紙] 欄を押し、表示されたリストからプリンターにセットされている用紙のサイズを選ぶ



- ・ 最近使用した用紙サイズから選ぶ場合
[履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3] のいずれかを選択します。



- ・ [用紙] のうち [履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3] には、最新のジョブ3件の印刷設定がそれぞれ保存されています。ただし、特殊形状ラベルの印刷設定はノズルチェックパターンの印刷に適さないため、最新のジョブ3件に特殊形状ラベルの設定が含まれていても [履歴サイズ1] ~ [履歴サイズ3] に保存されません。

- ・ 標準ラベル用紙から用紙サイズを選ぶ場合

使用する用紙のサイズを選択します。
リストに登録されている用紙サイズの一覧は「[用紙サイズを選ぶ \(P. 66\)](#)」をご覧ください。

- ・ 用紙サイズを自由に設定する場合

各項目をタップして、用紙情報を入力します。(カスタムサイズ)
用紙の形状によって、設定可能な範囲が異なります。詳しくは「[ユーザー用紙サイズの設定可能範囲 \(P. 45\)](#)」をご覧ください。

3.  (戻る) を押す

2. [お試し印刷] を押す
調整パターンが印刷されます。調整後の停止位置を確認してください。

用紙のこすれを改善する

RFID 用紙などの厚みのある用紙に印刷する場合や、用紙が波打ったりカールしている場合、用紙がプリントヘッドにこすれて印刷物が汚れることがあります。こすれを改善したい場合は、以下の機能を使ってプリントヘッドの位置を高くしてください。

用紙こすれ軽減モード	用紙にこすれが発生した時に設定します。(→ P.318)
プリントヘッド高さ調整	[用紙こすれ軽減モード] を設定しても、こすれが改善されない場合に設定します。(→ P.319)

■ 用紙こすれ軽減モードを設定する

- 1 ホーム画面の  (メニュー) → [管理者] を選ぶ
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
- 2 [設定] → [特殊設定] → [用紙こすれ軽減モード] を選ぶ
- 3 [用紙こすれ軽減モード] を [レベル 1] ～ [レベル 3] のいずれかに設定する

無効	プリントヘッドと用紙の接触を調整しません。
レベル 1	用紙とプリントヘッドの間隔を 0.2 mm 広げます。
レベル 2	用紙の吸引力を最大に設定します。
レベル 3	レベル 1 とレベル 2 を同時に設定します。

メモ

- ・ RFID 用紙設定でプリントヘッドの高さを設定している場合は、設定値が合算されます。

4 テスト印刷を行い、仕上がりを確認する

印刷物にこすれが残っている場合は、[用紙こすれ軽減モード] の設定をより高いレベルに設定して再度テスト印刷を行います。

[レベル3] に設定しても印刷物にこすれが残る場合は、プリントヘッドの高さを調整します。(→ P.319)

■ プリントヘッド高さ調整で高さを変更する

1 ホーム画面の (メニュー) → [管理者] を選ぶ

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

2 [設定] → [特殊設定] → [プリントヘッド高さ調整] を選ぶ

メッセージが表示されます。

3 [OK] を押す

4 プリントヘッドの高さを変更する

プリントヘッド位置を高くする場合は、現在の設定値より大きい値を選択します。

プリントヘッドの位置は、-0.50 mm ～ 1.00 mm の範囲を 0.05 mm 単位で設定できます。(初期値は 0.00mm)

←	プリントヘッド高さ調整	リセット
	0.10mm	↑
	0.05mm	
	0.00mm	
	-0.05mm	
	-0.10mm	↓

メモ

- プリントヘッドの位置は、+ (プラス) の方向に設定すると高くなり、- (マイナス) の方に設定すると低くなります。
- [用紙こすれ軽減モード] や RFID 用紙設定でプリントヘッドの高さを変更している場合は、設定値が合算されます。
- プリントヘッドの高さの設定は、印刷品質に影響します。プリントヘッドの高さを高めに設定すると印刷データによっては印刷結果がぼやけたり、色ずれが発生したりすることがあります。
- プリントヘッドの高さを低めに設定すると、ぼやけが改善され、印刷品質が向上しますが、用紙がプリントヘッドにこすれることがあります。

5 テスト印刷を行い、仕上がりを確認する

印刷物に汚れが残っている場合は、プリントヘッドの高さをより高く設定して再度テスト印刷を行ってください。

困ったときは

困ったときは	321
用紙がつまった	321
プリンターが思ったとおりに動作しない	325
思ったとおりの印刷結果にならない	331
ステータスマニターやタッチパネルにメッセージが表示された	339

困ったときは

プリンターが思いどおりに動作しないときや、正しく印刷できないときの対処方法について説明します。

下記の対処方法をお試しいただいても、同じメッセージが表示される場合は、本製品をご購入の販売店やまたは、お客様相談センターにご連絡ください。

用紙がつまった

用紙がプリンターにつまると、タッチパネルとステータスモニターに「紙づまり」と表示され、プリンターが停止します。以下の手順で、つまった用紙を取り除いてください。

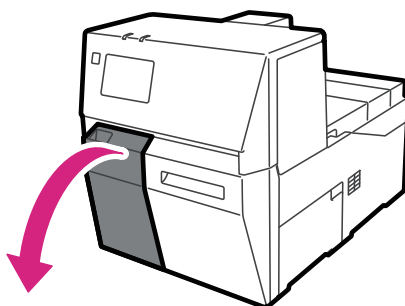
✓ 重要

- ・プリンターに印刷ジョブが残っている場合は、用紙を取り除く際にプリンターの電源を切らないでください。電源を切ってしまうと、再度電源を入れた際にパソコン内に残っているジョブが最初から再印刷されます。

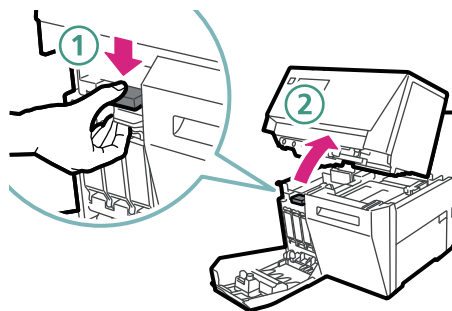
📖 メモ

- ・タッチパネルに表示されたエラーメッセージ画面でも、対処方法を確認できます。(→ P.170)

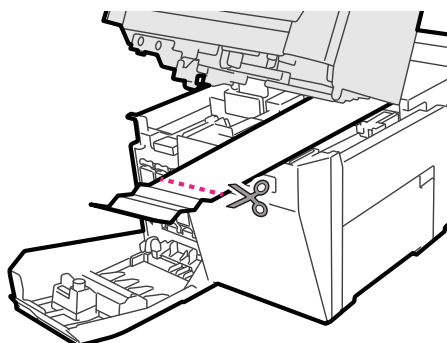
1 インクタンクカバーを開く



2 上ユニットオープンレバーを押し、上ユニットを開く



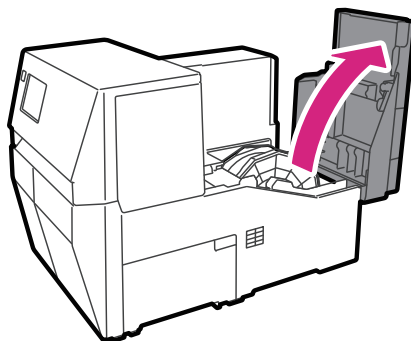
3 搬送路の用紙を搬送方向に引き出し、しわなどになっている部分をカットする



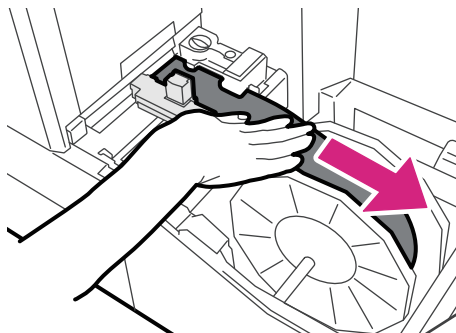
⚠ 注意

- ・ カットするときに、ケガをしたり、プリンターに傷を付けたりしないように注意してください。

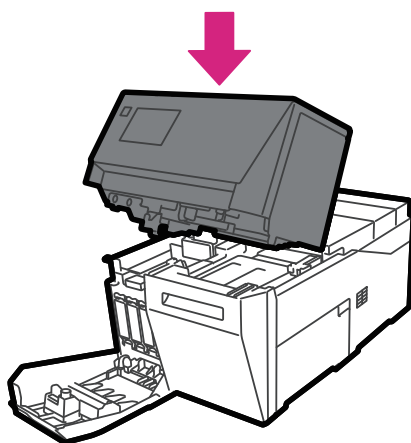
4 ロールカバーを開く



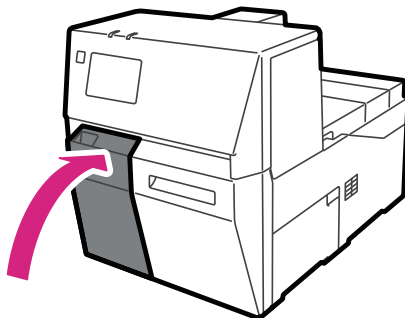
5 搬送路から用紙を引き抜く



6 上ユニットを閉じる



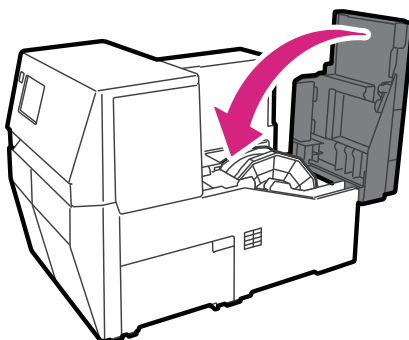
7 インクタンクカバーを閉じる



8 用紙を再度セットし、ロールカバーを閉じる

➡ ロール紙をセットする (P. 14)

➡ ファンフォールド紙をセットする (P. 36)



プリンターが思ったとおりに動作しない

プリンターが思ったとおりに動かないときは、次のことを確認してください

■ 電源が入らない

確認ポイント	対処のしかた
電源オフ状態になっていませんか	電源キーを押してください。
AC アダプターと電源コードが正しく接続されていますか	AC アダプターと電源コードが接続されていることを確認したあと、電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
コンセントに電気が来ていますか	コンセントに他の電気製品を接続してみてください。 正常に動作するときはプリンターの故障が考えられますので、本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。

■ 印刷が始まらない / 途中で止まる

確認ポイント	対処のしかた
エラーが発生していませんか	タッチパネルのエラーメッセージをタップして対処方法を確認してください。 または、ステータスマニターの「ステータス情報」のメッセージをダブルクリックして、表示された対処方法にしたがって操作してください。
パソコンと接続されていますか	パソコンとプリンターをインターフェイスクーブルで正しく接続してください。
印刷に使用するプリンターは正しく選択されていますか	「印刷」ダイアログボックスでご使用になられるプリンターを選択してください。
大きな画像などを印刷していませんか	タッチパネルに「印刷中」のメッセージが表示されている場合は、そのまましばらくお待ちください。
長時間連続して印刷を行っていませんか	印刷を長時間続けると、プリントヘッドの温度が高くなります。ヘッドを保護するため、印刷動作が中断されます。しばらくすると印刷を再開します。
テストパターンは印刷されますか	プリンタードライバーの「ユーティリティ」シートからヘッド位置調整パターンの印刷、または設定値の印刷を行ってください。 印刷された場合は、アプリケーションソフトの設定と操作方法、印刷データの内容を確認してください。
パソコン側でトラブルが発生していませんか	パソコンを再起動してから印刷してください。 なお、起動したときに印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。

確認ポイント	対処のしかた
パソコンの休止状態またはスリープ状態の設定が「適用しない」（または「なし」）以外になっていませんか	パソコンの休止状態およびスリープ状態になる時間を「適用しない」（または「なし」）に設定してください。パソコンが休止状態またはスリープ状態から復帰操作したときは、パソコンから送信したデータが破棄されるようになっていきます。 パソコンの休止状態およびスリープ状態の時間は「電源とスリープ」（または「画面とスリープ」）で設定します。
残量があるインクタンクがセットされているのに、「インクなし」の表示がでていませんか	インクタンクをセットしなおしてください。
プリンタードライバーのポートの設定は合っていますか	次の手順でポートの設定を確認してください。 1. タスクバーの「検索」アイコンをクリックし、検索ボックスに「プリンターとスキャナー」と入力します。 2. 「プリンターとスキャナー」アイコンをクリックします。 3. 本プリンターをクリックし、「プリンターのプロパティ」を選びます。（→ P.60） 4. 「ポート」タブをクリックし、正しくポートが選ばれているかを確認します。 例 USB 接続の場合：USBnnn（n は数字） ネットワーク接続の場合：nnnnnn@MDL （n はプリンター名称、MDL はプリンターのモデル名） 設定が誤っているときは、正しく設定しなおしてください。 使用するポートがないときは、プリンタードライバーをアンインストールし、再度インストールしてください。 5. 「OK」をクリックします

確認ポイント	対処のしかた
(ネットワーク環境で接続しているとき) プリンターとパソコンが同一のネットワーク上に設置されていますか	次の手順で本プリンターとパソコンが同一のネットワーク上に設置されていることを確認してください。 (IP アドレスの確認) 1. 本プリンターの IP アドレスを確認します。 タッチパネルの  (メニュー) → [ネットワーク設定] → [ネットワーク情報] を選びます。 (→ P.246) 表示された画面で、設定されている IP アドレスを確認します。 2. パソコンの IP アドレスを確認します。 1) タスクバーの [検索] アイコンをクリックし、検索ボックスに「cmd」と入力します。 2) Enter を押し、コマンドプロンプトを起動します。 3) 起動したウィンドウ上で「ipconfig/all」と入力します。 4) IP アドレスを確認したあと、画面を閉じます。 IP アドレスを確認した結果、プリンターとパソコンが同一のネットワーク上に設置されていないときは、プリンターの IP アドレスを変更し、新しいポートを追加する必要があります。 次の手順で設定してください。 (プリンターの IP アドレス変更) タッチパネルの  (メニュー) → [ネットワーク設定] → [LAN 設定] を選びます。 (→ P.239) 本プリンターの IP アドレスを変更します。 (新しいポートの追加) 1. プリンターのプロパティ画面を表示します。 (→ P.60) 2. [ポート] タブをクリックし、[ポート追加] をクリックします。 3. [CN2A1 Network Port] を選択し、[新しいポート ...] をクリックします。 [CN2A1 Network Port] ダイアログボックスが表示されます。 4. [プリンター検索] をクリックします。 [プリンター一覧] に本プリンターが表示されます。本プリンターが表示されないときは、[検索範囲指定] をクリックして IP アドレスを検索してください。 5. [出力先名] に新しいポート名を入力します。 6. [OK] をクリックします。
(ネットワーク環境で接続しているとき) 本プリンターの独自プロトコル (CFTP) での通信が許可された設定になっていますか	独自プロトコル (CFTP) のポート番号は 50000,50001,50002 です。 設定を行う際の参考にしてください。

■ ステータスマニターが起動しない

確認ポイント	対処のしかた
ステータスマニターの設定は合っていますか	ステータスマニターの設定によっては、印刷したりエラーが発生しないと起動しません。プリンタードライバーの[ユーティリティ]シートを開き、[ステータスマニター起動]をクリックします。ステータスマニターが起動したら、設定を行ってください。 (→ P.143)
プリンターとパソコンで双方向通信ができていますか	プリンターとパソコンで双方向通信ができていないと、印刷を開始してもステータスマニターは起動しません。 プリンタードライバーの[プロパティ]を開き、[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]にチェックがされていることを確認してください。 上記の操作を行っても解決しない場合は、プリンタードライバーをアンインストールし、再度インストールしてください。

■ 用紙が正しく給紙されない

確認ポイント	対処のしかた
使用できない用紙を使用していませんか	カラーラベルプリンター専用紙を使用してください。 専用紙以外の用紙は使用しないでください。紙詰まりや故障の原因となります。(→ P.44)
用紙の先端が折れたり、カールしていませんか	用紙の先端が折れていたり、カールしていると正しく給紙されないことがあります。また、紙づまりや故障の原因にもなります。
ラベルの糊が剥れやすくなっていますか	ラベルが剥れやすくなっている用紙は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
搬送ガイド(R)を用紙の幅に合わせていますか	搬送ガイド(R)を用紙の幅に合わせてセットしてください。 (→ P.14)
搬送部が汚れていませんか	搬送部が紙粉やインクで汚れていると、紙詰まりなどが起こりやすくなります。搬送部は定期的に清掃してください。(→ P.269)
ロールホルダーの幅と搬送ガイドの位置は合っていますか。	ロールホルダーの幅と搬送ガイドの位置が、使用する用紙の幅に合っているか確認してください。 ・ 幅 120.1 mm以上の用紙を使用する場合、ロールホルダーの幅と搬送ガイドの位置を拡張する必要があります。(→ P.25) ・ 幅 120.1 mm以上の用紙を使用しないときはロールホルダーの幅と搬送ガイドを拡張しないでください。

■ 印刷が止まらない / データが送信されない / ユーティリティーから設定が送れない / ステータスマニターからステータスが認識できない

確認ポイント	対処のしかた
印刷キューウィンドウ（印刷データの順番が登録されるウィンドウ）のデータが残っていませんか	ウィルス対策ソフトウェアの影響により、ネットワーク接続時に印刷およびユーティリティーの設定を行うと、パソコンとプリンターの間で、データ転送エラーが発生して、印刷キューウィンドウのデータを何度もプリンターへ送信したり、全く送信しなかったりする場合があります。 次の手順で対処してください。 1. プリンターを一時停止します。 2. ステータスマニターから印刷中止する、または印刷キューウィンドウからデータを削除します。 3. パソコンを再起動します。 また、この現象が発生した場合は、ご購入の販売店や、お客様相談センターにお問い合わせください。
印刷データの容量に対して、タイムアウト設定が短い値に設定されていませんか	プリンターとパソコンを有線 LAN で接続している場合、容量が大きい印刷データをパソコンから送ると、送信の途中で通信がタイムアウトしてデータが送られないことがあります。 以下の手順でタイムアウト設定を変更してください。 1. プリンターのプロパティ画面を表示します。（→ P.60） 2. [ポート] タブをクリックします。 3. お使いのネットワークポートをクリックし、[ポートの構成] を押します。 4. [タイムアウト設定] の [タイムアウト時間を延長する] にチェックマークを入れます。 5. 任意のタイムアウト時間を設定します。 タイムアウト時間の初期値は 30 秒です。

■ 特殊用紙の登録ができない

確認ポイント	対処のしかた
ラベル用紙を読み取る際、それぞれ以下の箇所を読み取らせていますか ・ブラックマークなしの用紙の場合 1 度目：ラベル部 2 度目：セパレーター部 ・ブラックマークあり用紙の場合 1 度目：ラベル部 2 度目：ブラックマーク部	ラベル用紙を読み取る際、1 度目と2 度目でラベル用紙の同じ個所を読み取らせると用紙情報を正しく登録できません。 特に2 度目の読み取りの際は、それぞれ以下の個所をセンサー窓の上に置き、読み取りを行ってください。 ・ブラックマークなしの用紙の場合 セパレーター部 ラベル部をはがし、しっかり露出させてください ・ブラックマークありの用紙の場合 ブラックマーク部 また、市販のラベルの中には本プリンターで読み取りできないものがあります。ご使用前に、特殊用紙の登録ができることをご確認ください。

思ったとおりの印刷結果にならない

プリンターで思ったとおりの印刷結果にならないときは、次のことを確認してください。

■ 印刷面の裏側が汚れる

確認ポイント	対処のしかた
用紙の搬送部がインクで汚れていませんか	搬送部の清掃を行ってください。(→ P.269)
ファンフォールド紙をご使用かつ、用紙の端付近に、広範囲を塗りつぶした箇所がありませんか	用紙の端付近に広範囲を塗りつぶした箇所がある場合、用紙の裏面が汚れることがあります。デザインの変更をご検討ください。 また、搬送部が汚れている場合は清掃を行ってください。 (→ P.269)

■ 意味不明の文字や画像が印刷される

確認ポイント	対処のしかた
インターフェイスクーブルが外れていませんか	パソコンとプリンターをインターフェイスクーブルで正しく接続してください。
パソコン側で印刷に使用するプリンターが正しく選択されていますか	[印刷] ダイアログボックスでご使用になられるプリンターを選択してください。
テストパターンは印刷されますか	プリンタードライバーの[ユーティリティー]シートからヘッド位置調整パターンの印刷または設定値印刷を行ってみてください。 印刷された場合は、アプリケーションソフトウェアの設定と操作方法、印刷データの内容を確認してください。印刷されない場合は、ご購入の販売店や、お客さま相談センターにご連絡ください。

■ 印刷品質が悪い

確認ポイント	対処のしかた
印刷結果に白く抜けているところがある 印刷結果がかすれている	プリントヘッドのクリーニングを行ってください。プリンターを長期間使用しなかった場合、ノズルが詰まる可能性があります。 (→ P.291)
印刷結果に色ずれが現れる 印刷結果がぼやける	[ヘッド位置調整]を行ってください。(→ P.295) プリントヘッドの位置が高すぎる可能性があります。[用紙こすれ軽減モード]と、[プリントヘッド高さ調整]それぞれの設定が用紙にあっているか確認してください。(→ P.318)

確認ポイント	対処のしかた
印刷位置がずれている	プリンターが自動識別できない用紙を使用している可能性があります。特殊用紙設定を行うと、プリンターが用紙を識別できるようになります。(→ P.200) ただし用紙によっては、特殊用紙登録を行っても印刷位置がずれることがあります。
	セットされている用紙とプリンターの特殊用紙設定が一致していない可能性があります。以下の手順で有効になっている特殊用紙設定を確認し、必要に応じて設定を変更してください。 1. ホーム画面で、 (メニュー) → [用紙タイプ設定] → [給紙タイプ] を開く 2. [特殊用紙設定] で選択されている設定を確認する
	上下センサーの位置が用紙の形状にあっていない可能性があります。上下センサーの位置を確認し、必要に応じてセンサーを移動させてください。(→ P.30)
	以下の手順で用紙をセットし直してください。 1. ホーム画面で、 (メニュー) → [用紙タイプ設定] → [給紙タイプ] を開き、セットする用紙にあった給紙タイプを設定する 2. 用紙をプリンターにセットする 用紙セットの詳しい手順は以下をご覧ください。 ➡ ロール紙をセットする (P. 14) ➡ ファンフォールド紙をセットする (P. 36)
画像が斜めに印刷される	搬送ガイドの位置が用紙の幅にあっていない可能性があります。上ユニットを開いて、搬送ガイドの位置を確認してください。 搬送ガイド (R) がしっかり閉じられてない可能性があります。搬送ガイドの状態を確認してください。 (→ P.17) 用紙幅が2インチ以下の用紙をお使いの場合は、ロールホルダーをプリンターから取り外し、セットされている用紙の端面を揃えてください。(→ P.16)
中間調の表現が粗い	プリンタードライバーの [印刷設定] シートを開き、[詳細設定] の [ハーフトーン処理] を [誤差拡散] に設定してください。 (→ P.102) [デザイナー] の設定と比べてデータの内部処理に時間がかかるため、印刷速度が遅くなる場合があります。

確認ポイント	対処のしかた
文字のまわりや、べた塗り部分にムラが現れる 期待通りの色で印刷されない	プリントヘッドのクリーニングを行ってください。(→ P.291)
	プリンタードライバーの[色設定]シートを開き、[ハーフトーン処理]を[誤差拡散]に設定してください。(→ P.102)
	ホーム画面で、  (メニュー) → [管理者] → [設定] → [特殊設定]を開き、[濃度ムラ軽減モード]を[有効]にしてください。(→ P.189)
厚みのある用紙の印刷面に、こすったあとが残る 印刷した用紙が波打っていて、用紙をこすったあとが残る	ホーム画面で、  (メニュー) → [管理者] → [設定] → [特殊設定]を開き、[用紙こすれ軽減モード]を[レベル1]～[レベル3]のいずれかに設定してください。(→ P.318) 改善されない場合は、ホーム画面で、  (メニュー) → [管理者] → [設定] → [特殊設定]を開き、[プリントヘッド高さ調整]でプリントヘッド位置を高く設定してください。(→ P.319) 状況が改善しない場合は、本製品をご購入の販売店、またはお客様相談センターにご連絡ください。

■ 印刷された色がおかしい

確認ポイント	対処のしかた
印刷された色が画面と違う	プリンタードライバーの[印刷設定]シートを開き、画質や色に関する設定を行ってください。 ➡ [印刷設定]シートを使う (P.84) また、お使いのパソコンのコントロールパネルで、[ディスプレイ]および[画面のプロパティ]が正しく設定されているか確認してください。 特にディスプレイの種類やガンマ係数の設定が間違っていると、正しい色がディスプレイに表示されません。
全体的にきれいに印刷されない	カラーラベルプリンター専用紙を使用することをおすすめします。専用紙以外の用紙を使用すると、印刷品位が低下することがあります。また、紙づまりや故障の原因となります。 また、アプリケーションソフトウェアの設定を変更すると改善場合があります。パソコン側でアプリケーションソフトウェアの印刷設定をご確認ください。
画像が明るい / 暗い	プリンタードライバーの[印刷設定]シートを開き、[色補正]の方法を選択したあと、[詳細設定]ダイアログボックスから明るさ調整またはレベル補正を行ってください。 ➡ [印刷設定]シートを使う (P.84) ➡ 画質を調整する (P.99)

画像の濃淡が薄い / 濃い	〔詳細設定〕ダイアログボックスから濃度調整を行ってください。 ➡ 濃度を調整する (P. 101)
画像がぼやけている	〔詳細設定〕ダイアログボックスから〔シャープネス〕を設定してください。 ➡ シャープネスをかける (P. 103)

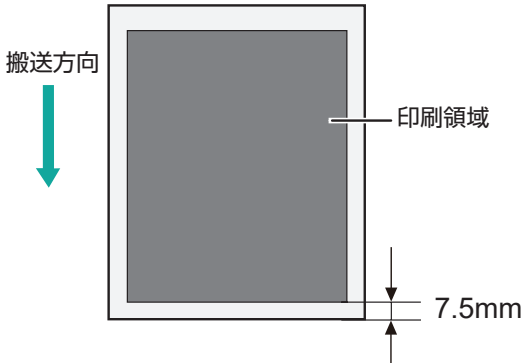
■ 単色で印刷される

確認ポイント	対処のしかた
印刷設定でモノクロ設定が行われていませんか	プリンタードライバーの〔印刷設定〕シートを開き、〔モノクロ印刷〕のチェックマークを外してください。
アプリケーションソフトウェアの設定が単色印刷になっていませんか	アプリケーションソフトウェアによっては単色印刷を設定できる場合があります。パソコン側でアプリケーションソフトウェアの印刷設定をご確認ください。

■ 画像が欠けて印刷される

確認ポイント	対処のしかた
以下のアプリケーションソフトウェアを使用して横長の用紙を印刷していませんか ・ Microsoft Office PowerPoint ・ Microsoft Office Word	横長の用紙に印刷する場合、アプリケーションソフトウェアによっては、原稿の向きを自動的に回転させてしまい、正しく印刷できないことがあります。 プリンタードライバーの〔ページ設定〕シートを開き、〔印刷の向き〕および〔選択した縦横の向きで印刷する〕を設定してください。 ➡ 選択した縦横の向きで印刷する (P. 76)

■ 文字やバーコードがきれいに印刷されない

確認ポイント	対処のしかた
アプリケーションソフトウェアのバーコードの設定は適切ですか	アプリケーションソフトウェアでバーコード生成を行っている場合は、アプリケーションソフトウェアでバーの補正を行うと改善することがあります。詳しい設定方法はアプリケーションソフトウェアのマニュアルを参照してください。
用紙の先端に十分な余白がありますか	文字や線が太く印刷される場合は、下記の図を参考に、用紙の先端から 7.5 mm 以上開けて画像を配置すると改善することがあります。画像を確認してください。 

■ RFID 用紙の書き込みに何度も失敗する

確認ポイント	対処のしかた
メディアに問題はないですか	インレイに不良がないか確認してください。 問題がない場合は、本プリンターに対応している用紙の条件を確認してください。詳しくは「 使用できる RFID 用紙について (P. 360) 」をご覧ください。
印刷速度の設定は適切ですか	書き込むデータの量に対して印刷速度が速すぎると RFID の書き込みに失敗しやすくなるため、印刷速度を遅く設定すると解消されることがあります。詳しい手順は「 RFID 用紙情報を編集する (P. 364) 」をご覧ください。
プリンターの近くに外部リーダー、アンテナ、または電波を発する機器はありませんか	本プリンターがこれらの機器の影響を受けると、RFID 用紙への書き込みが正しく行われません。 RFID 用紙への書き込みを行うときは、これらの機器を電波を発さない状態にする、またはプリンターから遠ざけてください

■ その他

インク残量検知機能について

このプリンターのインクタンクには、印刷中のインク切れやプリンターの故障を防止するためのインク残量検知機能があります。

➡ ホーム画面の構成 (P. 170)

➡ インク情報を見る (P. 150)

インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなり、印刷を停止します。そのため、インクを補充したインクタンクを使用する場合は、インク残量検知機能を無効にする必要があります。インク残量検知機能を無効にして印刷を行った場合、プリンターに損傷や異常が発生することがあります。インクを補充したことが原因の故障につきましては、キヤノンは責任を負いません。

👍 重要

- ・ インク残量検知機能を無効にして印刷を行った場合、プリンターに損傷、異常が発生する場合があります。
- ・ インク残量検知機能を無効にすると、そのインクタンクに対するインク残量検知機能を回復させることはできません。インク残量検知機能を回復させるには、本プリンター用の新しいインクタンクに交換してください。
- ・ 同じインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクとプリンターとの接合部に不具合が生じ、インクタンクからインクが漏れてプリンターに損傷を与える場合があります。
- ・ インク残量検知機能を無効にした場合は、プリンターにその履歴を保存します。

インク残量検知機能を無効にする手順は以下の通りです。

1 ホーム画面で、 (メニュー) → [管理者] を選ぶ

管理者用パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

2 [設定] → [特殊設定] → [インク残量検知] → [はい] を選ぶ

メッセージが表示されます。

3 メッセージの内容を確認し、[はい]を選ぶ

ステータスモニターの表示は、[XXXX インク残量検知機能解除中]になります。(XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)

タッチパネルの表示は以下のようにになります。



重要

- ・ インク残量検知機能を無効にして印刷を行った場合、プリンターに損傷、異常が発生する場合があります。
- ・ インク残量検知機能を無効にすると、そのインクタンクに対するインク残量検知機能を回復させることはできません。新しいインクタンクに交換してください。

ステータスモニターやタッチパネルにメッセージが表示された

プリンターの操作中や印刷中にトラブルが発生すると、タッチパネルにはエラーメッセージが、ステータスモニターにはメッセージと4桁のサポート番号が、それぞれ表示されます。サポート番号はエラーを識別するための番号です。

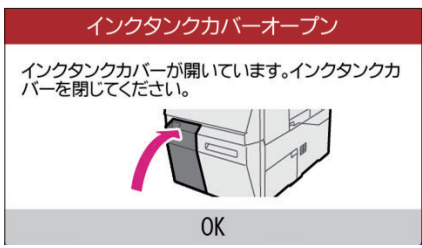
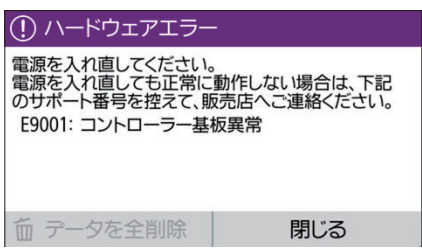
エラーが発生したときはサポート番号を確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

メモ

- エラーメッセージが表示されると、プリンターは自動的にオフライン状態になります。内容によっては、対処を行っても自動的にオンライン状態にならない場合があります。その場合は、電源キーを押してオンライン状態にしてください。
- Eで始まる5桁のサポート番号が表示された場合はハードウェアエラーが発生しています。詳しくは「**ハードウェアエラー (P.357)**」を参照してください。
- 複数のエラーが同時に発生した場合は、ステータスモニターに全てのメッセージが表示されますので、エラー対処を行ってください。

エラー発生時のタッチパネルの見方

エラーが発生すると、タッチパネルにエラーメッセージ画面が表示されます。

エラーの種類	エラーメッセージ画面の例	対処方法
オペレーターエラー (赤)		お客様の操作が必要なエラーが発生し、印刷ができない状態です。対処を行ってエラーを解消してください。 詳しい対処法は、「 オペレーターエラー (P.340) 」をご覧ください。
ハードウェアエラー (紫)		エラー解消のために、本製品をご購入の販売店やお客様相談センターへの連絡が必要なエラーが発生している状態です。 詳しい対処法は、「 ハードウェアエラー (P.357) 」をご覧ください。

メモ

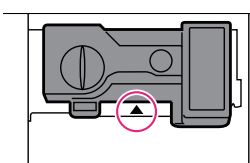
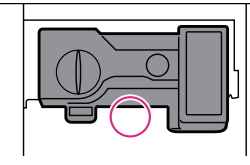
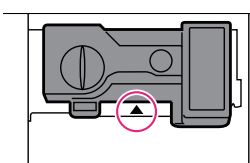
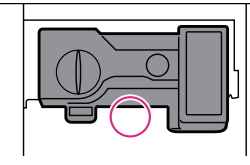
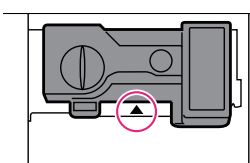
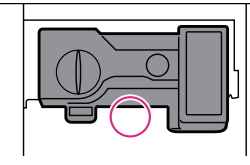
- エラーメッセージ画面で「閉じる」または「OK」をタップすると、画面を閉じます。再度表示したい場合は、本体ステータス表示部 (→ **P.170**) をタップします。

■ オペレーターエラー

お客様の操作が必要なエラーが発生し、印刷ができない状態です。対処を行ってエラーを解消してください。

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
3001	用紙なし	用紙がありません。 ・印刷を続行する場合 用紙をセットしてください。 ➡ ロール紙をセットする (P. 14) ➡ ファンフォールド紙をセットする (P. 36) ・印刷を中止する場合 印刷を中止する場合はリセットキーを押してください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57)
3002	用紙なし	用紙が給紙されません。 ・印刷を続行する場合 ギャップセンサーが適切な位置にあることを確認し、用紙を再セットしてください。 ➡ ギャップセンサーとは (P. 31) ➡ ロール紙をセットする (P. 14) ➡ ファンフォールド紙をセットする (P. 36) ・印刷を中止する場合 印刷を中止する場合は、ステータスマニターの [印刷中止] をクリックしてください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57)
3102 3103 3104	用紙縦長さ違い	セットしている用紙の長さが、アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーで設定されている用紙サイズと異なります。 ・プリンターにセットされている用紙が違っていた場合 正しい用紙に交換してください。 ➡ ロール紙をセットする (P. 14) ➡ ファンフォールド紙をセットする (P. 36) ・アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーの用紙サイズの設定が違っていた場合 ステータスマニターの [印刷中止] をクリックしてください。 用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57) ・印刷を続ける場合 タッチパネルで [3. このままエラーを解除する] を選んでください。印刷を再開しますが、再度エラーが発生する可能性があります。

サポート 番号	ステータスマニター メッセージ	原因 / 対処方法
3202 3203	マーク長サイズ違い	セットしている用紙のギャップ / マーク長が、アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーで設定されている用紙サイズのギャップ / マーク長と異なります。 ・ プリンターにセットされている用紙が違っていた場合 正しい用紙に交換してください。 ➡ ロール紙をセットする (P. 14) ➡ ファンフォールド紙をセットする (P. 36) ・ アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーの用紙サイズの設定が違っていた場合 ステータスマニターの [印刷中止] をクリックしてください。 用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57) ・ ブラックマークがある用紙で、アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーの用紙サイズは正しく設定されているが、エラーが発生する場合 ラベル用紙によっては、ブラックマークを正しく読み取れないことがあります。このような場合は、ブラックマークがない用紙の手順で [特殊用紙登録] を行ってください。 ➡ ギャップ / ブラックマーク調整を行う (P. 200) ・ 印刷を続ける場合 タッチパネルで [3. このままエラーを解除する] を選んでください。印刷を再開しますが、再度エラーが発生する可能性があります。

サポート ト番号	ステータスマニター メッセージ	原因 / 対処方法				
3301	用紙幅違い	セットしている用紙の幅が、アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーで設定されている用紙サイズと異なります。 ・プリンターにセットされている用紙が違っていた場合 正しい用紙に交換してください。 ➡ ロール紙をセットする (P. 14) ➡ ファンフォールド紙をセットする (P. 36) ・アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーの用紙サイズの設定が違っていた場合 ステータスマニターの [印刷中止] をクリックしてください。 用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57) ・搬送ガイドの位置が違っていた場合 1. 下記の図を参考に、搬送ガイド (L) が用紙の幅に対して適切な位置にあることを確認してください。位置を調整する方法は幅広用紙を使う (P.25)をご覧ください。 <table><tr><td>・印刷データの用紙幅が 120.1 mm ～ 130 mm の場合</td><td> ▲マークが見える</td></tr><tr><td>・印刷データの用紙幅が 120 mm 以下の 場合</td><td> ▲マークが見えない</td></tr></table> 2. 搬送ガイド (R) を用紙の幅にあった位置に移動させ、用紙をセットし直してください。 ➡ ロール紙をセットする (P. 14) ➡ ファンフォールド紙をセットする (P. 36)	・印刷データの用紙幅が 120.1 mm ～ 130 mm の場合	 ▲マークが見える	・印刷データの用紙幅が 120 mm 以下の 場合	 ▲マークが見えない
・印刷データの用紙幅が 120.1 mm ～ 130 mm の場合	 ▲マークが見える					
・印刷データの用紙幅が 120 mm 以下の 場合	 ▲マークが見えない					

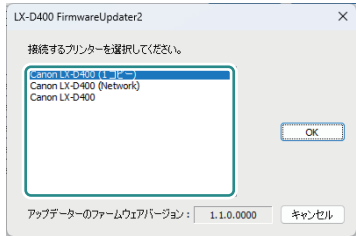
サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
3401 3402 3403 3404 3405 3406 3409 340B 34E1 34E2	紙づまり（印刷中）	搬送路、または出入口付近で用紙がつまっています。 用紙をセットし直してください。 ➡ ロール紙をセットする（P. 14） ➡ ファンフォールド紙をセットする（P. 36） プリンタードライバーおよびファームウェアを最新のバージョンに更新してください。 ➡ 最新のソフトウェアを入手する（P. 286） ・印刷を続ける場合 タッチパネルで「3. このままエラーを解除する」を選んでください。印刷を再開しますが、再度エラーが発生する可能性があります。
3509 350B 3511 35E1 35E2	紙づまり（印刷中以外）	搬送路、または出入口付近で用紙がつまっています。 用紙をセットし直してください。 ➡ ロール紙をセットする（P. 14） ➡ ファンフォールド紙をセットする（P. 36） プリンタードライバーおよびファームウェアを最新のバージョンに更新してください。 ➡ 最新のソフトウェアを入手する（P. 286） ・操作を続ける場合 タッチパネルで「3. このままエラーを解除する」を選んでください。操作を続けることができますが、再度エラーが発生する可能性があります。
3601 3602	紙づまり（ジョブ切りカッター）	ジョブ切りカッター（オプション）使用時、カッターの刃が動かなかったため給紙がストップしました。 搬送路の用紙を取り除き、用紙を再度セットしてください。 ➡ ロール紙をセットする（P. 14） ➡ ファンフォールド紙をセットする（P. 36）
3701	用紙セットエラー	用紙が正しくセットされていません。 用紙をセットしなおしてください。 ➡ ロール紙をセットする（P. 14） ➡ ファンフォールド紙をセットする（P. 36）

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
3801	用紙交換エラー	用紙交換のためバックフィードを行いました。搬送路に用紙が残っています。以下の手順で操作してください。 - 搬送路に残った用紙を取り除く ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 20) ➡ ファンフォールド紙を取り外す (P. 40) - 用紙を再度セットする ➡ ロール紙をセットする (P. 14) ➡ ファンフォールド紙をセットする (P. 36)
3901	ギャップセンサー上下位置違い	ギャップセンサーの上下の位置が一致していません。以下の手順でギャップセンサーの位置合わせを行ってください。 - 搬送路に残った用紙を取り除く ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 20) ➡ ファンフォールド紙を取り外す (P. 40) - 上下のギャップセンサーの位置を合わせる ➡ 特殊形状ラベルを使う (P. 30)
3A01	ロールホルダー位置違い	ロールホルダーのフランジ (L) の位置が、印刷データの用紙の幅に合っていない。 ・印刷データの用紙幅が 120.1 mm ~ 130 mm の場合 印刷データの幅が正しいか確認してください。正しい場合は、フランジ (L) の位置を変更して印刷データの幅にあった用紙をセットし直してください。 ➡ 幅広用紙を使う (P. 25) ・印刷データの用紙幅が 120 mm 以下の場合 フランジ (L) を標準位置に戻してください。 ➡ 幅広用紙を使う (P. 25) ・印刷を中止する場合 ステータスマonitorの [印刷中止] をクリックしてください。 用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57)
4001	上ユニットオープン	上ユニットが開いています。 上ユニットを閉じてください。
4101	インクタンクカバーオープン	インクタンクカバーが開いています。 インクタンクカバーを閉じてください。
4201	メンテナンスカートリッジカバーオープン	メンテナンスカートリッジカバーが開いています。 メンテナンスカートリッジカバーを閉じてください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
4301	ロールカバーオープン	ロールカバーが開いています。 ロールカバーを閉じてください。
4401	カッターカバーオープン	カッターカバーが開いています。 カッターカバーを閉じてください。
4A01	プリントヘッド昇温 2	プリントヘッド内の温度が上昇しているため、印刷を中断しています。 タッチパネルで「エラーを解除しクリーニングを実行」を選択してください。
5001 5002 5004 5008	XXXXインクなし *XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。	インクがなくなりました。 新しいインクタンクに交換してください。 インクタンクを交換した直後に発生した場合は、インクタンクをセットしなおしてください。 (サポート番号の末尾は色コードの加算 (ブラック =01、シアン =02、マゼンタ =04、イエロー =08)。例：ブラック (01) +マゼンタ (04) = 05)
5101 5102 5104 5108	クリーニング用XXXXインク不足 *XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。	クリーニングを行うためのインクが不足しています。 インクタンクを交換してください。 (サポート番号の末尾は色コードの加算 (ブラック =01、シアン =02、マゼンタ =04、イエロー =08)。例：ブラック (01) +マゼンタ (04) = 05)
5201 5202 5204 5208	XXXXインクタンクセットエラー *XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。	インクタンクが正しく挿入されていません。 インクタンクをセットしなおしてください。 (サポート番号の末尾は色コードの加算 (ブラック =01、シアン =02、マゼンタ =04、イエロー =08)。例：ブラック (01) +マゼンタ (04) = 05)
5301 5302 5304 5308	XXXXインクタンク異常 (データ破損) *XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。	インクタンクが異常です。 新しいインクタンクに交換してください。 (サポート番号の末尾は色コードの加算 (ブラック =01、シアン =02、マゼンタ =04、イエロー =08)。例：ブラック (01) +マゼンタ (04) = 05)
5401 5402 5404 5408	XXXXインクタンク異常 (ID 違い) *XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。	本プリンターに対応していないインクタンクが取り付けられています。 本プリンターに対応したインクタンクに交換してください。 (サポート番号の末尾は色コードの加算 (ブラック =01、シアン =02、マゼンタ =04、イエロー =08)。例：ブラック (01) +マゼンタ (04) = 05)

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
5501 5502 5504 5508	XXXXインク残量不明 *XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。	インク残量を検知できません。一度空になったインクタンクが取り付けられている可能性があります。 ・インクタンクを交換する場合 インクタンクを交換してください。 ・インクタンクを交換せずそのまま使う場合 印刷を続けるには、以下の手順でインク残量検知機能を無効にする必要があります。 1. タッチパネルで [2. 交換せずに継続使用する] を選ぶ 2. 表示されたメッセージを確認して [はい] を選ぶ この場合、インクタンクの残量検知が無効になり、無効にしたことを履歴に残します。 ➡ インク残量検知機能について (P. 337) (サポート番号の末尾は色コードの加算 (ブラック =01、シアン =02、マゼンタ =04、イエロー =08)。例：ブラック (01) +マゼンタ (04) = 05)
6001	メンテナンスカートリッジ満杯	メンテナンスカートリッジの回収インクが満杯です。 新しいメンテナンスカートリッジをセットしてください。 ➡ メンテナンスカートリッジを交換する (P. 264)
6101	メンテナンスカートリッジセットミス	メンテナンスカートリッジが正しくセットされていません。 メンテナンスカートリッジをセットしなおしてください。 ➡ メンテナンスカートリッジを交換する (P. 264)
6201	メンテナンスカートリッジ異常	メンテナンスカートリッジが異常です。 新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。 ➡ メンテナンスカートリッジを交換する (P. 264)
70nn *nn は 数字または アルファベット	データ不整合	パソコンから異常なデータを受信しました。 印刷を中止して、ケーブルの接続を確認し、再度印刷してください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57)
7101 7102	メモリーフル	オーバーレイ印刷のフォームデータの容量が大きいため、メモリーが足りません。 印刷を中止して、フォームデータを作りなおしてください。 ➡ フォームをファイルに保存する (P. 112)

サポート 番号	ステータスマニター メッセージ	原因 / 対処方法
7201	フォームデータなし	オーバーレイ印刷のフォームデータが見つかりません。 印刷を中止して、フォームデータを確認してください。 ➡ オーバーレイ印刷を行う (P.114)
7301 7302 7303 7304 7305 7306 7307 7308 7309 7310 7312 7401 7402	アップデート失敗	ファームウェアのアップデートに失敗しました。 ファイルを確認し、再度アップデートを行ってください。同じエラーが発生した場合は、本製品をご購入の販売店やまたは、お客様相談センターにご連絡ください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
7501 7502	ファームウェアデータ不正	ファームウェアのアップデートに失敗しました。 以下の手順で再度アップデートを行ってください。 1. プリンターとパソコンを USB 接続にする 2. ファームウェアアップデートツールを再起動する 3. プリンター一覧から、新しく追加されたプリンターを選択する  新しく追加されたプリンターには、以下のような名称が自動で設定されます。 • もとのプリンター名が [Canon LX-D400] の場合 Canon LX-D400 (n * コピー) * n は数字です。複数ある場合は、最も大きい数字のプリンターを選択します。 例) もとのプリンター名が「Canon LX-D400 (1 コピー)」の場合、新しく追加されたプリンター名は「Canon LX-D400 (2 コピー)」に設定されます。 • もとのプリンター名が [Canon LX-D400] 以外の場合 Canon LX-D400 例) もとのプリンター名が「3F 南エリア」の場合、新しく追加されたプリンター名は「Canon LX-D400」に設定されます。 3. [OK] をクリックし、画面の指示にしたがってアップデートを行う ステータス取得画面の「現在のファームウェアバージョン」には「- (ハイフン)」が表示されます。 4. アップデート完了後、タッチパネルでファームウェアが正しく更新されていることを確認する 以下の手順で、ファームウェアのバージョンを確認できます。  (インフォメーション) → [プリンター情報] → [ファームウェアバージョン] 同じエラーが発生した場合は、本製品をご購入の販売店やまたは、お客様相談センターにご連絡ください。
7601	画像データ処理エラー	画像データの処理に失敗しました。 プリンタードライバーを最新のバージョンに更新してください。 ➡ 最新のソフトウェアを入手する (P. 286)

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
7701	印刷位置調整エラー	印刷データが印刷領域を超えています。 印刷を中止し、[印刷位置調整]の左右の印刷位置調整値、または印刷幅を確認してください。 ➡ 印刷を中止する (P.57) ➡ 印刷位置を調整する (P.310)
7801	用紙長さ設定エラー	テストパターンの印刷領域の幅に、設定可能な範囲より小さい長さが設定されています。 1. 印刷を中止する 2. プリンターにセットされている用紙サイズを確認する 3. プリンタードライバー、またはタッチパネルで設定されている用紙サイズを確認する 4. 印刷する テストパターンの印刷に適した用紙サイズは、それぞれ以下の通りです。 ヘッド位置調整パターン：幅 1 インチ以上×長さ 3 インチ以上、 または幅 2 インチ以上×長さ 1.5 インチ以上 ノズルチェックパターン：幅 4 インチ以上×長さ 2 インチ以上 設定値：幅 2 インチ以上×長さ 1.5 インチ以上の用紙 ・タッチパネルでの設定が異なる場合 以下の手順で操作してください。 1. [印刷設定] を押す 2. [用紙] 欄を押し、表示されたリストからプリンターにセットされている用紙のサイズを選ぶ ・アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーの設定が異なる場合 ステータスマonitorの[印刷中止] をクリックしてください。 用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。 ➡ 印刷を中止する (P.57)

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
7901	用紙幅設定エラー 1	テストパターンの印刷領域の幅に、設定可能な範囲より小さい値が設定されています。 1. 印刷を中止する 2. プリンターにセットされている用紙サイズを確認する 3. プリンタードライバー、またはタッチパネルで設定されている用紙サイズを確認する 4. 印刷する テストパターンの印刷に適した用紙サイズは、それぞれ以下の通りです。 ヘッド位置調整パターン：幅 1 インチ以上×長さ 3 インチ以上、 または幅 2 インチ以上×長さ 1.5 インチ以上 ノズルチェックパターン：幅 4 インチ以上×長さ 2 インチ以上 設定値：幅 2 インチ以上×長さ 1.5 インチ以上の用紙 ・タッチパネルでの設定が異なる場合 以下の手順で操作してください。 1. [印刷設定] を押す 2. [用紙] 欄を押し、表示されたリストからプリンターにセットされている用紙のサイズを選ぶ ・アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーの設定が異なる場合 ステータスマonitorの [印刷中止] をクリックしてください。 用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57)
7A01	用紙幅設定オーバー	印刷データの用紙幅が、ジョブ切りオートカッター（オプション）使用時に設定可能な用紙幅より大きい値に設定されています。ジョブ切りオートカッター（オプション）使用時に設定できる用紙幅の最大値は 115 mm です。 ステータスマonitorの [印刷中止] をクリックしてください。 データサイズと用紙サイズを正しく設定なおしてから、再度印刷を行ってください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57)
7B01	ファームウェアが最新ではありません	ご使用中のプリンターのファームウェアに対応していない消耗品またはオプションが取り付けられています。 ファームウェアを最新のバージョンに更新してください。 ➡ 最新のソフトウェアを入手する (P. 286)

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
7C01	用紙幅設定エラー 2	印刷データの用紙幅が、RFID ユニット（オプション）使用時に設定可能な用紙幅より小さい値に設定されています。RFID ユニット（オプション）使用時に設定できる用紙幅の最小値は 26.4 mm です。 ステータスマニターの「印刷中止」をクリックしてください。 用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。 ➡ 印刷を中止する（P.57）
8001 8002 8003 8004 8005 8006 8007 8008 8009	RFID キャリブレーションエラー	キャリブレーションに失敗しました。 搬送部の RFID 用紙を取り除き、新しい RFID 用紙で再度キャリブレーションを行ってください。 ➡ ロール紙をプリンターから取り外す（P.20） ➡ RFID 用紙の情報を登録する（P.362）
8101 8102	RFID 読み取りエラー	RFID 読み取りエラーが発生しました。 一度に 2 枚以上の RFID 情報を受信した、もしくは、すでに印刷および書き込みが行われた RFID 用紙を再度使用している可能性があります。 本プリンターは誤書き込み防止のため、一定枚数の印刷および書き込みを行った RFID 情報を保存し、再度検知した場合はエラー検出しています。 搬送路上の RFID 用紙を取り除き、新しい RFID 用紙をセットしてください。 ➡ プリンターに RFID 用紙をセットする（P.367）
8201	RFID インレイを検出できません	セットしている用紙が RFID 用紙ではないか、1 枚目のインレイが故障している可能性があります。 印刷を中止し、新しい RFID 用紙をセットしてください。 ➡ 印刷を中止する（P.57） ➡ プリンターに RFID 用紙をセットする（P.367）
8301 8302 8303 8304 8305 8306 8307 8308 8309	RFID 用紙が仕様外です	セットしている RFID 用紙が仕様外です。 印刷を中止し、仕様内の RFID 用紙に交換してください。 本プリンターで使用できる RFID 用紙の仕様は「使用できる RFID 用紙について（P.360）」を参照してください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
8401	RFID 用紙メモリーロック	セットしている RFID 用紙のメモリーがロックされていて、書き込みできません。 印刷を中止し、ロックされていない RFID 用紙に交換してください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57) ➡ プリンターに RFID 用紙をセットする (P. 367)
8501	RFID 用紙メモリーエラー	セットしている RFID 用紙のメモリー容量に対して、書き込みデータサイズが適切ではありません。 印刷を中止し、書き込みデータサイズに対応した RFID 用紙に交換してください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57) ➡ プリンターに RFID 用紙をセットする (P. 367)
8601 8602 8603 8604	不良インレイ連続許容回数オーバー	5 回以上書き込みに失敗した用紙を不良インレイと呼びます。 不良インレイの発生回数が、[不良インレイ連続許容回数] で設定した回数を越えました。 ・本エラーの発生頻度を抑えたい場合 不良インレイ連続許容回数の設定値を増やすと、本エラーの発生頻度を抑えることができます。 ➡ 不良インレイ連続許容回数超過エラーの発生頻度を設定する (P. 374) ・不良インレイの発生を抑えたい場合 印刷を中止してインレイ自体に不具合がないか確認し、新しい RFID 用紙をセットしてください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57) ➡ プリンターに RFID 用紙をセットする (P. 367) 上記の対処を試しても解決しない場合、プリンターの近くに外部リーダー、アンテナ、または電波を発する機器がないかをご確認ください。本プリンターがこれらの機器の影響を受けると、RFID 用紙への書き込みが正しく行われません。 RFID 用紙への書き込みを行うときは、これらの機器を電波を発さない状態にする、またはプリンターから遠ざけてください。
8701	RFID 用紙未選択	RFID 印刷を行おうとしましたが、プリンターの [RFID 用紙設定] が選択または設定されていません。 印刷を中止し、RFID 印刷を行いたい場合は設定を行った上で再度 RFID 印刷を行ってください。 ➡ 印刷を中止する (P. 57) ➡ プリンターに RFID 用紙をセットする (P. 367)

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
8801	RFID リカバリー印刷メモリーフル	RFID 印刷で書き込み失敗が多いため、リカバリー印刷用のプリンターのメモリー容量が足りません。 印刷を中止し、再度キャリブレーションを行うか、新しい RFID 用紙に交換してください。 → 印刷を中止する (P.57) → RFID 用紙の情報を登録する (P.362)
XXXX	不明なエラー	不明なオペレーターエラーが発生しました。プリンターのタッチパネルで詳細を確認してください。 プリンタードライバーおよびファームウェアを最新のバージョンに更新してください。 → 最新のソフトウェアを入手する (P.286) 再度同じエラーが発生した場合は、サポート番号 (XXXX番) を控えて、本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。

■ 警告メッセージ

警告が発生していますが、印刷を行うことはできる状態です。対処されない状態がしばらく続くと、オペレーターエラーが発生する場合がありますので、早めの対処をおすすめします。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
0101 0102 0104 0108	XXXX インク残量少 *XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。	インクが残り少なくなっています。 新しいインクタンクを用意してください。 (サポート番号の末尾は色コードの加算 (ブラック =01、シアン =02、マゼンタ =04、イエロー =08)。例：ブラック (01) + マゼンタ (04) = 05)
0201	メンテナンスカートリッジ空き容量少	メンテナンスカートリッジが満杯に近づいています。 新しいメンテナンスカートリッジを用意してください。
0301 0302 0304 0308	XXXX プリントヘッド交換目安時期 *XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。	プリントヘッドの交換目安時期になりました。 本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。 (サポート番号の末尾は色コードの加算 (ブラック =01、シアン =02、マゼンタ =04、イエロー =08)。例：ブラック (01) + マゼンタ (04) = 05)
0401	ページユニット交換時期近	ページユニットの交換時期に近づきました。 本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
0501	ブレードクリーナー交換時期間近	ブレードクリーナーの交換時期に近づきました。 本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。
0701	時計用電池残量なし	時計（RTC）の電池交換が必要です。 本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。
0801	基板点検	基板交換が必要です。 本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。
0901 0902 0904 0908	XXXX インク残量検知機能無効中 *XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。	インクの残量検知機能が無効になっています。 ➡ インク残量検知機能について (P. 337) 本プリンター用のインクタンクをセットしてください。 (サポート番号の末尾は色コードの加算 (ブラック = 01、シアン = 02、マゼンタ = 04、イエロー = 08)。例: ブラック (01) + マゼンタ (04) = 05)
0A01 0A02 0A04 0A08	XXXX プrintヘッド昇温 *XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。	プリントヘッド内の温度が上昇しています。 印刷を中止する場合は、ポーズキーを押した後、データを削除するボタンを押してください。 (サポート番号の末尾は色コードの加算 (ブラック = 01、シアン = 02、マゼンタ = 04、イエロー = 08)。例: ブラック (01) + マゼンタ (04) = 05)
0B01	データ転送遅延	印刷速度が最適ではないため、パソコンからプリンターへのデータ転送が間に合っていない。 プリンタードライバーの [印刷設定] シートを開き、[印刷速度] を [自動速度] にしてください。 ➡ 印刷速度を設定する (P. 105)
0C01	IP アドレス競合	ネットワーク上に競合する IP アドレスを検出しました。 他のデバイスで使用している IP アドレスと重複しないように、本製品の IP アドレスを変更してください。 ➡ LAN 設定をする (P. 239)
0D01	用紙なし	用紙がありません。 用紙をセットしてください。 ➡ ロール紙をセットする (P. 14) ➡ ファンフォールド紙をセットする (P. 36)

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
0F01 0F02 0F04 0F08	XXXX プリントヘッド 供給異常 *XXXX は、ブラック、 シアン、マゼンタ、イ エローです。)	プリントヘッドのクリーニングが通常より多く行われています。 プリンターを安定した状態でご使用いただくために、点検をご検討ください。 点検結果によってはプリントヘッドの交換が必要となる場合があります。 本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。 (サポート番号の末尾は色コードの加算 (ブラック =01、シアン =02、マゼンタ =04、イエロー =08)。例：ブラック (01) + マゼンタ (04) = 05)
1001	RFID 書き込みリトライ 多発	RFID データの書き込みリトライが多発しています。 [RFID 用紙設定] から、用紙設定の確認と再度キャリブレーションを行ってください。 ➔ RFID 用紙の情報を登録する (P. 362) 印刷を中止する場合は、ポーズキーを押した後、データを削除するボタンを押してください。
1101	不良インレイ検知	インレイの不良を検知しました。 RFID リカバリー動作モード設定に従い、リカバリー印刷が行われます。 印刷結果を確認してください。 印刷を中止する場合は、ポーズキーを押した後、データを削除するボタンを押してください。
1201	RFID 印刷データなし	プリンターの RFID 用紙設定が有効な状態ですが、受信した印刷データが RFID 印刷データではありません。 RFID 印刷を行いたい場合は RFID 書き込みデータを含んだ印刷データで再度印刷を行ってください。 印刷を中止する場合は、ポーズキーを押した後、データを削除するボタンを押してください。
1301 1302	RFID 間欠印刷エンコード	RFID の通信または印刷データ処理の最適化により、間欠印刷で印刷しているため時間がかかっています。 しばらくそのままお待ちください 印刷を中止する場合は、ポーズキーを押した後、データを削除するボタンを押してください。

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
XXXX	不明な警告	不明な警告が発生しました。プリンターのタッチパネルで詳細を確認してください。 プリンタードライバーおよびファームウェアを最新のバージョンに更新してください。 ➡ 最新のソフトウェアを入手する (P. 286) 再度同じエラーが発生した場合は、サポート番号 (XXXX番) を控えて、本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。

■ ハードウェアエラー

エラー解消のために、本製品をご購入の販売店やお客様相談センターへの連絡が必要なエラーが発生している状態です。

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
E90nn E91nn	コントローラー基板異常	復帰不可能なエラーが発生しました。 電源を入れなおしてください。 再度同じエラーが発生した場合は、メッセージの表示内容を控えて、本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。 エラーの内容によっては、サポート番号とメッセージがステータスマニターに表示されないことがあります。そのような場合は、タッチパネルの表示をご確認ください。
E92nn	コントローラー基板異常（プリントヘッド 5V ヒューズ切れ）	
E93nn	温湿度センサー接続異常	
E94nn	電源異常	
E95nn	電源ファン異常	
E96nn	RFID ユニット異常	
EA0nn	ブラック プリントヘッド異常	
EA1nn	シアン プリントヘッド異常	
EA2nn	マゼンタ プリントヘッド異常	
EA3nn	イエロー プリントヘッド異常	
EA4nn	ブラックプリント ヘッドインク供給不良	
EA5nn	シアンプリント ヘッドインク供給不良	
EA6nn	マゼンタプリント ヘッドインク供給不良	
EA7nn	イエロープリント ヘッドインク供給不良	
EB0nn	プリントヘッドポジ ション異常	
EB1nn	ページユニットポジ ション異常	
EB2nn	吸引ポンプ異常	

サポート 番号	ステータスマニター メッセージ	原因 / 対処方法
EB3nn	リフィル弁異常	復帰不可能なエラーが発生しました。 電源を入れなおしてください。 再度同じエラーが発生した場合は、メッセージの表示内容を控えて、本製品をご購入の販売店や、お客様相談センターにご連絡ください。
EB5nn	ページユニット交換時期	
EB6nn	ブレードクリーナー 交換時期	
EB7nn	供給弁異常	
EB8nn	泡抜き弁異常	
EB9nn	ヘッド液面センサ異常	
EC0nn	搬送ユニット異常	
EC1nn	用紙吸着ファン異常	
EC3nn	カッター異常	
ED0nn	インク漏れ	
EE0nn EE1nn	システムエラー	
XXXX	不明なエラー	

RFID 用紙の印刷

RFID ユニットについて	360
RFID 用紙の情報を登録する	362
RFID 用紙の情報を登録する	362
RFID 用紙情報を編集する	364
RFID 用紙の情報を削除する	366
プリンターに RFID 用紙をセットする	367
RFID 用紙使用時のプリンタードライバーの設定	368
用紙サイズを設定する	368
RFID 用紙の用紙サイズ設定可能範囲	371
RFID 印刷の詳細な設定	373
RFID の印刷モードを設定する	373
不良インレイ連続許容回数超過エラーの発生頻度を設定する	374
書き込みに失敗した時のリカバリー方法を設定する	375
書き込みの結果を確認する	376
RFID データを消去する	377

RFID ユニットについて

オプションの「RFID ユニット RF-L01（以下、RFID ユニット）」をご購入いただくと、RFID 対応の用紙に印刷すると同時に情報を書き込むことができます。

ここでは RFID ユニットの各部の名称や使いかたについて説明します。

■ 心臓ペースメーカーをお使いの方へ

！ 警告

- RFID ユニットからは微弱な電波が出ており、使用する用途・場所によっては、医療機器に影響を与える恐れがあります。

植え込み型心臓ペースメーカーなどの植え込み型医療機器をご使用の方は、RFID ユニットから 22cm 以内に近づかないでください。また、RFID ユニットのご使用にあたっては、医師にご相談ください。

■ 電波に関するご注意

- 本製品は周囲の電波の影響を受けやすいため、ご使用になる環境によっては通信エラーが発生する場合があります。
プリンターの近くに外部リーダー、アンテナ、または電波を発する機器がある場合は、電波を発さない状態にする、またはこれらの機器を遠ざけてからプリンターを使用してください。
- 通信エラーによって書き込みに失敗した用紙には「×」印が印刷され、再利用することができなくなりますのでご注意ください。

■ 使用できる RFID 用紙について

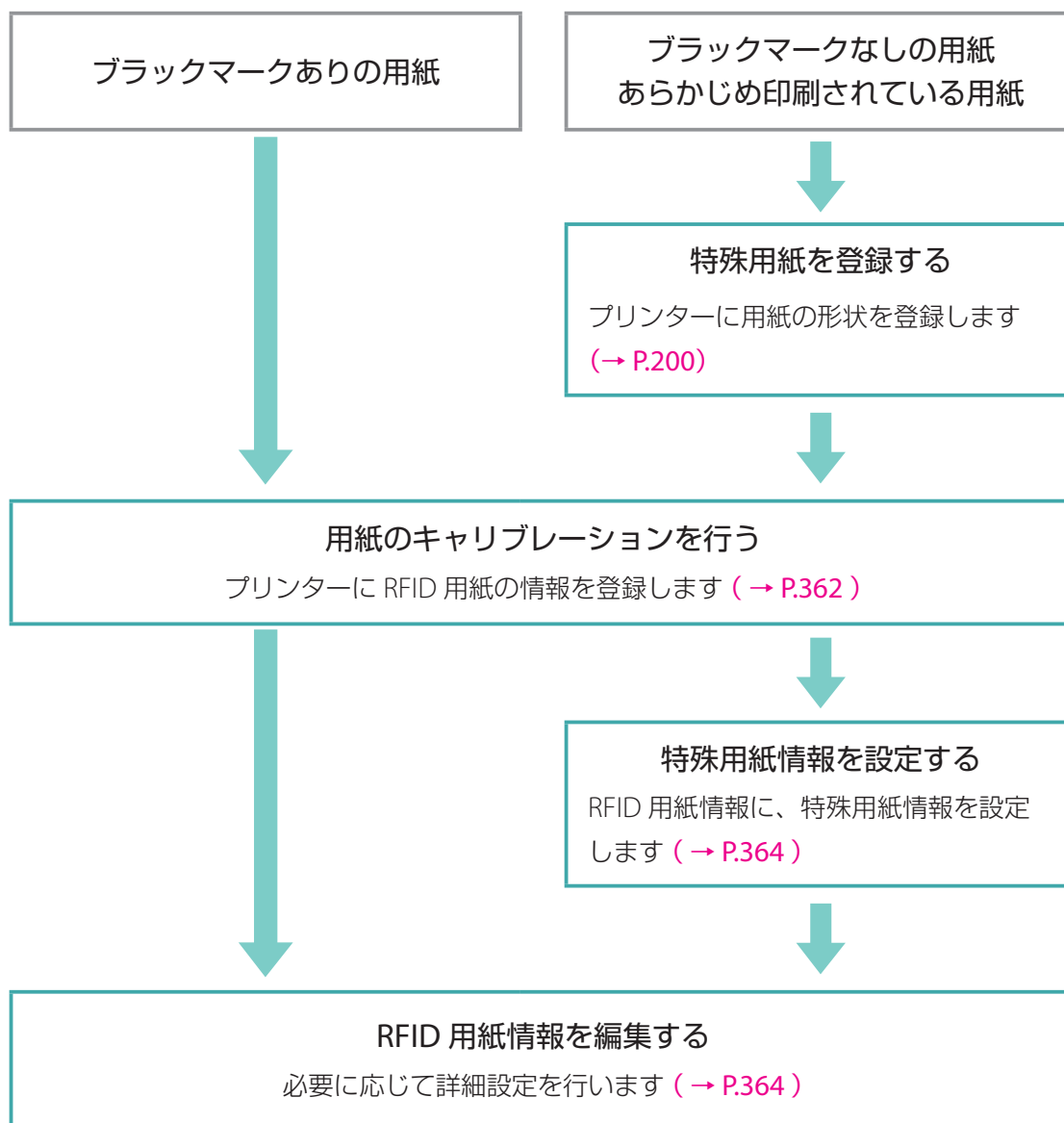
本製品では、以下の条件を満たした用紙を使用してください。条件を満たしていない用紙にはデータを書き込むことができません。事前に動作確認をしてからご使用ください。

- ISO/IEC 18000-63 に準拠していること
- アクセスコマンド「Block Write」に対応していること
- PC 領域のレングス情報に 2 以上が書き込まれていること

RFID 用紙の情報を登録する

RFID 用紙に印刷する前に、プリンターに用紙情報を登録します。

お使いになる用紙の形状によって登録の手順は異なります。



重要

- あらかじめ印刷されている用紙やラベル / ギャップ用紙を使用する場合、その用紙の特殊用紙情報 (→ P.200) を選択することで印刷開始位置が設定されます。選択せずに印刷した場合、意図しない位置に印刷されるおそれがありますので、必ず設定してください。

メモ

- RFID 用紙設定は最大 10 件まで登録できます。
- 一度登録した設定は後から編集・削除することができます。

RFID 用紙の情報を登録する

RFID 用紙に印刷するときは、以下の手順で用紙の設定を行ってください。

メモ

- RFID 用紙設定は最大 10 件まで登録できます。
- 一度登録した設定は後から編集・削除することができます。
 - ➡ RFID 用紙情報を編集する (P. 364)
 - ➡ RFID 用紙の情報を削除する (P. 366)

1 プリンターに用紙をセットする

➡ ロール紙をセットする (P. 14)

2 ホーム画面で、 (メニュー) → [管理者] を選ぶ

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

3 [RFID] → [RFID 用紙設定] → [RFID 用紙登録・編集] を選ぶ

4 「未登録」と表示されている項目を選ぶ

RFID 用紙の登録・編集メニューが表示されます。

5 [1. キャリブレーション実行] を選ぶ

6 センサーの種類を選び、[次へ] を押す

用紙の形状を確認し、「ギャップ」または「ブラックマーク」を選びます。

7 [次へ] を押す

キャリブレーションが開始されます。

8 キャリブレーションの完了画面が表示されたら [次へ] を押す

9 用紙の名称を入力し、[OK]を押す

登録完了画面が表示されます。

10 必要に応じて、用紙情報の詳細な設定を行う

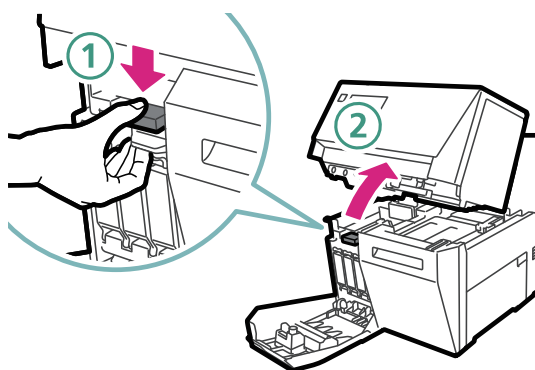
➡ RFID 用紙情報を編集する (P. 364)

✓ 重要

・ 手順 6 で [ギャップ] を選択した場合は、特殊用紙情報の設定を行ってください。

11 上ユニットを開けて用紙を取り除き、再セットする

➡ プリンターに RFID 用紙をセットする (P. 367)



RFID 用紙情報を編集する

登録した RFID 用紙情報を編集することで、より詳細な設定ができます。

以下の手順で操作してください。

- 1 ホーム画面で、（メニュー）→ [管理者] を選ぶ
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。
- 2 [RFID] → [RFID 用紙設定] → [RFID 用紙登録・編集] を選ぶ
- 3 編集する用紙の名称を選ぶ
- 4 必要に応じて、各項目の設定を変更する

以下の項目を編集することができます。

- マージン設定

通信リトライが多く発生する場合に設定します。

通信リトライは、書き込みデータ量に対して RFID 用紙とプリンターの通信時間が短かすぎる場合に発生します。搬送速度を減速させることで RFID 用紙とプリンターの通信時間が長くなり、通信リトライの発生回数を抑えることができます。初期値は [選択なし] に設定されています。

選択なし	印刷設定に適した速度で搬送します。
レベル 1	[選択なし] を選んだ時よりも、搬送速度を 10 mm/sec 減速します。
レベル 2	[選択なし] を選んだ時よりも、搬送速度を 20 mm/sec 減速します。
レベル 3	[選択なし] を選んだ時よりも、搬送速度を 30 mm/sec 減速します。



- ・ この設定は RFID 印刷モード設定（→ P.373）で [自動] を選択したときに、有効になります。

- 印刷速度

光沢紙などインクの定着に時間がかかる用紙を使用する場合に用紙の表面が汚れたり、通信リトライが多く発生したりする場合は、印刷速度を遅くすることで、これらの発生を抑えることができます。初期値は [自動] に設定されています。

自動	印刷設定に適した速度で搬送します。
50 mm/sec	最低搬送速度で用紙を搬送します。

● 用紙吸着強度

用紙の表面に汚れがある場合に設定します。

プリントヘッドが用紙の表面にこすれると、用紙の表面が汚れることがあります。表面にカールのある用紙は、吸着力を強めることでプリントヘッドとの間隔が広がり、このような汚れを軽減できる場合があります。初期値は「標準」に設定されています。

標準	吸着強度は標準レベルです。
強力	吸着強度を「標準」より強くします。

● プリントヘッドの高さ調整

用紙の表面に汚れがある場合に設定します。

プリントヘッドが用紙の表面にこすれると、用紙の表面が汚れることがあります。プリントヘッドの位置を高くすることで、このような汚れを軽減できる場合があります。

プリントヘッドの高さは、0 mm ～ 2 mm の間で、0.05 mm 単位で調整できます。初期値は「0.15 mm」に設定されています。

📖 メモ

- RFID データの書き込みを行わず印刷のみを行う場合、設定は無効になります。
- RFID 印刷を行う場合のプリントヘッド高さは、以下の値の合算になります：
 - 本メニューで調整した値
 - 用紙こすれ軽減モード（→ P.318）で調整した値
 - プリントヘッド高さ調整（→ P.319）で調整した値

● 特殊用紙選択

RFID 印刷に使用する特殊用紙設定（→ P.200）を選びます。

5 変更が完了したら設定内容を確認し、（ホーム）を押す

RFID用紙登録・編集	
1. キャリブレーション実行	>
2. マージン設定	選択なし >
3. 印刷速度	自動 >
4. 用紙吸着強度	標準 >
5. プリントヘッド高さ調整	0.00mm 

RFID 用紙の情報を削除する

登録済の RFID 用紙情報を削除する場合は、以下の手順で操作してください。

- 1** ホーム画面で、（メニュー）→ [管理者] を選ぶ
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。
- 2** [RFID] → [RFID 用紙設定] → [RFID 用紙削除] を選ぶ
登録済みの RFID 用紙設定が表示されます。
- 3** 削除したい [RFID 用紙] の名称を選ぶ
確認のメッセージが表示されます。
- 4** [はい] を選ぶ
RFID 用紙情報が削除され、[RFID 用紙設定] 画面に戻ります。

プリンターに RFID 用紙をセットする

RFID 用紙をプリンターにセットする場合は、以下の手順で操作してください。

📌 重要

- RFID 用紙にデータを書き込まず印刷のみを行うとき、「RFID 用紙設定」(→ P.364)は無効になります。
「RFID 用紙設定」でプリントヘッドの高さを調整している場合は、プリントヘッドと用紙の距離が十分でないため印刷面が汚れる可能性があります。印刷前に「用紙こすれ軽減モード」(→ P.193)を「レベル1」に設定してください。

📖 メモ

- プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンターの用紙情報が異なる場合、タッチパネルにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。
- 印刷を中止する場合は、ステータスマニターの「印刷中止」を押します。
→ 印刷を中止する (P.57)

1 ホーム画面で、 (メニュー) → 「用紙タイプ設定」 → 「給紙タイプ」を選び、給紙タイプを選択する

2 「RFID 用紙選択」を選び、一覧から印刷に使用する用紙設定を選ぶ

📖 メモ

- 一覧の中に印刷に使用したい用紙設定がない場合は、「RFID 用紙の情報を登録する (P.362)」を参照して登録してください。

3  (ホーム) を押してホーム画面に戻る

4 プリンターに用紙をセットする

パソコンでアプリケーションを開き、印刷してください。

📖 メモ

- 情報を書き込まずに表面への印刷のみを行う場合の設定方法は、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- RFID 用紙の書き込みに失敗した用紙には「×」マークが印刷されます。
- 「×」マークの印刷処理中にエラーが発生して印刷が一時停止すると、用紙の停止位置によっては、印刷再開後に印刷済みの用紙に再度印刷してしまう場合があります。エラーが発生して印刷が一時停止した場合は、用紙をセットし直してください。
→ ロール紙をセットする (P.14)
→ ファンフォールド紙をセットする (P.36)

RFID 用紙使用時のプリンタードライバーの設定

ここでは LX-D400 のプリンタードライバーを使用する場合の設定について説明します。他社製のプリンタードライバーをご使用になる場合の設定については、各ドライバーのマニュアルをご覧ください。

用紙サイズを設定する

RFID 用紙に印刷する場合は、プリンタードライバーに新しい用紙サイズの設定を行います。

用紙サイズの情報は「ユーザー用紙サイズ設定」に 50 種類まで登録できます。

RFID 用紙のサイズの設定をプリンタードライバーに登録する場合は、あらかじめ登録されている標準用紙のサイズを変更して登録を行います。以下の手順で操作してください。

メモ

- 「用紙サイズの名称」「幅」「長さ」「表示単位」「用紙の形状」「ギャップ/マーク長」「余白」「ギャップ」が登録できます。
- 標準ラベル用紙名称は、変更できません。

1 プリンタードライバーのプロパティ画面を開く

➡ プリンターのプロパティ画面を表示する (P. 60)

2 「ユーザー用紙サイズ設定」をクリックする

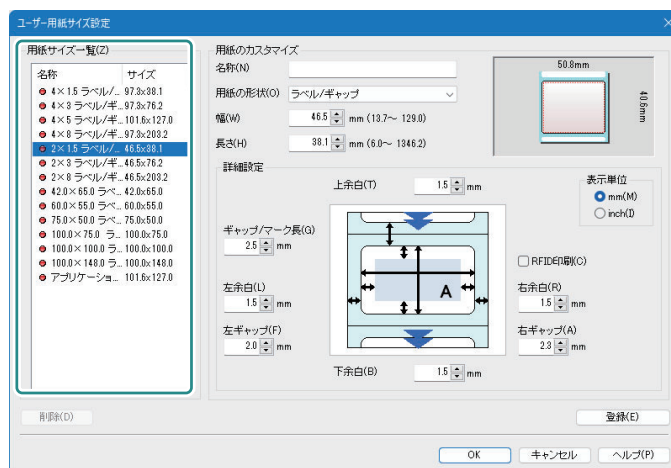
「ユーザー用紙サイズ設定」ダイアログボックスが表示されます。



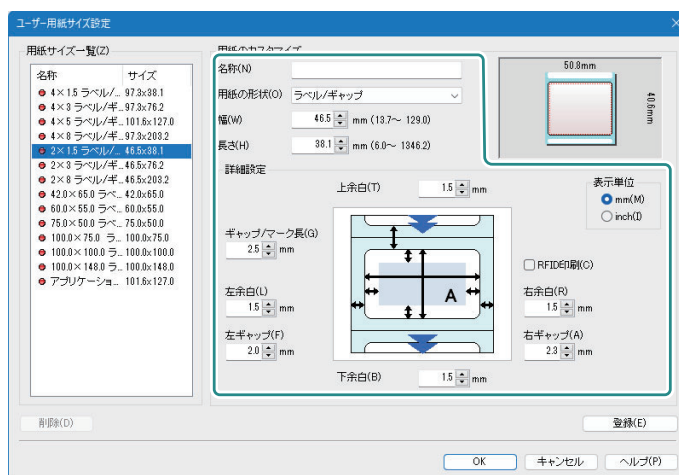
メモ

- アプリケーションソフトからプリンタードライバーを開いた場合、「ユーザー用紙サイズ設定」は選択できません。以下の手順で操作してください。
 - 用紙サイズで「アプリケーション指定」を選ぶ
 - 「ユーザー用紙サイズ設定」をクリックする
 - 手順 4 に進む

3 「用紙サイズ一覧」から、基本にする用紙サイズを選ぶ

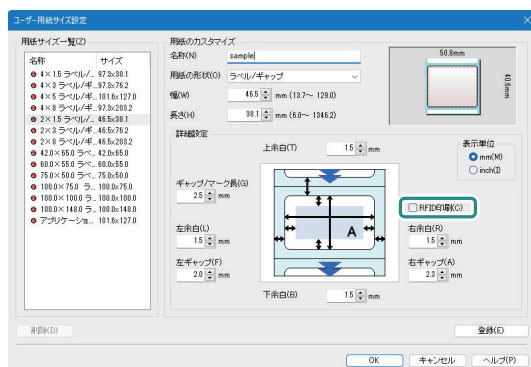


4 「名称」「幅」「長さ」「余白」「ギャップ」「表示単位」「用紙の形状」の各項目を入力または選択する

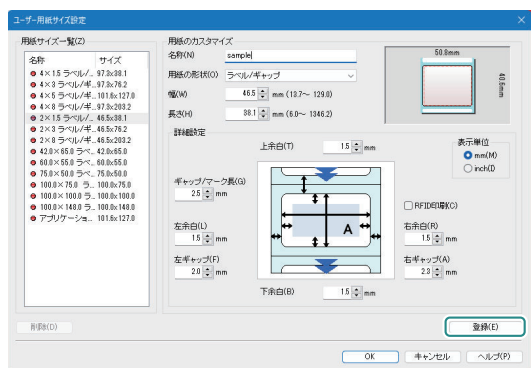


[名称]	新しい用紙の名称を入力します。名称は半角、全角ともに 15 文字まで入力できます。 メモ ・アプリケーションソフトからプリンタードライバを開いて「アプリケーション指定」の用紙サイズを編集する場合、[名称]は入力しません。				
[幅] [長さ]	設定できる範囲内で数値を入力します。				
[表示単位]	mm または inch を選択します。				
[用紙の形状]	印刷に使用する用紙の形状を選択します。 <table border="1"> <tr> <td>ラベル / ギャップ</td><td>通常のラベル用紙です。 ラベル間のギャップを検知して用紙の先端を認識します。</td></tr> <tr> <td>ラベル / ブラックマーク</td><td>裏側にブラックマークが印刷してあるラベル用紙です。 ブラックマークで用紙の先端を認識します。</td></tr> </table> メモ ・用紙の形状ごとに、設定できる幅や長さの範囲が異なります。詳しくは「RFID 用紙の用紙サイズ設定可能範囲 (P. 371)」を参照してください。	ラベル / ギャップ	通常のラベル用紙です。 ラベル間のギャップを検知して用紙の先端を認識します。	ラベル / ブラックマーク	裏側にブラックマークが印刷してあるラベル用紙です。 ブラックマークで用紙の先端を認識します。
ラベル / ギャップ	通常のラベル用紙です。 ラベル間のギャップを検知して用紙の先端を認識します。				
ラベル / ブラックマーク	裏側にブラックマークが印刷してあるラベル用紙です。 ブラックマークで用紙の先端を認識します。				
[ギャップ / マーク長]	カスタムサイズに対するギャップ長、またはマーク長を入力します。				
[用紙余白]	上下余白、左右余白、左右ギャップを入力します。				

5 [RFID印刷]にチェックを入れる



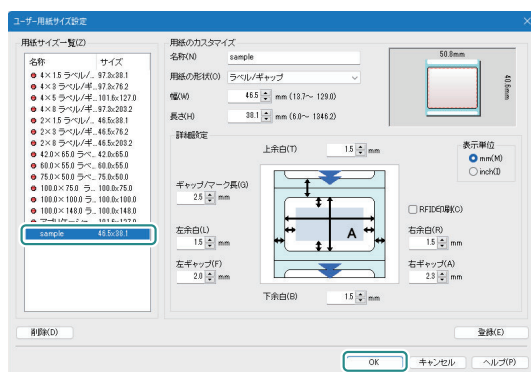
6 すべての入力完了したら [登録] をクリックする



メモ

- アプリケーションソフトからプリンタードライバを開いて [アプリケーション指定] の用紙サイズを編集する場合は、[登録] の代わりに [一時登録] が表示されます。

7 [用紙サイズ一覧]に入力した用紙名称が登録されていることを確認して、[OK] をクリックする



メモ

- アプリケーションソフトからプリンタードライバを開いて [アプリケーション指定] の用紙サイズを編集する場合は、[用紙サイズ一覧] に用紙名称は登録されません。

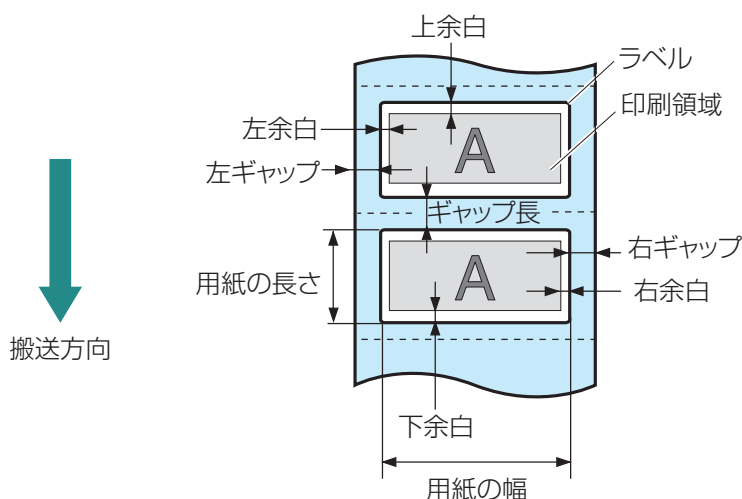
RFID 用紙の用紙サイズ設定可能範囲

メモ

- オプションによっては、ドライバーで設定した用紙サイズを使用できない場合があります。用紙サイズを設定する前に、本体で使用可能な用紙サイズ（→ P.44）およびオプションごとの用紙条件（→ P.380）を確認してください。

■ ラベル / ギャップ

通常のラベル用紙です。ラベル間のギャップ*1を検知して用紙の先端を認識します。



*1 ギャップ：セパレーター（台紙）とラベル（上紙）との空き部分

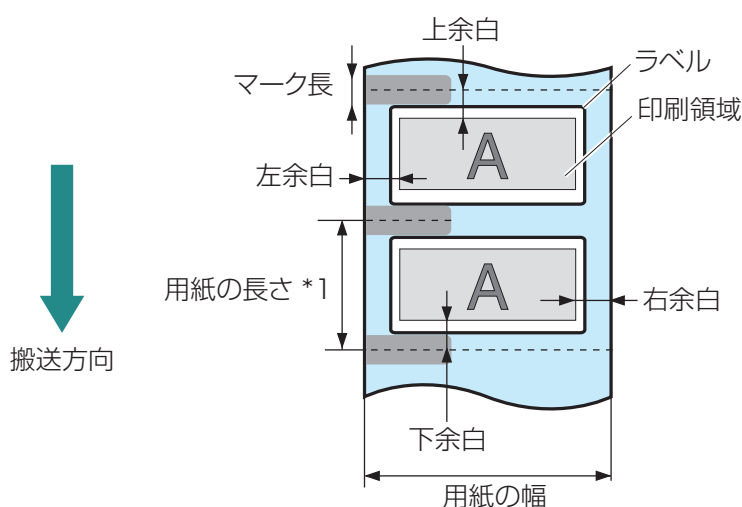
用紙の幅	25.4 mm ～ 128.0 mm	1.00 インチ～ 5.03 インチ
用紙の長さ	14.0 mm ～ 203.2 mm	0.56 インチ～ 8.00 インチ
ギャップ長	2.5 mm ～ 9.5 mm	0.10 インチ～ 0.37 インチ
左ギャップ	0.5 mm ～ 10.6 mm	0.02 インチ～ 0.42 インチ
右ギャップ	0.5 mm ～ 121.8 mm	0.02 インチ～ 4.79 インチ
上余白	1.5 mm ～ （用紙長 - 3 - 下余白）mm	0.06 インチ～ （用紙長 - 0.12 - 下余白）インチ
下余白	1.5 mm ～ （用紙長 - 3 - 上余白）mm	0.06 インチ～ （用紙長 - 0.12 - 上余白）インチ
左余白	1.5 mm ～ （用紙幅 - 3 - 右余白）mm	0.06 インチ～ （用紙幅 - 0.12 - 右余白）インチ
右余白	1.5 mm ～ （用紙幅 - 3 - 左余白）mm	0.06 インチ～ （用紙幅 - 0.12 - 左余白）インチ

重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
 - 左（右）余白と左（右）ギャップの合計が 2.7 mm（0.11 インチ）以上
 - 最小印刷領域：用紙の幅 3 mm（0.12 インチ）× 用紙の長さ 3 mm（0.12 インチ）
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 120.0 mm（4.72 インチ）より大きいとき、左余白と左ギャップの合計が 10.8 mm（0.43 インチ）以上
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 120.0 mm（4.72 インチ）より大きい場合： 右余白 = （用紙幅 + 左ギャップ） - 119.2 mm（4.69 インチ）
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 120.0 mm（4.72 インチ）以下の場合： 右余白 = （用紙幅 + 左ギャップ） - 109.1 mm（4.30 インチ）

■ ラベル / ブラックマーク

裏側にブラックマークが印刷してあるラベル用紙です。ブラックマークで用紙の先端を認識します。



*1 用紙の長さ：ブラックマーク中心から次のブラックマークの中心の間の長さ

用紙の幅	25.4 mm ～ 128.0 mm	1.00 インチ～ 5.03 インチ
用紙の長さ	14.0 mm ～ 203.2 mm	0.56 インチ～ 8.00 インチ
マーク長	3.0 mm ～ 10.0mm	0.12 インチ ～ 0.39 インチ
上余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 下余白) mm	0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ
下余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白) mm	0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ
左余白	用紙幅 120.0 mm 以下の場合： 1.7 mm ～ (用紙幅 - 3 - 右余白) mm	用紙幅 4.72 インチ以下の場合： 0.07 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 右余白) インチ
	用紙幅 120.1 mm ～ 130 mm の場合： 10.8 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白)	用紙幅 4.73 インチ ～ 5.12 インチの場合： 0.43 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 右余白) インチ
右余白	用紙幅 110.8 mm 以下の場合： 1.7 mm ～ (用紙幅 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.36 インチ以下の場合： 0.07 インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ
	用紙幅 110.8 mm ～ 120 mm の場合： (用紙幅 - 109.1) mm ～ (用紙幅 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.36 インチ ～ 4.72 インチの場合： (用紙幅 - 4.3) インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ
	用紙幅 120.1 mm ～ 130.0mm の場合： (用紙幅 - 119.2) mm ～ (用紙幅 - 3 - 左余白) mm	用紙幅 4.73 インチ～ 5.12 インチの場合： (用紙幅 - 4.69) インチ ～ (用紙幅 - 0.12 - 左余白) インチ

☑ 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) x 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)

RFID 印刷の詳細な設定

RFID の印刷モードを設定する

RFID 用紙にデータを書き込む際の方法を設定します。

- 1 ホーム画面で、（メニュー）→ [管理者] を選ぶ
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

- 2 [RFID] → [RFID 印刷モード設定] を選ぶ

RFID データの書き込みと印刷のしかたを下記から選びます。

自動	印刷と同時に書き込みを行います。  重要 - 書き込みデータが大きい場合は、自動的に [間欠印刷エンコード] に切り換ります。 - RFID 用紙情報のマージン設定（→ P.364）を [レベル 1] ～ [レベル 3] に設定している場合は、設定に合わせて減速します。
間欠印刷 エンコード	書き込み（エンコード）を行ったあと、用紙をバックフィードさせて印刷をします

いずれかを選ぶと、[RFID] の画面に戻ります。

不良インレイ連続許容回数超過エラーの発生頻度を設定する

5回以上書き込みに失敗した用紙を不良インレイと呼びます。不良インレイには「×」マークが印刷され、再度書き込みすることができなくなります。

不良インレイが連続して検出された場合、不良インレイ連続許容回数超過エラーが発生し印刷は中断されます。

何回連続で不良インレイを検出した場合にエラーを発生させるかを設定することができます。初期設定は1回に設定されています。

1 ホーム画面で、（メニュー）→〔管理者〕を選ぶ

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

2 〔RFID〕→〔不良インレイ連続許容回数〕を選ぶ

不良インレイを検出したときの、連続許容回数を0回～9回までの間で選択します。

いずれかを選ぶと、〔RFID〕の画面に戻ります。



- 設定した回数 +1 回連続してリトライが失敗した場合〔不良インレイ連続許容回数オーバー〕エラーが発生します。

書き込みに失敗した時のリカバリー方法を設定する

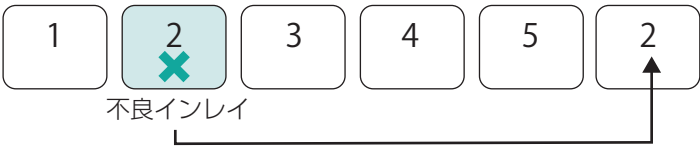
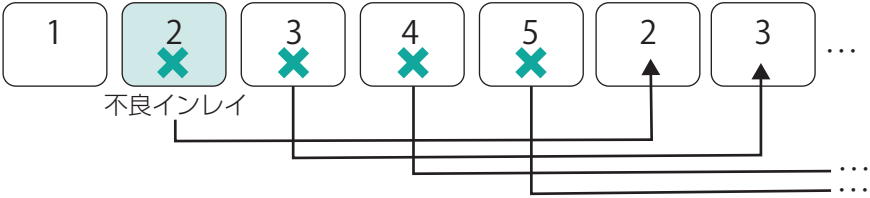
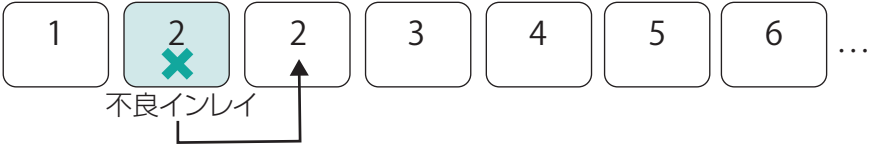
書き込みに失敗した不良インレイを検出した場合、どのようにリカバリーするかを設定します。初期設定は「リカバリーなし」に設定されています。

1 ホーム画面で、（メニュー）→「管理者」を選ぶ

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

2 「RFID」→「RFID リカバリー動作モード設定」を選ぶ

不良インレイを検出した場合の動作を、下記から選びます。

リカバリーなし	リカバリー処理を行いません。不良インレイには「×」マークが印刷されます。 <印刷イメージ>  不良インレイ
順番違い許容モード	不良インレイに印刷するはずだったデータをジョブの最後に印刷します。ラベルの順番は前後しますが、不良インレイにのみ「×」マークが印刷されます。 <印刷イメージ>  不良インレイ
順番違い禁止モード	不良インレイの後に続く印刷済の用紙に「×」マークを印刷し、次に書き込み可能な位置の用紙に、不良インレイに書き込むはずだった内容を書き込みおよび印刷します。不良インレイ検出時に印刷済だった用紙は正しく書き込みできている場合も「×」マークが印刷されますが、ラベルの順番を保持したまま印刷することができます。 <印刷イメージ> - RFID 印刷モード設定 (→ P.373) で「自動」を選択している場合  - RFID 印刷モード設定 (→ P.373) で「間欠エンコード」を選択している場合  不良インレイ

いずれかを選ぶと、「RFID」の画面に戻ります。

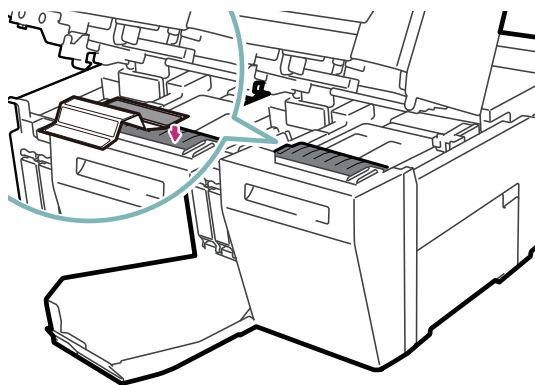
書き込みの結果を確認する

RFID 用紙をプリンターで読み込んで、書き込みの結果を確認することができます。RFID 用紙に印刷されたシリアルナンバーとインレイの EPC メモリーのシリアルナンバーが同じかどうかを確認する場合などに便利です。以下の手順で操作してください。

メモ

- ・ [RFID データ読み取り] を実行している間に印刷データを受信した場合、印刷は行われません。

- 1 ホーム画面で、 (メニュー) → [管理者] を選ぶ
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。
- 2 [RFID] → [RFID データ読み取り] を選ぶ
- 3 インクタンクカバーを開き、上ユニットオープンレバーを押して、上ユニットを開く
- 4 書き込み結果を確認したい用紙をプリンターにセットする
インレイが図の位置にくるように、用紙を置きます。



メモ

- ・ 用紙を読み取らせるときは用紙から手や指を離してください。手や指が用紙にかかっていると、インレイの情報を正しく読み取れず、エラーが発生することがあります。

- 5 タッチパネルに表示された読み取り結果を確認する
- 6  (ホーム) を押してホーム画面に戻る

RFID データを消去する

本プリンターは誤書き込み防止のため、RFID 印刷時に取得したインレイ固有の ID をプリンター内に保持されている印刷済のインレイ固有の ID の履歴（メモリー）と照合し、一致する ID がない場合に書き込みを行います。このときに使用するメモリーを消去する場合は、以下の手順で操作してください。

メモ

- 一度 RFID 印刷したあとに再度同じ RFID 用紙を使用して RFID 印刷を行いたい場合に行ってください。

1 ホーム画面で、（メニュー）→ [管理者] を選ぶ
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

2 [RFID] → [RFID 誤書き込み防止メモリー消去] を選ぶ
確認のメッセージが表示されます。

3 [はい] を選ぶ
プリンター内に保存されているインレイ固有の ID と、RFID 書き込みデータが消去されます。

仕様

本体

機種名	LX-D400
印刷方式	インクジェット記録方式
印刷色	フルカラー
最大解像度	1200 dpi（幅方向）× 1200 dpi（送り方向）
印刷速度	手動：240/220/200/160/120/100 ～ 50 mm/sec ※ 10 mm/sec ごとに設定可能 自動：330 mm/sec、300 mm/sec、240 mm/sec（可変） ^{*1*2}
印字可能領域	幅：3.0 mm～106.4 mm（AIS モード ON 時） 長さ：3.0 mm ～ 1343.2 mm
印刷余白 （用紙搬送方向に対して）	前後 1.5 mm 左右 2.7 mm（セパレーター込み） ^{*3}
プリントヘッド	5184 ノズル（印字可能ノズル数：5144 ノズル）
使用インク	染料系インクタンク イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（Bk）
インターフェイス	USB2.0 Hi-speed USB フラッシュメモリー 有線 LAN ^{*4} ：IEEE802.3ab（1000BASE-T）/ IEEE802.3u（100BASE-TX）/ IEEE802.3i（10BASE-T）
拡張インターフェイス	上側：拡張用 RS-232C（D-sub 9pin）下側：外部 I/O（D-sub 25pin）
稼働音	55 dB 以下
設置環境温度	温度 15℃～ 30℃、湿度 10%～ 80%（ただし、結露なきこと）
電源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	動作時：230 W（最大） スリープ時：約 5 W 電源 OFF 時：0.3W 以下
寸法	幅 386 mm × 奥行 565 mm × 高さ 430 mm
質量	約 23 kg（インクタンク除く）

*1：解像度 1200 dpi の場合：220 mm/sec 以下

*2：印刷データと印刷設定にあわせて適切な速度に変化します。

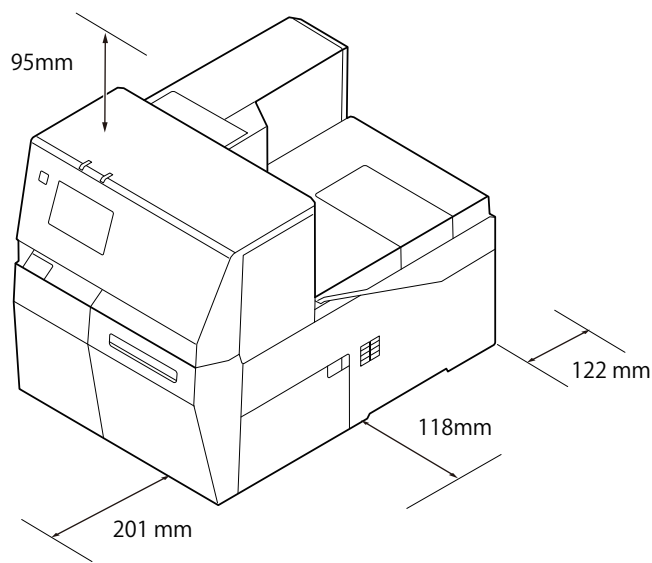
*3：ただし、ラベル紙を使用される場合は、ラベルの左右端から各 1.5 mm 以上の余白が必要です。

*4：Standard TCP/IP ポート（Raw / LPR「バイトカウント有効／無効」）対応

■ 設置占有スペース

設置する際は、以下のスペースを確保してください。

* ファンフォールド紙をご使用になる場合に必要なスペースについては、「[ファンフォールド紙を使う \(P. 36\)](#)」を参照してください。



■ 動作条件

対応 OS	Windows 11 Windows Server 2025 Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016
ハードディスクドライブ空き容量	50 MB 以上

ジョブ切りオートカッター（オプション）

形式		上刃、下刃固定によるギロチン方式カッター
切断速度		プリンター速度に準ずる
用紙条件	種類	専用コート紙（マットコート紙、光沢紙、合成紙、光沢フィルム、薄紙マット）
	カットサイズ	幅：14.7 mm ～ 115 mm（セパレーター含み） 長さ：本体に準ずる
	切断可能厚さ	200 μ m以下
寸法（プリンター本体含む）		幅 386 mm × 奥行 565 mm × 高さ 430 mm
重量（プリンター本体含む）		約 23.5 kg（インクタンク除く）
設置環境温度		温度：15℃～30℃ 湿度：10%～80%（ただし、結露なきこと）

RFID ユニット（オプション）

周波数		921 ～ 923MHz	
対応規格		IUHF EPC Gen 2, ISO/IEC 18000-63	
寸法 (プリンター本体含む)		幅 386 mm × 奥行 615 mm × 高さ 430 mm	
重量 (プリンター本体含む)		約 25.0 kg (インクタンク除く)	
設置環境温度		温度：15℃～30℃ 湿度：10%～80% (ただし、結露なきこと)	
カッター	形式		上刃、下刃固定によるギロチン方式カッター
	切断速度		プリンター速度に準ずる
	用紙 条件	種類	専用コート紙 (マットコート紙、光沢紙)
		カット サイズ	幅：25.4 mm ～ 115 mm (セパレーター含み) 長さ：本体に準ずる
		切断可 能厚さ	200 μm以下

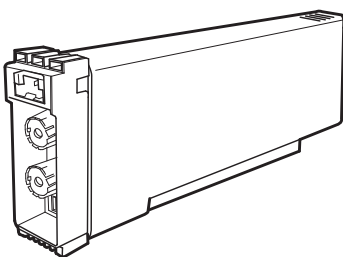
消耗品 / オプション

本製品の消耗品とオプションは以下のとおりです。

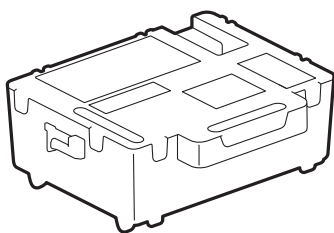
詳しくは、本製品をご購入の販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

■ 消耗品

- インクタンク
(イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (Bk))



- メンテナンスカートリッジ



■ オプション

- ロールホルダー
複数のロール紙を使用する場合、オプションのロールホルダーを用意しておくとロール紙をセットし直す手間が省けます。
- ジョブ切りオートカッター
印刷が終わった用紙を自動でカットするための装置です。カット間隔はプリンタードライバーで自由に設定することができます。
- RFID ユニット
RFID 対応の用紙に RFID 情報を書き込むためのリーダーライターです。用紙をカットするためにジョブ切りオートカッターが搭載されています。

➡ **RFID ユニットについて (P.360)**